

授業評価 2010

—平成 22 年度学生による授業評価報告書—

【2010 年度新規開設科目】

平成 23 年 3 月



授業評価 2010

—平成 22 年度学生による授業評価報告書—

【2010 年度新規開設科目】

I. 「学生による授業評価 2010」の概要----- 1

- I-1. 目的
- I-2. 構成と内容
- I-3. 方法と期間
- I-4. 時系列分析
- I-5. 回答者の特性
- I-6. 評価結果の提供と公表
 - I-6-1. 評価結果の提供
 - I-6-2. 評価結果の公表

II. 評定尺度調査の分析結果----- 19

- II-1. 学部の分析結果
 - II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II-1-2. 学習への取組姿勢
 - II-1-3. 学部の授業評価
 - II-1-4. 参考
- II-2. 大学院の分析結果
 - II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II-1-2. 学習への取組姿勢
 - II-1-3. 大学院の授業評価
 - II-1-4. 参考

III. 自由記述のまとめ----- 117

- III-1. 総括
- III-2. 学部
- III-3. 大学院

付録----- 158

平成 22 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価2010」の概要

I-1. 目的

本学では、学生の授業に関する理解の状況や満足感等を把握することによって、教育内容や教授方法及び学習支援システム等の改善に資することを目的とし、平成17年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入している。第1回の平成17年度は試行的な意味を持たせた内容であったが、第2回の平成18年度からは本格的な授業評価調査として実施している。第6回目となる今年度は、2010年度及び2009年度2学期に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) **個別授業科目の改善支援**……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) **カリキュラム全体の改善支援**……専攻または領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) **認証評価に関わる資料提供**……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のようないくつかの放送大学に固有の条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は客員であることが多く、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構

成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

今回の学生による授業評価調査は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらった形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については162、163頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、平成22年度第1学期に本学で開講していた放送授業のうち、新コース・新プログラムとして今年度開設した科目（開講1年目の科目）、学部51科目、大学院16科目、計67科目である（表1-1参照）。またこのような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 新コース・新プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

【学部】

コース	科目数		有効回答	
	平成22年度(2010)		平成22年度(2010)	
	全開設	評価対象	人数	構成比
基礎科目	3	3	339	7%
生活と福祉	5	5	531	11%
心理と教育	7	7	550	11%
社会と産業	14	14	1,358	28%
人間と文化	11	11	1,231	25%
自然と環境	6	6	550	11%
夏季集中	5	5	341	7%
全体	51	51	4,900	100%

【大学院】

プログラム	科目数		有効回答	
	平成22年度(2010)		平成22年度(2010)	
	全開設	評価対象	人数	構成比
生活健康科学	4	4	271	25%
人間発達科学	3	3	214	20%
臨床心理学	1	1	91	9%
社会経営科学	3	3	191	18%
文化情報学	3	3	209	20%
自然環境科学	2	2	93	9%
全体	16	16	1,069	100%

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

調査票の配布は、これら 71 科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各 200 名（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 12,403 名、大学院 2,217 名、計 14,620 名（いずれも延べ人数）に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 10 月下旬から 11 月中旬までの約 3 週間とした。有効回答数は学部 4,900 票、大学院 1,069 票、計 5,969 票であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 39.5%、大学院 48.2%、全体で 40.8%と低めであった（表 1-2 参照）。回収率の低さの要因はさまざまに考えられるが、昨年度と同様に科目登録者数や調査日程の関係から単位認定試験未受験者に対しても調査票を配付していることが回収率の低さの大きな要因の一つと思われる。なお、昨年度の有効回答率（2009 年度新規開設科目 学部 35.3%、大学院 41.9%、全体 36.6%）と比較すると、学部・大学院とも有効回答率が上がっている。今後も客観的な調査結果を得られるためにも回収率を高めていくために調査日程などの工夫が必要であろう。

表 1 - 2 調査対象者数および有効回答率

	22年度(2010年新規開設科目)			21年度(2009年新規開設科目)			21年度(2008年新規開設科目)		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	12,403	4,900	39.5%	10,882	3,836	35.3%	17,671	5,543	31.4%
大学院	2,217	1,069	48.2%	2,826	1,184	41.9%	938	354	37.7%
計	14,620	5,969	40.8%	13,708	5,020	36.6%	18,609	5,897	31.7%

I - 4. 時系列分析

報告書の一部に第 2 回目（平成 18 年度）以降の調査との比較を掲載した。ただし、平成 21 年度に調査票の一部を修正したため、基本的に修正のなかった評価項目のみを時系列分析の対象とした。また、第 1 回目（平成 17 年度）の調査は、今回とは質問内容が異なる項目が多くあったため、時系列比較には入れていない。

さらに本調査は原則として開講 1 年目（平成 20 年度以前は 2 年目）の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目は異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になるとと思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

回答者の属性分布は、次頁の表1-3に示したとおりである。母集団（全受講登録者）の分布と比較すると、学部は、性別では男性、年齢階層では50歳以上、学生種では全科履修生と科目履修生の比率が母集団と比べやや高くなっている。一方、大学院は、性別では男性、年齢階層では60歳以上、学生種では修士全科生の比率が高くなっている。それぞれの属性別分析をする場合には問題はないが、全体の結果等を見る場合には、このような属性の偏りも考慮する必要があるだろう。なお、ここで比率が高いからと言っても、それらの属性の回答率が高いことをただちに意味するものではないので注意していただきたい。たとえば、たまたま今回は男性の比率が多い科目が対象になったため、男性に偏った属性分布になっているということもありうるからである。

表 1 - 3 回答者の属性分布

【学部】

		22年度(2010年新規開設科目)			21年度(2009年新規開設科目)			21年度(2008年新規開設科目)		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性別	男性	47.3%	38.7%	8.6%	47.6%	44.6%	3.0%	47.4%	44.6%	2.8%
	女性	50.1%	61.3%	▲11.2%	49.0%	55.4%	▲6.4%	49.3%	55.4%	▲6.1%
年齢階層別	19歳以下	0.4%	1.1%	▲0.7%	0.4%	1.5%	▲1.1%	0.4%	1.5%	▲1.1%
	20～29歳	8.4%	13.8%	▲5.4%	8.2%	20.6%	▲12.4%	10.2%	20.6%	▲10.4%
	30～39歳	17.6%	27.2%	▲9.6%	16.0%	21.2%	▲5.2%	16.7%	21.2%	▲4.5%
	40～49歳	21.9%	27.0%	▲5.1%	20.6%	22.3%	▲1.7%	18.9%	22.3%	▲3.4%
	50～59歳	18.4%	15.5%	2.9%	18.5%	16.3%	2.2%	18.8%	16.3%	2.5%
	60～69歳	22.5%	11.1%	11.4%	24.3%	13.4%	10.9%	23.3%	13.4%	9.9%
	70歳以上	10.2%	4.3%	5.9%	11.5%	4.9%	6.6%	11.0%	4.9%	6.1%
学生種別	全科履修生	63.8%	61.2%	2.6%	66.7%	80.8%	▲14.1%	74.5%	80.8%	▲6.3%
	選科履修生	21.8%	30.9%	▲9.1%	19.5%	16.7%	2.8%	16.3%	16.7%	▲0.4%
	科目履修生	9.7%	7.9%	1.8%	12.1%	2.5%	9.6%	7.4%	2.5%	4.9%
人数(N)		4,900	-	-	3,836	-	-	5,543	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

【大学院】

		22年度(2010年新規開設科目)			21年度(2009年新規開設科目)			21年度(2008年新規開設科目)		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性別	男性	60.1%	58.1%	2.0%	60.8%	59.5%	1.3%	63.8%	59.5%	4.3%
	女性	36.9%	41.9%	▲5.0%	35.4%	40.5%	▲5.1%	33.9%	40.5%	▲6.6%
年齢階層別	20～29歳	4.3%	5.4%	▲1.1%	3.0%	4.9%	▲1.9%	12.4%	4.9%	7.5%
	30～39歳	13.8%	17.3%	▲3.5%	13.8%	18.2%	▲4.4%	15.0%	18.2%	▲3.2%
	40～49歳	23.9%	27.8%	▲3.9%	25.2%	28.9%	▲3.7%	25.7%	28.9%	▲3.2%
	50～59歳	23.9%	26.2%	▲2.3%	26.9%	27.2%	▲0.3%	24.0%	27.2%	▲3.2%
	60～69歳	23.6%	17.5%	6.1%	22.1%	14.6%	7.5%	14.1%	14.6%	▲0.5%
	70歳以上	9.5%	5.8%	3.7%	8.4%	6.2%	2.2%	7.3%	6.2%	1.1%
	学生種別	修士全科生	27.9%	22.0%	5.9%	30.7%	21.1%	9.6%	24.0%	21.1%
修士選科生		59.1%	68.2%	▲9.1%	59.0%	71.4%	▲12.4%	49.7%	71.4%	▲21.7%
修士科目生		8.8%	9.8%	▲1.0%	8.9%	7.5%	1.4%	24.3%	7.5%	16.8%
人数(N)		1,069	-	-	1,184	-	-	354	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

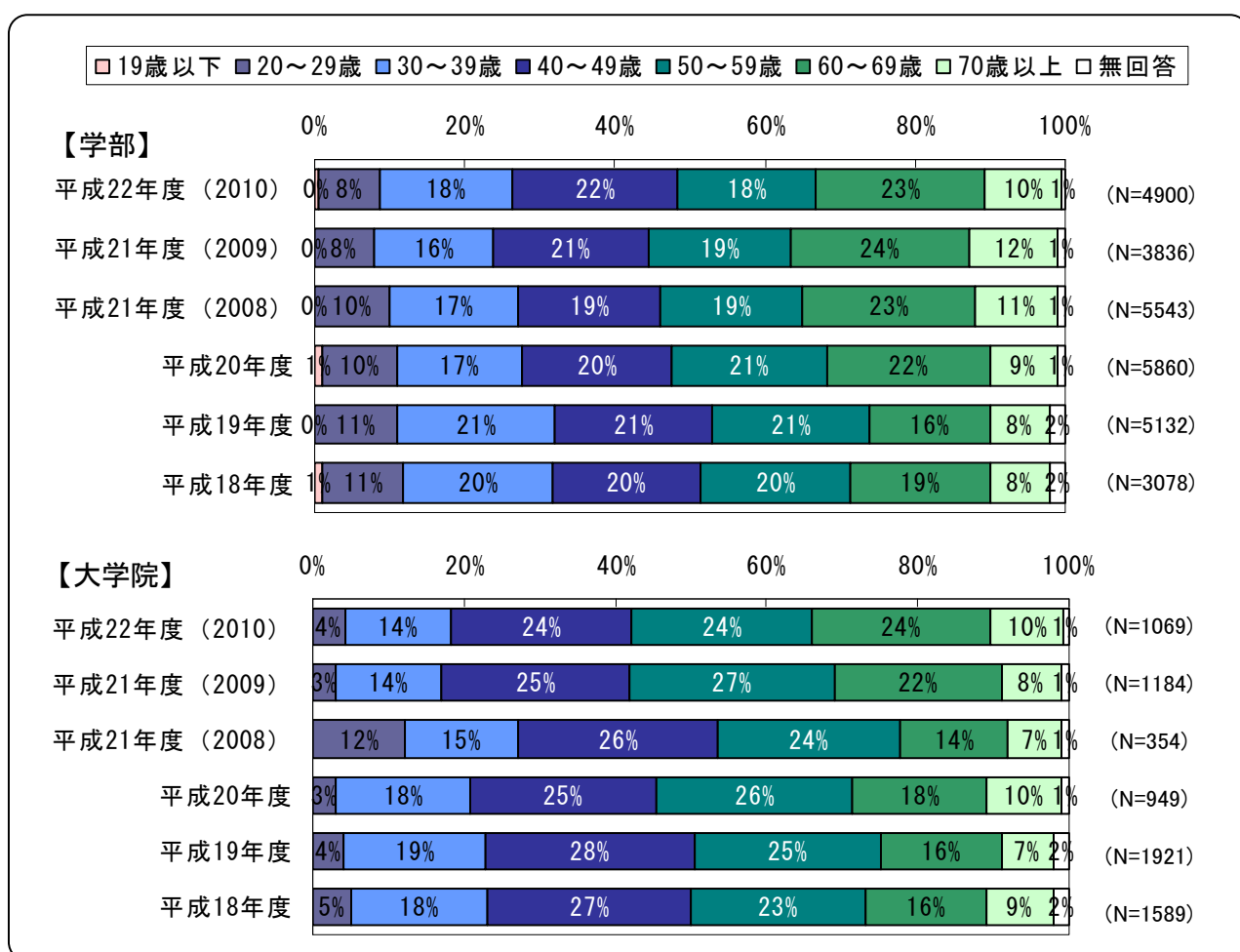
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別回答者 (2010年新規開設科目)

年齢階層別に今年度(2010年新規開設科目)の回答者の分布を見ると(図1-1)、学部では30代~60代が中心であり、60歳代が最も多く23%、次いで40歳代が22%、30歳代と50歳代が18%を占める。時系列で見ると40歳未満の割合が増加し、50歳以上がやや減少傾向にある。

大学院では、40歳代~60歳代の割合が多く、40歳代から60歳代がそれぞれ24%と最も多く、次いで30歳代14%、70歳以上10%となっている。これまでの調査と比べると、60歳以上の高齢者の割合が増加し、50歳未満がやや減少傾向にある。

図1-1 年齢階層別回答者

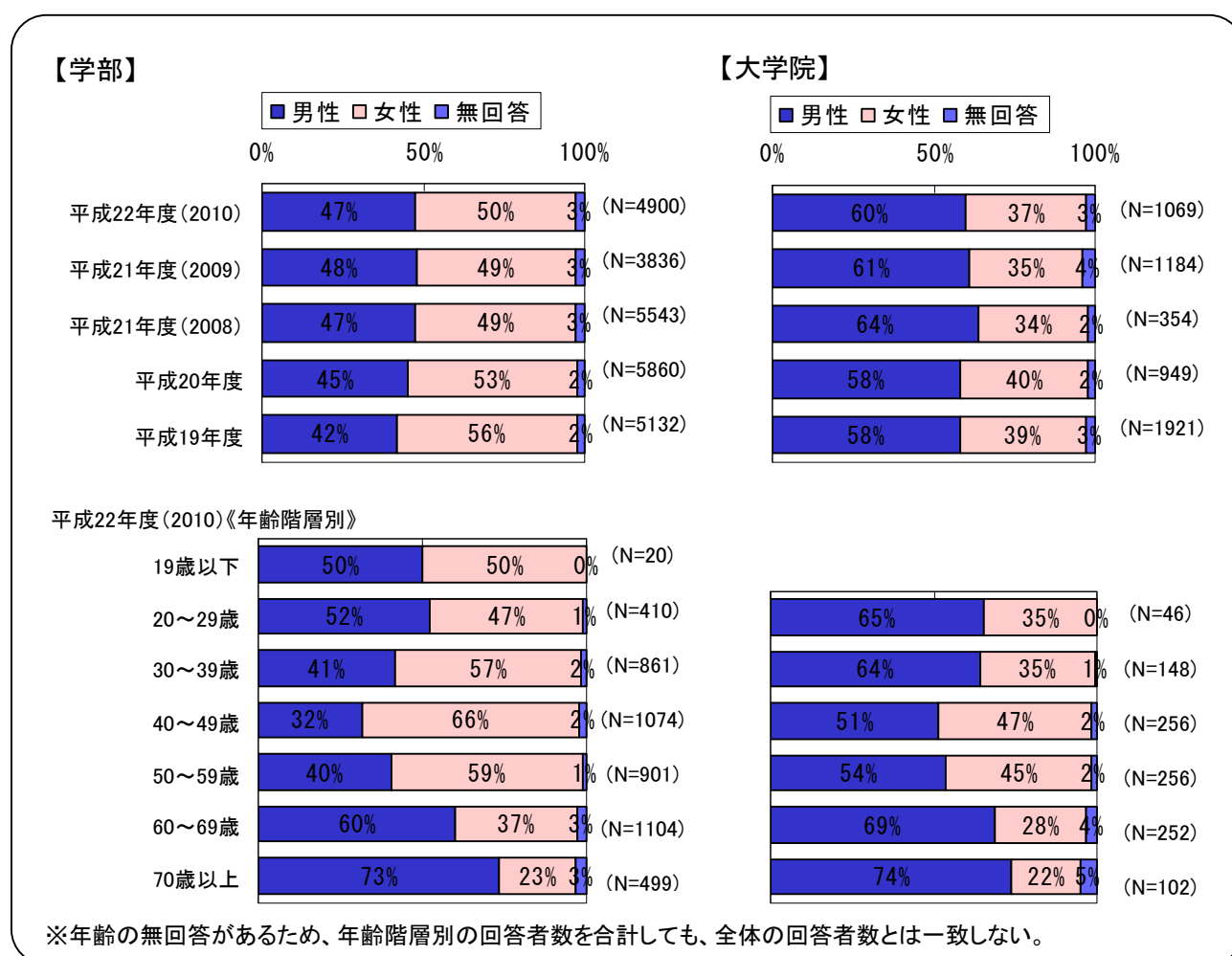


(3) 性別回答者（2010年新規開設科目）

回答者の性別（図1-2）は、学部では男性47%、女性50%となっており、昨年までの調査に比べると女性の割合がやや増えている。また30歳代～50歳代では女性が多く、60歳以上では逆に男性が多くなっている。

大学院は、男性60%、女性37%と男性の比率が高い。大学院も昨年までの調査と比べると女性の割合がやや増えている。大学院の場合は、いずれの年齢階層でも男性の割合が多くなっている。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別回答者（2010年新規開設科目）

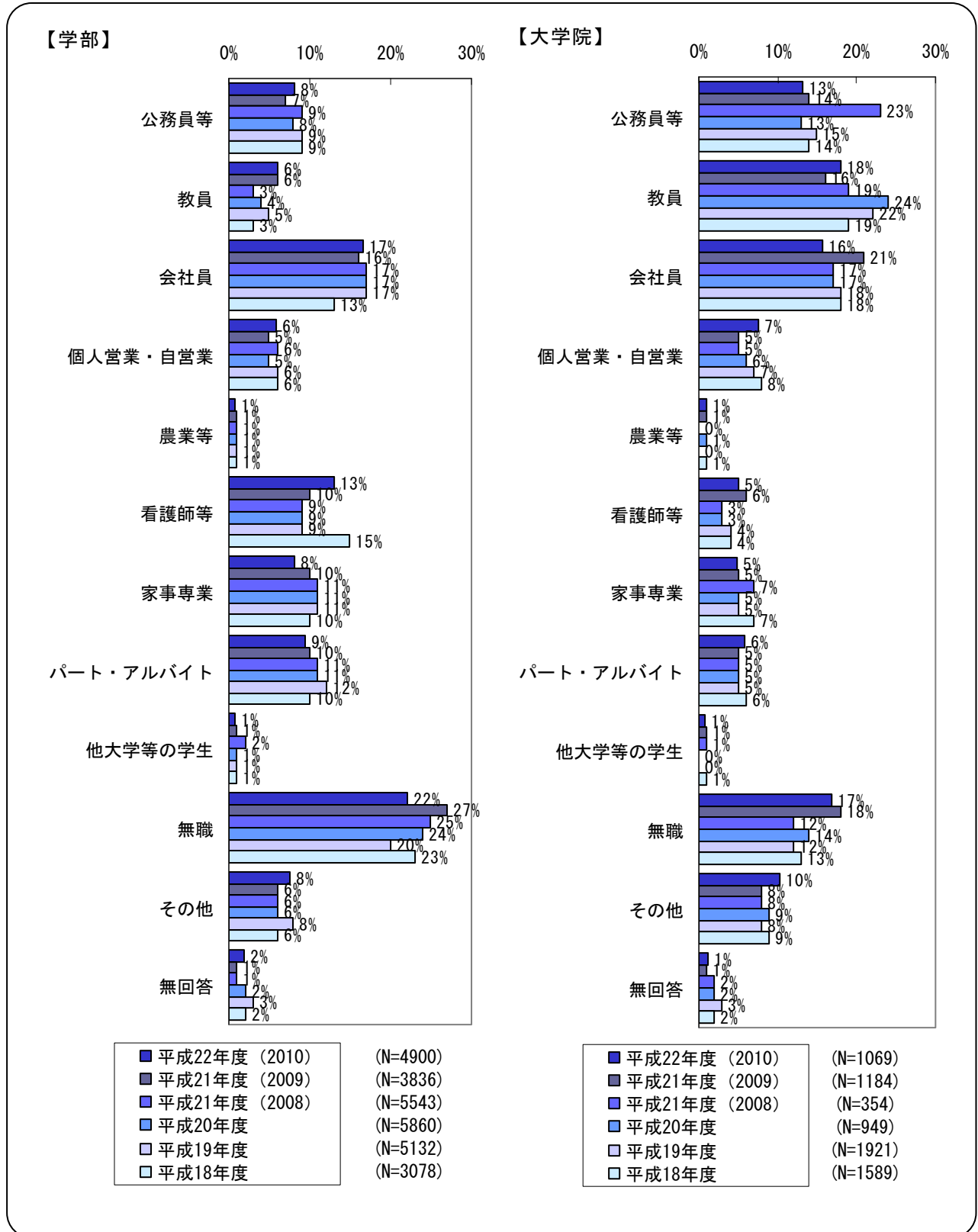
職業別に回答者の分布を見ると（図1-3）、学部では無職層が22%と最も多く、次いで会社員17%、看護師等13%、パート・アルバイト9%となっており、有職者（パート・アルバイト含む）は全体の6～7割程度を占めている。時系列で見ると、無職層の割合が減少している。

一方、大学院では、今回は教員が18%と最も多く、次いで無職17%、会社員16%、

公務員等 13%と多くなっており、有職者は7割程度を占める。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているため、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図 1 - 3 職業別回答者

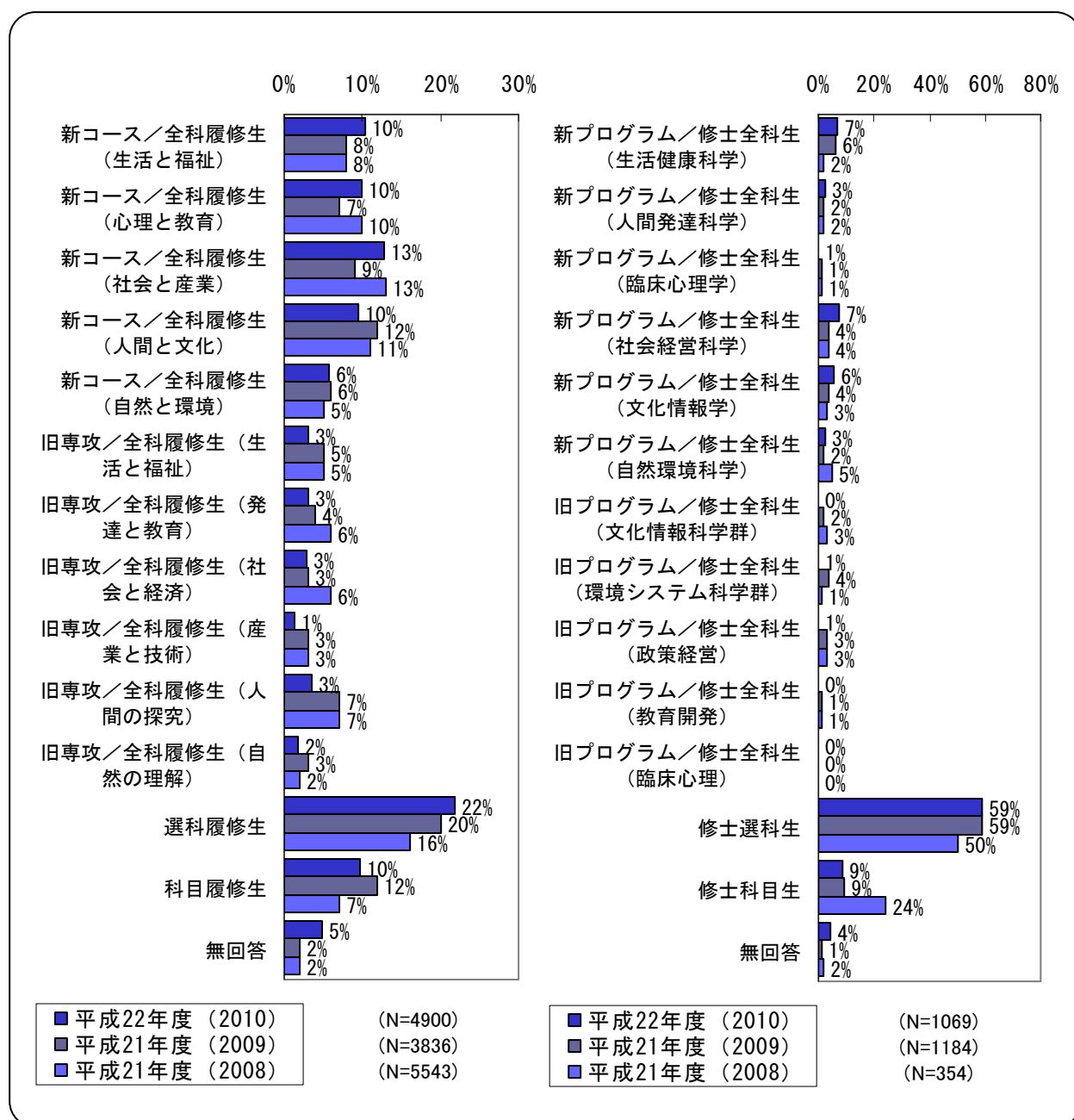


(5) 所属コース（プログラム）別回答者（2010年新規開設科目）

次に学生の所属コース（プログラム）別の分布を見ると（図1-4）、学部では全科履修生が64%を占め、そのうち新コース所属が49%、旧専攻所属が15%となっている。全科履修生の中では、新コース所属の「社会と産業」が13%とやや多くなっている。

大学院では修士選科生が59%を占めており、修士全科生が29%、修士科目生が9%となっている。修士全科生の所属プログラムはかなりばらついている。

図1-4 学生の所属専攻（プログラム）別回答者



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という三つの大きな目的のもとに企画され、実施された。そのことを勘案した授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) 専攻主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全ての専攻・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教育課程編成委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意志決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13頁～18頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果を授業改善の目的で用いるのはもちろんであるが、それに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表が強く求められているところである。小委員会では、その問題に関しても詳細に検討した。その結果、以下のような合意に達し、それを基本的な方針とすることが決められた。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

提供資料サンプル【学部】

学部

平成22年度学生による授業評価の調査結果【2010年度新規開設科目】(単純集計)

コース・プログラム等 ○○○○

科目名(コード): ○○○○(R)

(○○○○)

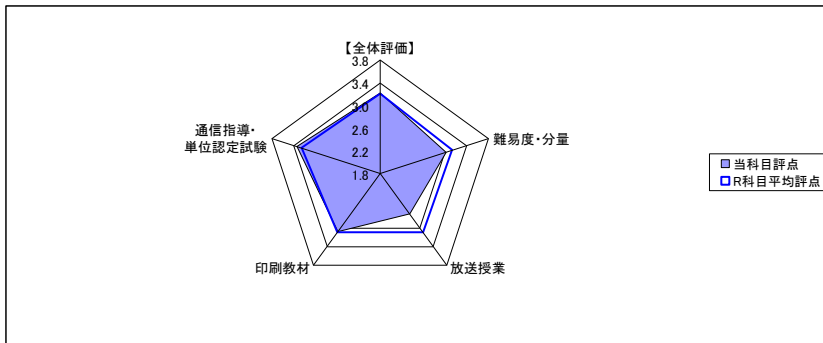
教員氏名: ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	91	40%	45%	14%	1%	3.23	3.29	3.22	0.01
	A-2 放送授業を十分に視聴した	91	11%	22%	30%	37%	2.07	2.81	2.65	-0.58
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	93	52%	40%	8%	1%	3.42	3.36	3.32	0.10

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	75	28%	40%	16%	16%	2.80	3.19	3.08	-0.28
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	75	27%	35%	20%	19%	2.69	3.19	3.11	-0.42
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	90	39%	56%	4%	1%	3.32	3.23	3.16	0.16
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	89	38%	51%	11%	0%	3.27	3.26	3.21	0.06
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	70	20%	43%	19%	19%	2.64	3.21	3.09	-0.45
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	70	29%	41%	13%	17%	2.81	3.35	3.28	-0.47
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	68	28%	38%	15%	19%	2.75	3.19	3.05	-0.30
	B-8 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	67	19%	31%	30%	19%	2.51	3.13	2.89	-0.38
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	78	31%	45%	12%	13%	2.94	3.26	3.20	-0.26
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	91	35%	53%	10%	2%	3.21	3.18	3.10	0.11
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った	90	26%	49%	18%	8%	2.92	3.07	2.89	0.03
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	91	38%	48%	10%	3%	3.22	3.22	3.14	0.08
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	89	46%	43%	10%	1%	3.34	3.32	3.28	0.06
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	90	44%	49%	7%	0%	3.38	3.37	3.32	0.06
	B-15 単位認定試験の問題は科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	89	42%	49%	9%	0%	3.33	3.20	3.15	0.18
全体評価	B-16 授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	91	38%	51%	10%	1%	3.26	3.26	3.20	0.06
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	89	34%	46%	18%	2%	3.11	3.31	3.24	-0.13
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	92	47%	37%	15%	1%	3.29	3.47	3.40	-0.11
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	91	34%	51%	14%	1%	3.18	3.15	3.02	0.16
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	90	44%	39%	14%	2%	3.26	3.26	3.17	0.09

3. 回答者の属性 (単位:人)

学生種別	全科履修生(新コース所属)					全科履修生(旧専攻所属)					全科履修生【小計】	選科履修生	科目履修生	無回答	計	
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探求						自然の理解
	44	3	0	0	0	2	2	0	1	0	0	52	34	2	5	93
性別	男性	女性	無回答	計		年齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計	
	10	81	2	93			0	5	30	40	14	3	1	0	93	
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計			
	5	2	5	0	0	67	3	1	0	4	3	3	93			
通信指導・単位認定試験	単位認定試験	通信指導	無回答	計		単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計					
	受験	未受験		93			4	59	29	1	93					

平成22年度学生による授業評価の調査結果【2010年度新規開設科目】（学生種別・通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学部	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した									
	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	平均									
	4	3	2	1	無回答			4	3	2	1	無回答			4	3	2	1	無回答											
合計(全体)	4900	46%	39%	11%	3%	2%	84%	3.29	4900	33%	30%	19%	16%	3%	62%	2.81	4900	49%	38%	10%	2%	87%	3.36							
生活と福祉	505	38%	46%	13%	2%	2%	84%	3.21	505	25%	33%	22%	19%	2%	57%	2.65	505	46%	42%	10%	1%	88%	3.34							
心理と教育	482	45%	38%	12%	3%	1%	84%	3.27	482	33%	30%	18%	17%	3%	63%	2.82	482	50%	37%	10%	2%	87%	3.36							
社会と産業	631	44%	41%	10%	3%	3%	85%	3.29	631	31%	31%	19%	16%	3%	62%	2.80	631	46%	40%	11%	2%	85%	3.30							
人間と文化	469	51%	34%	12%	2%	0%	86%	3.36	469	44%	28%	16%	10%	2%	72%	3.08	469	57%	31%	10%	1%	88%	3.46							
自然と環境	284	55%	29%	10%	6%	0%	84%	3.34	284	40%	30%	15%	13%	2%	70%	2.98	284	48%	35%	14%	3%	82%	3.27							
生活と福祉	150	40%	38%	13%	4%	5%	78%	3.20	150	23%	23%	21%	28%	5%	46%	2.43	150	45%	44%	7%	2%	89%	3.35							
発達と教育	150	32%	45%	15%	5%	3%	77%	3.08	150	25%	32%	25%	16%	2%	57%	2.68	150	43%	40%	10%	5%	83%	3.24							
社会と経済	136	51%	35%	10%	4%	0%	86%	3.32	136	36%	29%	15%	16%	4%	65%	2.88	136	52%	35%	7%	4%	87%	3.38							
産業と技術	63	40%	38%	13%	10%	0%	78%	3.08	63	18%	37%	22%	24%	0%	54%	2.48	63	44%	33%	18%	5%	80%	3.17							
人間の探究	171	50%	34%	12%	2%	2%	84%	3.33	171	35%	30%	21%	10%	5%	64%	2.93	171	46%	42%	8%	1%	87%	3.36							
自然の理解	83	54%	31%	7%	0%	0%	86%	3.33	83	33%	31%	19%	16%	1%	64%	2.82	83	46%	37%	11%	6%	83%	3.23							
全科履修生【小計】	3124	45%	38%	12%	3%	2%	84%	3.28	3124	33%	30%	19%	16%	3%	63%	2.82	3124	48%	38%	10%	2%	86%	3.34							
選科履修生	1068	47%	39%	9%	2%	2%	86%	3.34	1068	34%	28%	20%	14%	4%	62%	2.84	1068	50%	38%	8%	2%	88%	3.39							
科目履修生	475	49%	38%	8%	3%	1%	87%	3.34	475	32%	32%	19%	15%	2%	64%	2.83	475	53%	35%	8%	2%	88%	3.41							
単 位 認 定 試 験	4165	48%	38%	10%	2%	1%	87%	3.35	4165	34%	30%	19%	15%	2%	64%	2.86	4165	52%	37%	9%	1%	89%	3.42							
通信指導未提出	370	28%	42%	18%	9%	4%	70%	2.93	370	23%	30%	23%	20%	4%	52%	2.58	370	30%	41%	20%	6%	71%	2.98							
認定試験	138	18%	38%	15%	20%	9%	57%	2.60	138	18%	22%	22%	28%	10%	40%	2.33	138	25%	33%	17%	18%	58%	2.69							

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、少数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評価については、選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出した。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

日常生活がいかに社会と関わりをもっているか、経済や政治や法律など等、広く深く考える手がかりが得られ、有意義な講義だった。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

説明が哲学的で平易な言葉ではなかったのでやや難解であったので、初学者でも理解できるように注釈など工夫が必要に思う。引っ掛け問題の様な通信指導問題や単位認定試験問題は何を意図しているか分からず、本質的な理解を試しているとは思えず、検討の余地あり。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

私は卒業するのに十年かかりました。病気、入院でも先生方のご指導で卒業することが出来ました。卒業論文のご指導、今も感謝しております。先生は年賀状を毎年下さって励まして下さいました。本当に大学に感謝しております。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(該当する番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(該当する番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 6. 生活と福祉 7. 発達と教育 8. 社会と経済 9. 産業と技術 10. 人間の探究 11. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 12. 選科履修生 13. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院

平成22年度学生による授業評価の調査結果【2010年度新規開設科目】(単純集計)

コース・プログラム等 ○○○○

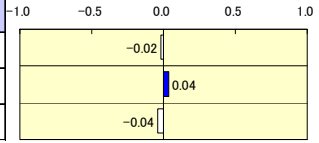
科目名(コード): ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

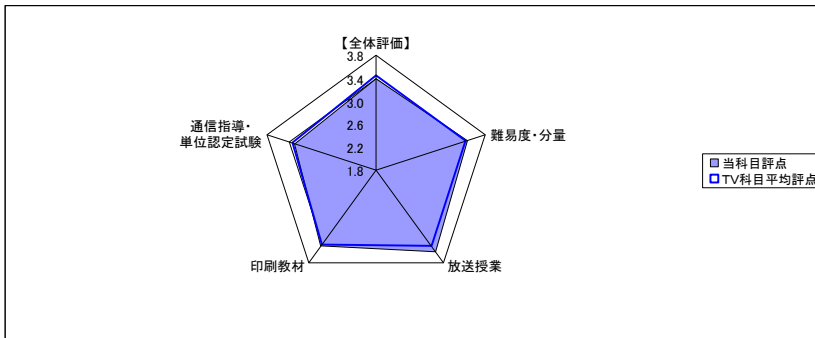
1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	73	55%	30%	12%	3%	3.37	3.39	3.39
	A-2 放送授業を十分に視聴した	72	38%	38%	18%	7%	3.06	2.97	3.02
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	74	47%	41%	11%	1%	3.34	3.39	3.38

【当科目評点と、TV科目平均評点との差】

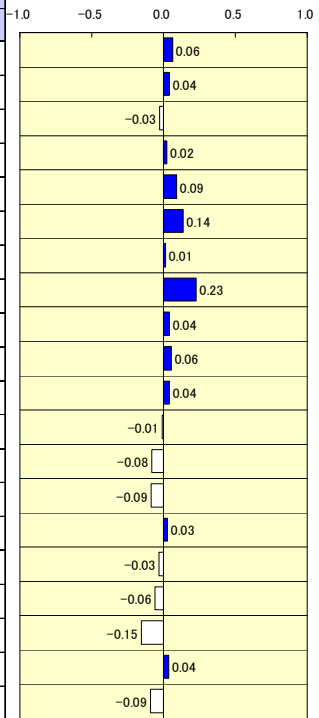


2. 授業評価



【当科目評点と、TV科目平均評点との差】

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	68	59%	34%	7%	0%	3.51	3.39	3.45
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	69	61%	28%	12%	0%	3.49	3.42	3.45
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	72	50%	42%	7%	1%	3.40	3.38	3.43
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	73	52%	41%	7%	0%	3.45	3.41	3.43
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	68	57%	40%	1%	1%	3.53	3.38	3.44
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	69	70%	29%	0%	1%	3.67	3.50	3.53
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	68	53%	38%	6%	3%	3.41	3.34	3.40
	B-8 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	70	63%	33%	4%	0%	3.59	3.27	3.36
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	72	57%	36%	4%	3%	3.47	3.42	3.43
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	73	56%	37%	4%	3%	3.47	3.35	3.41
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った	74	54%	34%	9%	3%	3.39	3.19	3.35
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	73	52%	40%	5%	3%	3.41	3.37	3.42
通信指導・単位認定	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	73	49%	33%	15%	3%	3.29	3.37	3.37
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	73	48%	36%	12%	4%	3.27	3.39	3.36
	B-15 単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	68	44%	46%	7%	3%	3.31	3.29	3.28
全体評価	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	73	45%	47%	7%	1%	3.36	3.33	3.39
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	74	57%	30%	12%	1%	3.42	3.45	3.48
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	75	59%	27%	13%	1%	3.43	3.56	3.58
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	74	46%	46%	8%	0%	3.38	3.28	3.34
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	74	50%	39%	7%	4%	3.35	3.38	3.44



3. 回答者の属性 (単位:人)

学生種別	修士全科生(新プログラム所属)					修士全科生(旧プログラム所属)					修士全科生【小計】	修士選科生	修士科目生	無回答	計											
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学	文化情報科学群	環境システム科学群	政策経営	教育開発						臨床心理										
	1	10	0	3	1	0	0	1	0	0	0	16	46	11	2	75										
性別	男性					女性					無回答		計													
	44					28					3		75													
年齢	19歳以下		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上		計											
	0		2		5		20		21		17		9		75											
職業	公務員等		教員		会社員		個人営業・自営業		農業等		看護師等		家事専業		パート・アルバイト		他大学等の学生		無職		その他		無回答		計	
	7		33		2		1		0		0		5		4		2		12		8		1		75	
通信指導・単位認定試験	単位認定試験 受験		通信指導 未提出		無回答		計		単位認定のための学習方法		ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ		ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ		放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ		無回答		計							
	63		7		3		2		75		4		19		49		3		75							

平成22年度学生による授業評価の調査結果【2010年度新規開設科目】（学生種別・通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

大学院	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した									
	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	平均									
	4	3	2	1	無回答			4	3	2	1	無回答			4	3	2	1	無回答											
合計(全体)	1069	51%	36%	9%	2%	88%	3.39	1069	37%	31%	18%	11%	3%	68%	2.97	1069	51%	37%	9%	1%	2%	88%	3.39							
生活健康科学	72	53%	29%	13%	1%	4%	82%	3.39	72	28%	33%	19%	15%	4%	61%	2.77	72	49%	42%	10%	0%	0%	90%	3.39						
人間発達科学	29	48%	31%	3%	7%	10%	79%	3.35	29	35%	35%	14%	17%	0%	69%	2.86	29	45%	35%	7%	3%	10%	79%	3.35						
臨床心理学	8	50%	38%	13%	0%	0%	88%	3.38	8	38%	38%	0%	25%	0%	75%	2.88	8	63%	38%	0%	0%	100%	3.63							
社会経営科学	79	53%	37%	5%	1%	4%	90%	3.47	79	46%	34%	10%	5%	5%	80%	3.27	79	46%	42%	10%	0%	3%	87%	3.36						
文化情報学	60	52%	42%	7%	0%	0%	93%	3.45	60	33%	28%	20%	13%	5%	62%	2.86	60	52%	38%	8%	0%	2%	90%	3.44						
自然環境科学	29	66%	24%	7%	0%	3%	90%	3.61	29	52%	21%	7%	10%	10%	72%	3.27	29	62%	21%	7%	0%	10%	83%	3.62						
文化情報科学	5	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	5	60%	20%	20%	0%	0%	80%	3.40	5	100%	0%	0%	0%	100%	4.00							
環遊システム科学群	7	43%	57%	0%	0%	0%	100%	3.43	7	29%	29%	14%	29%	0%	57%	2.57	7	71%	29%	0%	0%	100%	3.71							
政策経営	8	75%	0%	0%	0%	25%	75%	4.00	8	63%	13%	0%	0%	25%	75%	3.83	8	63%	13%	0%	0%	25%	75%	3.83						
教育開発	1	0%	100%	0%	0%	0%	100%	3.00	1	0%	100%	0%	0%	0%	100%	3.00	1	0%	100%	0%	0%	0%	100%	3.00						
臨床心理	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00							
修士全科目【小計】	298	54%	33%	7%	1%	4%	88%	3.47	298	38%	31%	14%	12%	5%	69%	3.01	298	51%	37%	8%	0%	4%	88%	3.44						
修士選科生	632	49%	38%	10%	2%	1%	88%	3.36	632	37%	31%	19%	11%	2%	68%	2.95	632	49%	39%	10%	2%	1%	88%	3.36						
修士科目生	94	57%	31%	6%	2%	3%	88%	3.48	94	38%	30%	19%	9%	4%	68%	3.02	94	64%	28%	6%	1%	1%	92%	3.56						
単 位 認 定 試 験	938	54%	36%	8%	1%	2%	90%	3.45	938	39%	32%	17%	10%	3%	70%	3.02	938	53%	37%	8%	1%	1%	90%	3.44						
通 信 指 導 提 出 試 験	71	32%	45%	13%	7%	3%	78%	3.06	71	23%	32%	27%	14%	4%	55%	2.66	71	37%	44%	14%	6%	0%	80%	3.11						
認 定 試 験	37	32%	19%	24%	16%	8%	51%	2.74	37	30%	11%	24%	27%	8%	41%	2.47	37	32%	30%	19%	11%	8%	62%	2.91						

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、少数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評価については、選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出した。

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

1つ1つを深く考えることなく生活していることが多い。今回の受講で、例えば1つの生活用製品について、深く考え、理解する過程があった。生活する中で本来なら、きちんと向い合うことで、生活の方法を理解し、生活することができる。生活スタイルの形成に役立った。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

それぞれの研究の立場からの講義であり、1つの科目として行う事は興味深かったが、全体としての統一した目的がいま一歩見出せなかった。全てではないが、関連科目の寄せ集めの感も否定できない。主題に関する双方のアプローチの違いの意味と課題をより深く考察できる為の工夫が必要と感じた。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

TVでの学習のインターネット配信が、少しずつ進んでいる点は、とてもありがたい。大学での自習室などのサポートも万全で、意欲を持てば、学習できる場を十分つくってくれていると思っている。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(該当する番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。(該当する番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[修士全科生 新プログラム所属の方] 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 文化情報学 6. 自然環境科学 [修士全科生 旧プログラム所属の方] 7. 文化情報科学群 8. 環境システム科学群 9. 政策経営 10. 教育開発 11. 臨床心理 [修士選科生・修士科目生] 12. 修士選科生 13. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4段階評価である。本報告書においては、データの理解のしやすさや分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離(つまり1の間隔)だという保証はどこにもないからである。しかし4つのカテゴリーごとの相対度数(パーセント)を見て、そこから何らかの傾向を把握することは必ずしも容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察するための目安の1つとして用いていくことにしたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でしかその傾向をつかみにくいという性格を持っている。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した。これによって、その評価項目に対して肯定的な評価をしている学生がどれくらいの割合で存在するかを推測する目安となろう。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示しておく。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると非常に煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした(次頁表2-1)。以下、本章においては、常に次頁の回答者数を念頭においてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層は誤差も大きく出る可能性があるため、注意が必要である。たとえば、学部の職業別「農業等」、大学院の年齢階層別「20～29歳」等の場合である。なお、学部の年齢階層別の「19歳以下」および大学院の職業別の「農業等」「他大学の学生」は、極端に回答者数が少ないため、本報告書の分析からはずした。

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】

全体	4,900	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	2,892	19歳以下	20
ラジオ科目(R)	2,008	20～29歳	410
職業		30～39歳	861
公務員等	398	40～49歳	1,074
教員	293	50～59歳	901
会社員	813	60～69歳	1,104
個人営業・自営業	287	70歳以上	499
農業等	33	コース	
看護師等	640	基礎科目	339
家事専業	402	生活と福祉	531
パート・アルバイト	458	心理と教育	550
他大学等の学生	35	社会と産業	1,358
無職	1,078	人間と文化	1,231
その他	373	自然と環境	550
		夏季集中	341

【大学院】

全体	1,069	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	572	19歳以下	0
ラジオ科目(R)	497	20～29歳	46
職業		30～39歳	148
公務員等	141	40～49歳	256
教員	192	50～59歳	256
会社員	168	60～69歳	252
個人営業・自営業	80	70歳以上	102
農業等	11	プログラム	
看護師等	53	生活健康科学	271
家事専業	51	人間発達科学	214
パート・アルバイト	63	臨床心理学	91
他大学等の学生	9	社会経営科学	191
無職	179	文化情報学	209
その他	110	自然環境科学	93

※職業及び年齢には無回答があるため、職業及び年齢階層の回答者数をそれぞれ合計しても、全体の回答者数とは一致しない。

Ⅱ－1. 学部の分析結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

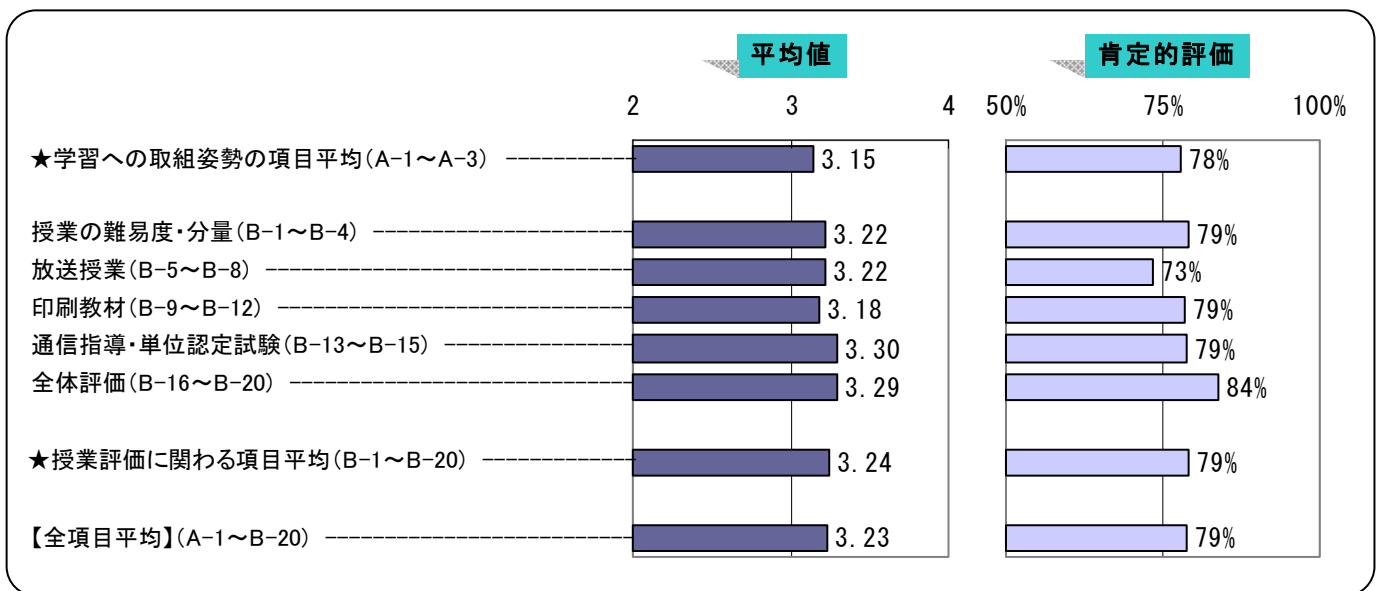
学部の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが図2－1である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

今回の調査における項目平均は、いずれもまずまずの高さの評価と言える。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.15、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）78%、同様に『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.24、肯定的評価 79%とまずまずの高い値を示している。比較的熱心に学習に取り組んだと同時に、授業に対する評価も比較的高いということが言える。

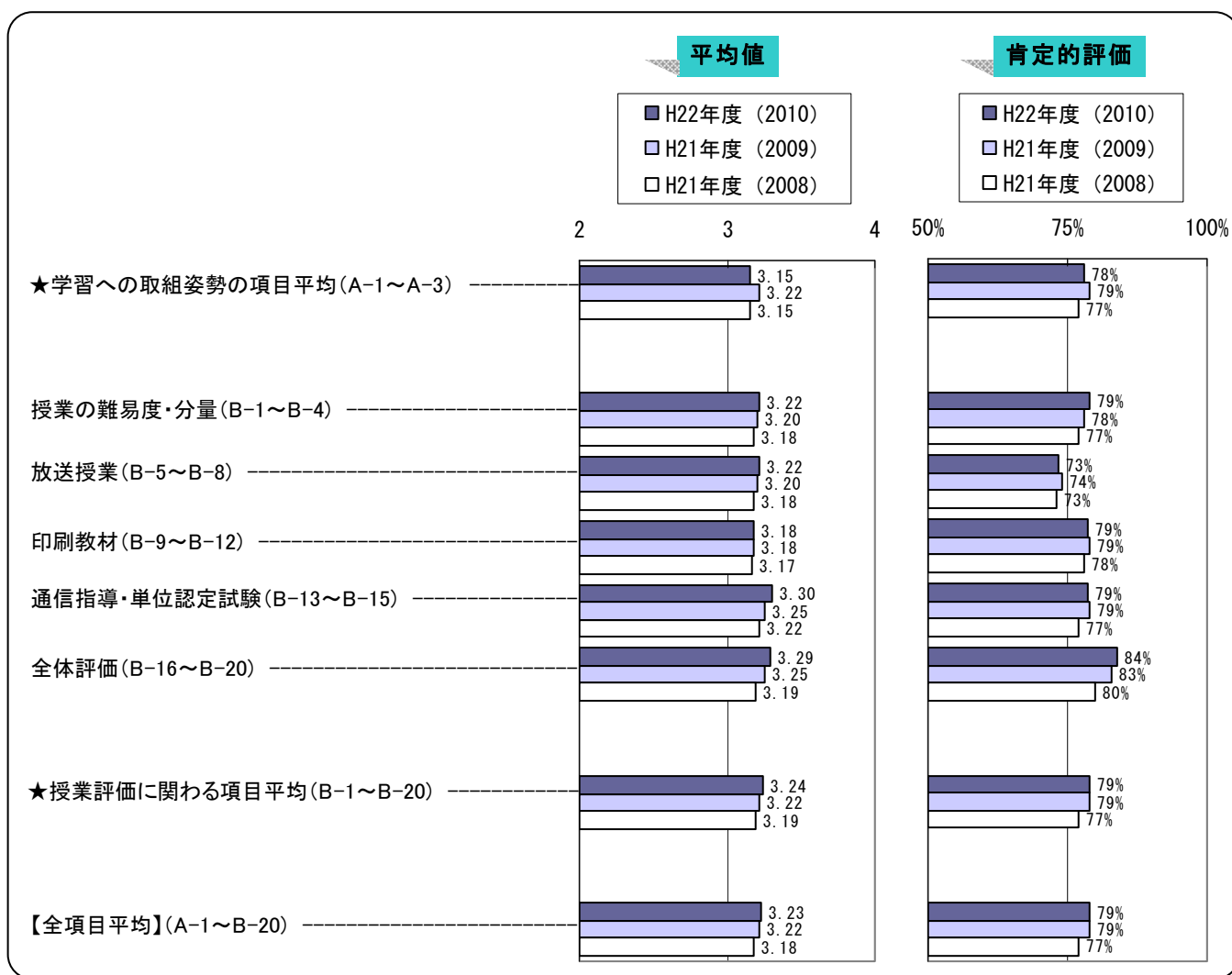
『授業評価に関わる項目平均』をさらに内容ごとに見ると、『通信指導・単位認定試験』と『全体評価』が他の項目平均より若干高めになっており、特に『全体評価』は肯定的評価 84%と高い。逆に『放送授業』は肯定的評価をしている人が、他の項目平均よりやや少なくなっている。

図2－1 【学部】項目平均による全体的傾向



評価項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-2）、2010年度新規開設科目は、2009年度新規開設科目に比べ、『学習への取組姿勢の項目平均』以外はいずれの内容でも評価が上がっている。特に『通信指導・単位認定試験』と『全体評価』の値が上がっている。2010年度新規開設科目は、2009年度新規開設科目に比べ授業内容改善の効果が出てきていると言える。（なお、昨年の調査より調査項目の一部修正があったため、評価項目内容ごとの平均においては、2007年度以前の新規開設科目との比較はできない）

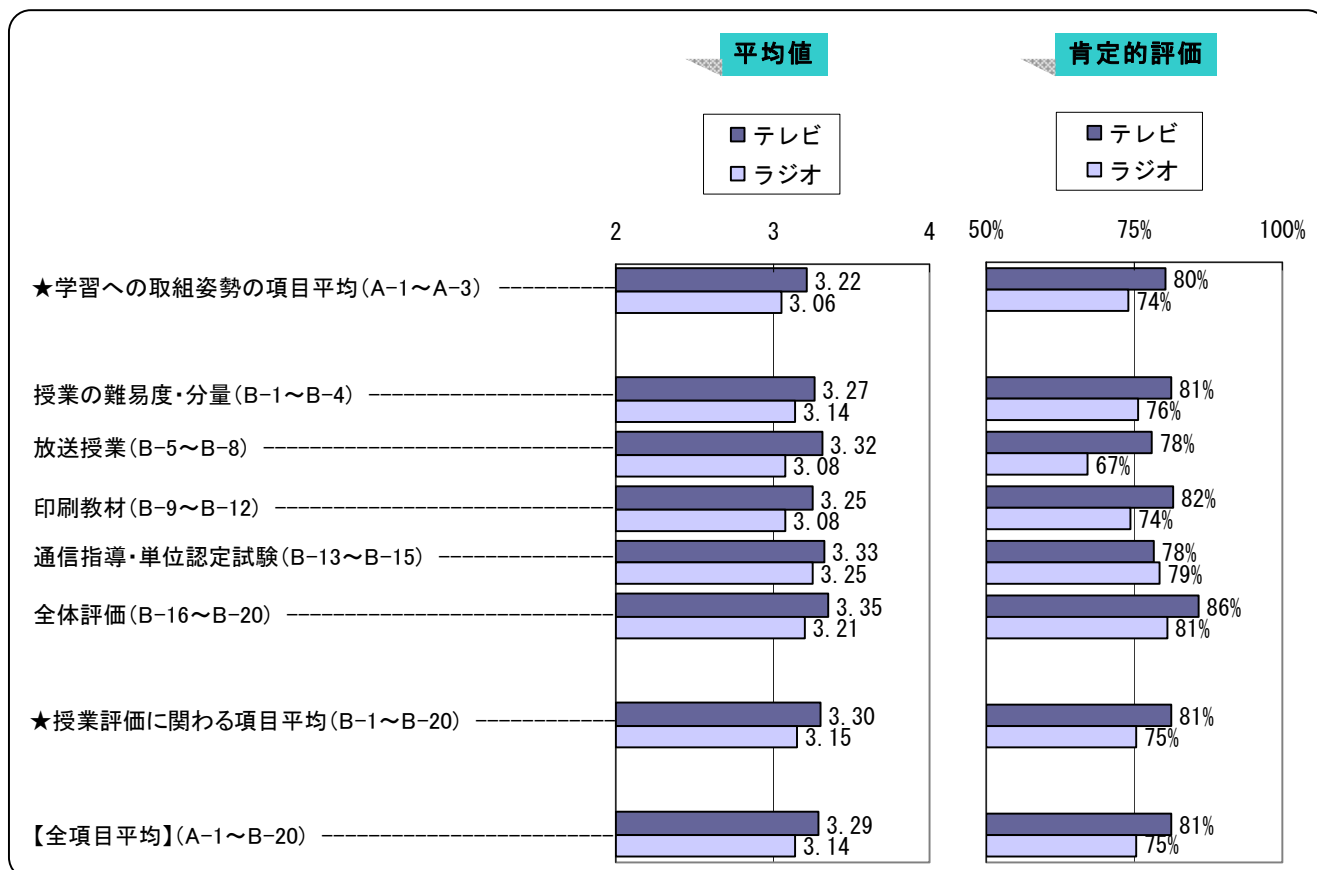
図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に2010年度新規開設科目の評価項目の平均を見ると(図2-3)、いずれの内容でも、テレビ科目がラジオ科目を上回っている。

肯定的評価についても『通信指導・単位認定試験』以外は、テレビ科目がラジオ科目を上回っている。

図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



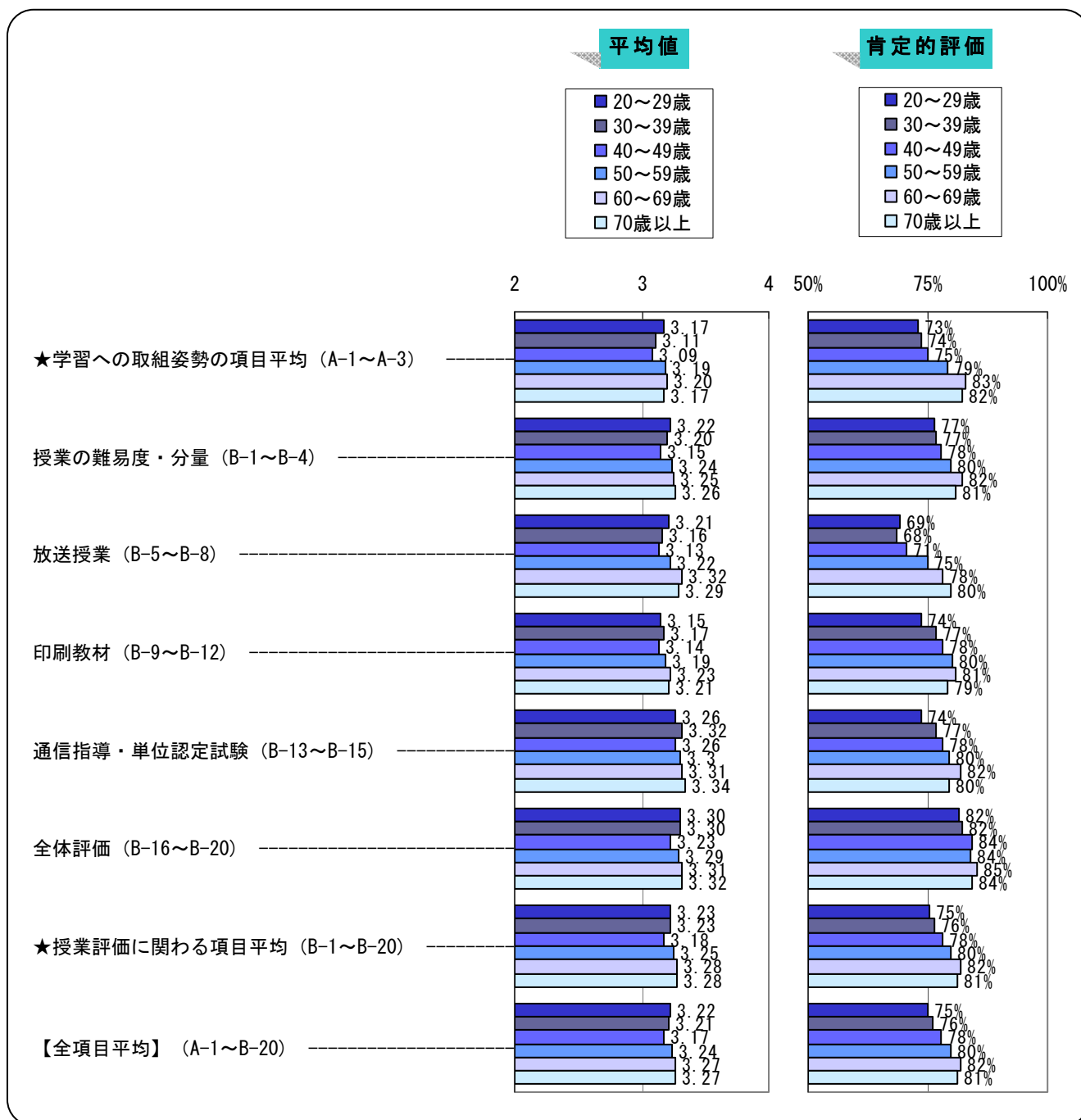
次にメディア別の項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-4）、ラジオ科目は、いずれの内容でも2009年度より低い値となっている。このことからラジオ科目については改善の効果が現れていないのに対し、テレビ科目は、いずれの項目平均でも2010年度の方が高い値となっている。このことから両年度間の改善の効果は、主にテレビ科目の改善の効果が大きいことが分かる。

図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



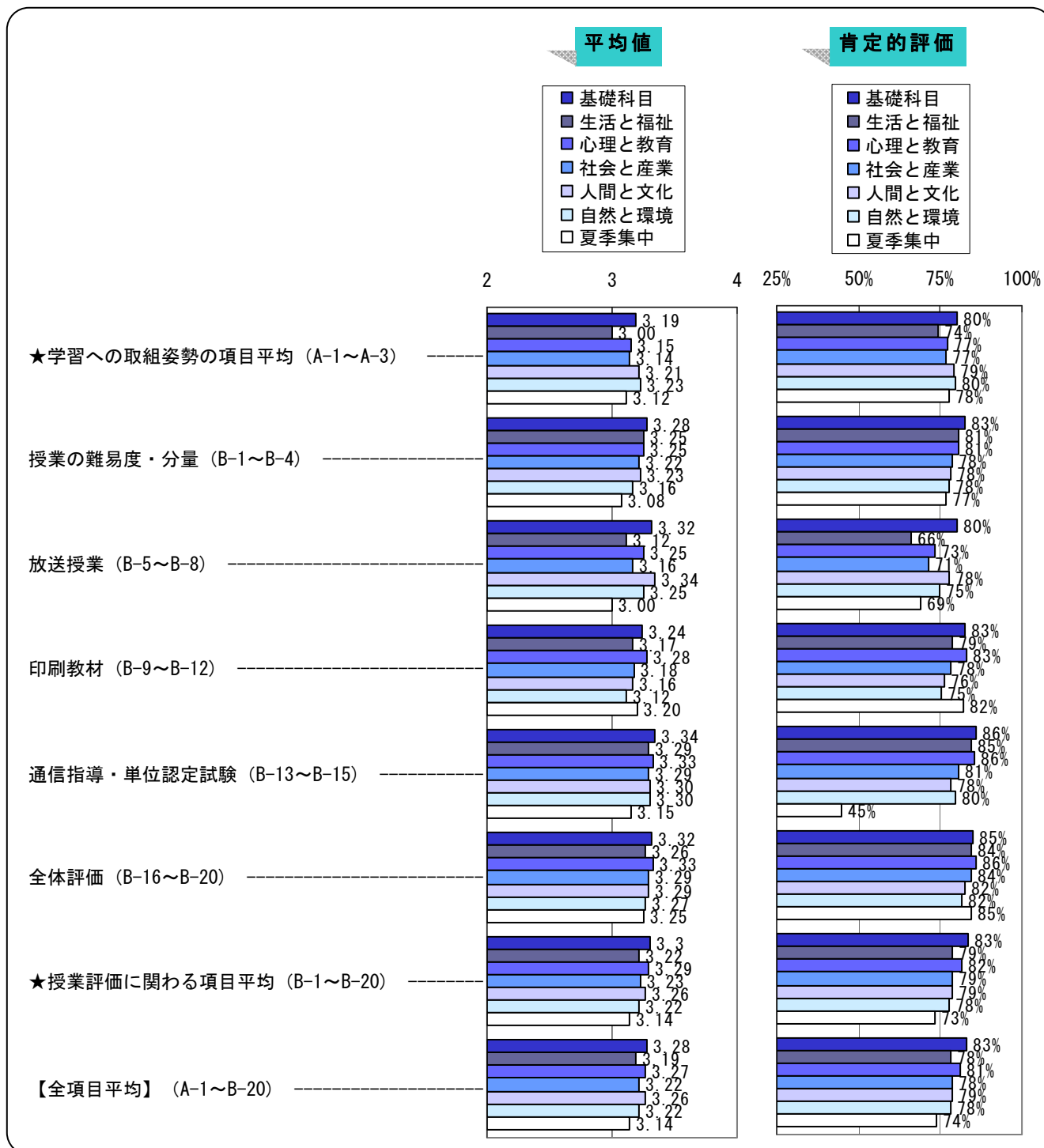
回答者の年齢階層別に 2010 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2-5）、いずれの項目平均も年配層ほど評価が高くなる傾向にある。なお、取組姿勢では、平均値、肯定的評価とも年配層ほど高い評価となっているが、授業評価の項目平均では、肯定的評価は年配層ほど評価が高いが、平均値では年齢階層の差は少ない（これは評価がある程度高く、多くの人が「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答しているが、「あてはまる」の割合で年齢階層別の差が出ているためと思われる）。

図 2-5 【学部】 項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属コース別に項目平均を見ると（図2-6）、『学習への取組姿勢の項目平均』では「基礎科目」「人間と文化」「自然と環境」の評価がやや高く、「生活と福祉」の評価がやや低い。一方、『授業評価に関わる項目平均』では、「基礎科目」「心理と教育」「人間と文化」の評価がやや高く、「夏季集中」の評価がやや低い。また『放送授業』の肯定的評価はコース間の差が大きく、「生活と福祉」「社会と産業」「夏季集中」の評価が低く、改善が求められる。

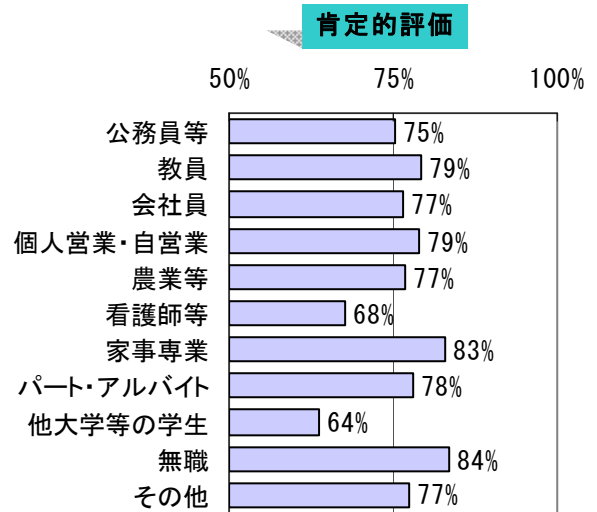
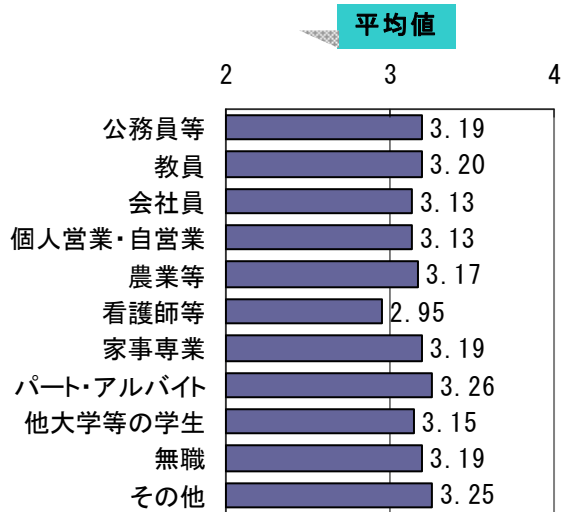
図2-6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向



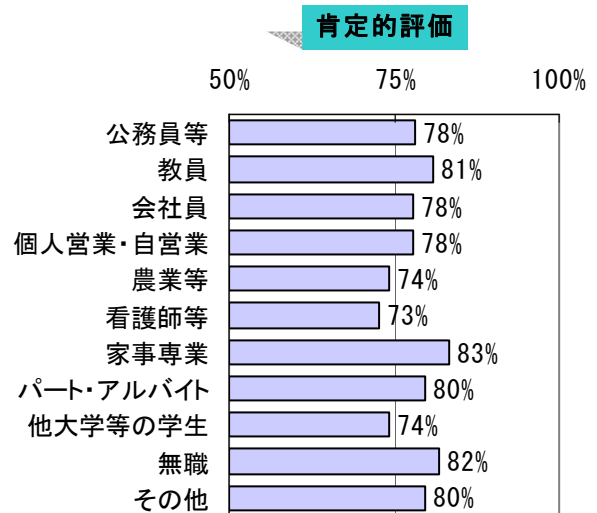
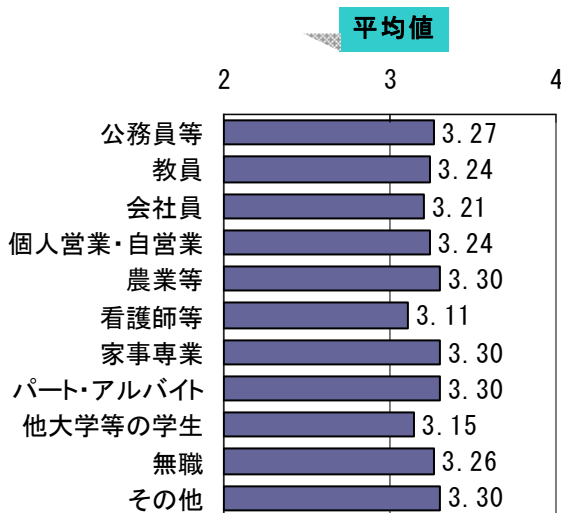
回答者の職業別に見ると（次頁図 2 - 7）、『学習への取組姿勢の項目平均』は、パート・アルバイト、教員、公務員等、家事専業、無職で高い値となっているが、逆に看護師等は低い値となっている。『授業評価に関わる項目平均』、『全項目平均』でもほぼ同様の結果となっている。さらに肯定的評価を見ると、いずれの項目でも「家事専業」と「無職」の評価が高くなっている。取組姿勢に対応した結果となっている。

図 2 - 7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向

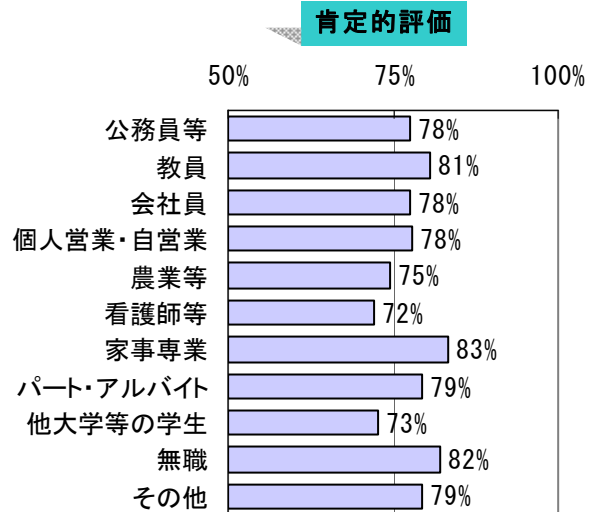
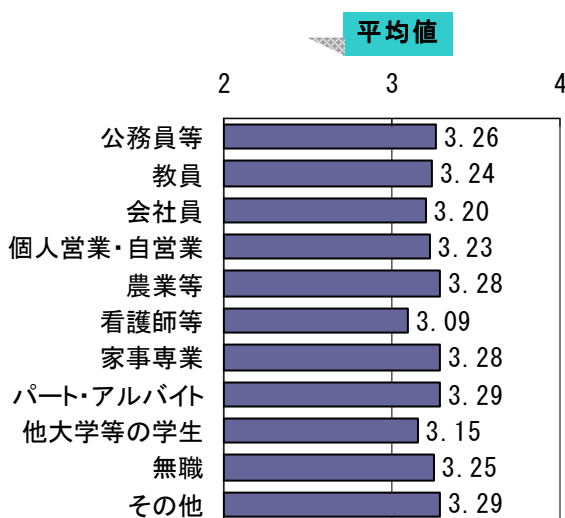
★学習への取組姿勢の項目平均(A-1～A-3)



★授業評価に関わる項目平均(B-1～B-20)



【全項目平均】(A-1～B-20)

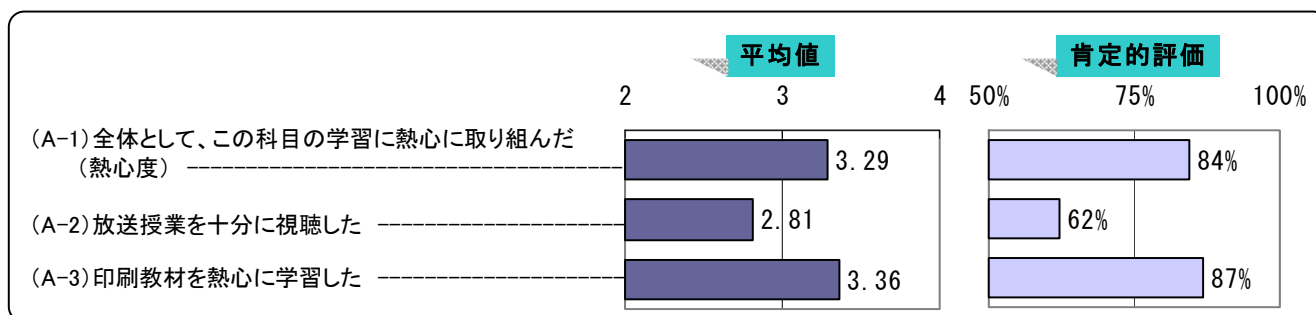


Ⅱ-1-2. 学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

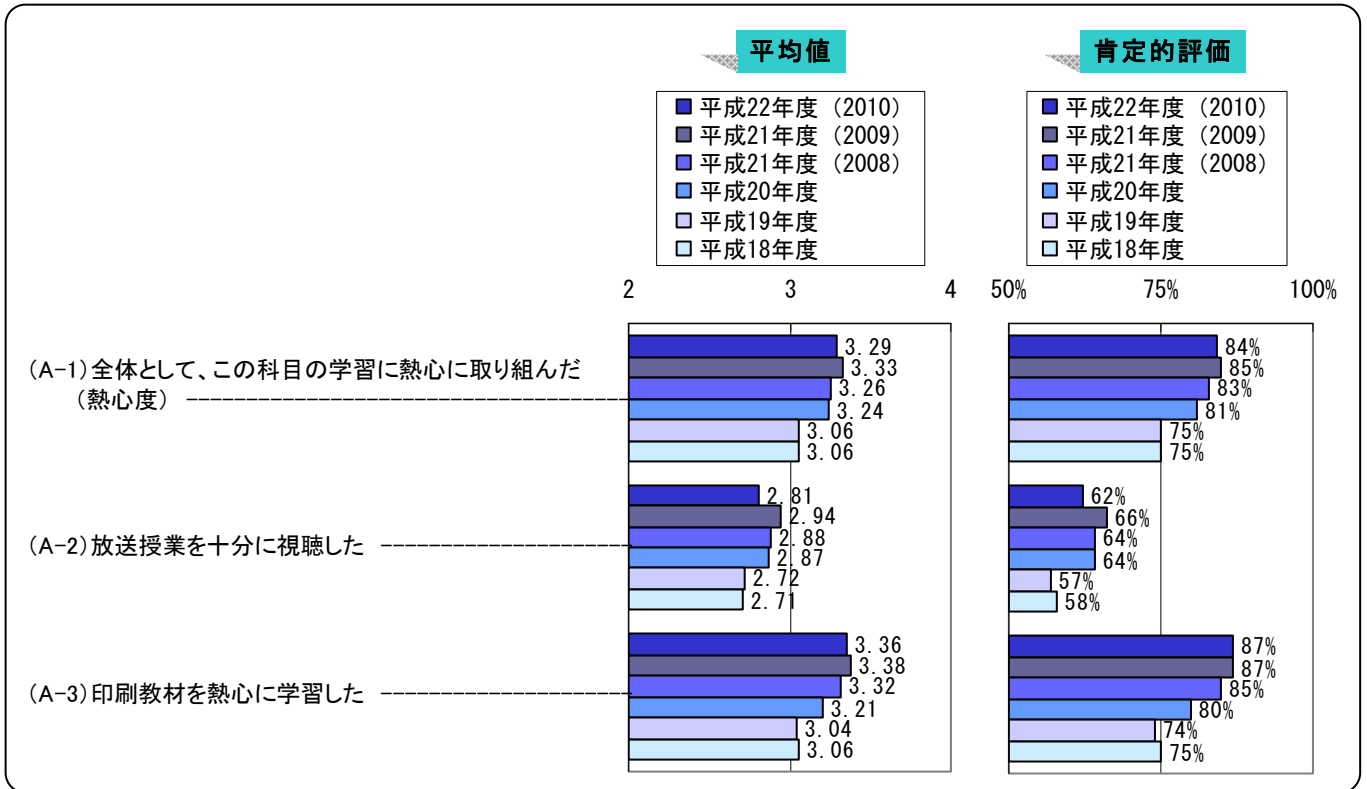
学習への取組姿勢（図2-8）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、平均値 3.29、肯定的評価 84%と熱心に学習されている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.36、肯定的評価 87%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.81、肯定的評価 62%と低く、学習は印刷教材中心という傾向が見られる。

図2-8 【学部】回答者全体の取組姿勢



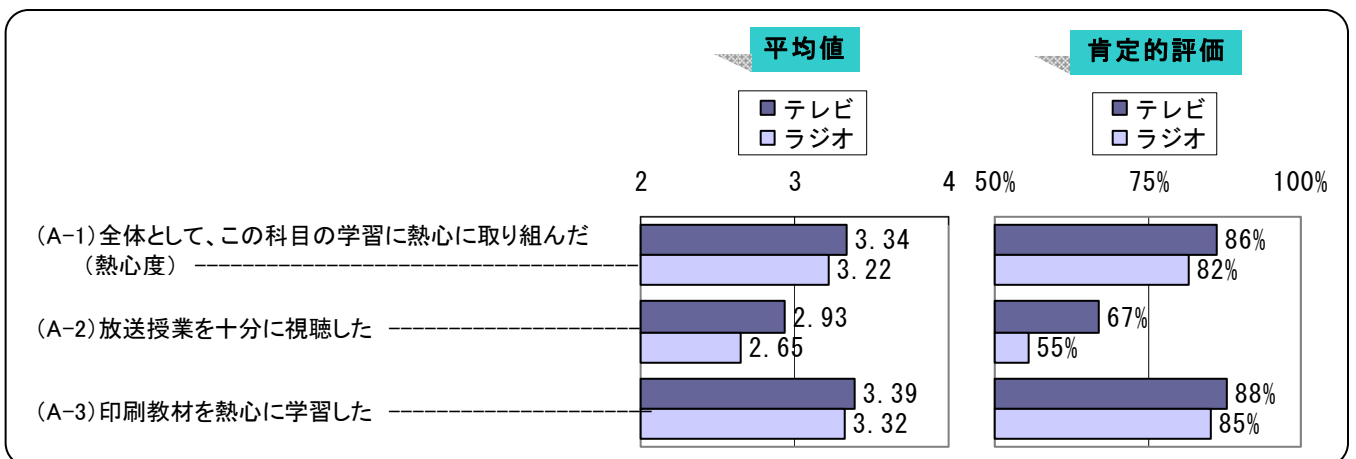
取組姿勢を時系列で見ると（次頁図2-9）、年ごとに取組姿勢が良くなっていたが、2010年度新規開設科目では、昨年度より下がってしまった。さらなる授業内容の改善に注力することによって取組姿勢も向上するものと考えられる。また、インターネットなどでの番組提供を増やすことによって、時間に制約されない視聴環境を作っていくことも必要であろう。

図 2 - 9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



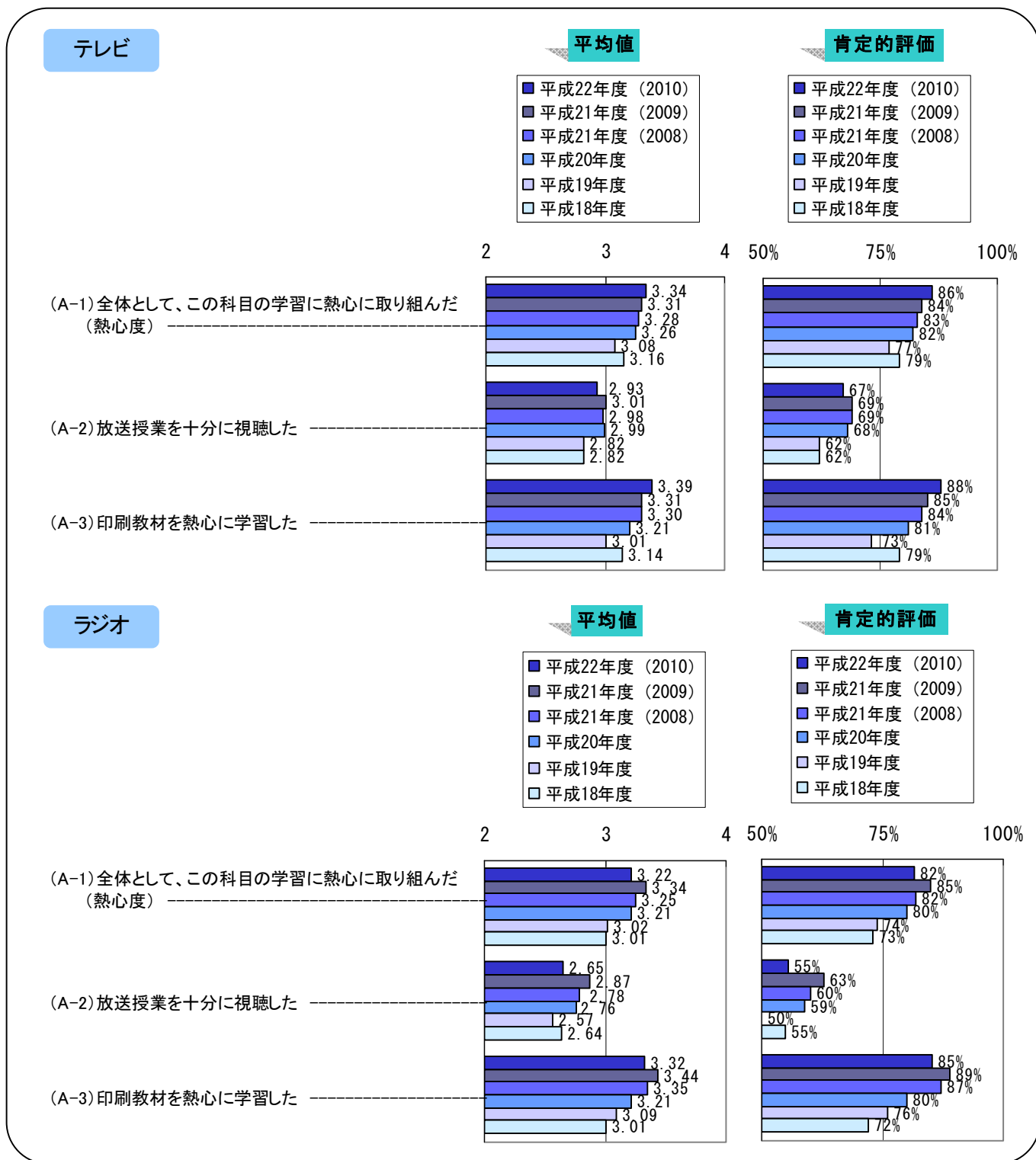
次にメディア別に取り組む姿勢を見ると（図 2 - 10）、すべての内容において、テレビ科目がラジオ科目を上回っている。

図 2 - 10 【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-11）、テレビ科目は、年々取組姿勢が良くなっている。一方、ラジオ科目は、平成21年度調査（2009年新規開設科目）より、全ての内容において下がってしまった。

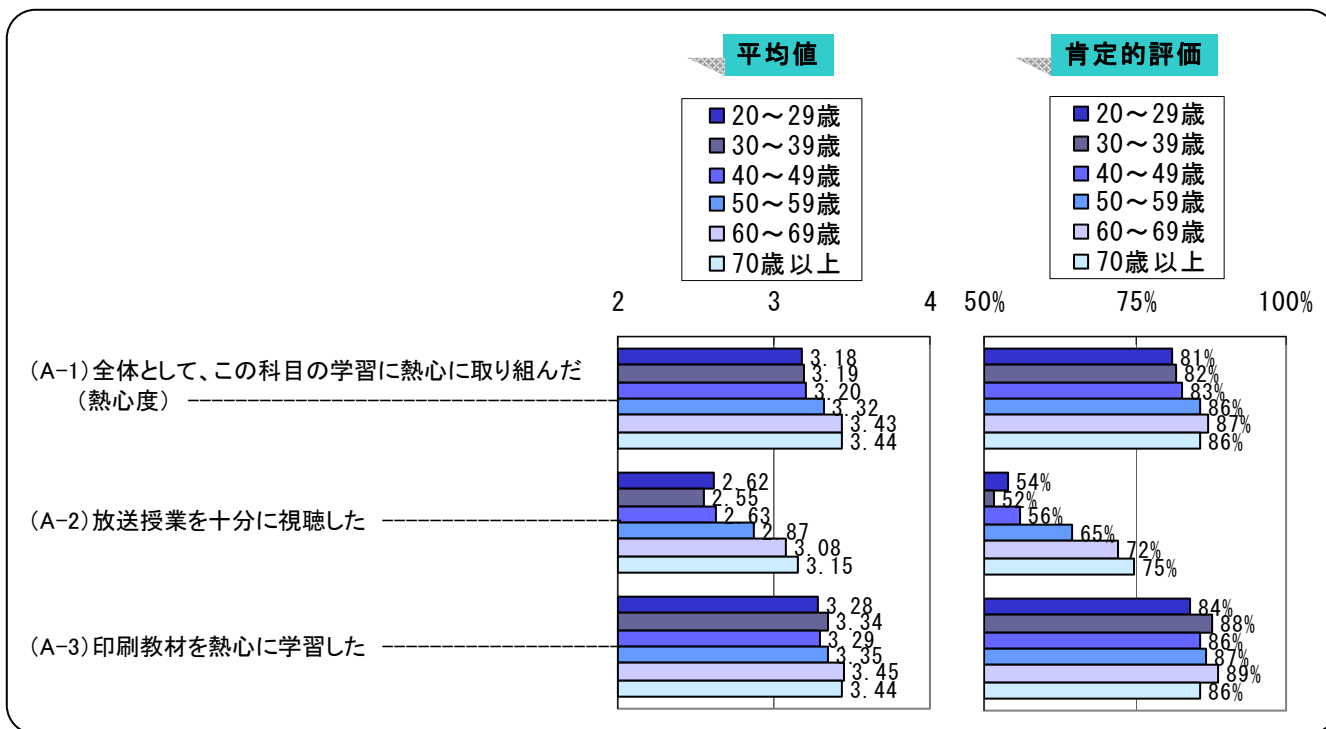
図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）



年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-12）、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」はどの年齢階層も多くなっているが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は年配層ほど多くなっている。放送授業については、50歳未満の視聴が少なく、若い年代での視聴を増やす工夫が必要であろう。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」はやや年配層の方が多い。

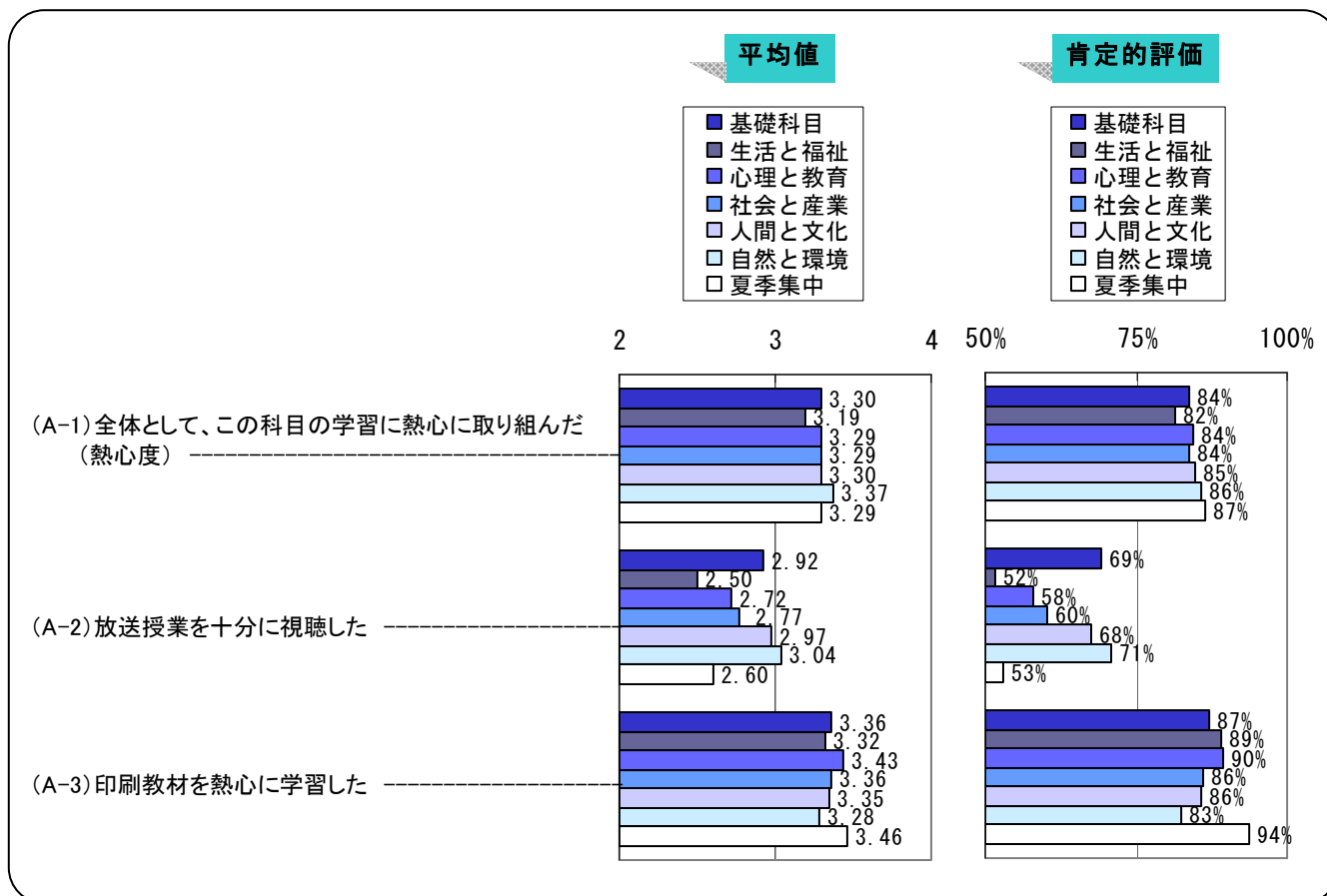
図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



所属専攻別に取組姿勢を見ると（図2-13）、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「基礎科目」「人間と文化」「自然と環境」でやや多くなっているが、他の科目は少ない。特に「生活と福祉」「夏季集中」の視聴度合いがよくない。そのかわり「夏季集中」は(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が非常に多く、印刷教材中心の学習者が多い。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、コースによる差は少なく、いずれのコースも高い値となっている。

図2-13 【学部】所属コース別の取組姿勢

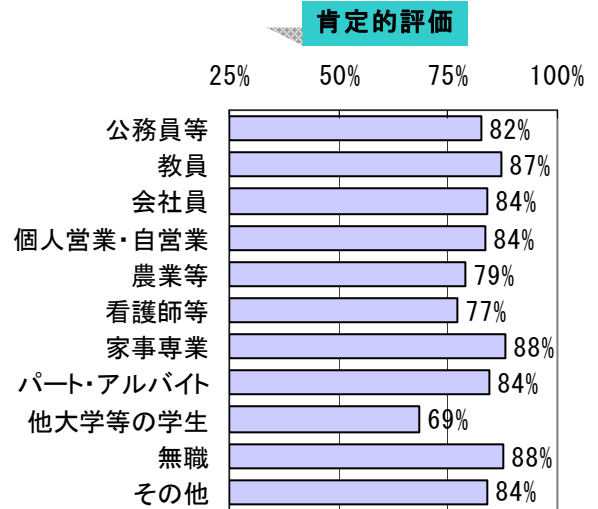
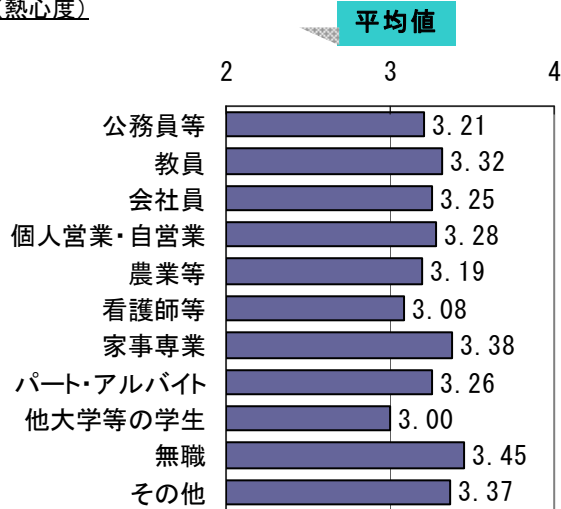


職業別で見ると（次頁図2-14）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」および(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、どの職業も高い値を示している。

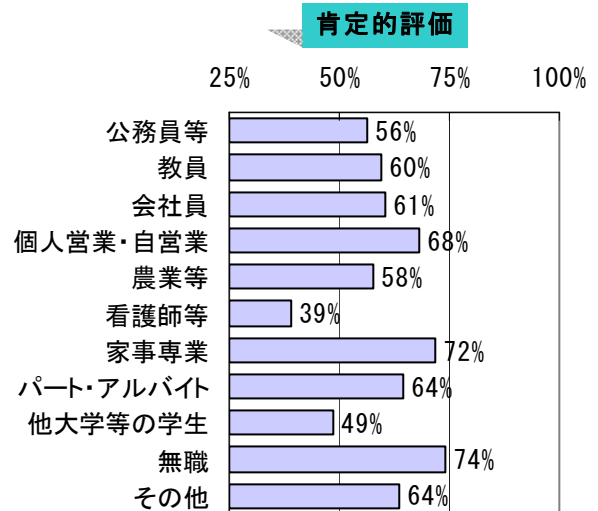
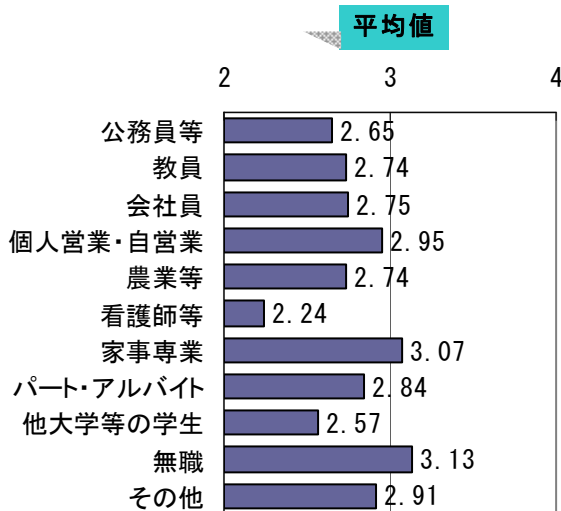
しかし(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「看護師等」が非常に少なく、「個人営業・自営業」「家事専業」「無職」以外の人あまり視聴していない。学生の取組姿勢は、本人の意識の高さや関心度、仕事や日常生活の時間的制約の程度、さらに科目（授業や印刷教材）の出来栄えなどによって左右されていると考えられる。

図 2 - 1 4 【学部】職業別の取組姿勢

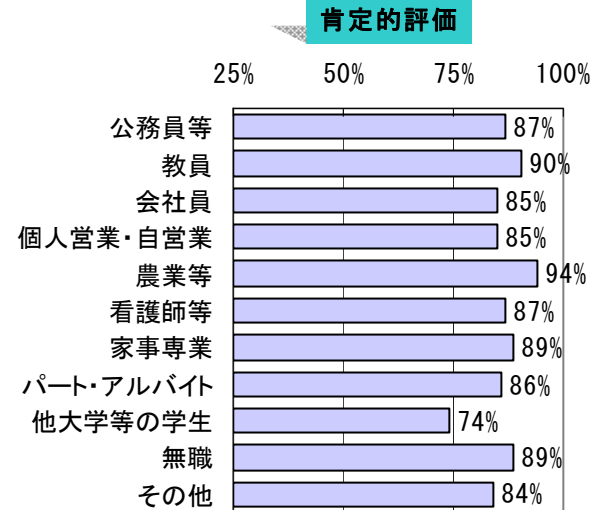
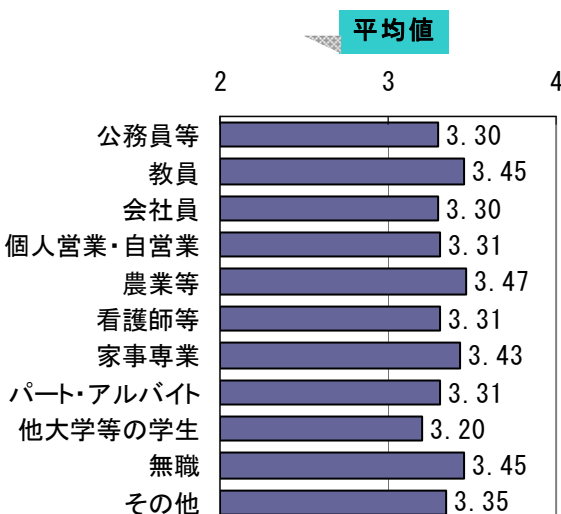
(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ
(熱心度)



(A-2) 放送授業を十分に視聴した

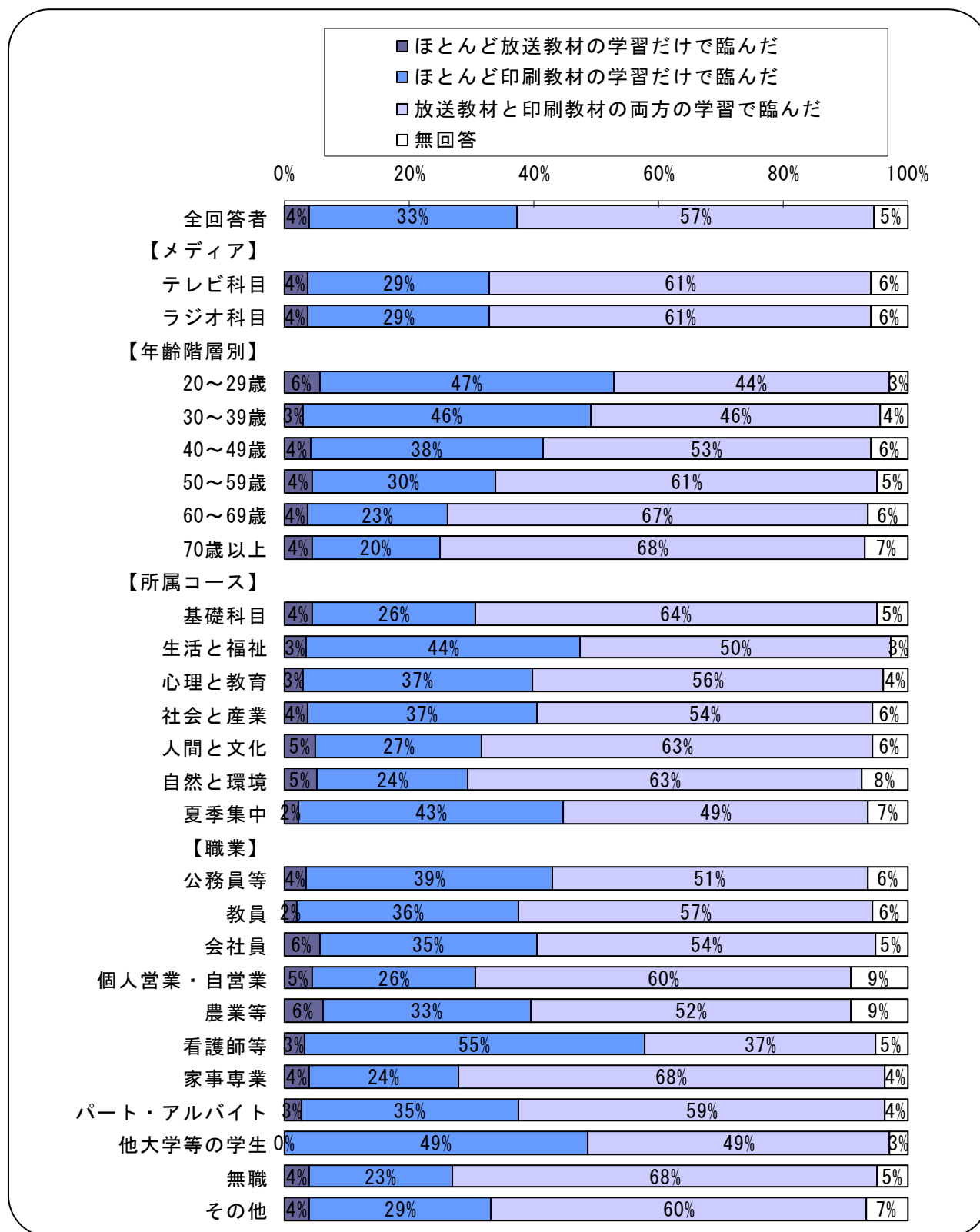


(A-3) 印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（図2-15）は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が57%を占め、また「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」も33%を占める。「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」は、年齢階層別では年配層ほど多くなっているが、職業別の看護師等と他大学等の学生では少なくなっている。

図2-15 【学部】 単位認定のための学習方法



Ⅱ－1－3. 学部の授業評価

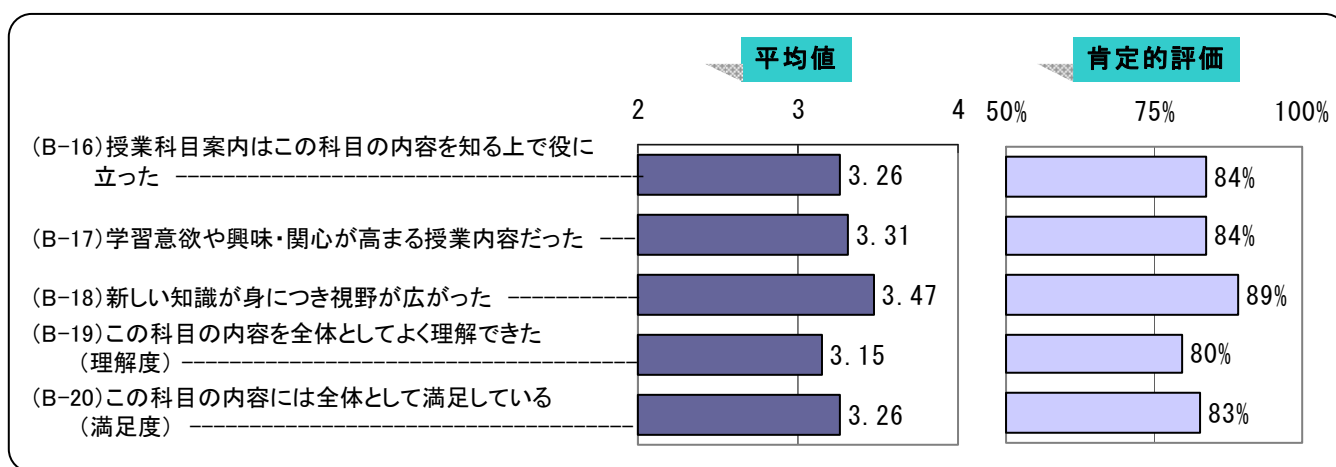
(1) 全体評価

ここからは学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価の各項目を見ると（図2－16）、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は平均値 3.47、肯定的評価 89%とかなり高い評価を得ている。また (B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も平均値 3.31、肯定的評価 84%と高くなっている。

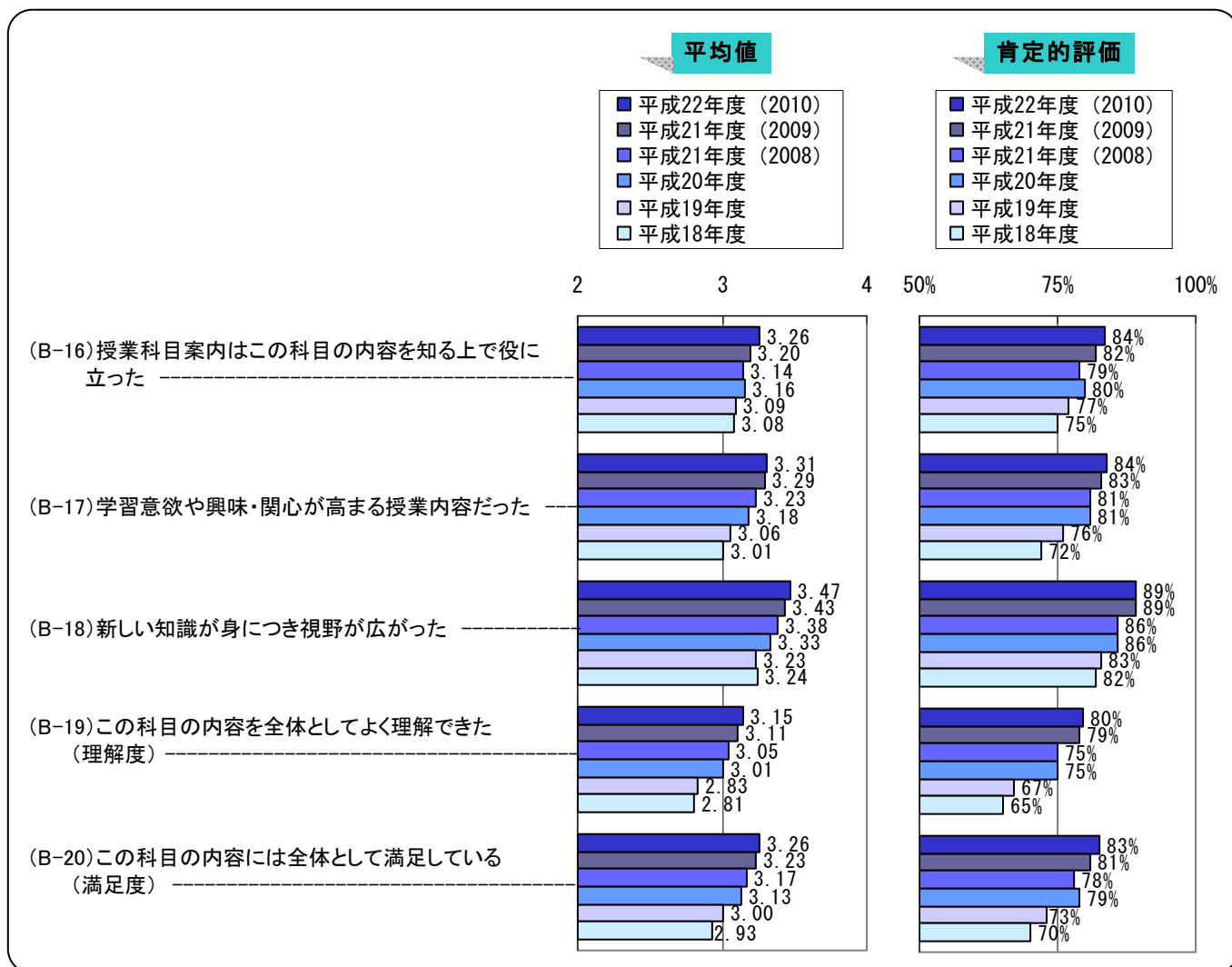
さらに (B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は平均値 3.15、肯定的評価 80%、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も平均値 3.26、肯定的評価 83%と、比較的高い評価と言える。ただ満足度に比べると理解度がやや低いため、興味や関心の高まる授業だけでなく、分かりやすい授業をさらに心がけるべきであろう。

図 2－16 【学部】 回答者全体の全体評価



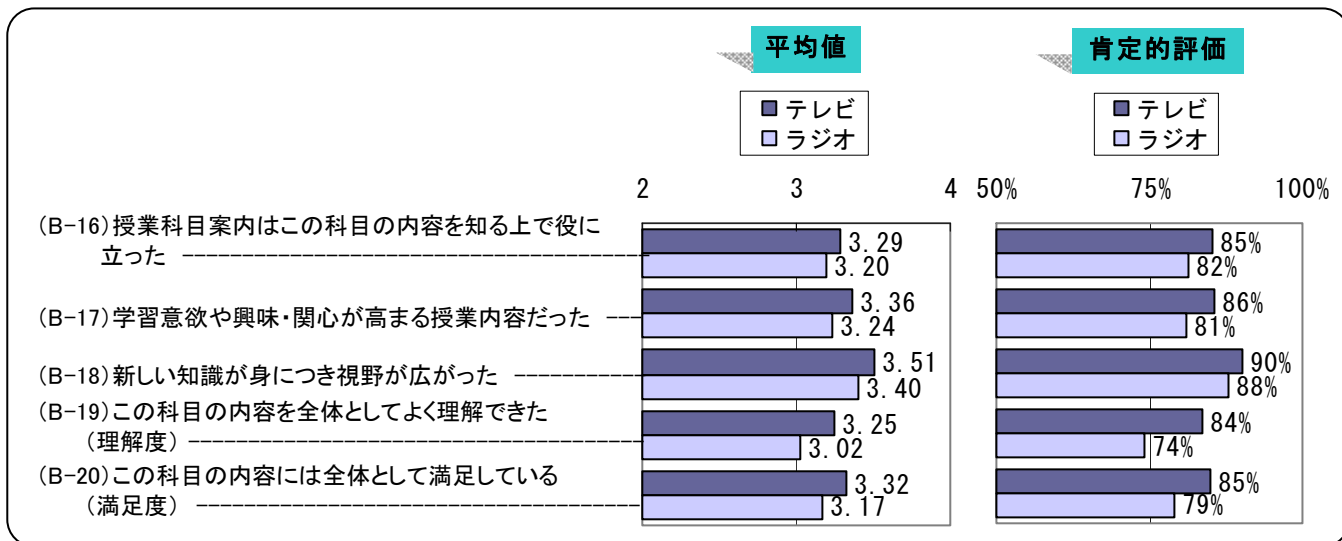
全体評価を時系列で見ると（図2-17）、いずれも年々評価が上がっており、授業改善の効果が出ていると言えよう。また、科目の総合評価とも言うべき理解度と満足度も年々向上しているが、今後、さらに向上させていく必要があるだろう。

図2-17 【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図 2 - 1 8）、いずれの評価項目においても、ラジオ科目よりテレビ科目の方が高くなっている。

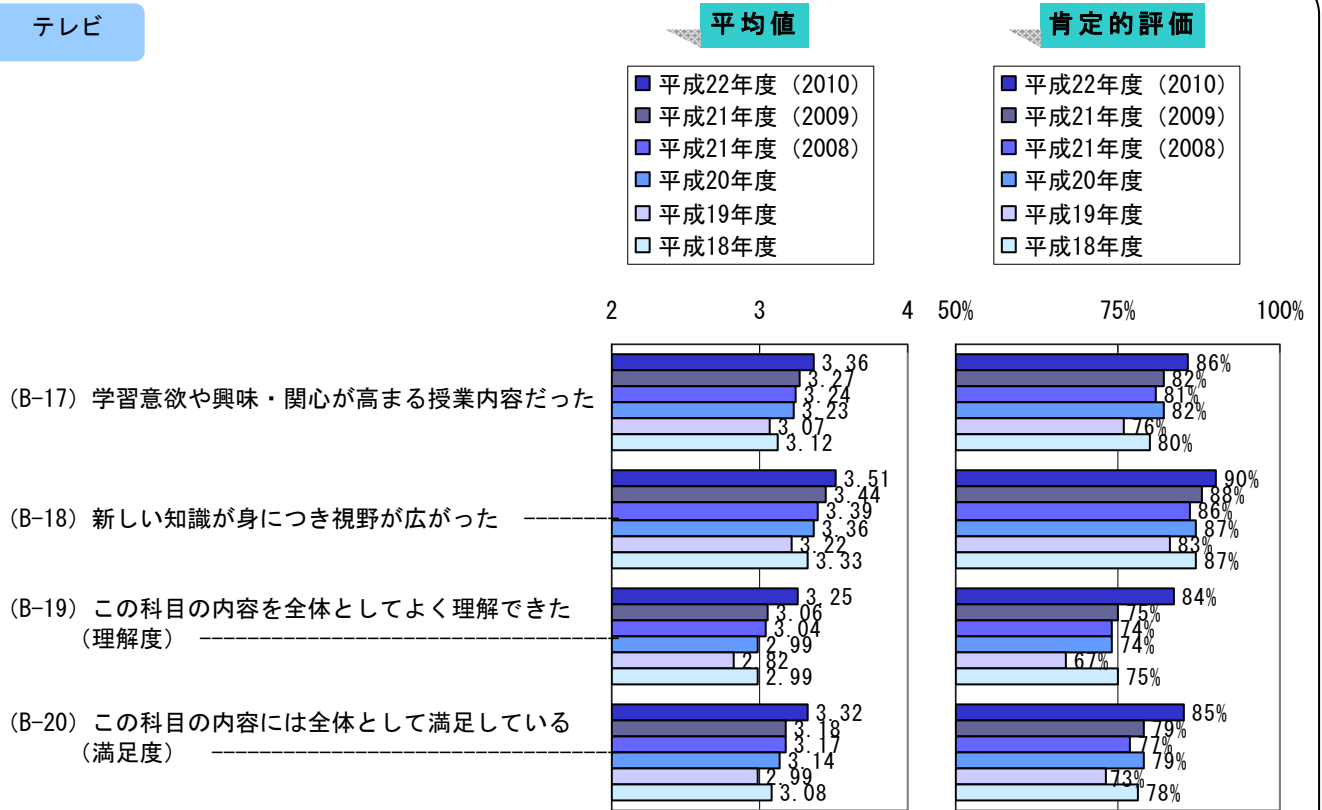
図 2 - 1 8 【学部】メディア別の全体評価



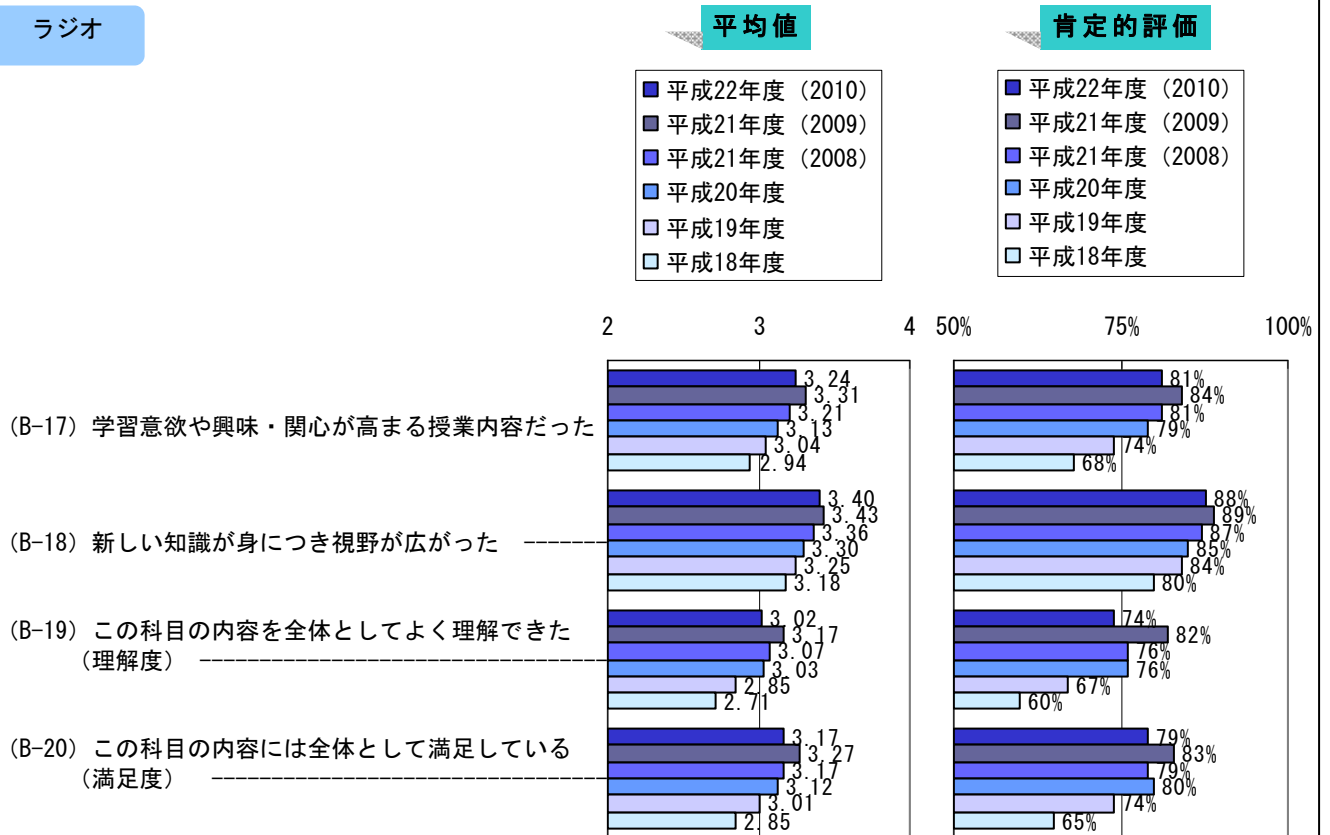
メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図 2 - 1 9）、テレビ科目はいずれの評価も年々高くなっている。一方、ラジオ科目はいずれの評価項目も今年度調査（2010 年度新規開設科目）では、低くなっている。さらなる工夫が求められるところである。

図2-19 【学部】メディア別の全体評価（時系列）

テレビ

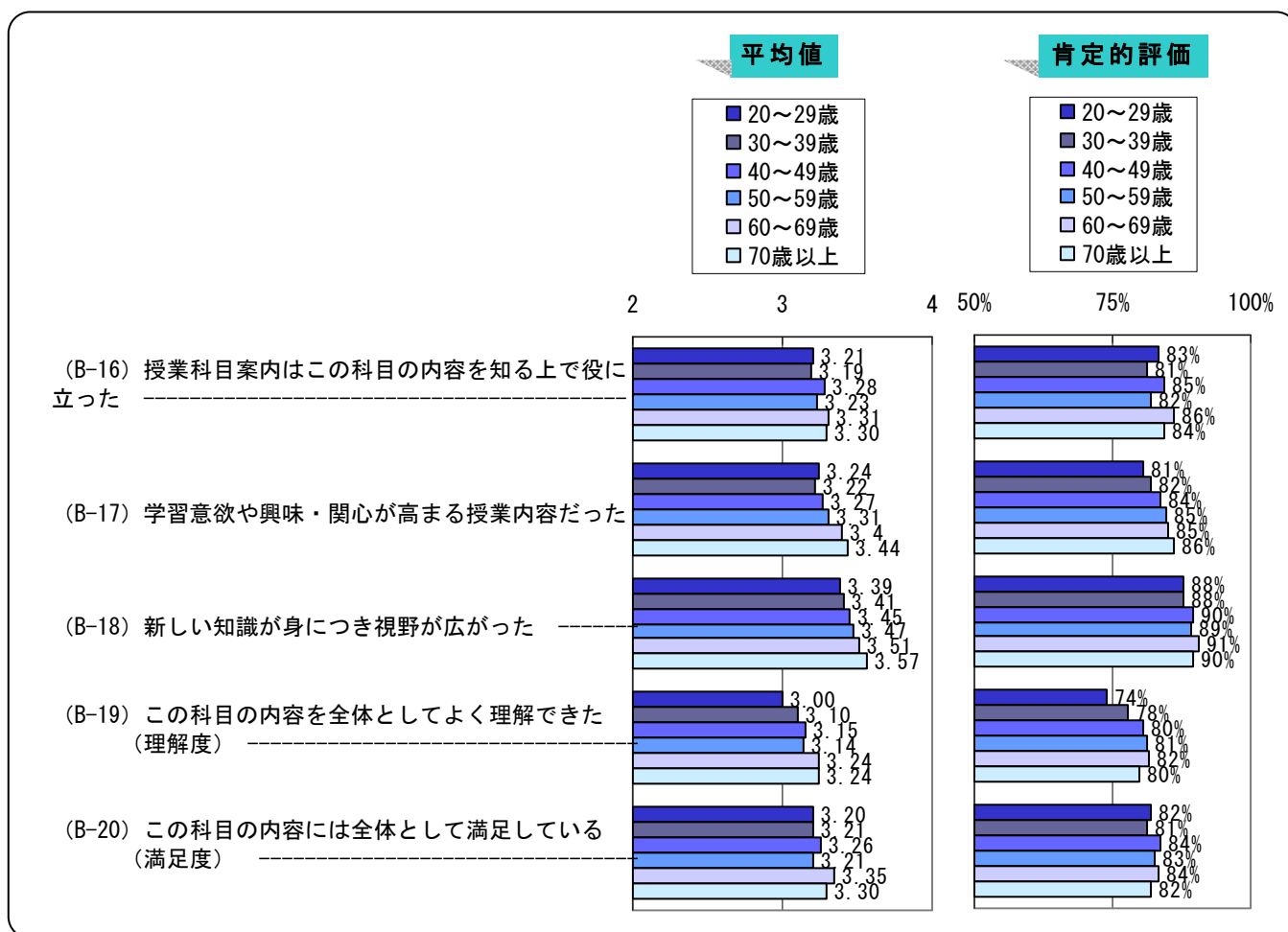


ラジオ



年齢階層別に全体評価を見ると（図2-20）、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、平均値では年配層ほど評価がやや高くなっている。一方、肯定的評価では60歳代がやや高く、20歳代が相対的に評価が低い。

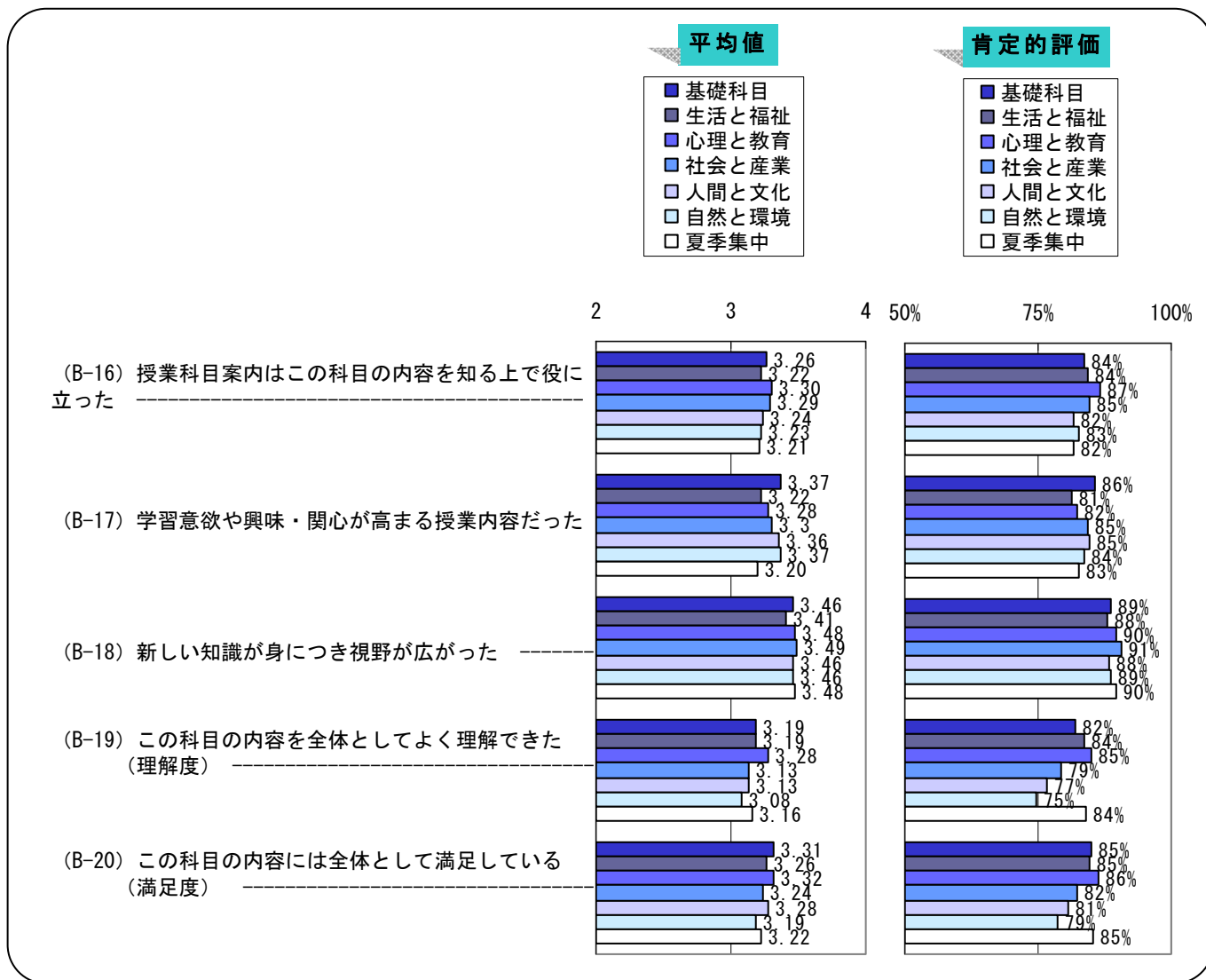
図2-20【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別に全体評価を見ると（図 2-21）、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、「自然と環境」が低く、理解度の向上に努めるべきであろう。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、「基礎科目」「心理と教育」「人間と文化」の評価が高い。(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、いずれのコースも評価が高くなっている。

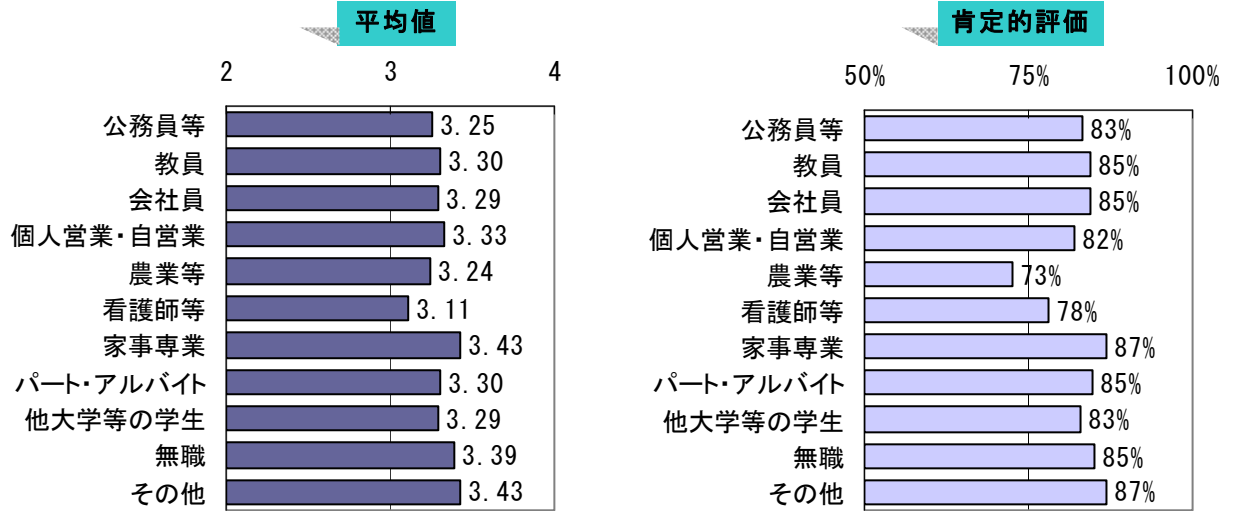
図 2-21 【学部】所属コース別の全体評価



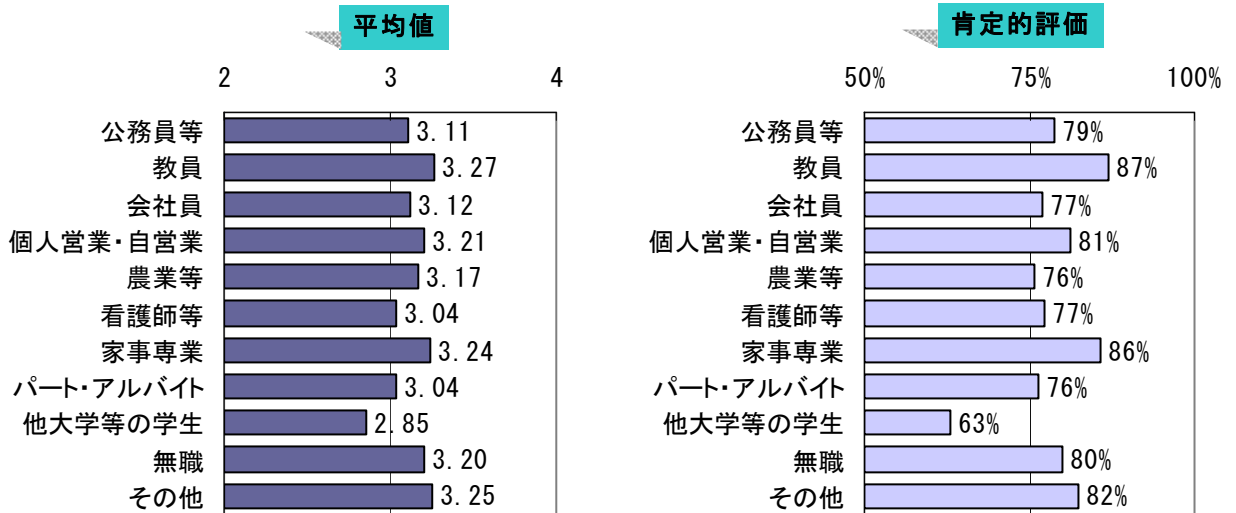
職業別に全体評価を見ると（次頁図 2-22）、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、「教員」「家事専業」の評価が高く、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」も、「教員」「家事専業」「農業等」で評価が高くなっている。さらに肯定評価をみると「家事専業」、「教員」の評価が高い。

図 2 - 2 2 【学部】職業別の全体評価

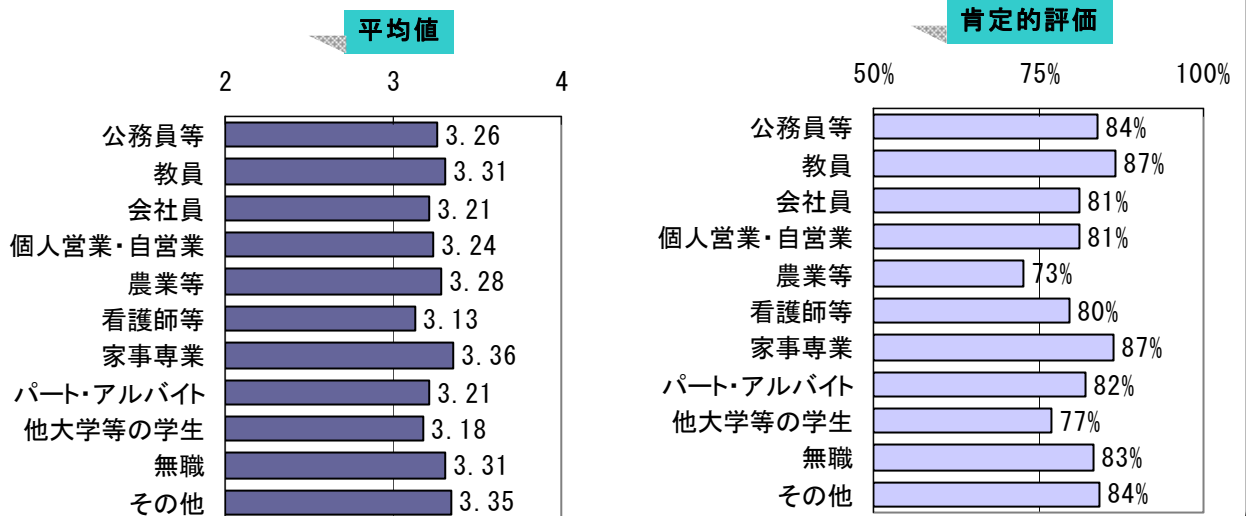
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)

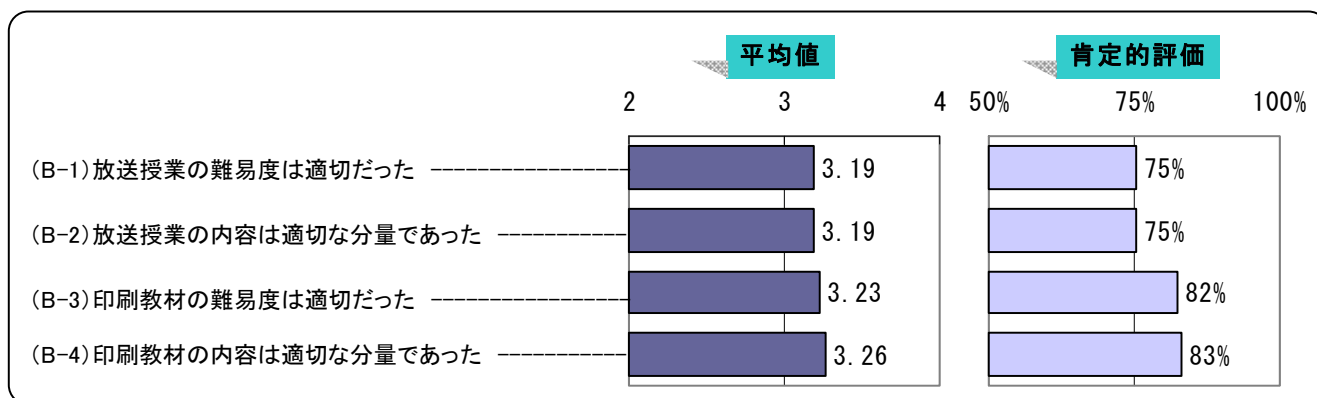


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

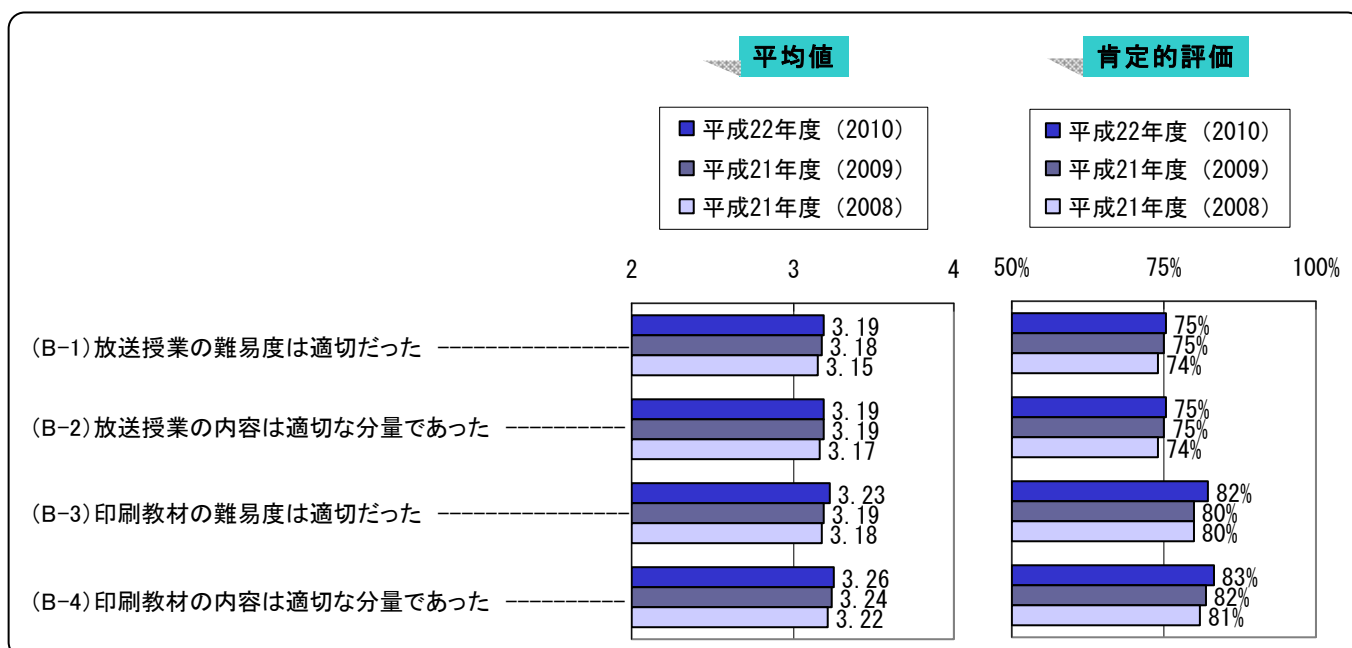
難易度・分量については(図2-23)、放送授業・印刷教材とも比較的高い評価となっている。特に印刷教材については、難易度・分量とも肯定的評価の割合が高い。今後は放送授業の難易度と分量についてさらに改善すべきであろう。

図2-23 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



授業の難易度・分量を開設年度で比較すると(図2-24)、ほとんど変化はないものの、2010年度新規開設科目は、2009年度新規開設科目に比べ、いずれの評価項目においても、若干評価が上がっている。

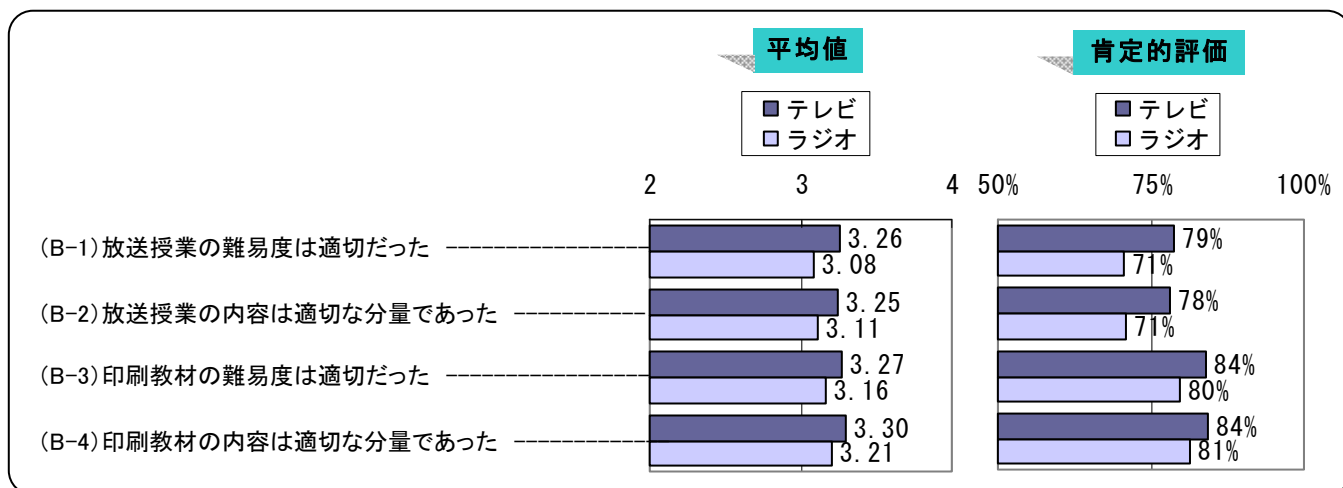
図2-24 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、全ての項目においてテレビ科目がラジオ科目を上回っている。

ラジオ科目については、さらなる工夫をする必要があるだろう。

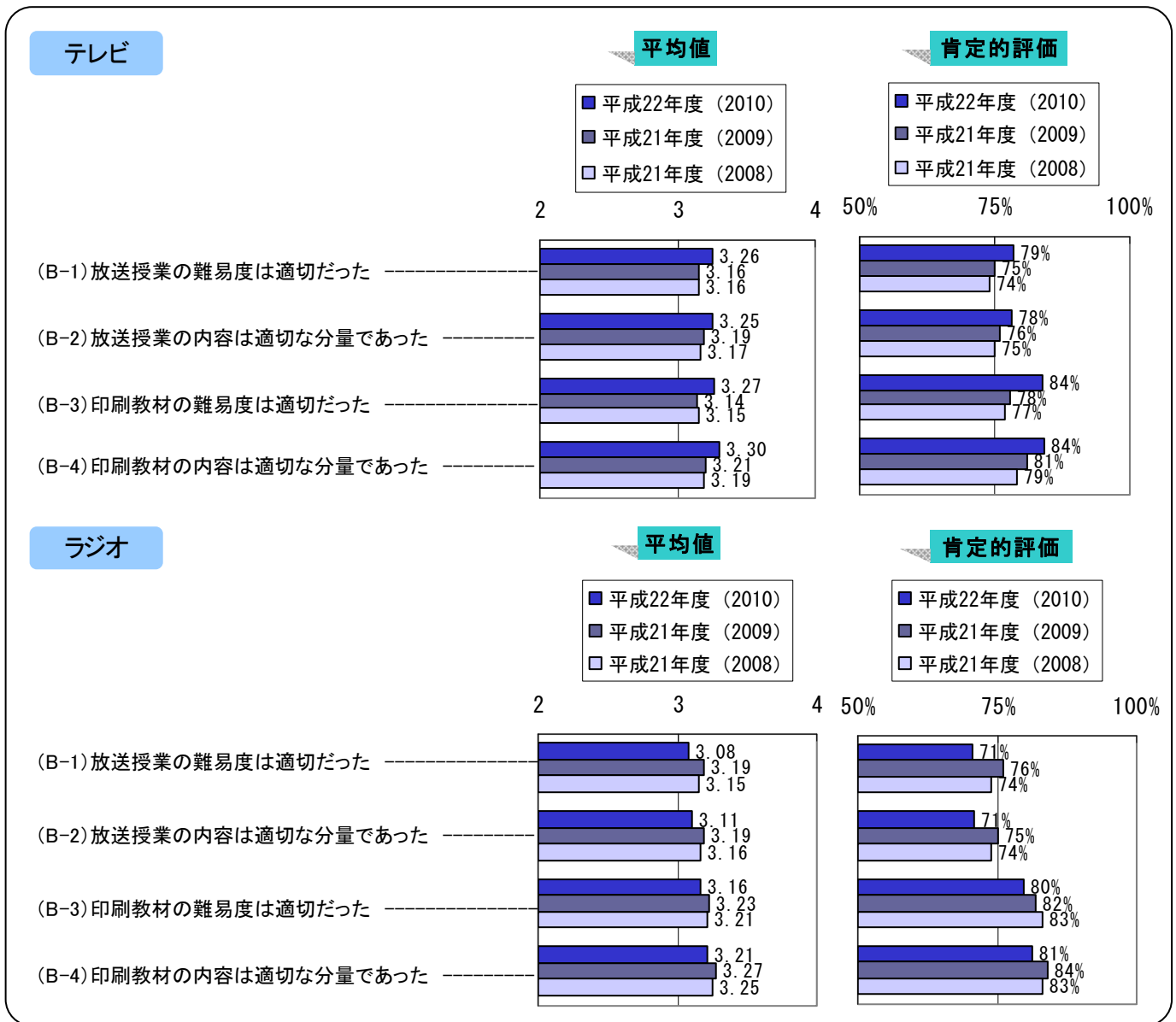
図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、テレビ科目は全ての項目において、評価が上がっている。

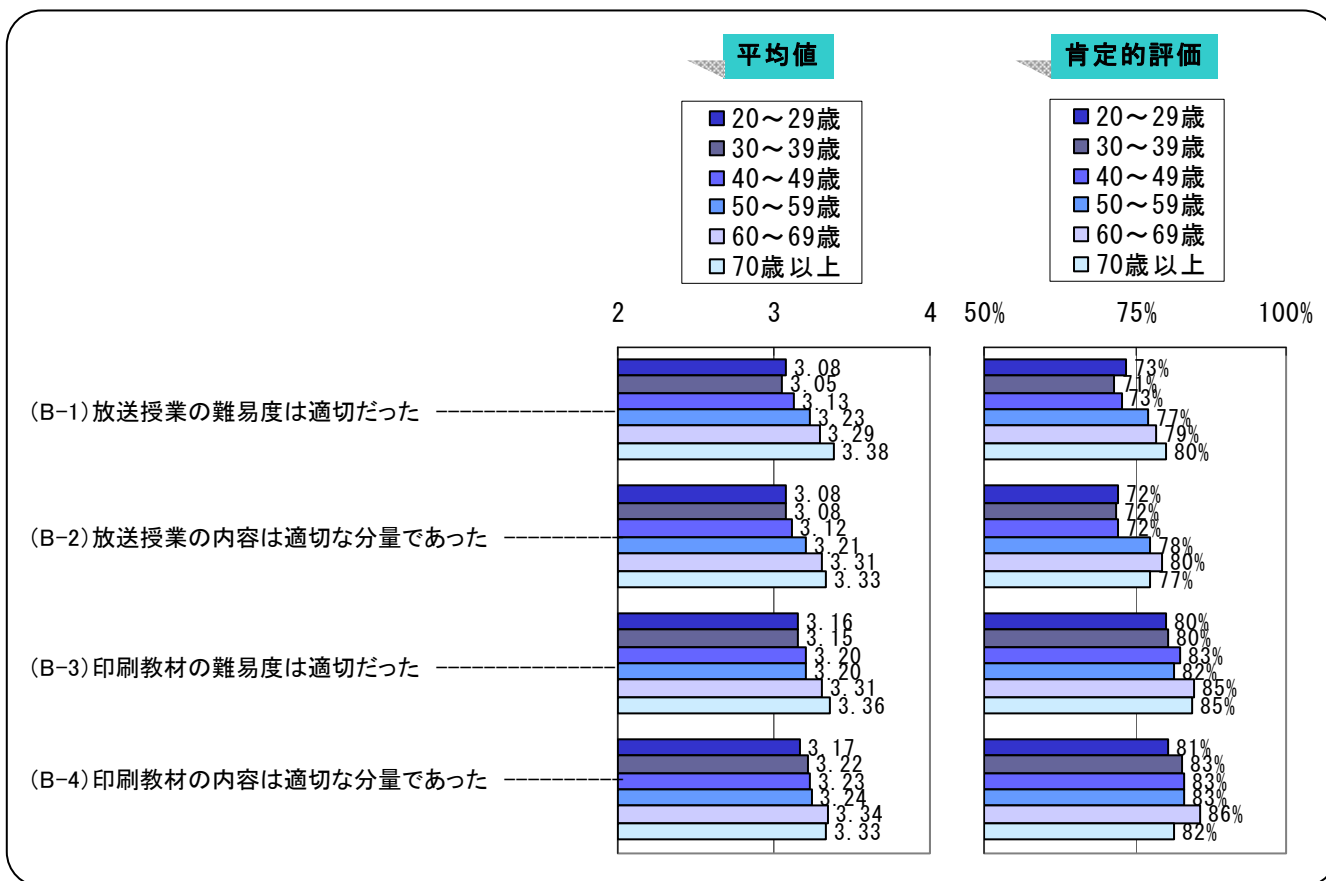
一方、ラジオ科目は全ての項目において、評価が下がっている。ラジオ科目は工夫が必要だろう。

図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-27）、放送授業・印刷教材の難易度・分量とも、平均値では年配層ほど評価が高くなっている。肯定的評価では20歳代の評価が低い、30歳代以上ではあまり大きな差は見られない。

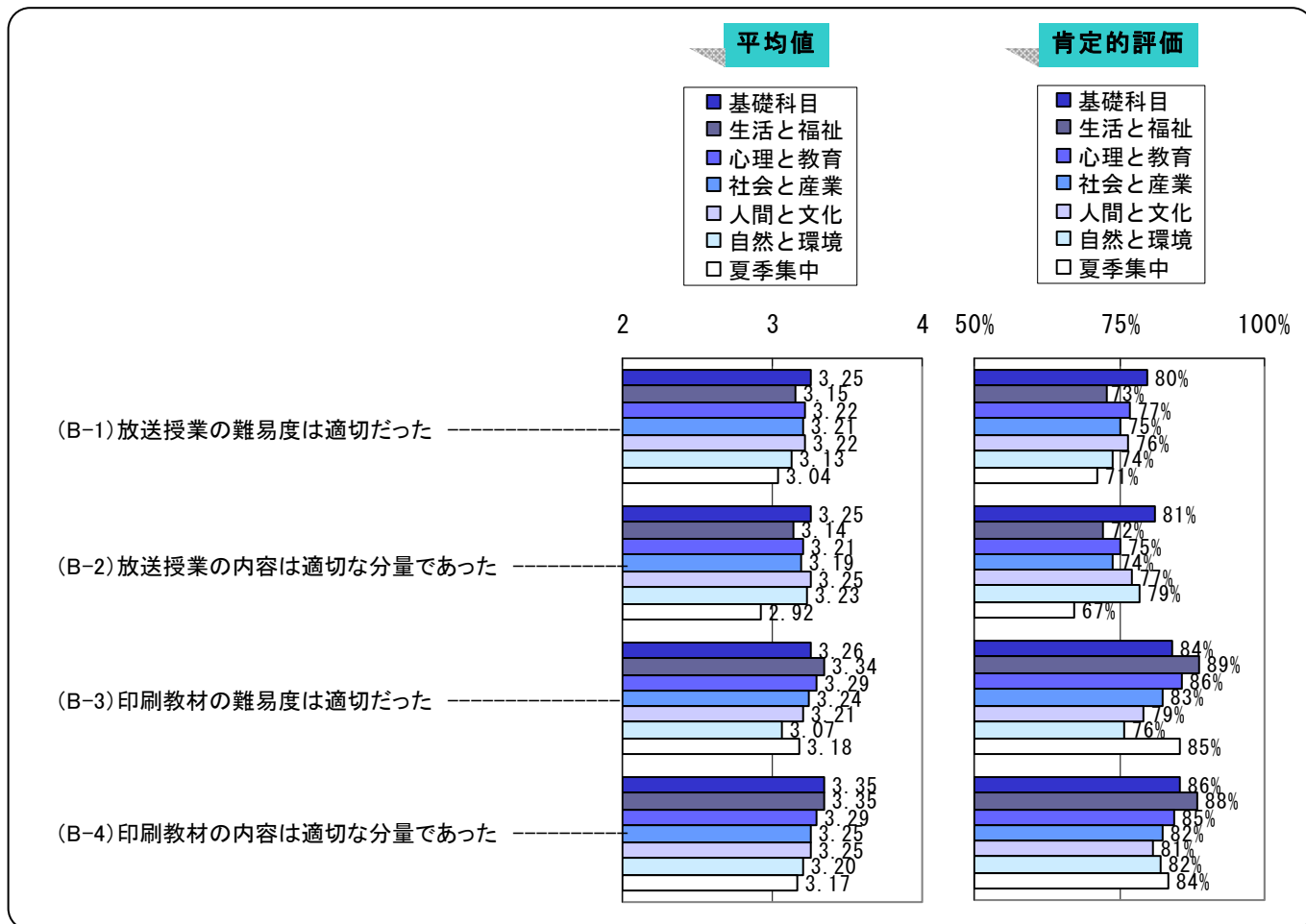
図2-27 【学部】 年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、放送授業の難易度と分量は、「基礎科目」「心理と教育」「人間と文化」で評価が高くなっている。

一方、印刷教材の難易度は、「自然と環境」「夏季集中」の評価が低く、他のコースは評価が高い。印刷教材の分量は「生活と福祉」「基礎科目」の評価が高くなっている。

図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価

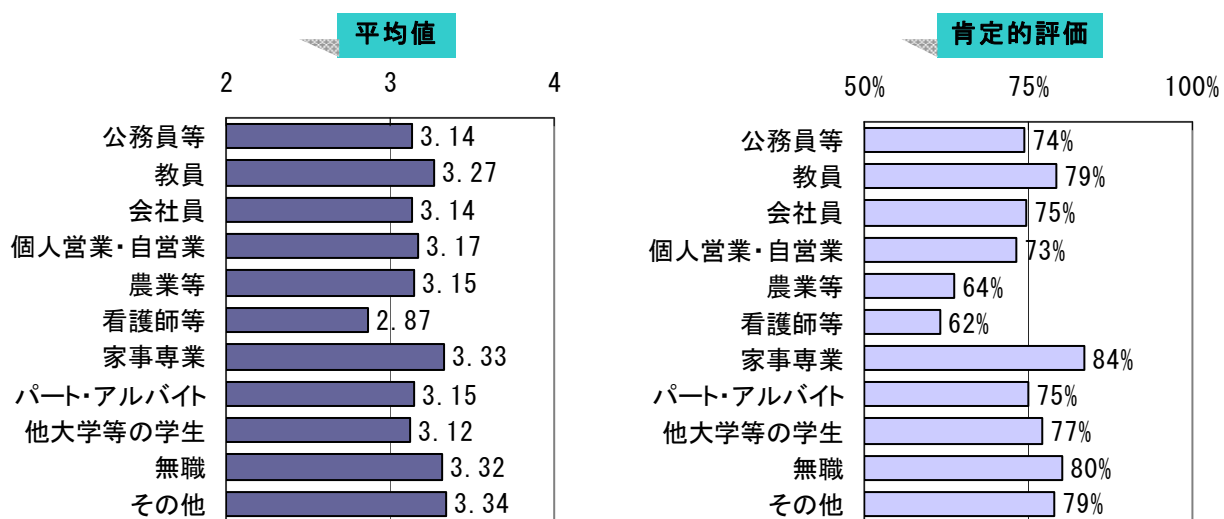


職業別に授業の難易度を見ると（図2-29）、放送授業の難易度は、取組姿勢のよくない看護師等で評価が低くなっているが、逆に教員や家事專業の評価は高い。印刷教材の難易度は、教員、農業等、家事專業の評価が高くなっている。

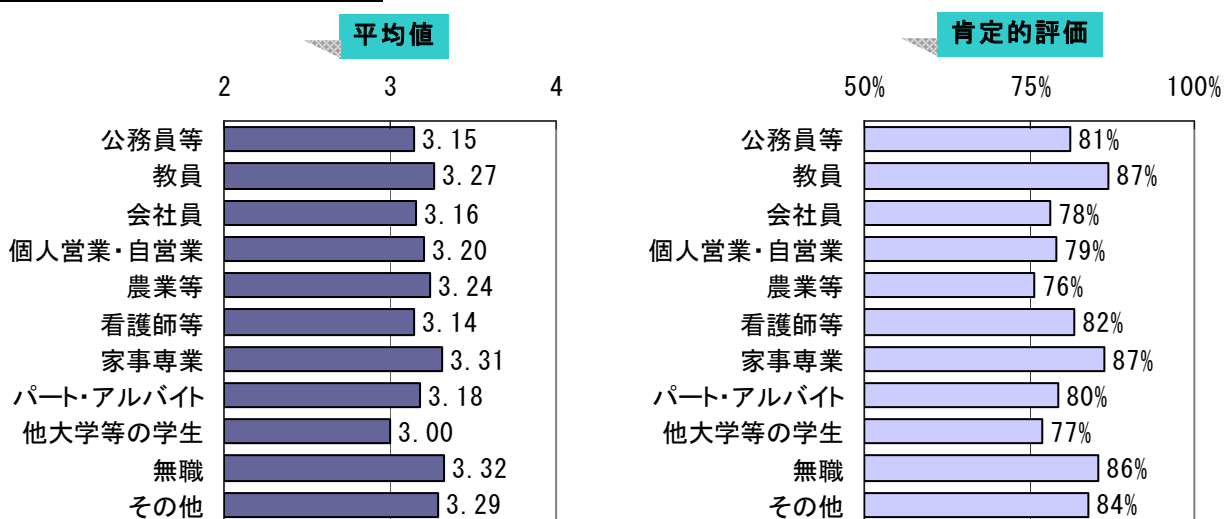
授業の難易度は、科目の内容的な難易度、授業方法、さらに学生の取組姿勢、学習意欲などに関連していると考えられるが、これらが相互に影響しつつ、難易度の評価が形成されていると見るのが妥当であろう。したがって、授業方法を工夫することによって、難易度の評価をあげる効果は高いと考えられ、今後も改善に注力すべきであろう。

図 2 - 2 9 【学部】職業別の授業難易度・分量の評価

(B-1)放送授業の難易度は適切だった



(B-3)印刷教材の難易度は適切だった

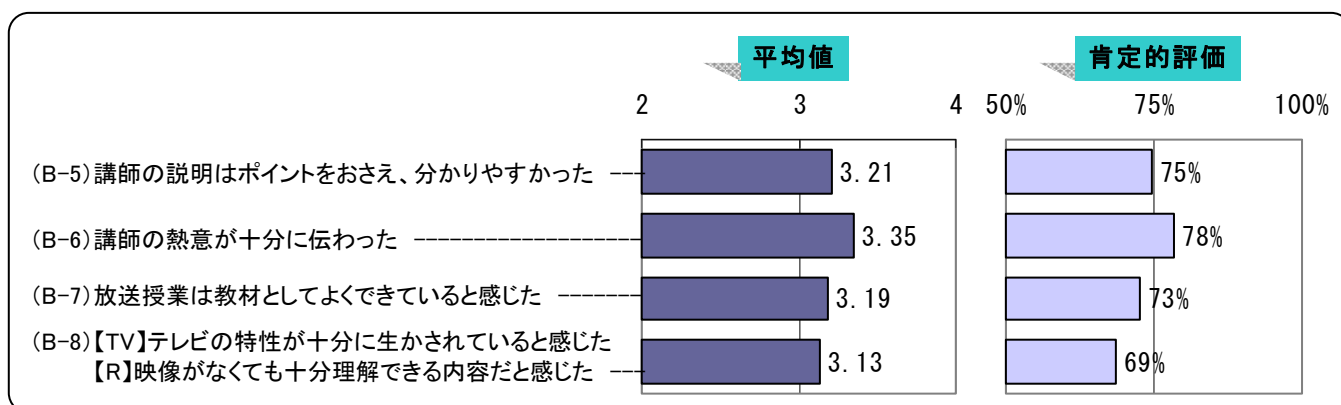


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目で最も評価が高いのは（図2-30）、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」であり、平均値 3.35、肯定的評価 78%となっている。しかし、放送授業の総合評価でもある (B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.19、肯定的評価 73%と特に高いわけではない。講師の説明や熱意は比較的评价が高いものの、総合評価はそれほど高くなっていない。なお、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も、平均値 3.13、肯定的評価 69%にとどまっている。

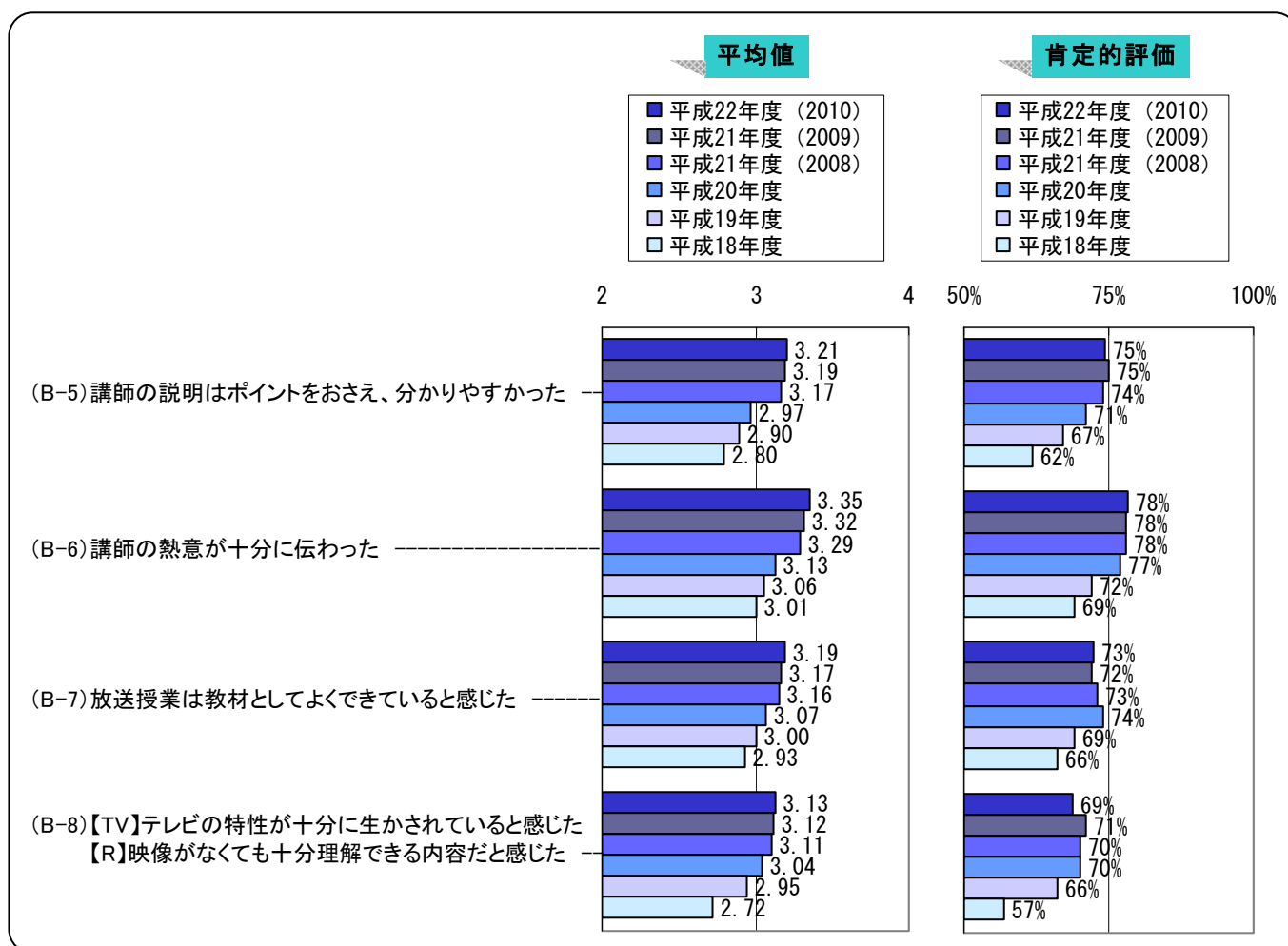
図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-31）、いずれの評価項目も年々評価が向上している。特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、過去5年間で評価が大きく向上しており、講師の説明方法や映像の特性を生かした授業、映像がなくても理解できる説明方法などの改善効果があったものと言えよう。

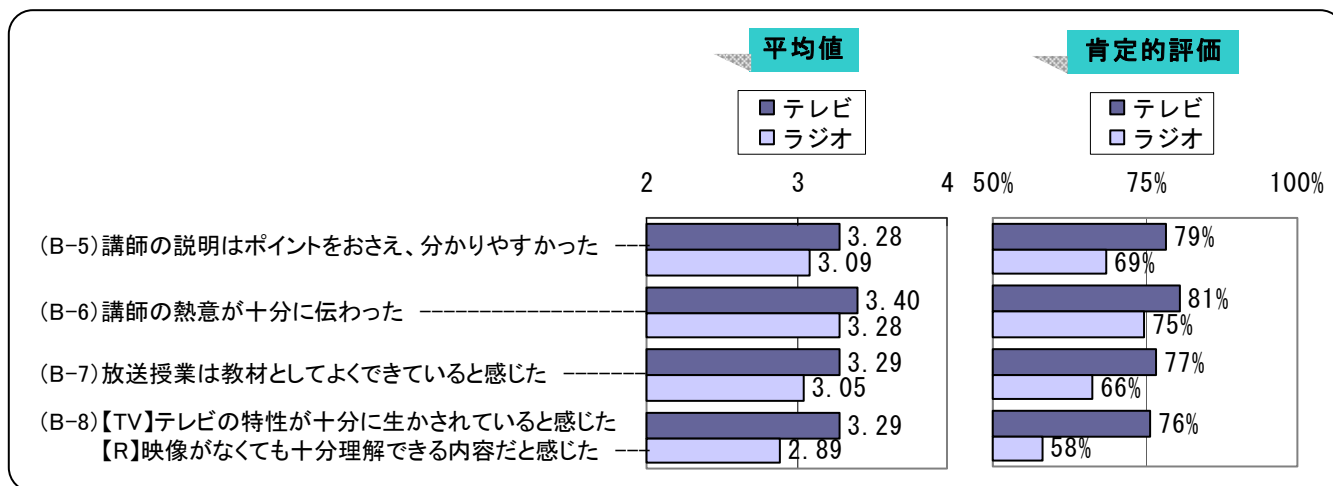
ただ（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」、（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の肯定的評価は、平成20年度調査（2007年度新規開設科目）以降、あまり伸びていないため、さらに改善を工夫する必要がある。

図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の評価を見ると（図 2 - 3 2）、いずれの項目もテレビ科目がラジオ科目を上回っている。

図 2 - 3 2 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（次頁図 2 - 3 3）、テレビ科目では、いずれの項目も平成 21 年度に比べ向上した。

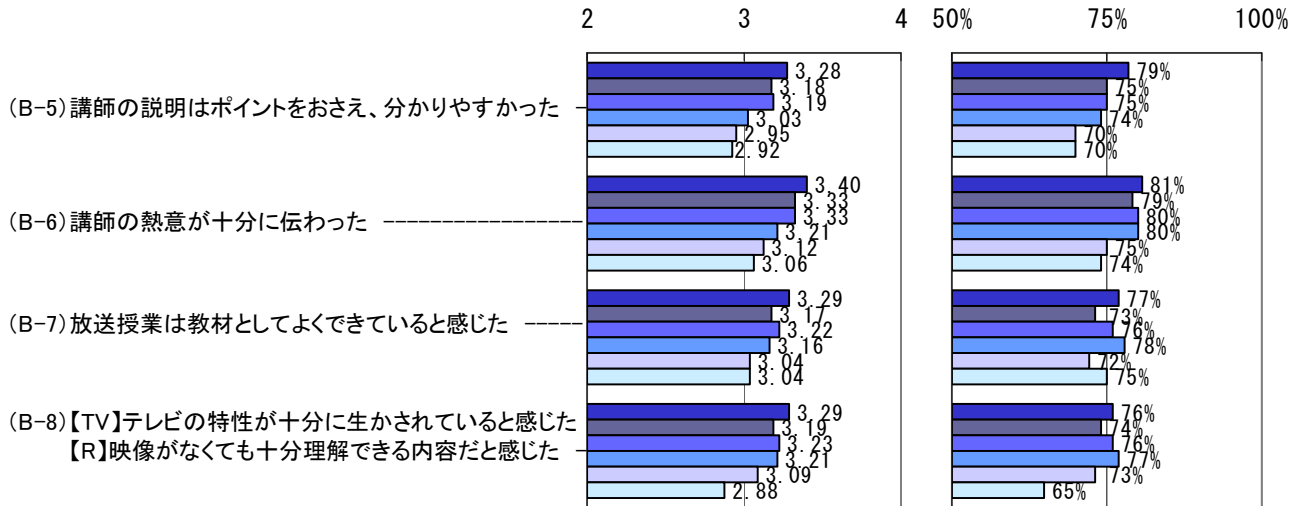
一方、ラジオ科目は、いずれの項目も平成 21 年度に比べ評価が下がっている。

図 2 - 3 3 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）

テレビ

平均値

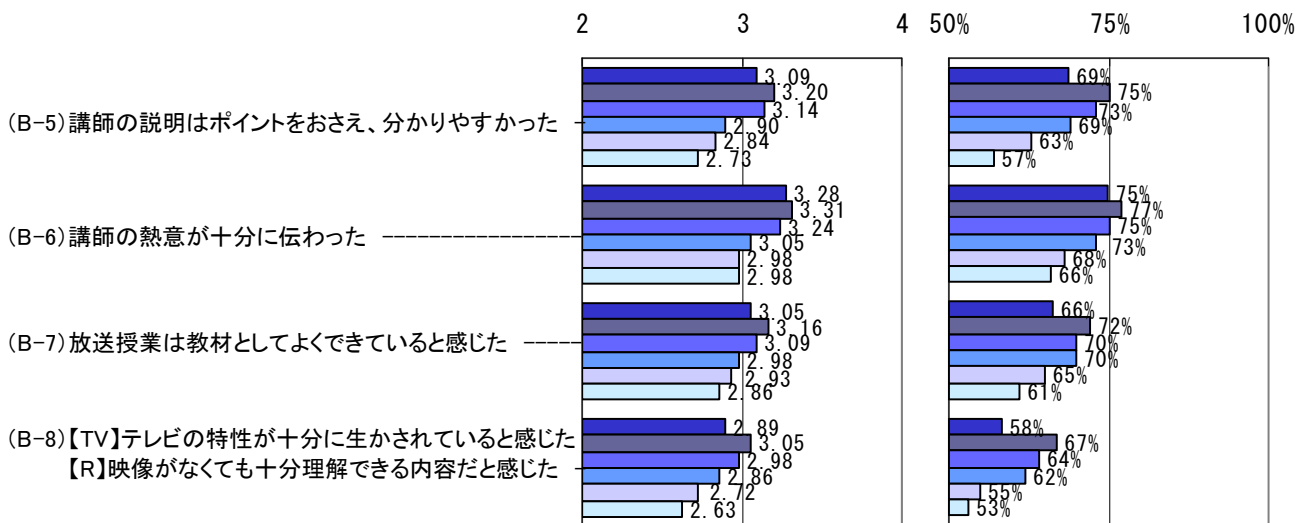
肯定的評価



ラジオ

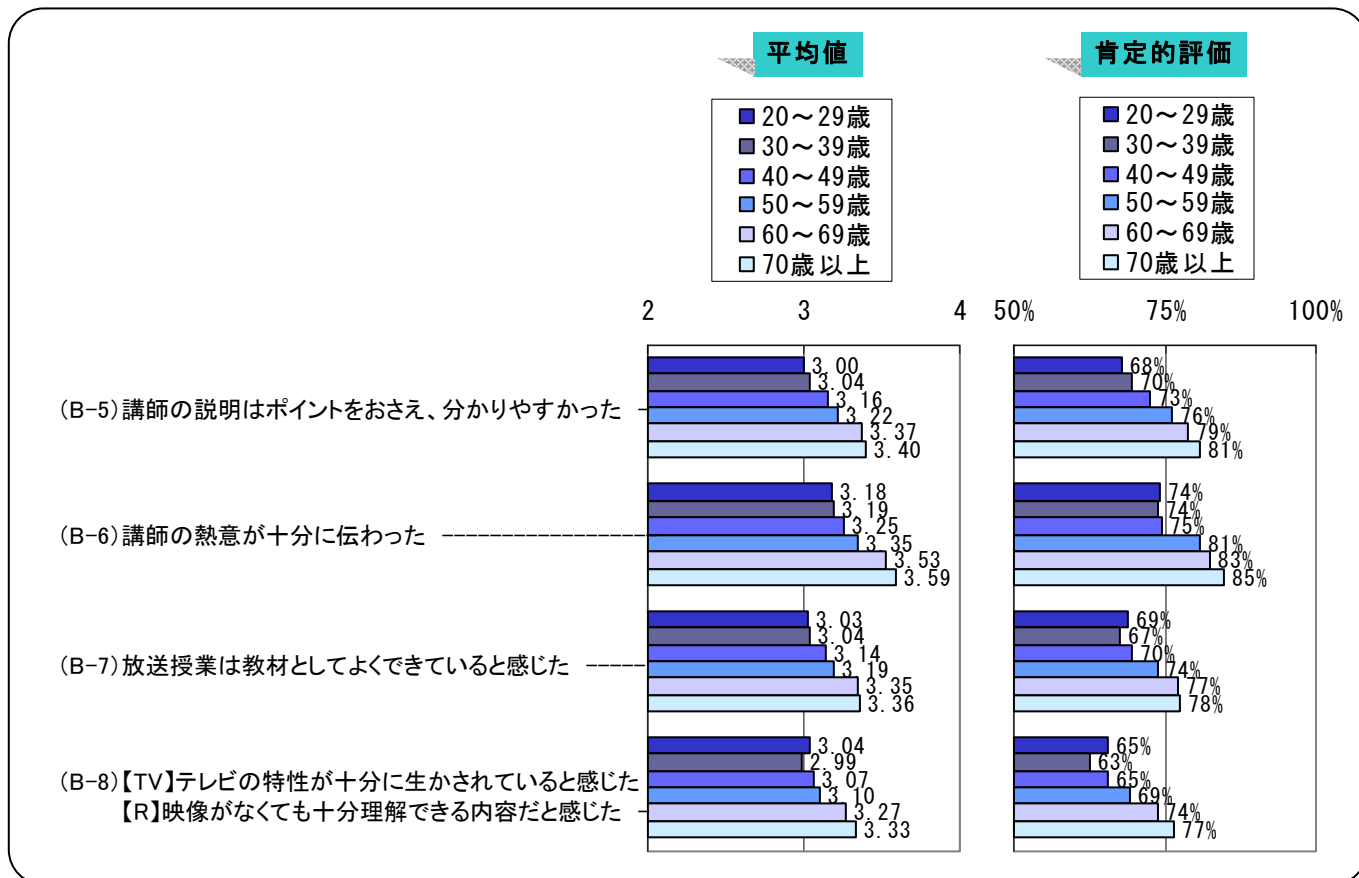
平均値

肯定的評価



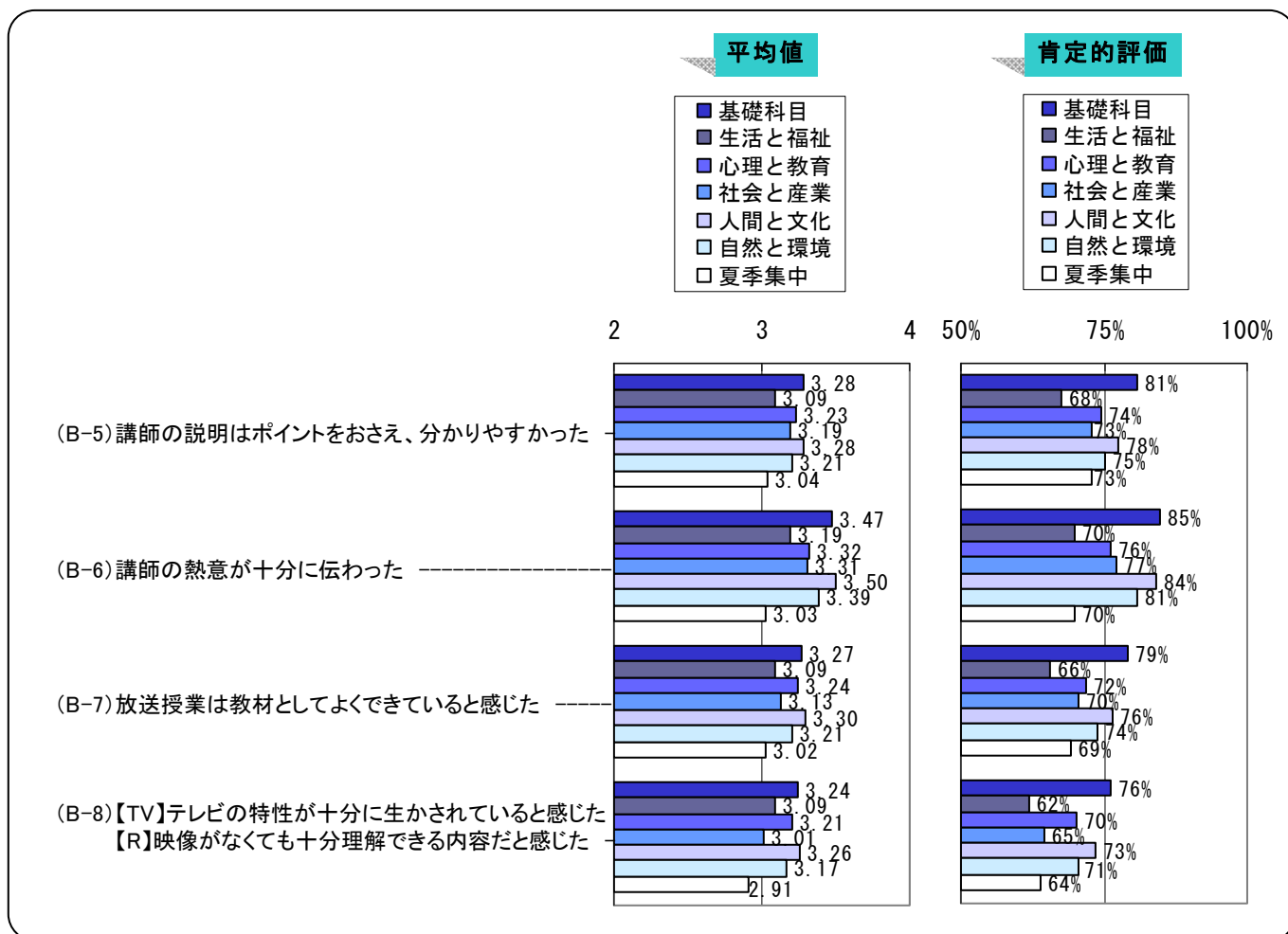
年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図2-34）、いずれの項目も、年配層ほど評価が高くなっており、20歳代の評価は、依然として低い状態のままである。

図2-34 【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-35）、各項目とも「基礎科目」「心理と教育」「人間と文化」「自然と環境」の評価が比較的高く、「生活と福祉」「夏季集中」の評価が低い。

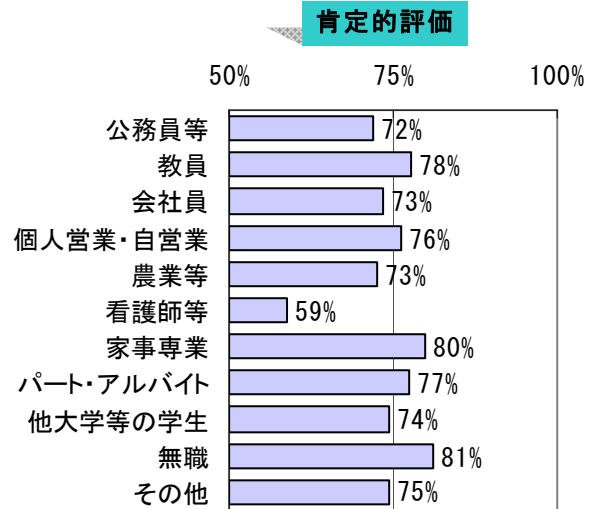
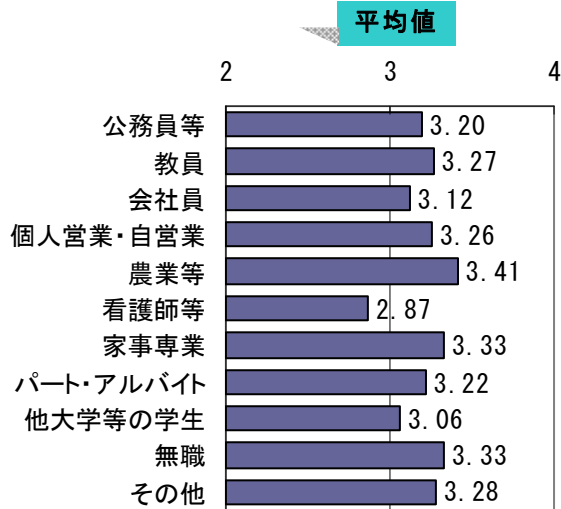
図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価



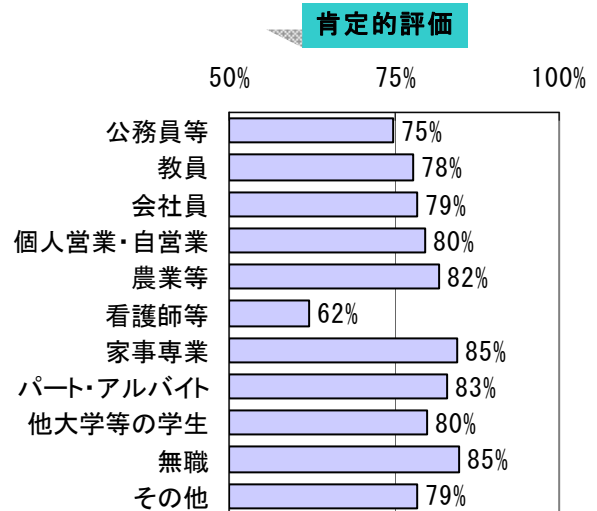
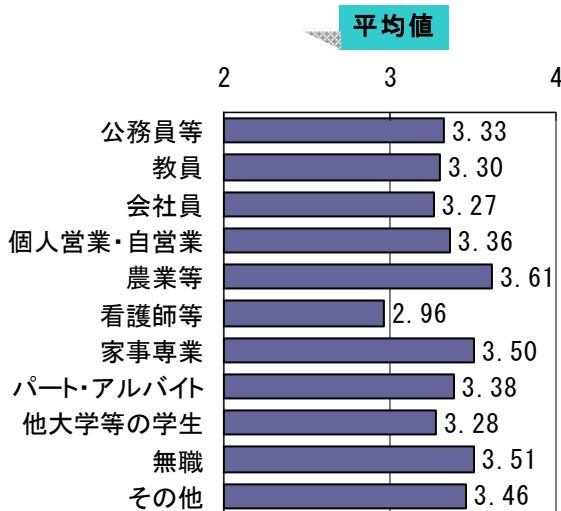
職業別に放送授業の評価を見ると（次頁図2-36）、教員、個人営業・自営業、家事専業、パート・アルバイト、無職などの評価が高く、看護師等の評価が低くなっている。

図 2 - 3 6 【学部】職業別の放送授業の評価

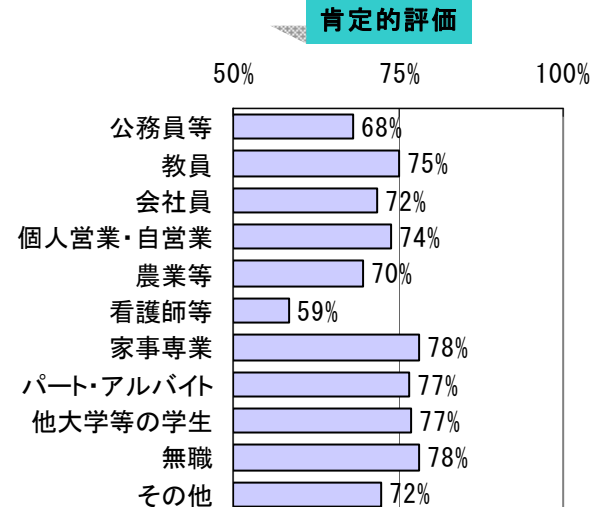
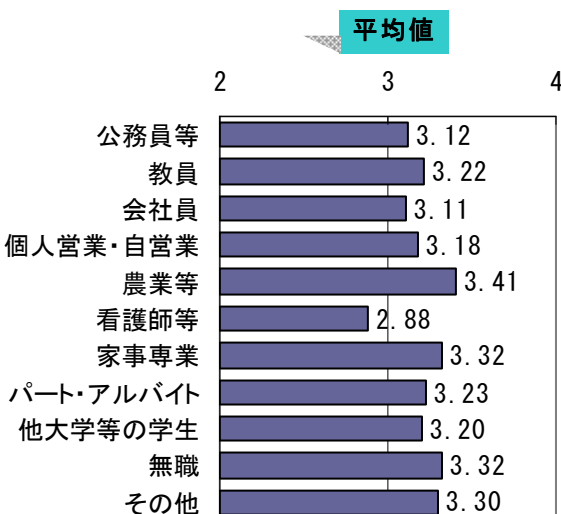
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった



(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた

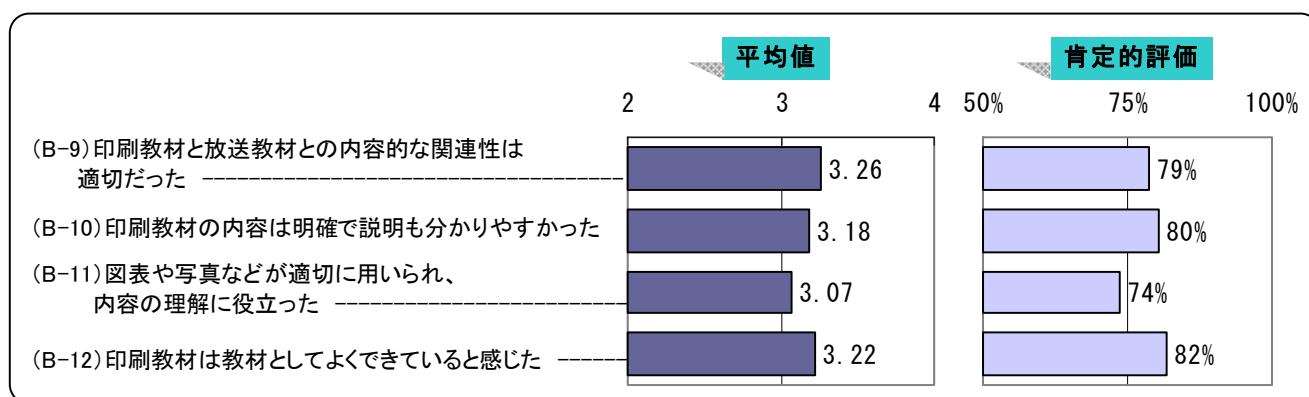


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

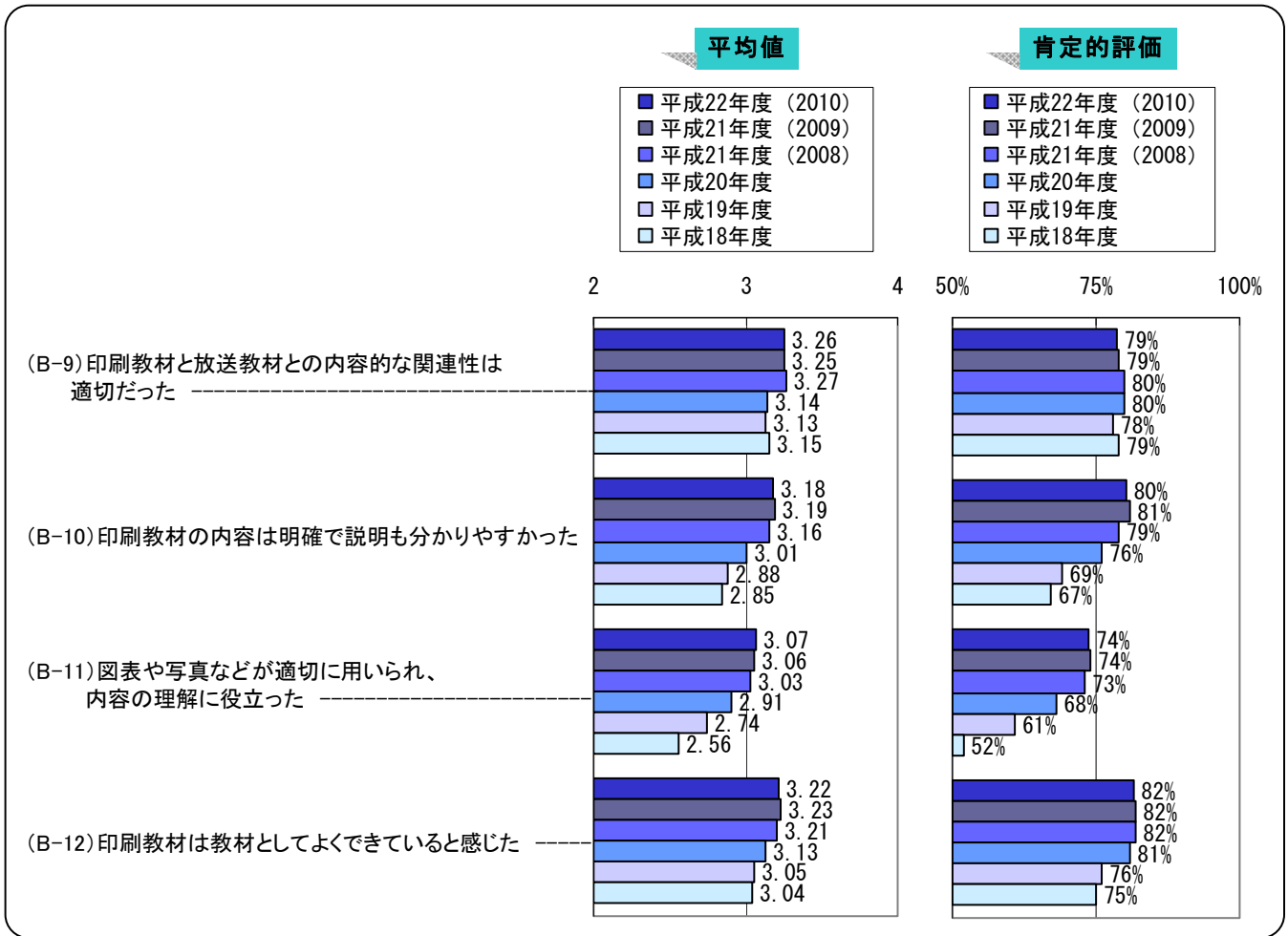
印刷教材の評価項目では(図2-37)、印刷教材の総合評価とも言うべき(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が平均値3.22、肯定的評価82%と高い評価となっている。また(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」も高い評価であるが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は他の項目に比べるとやや評価が低い。さらに図表や写真などを有効に取り入れ、理解しやすい教材を目指すべきであろう

図2-37 【学部】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると(次頁図2-38)、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、年々評価が高まっており、改善の効果が現れている。そのため総合評価の(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」も徐々に評価が上がっている。しかし(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、もともと評価が高かったこともあり、評価はあまり変化していない。

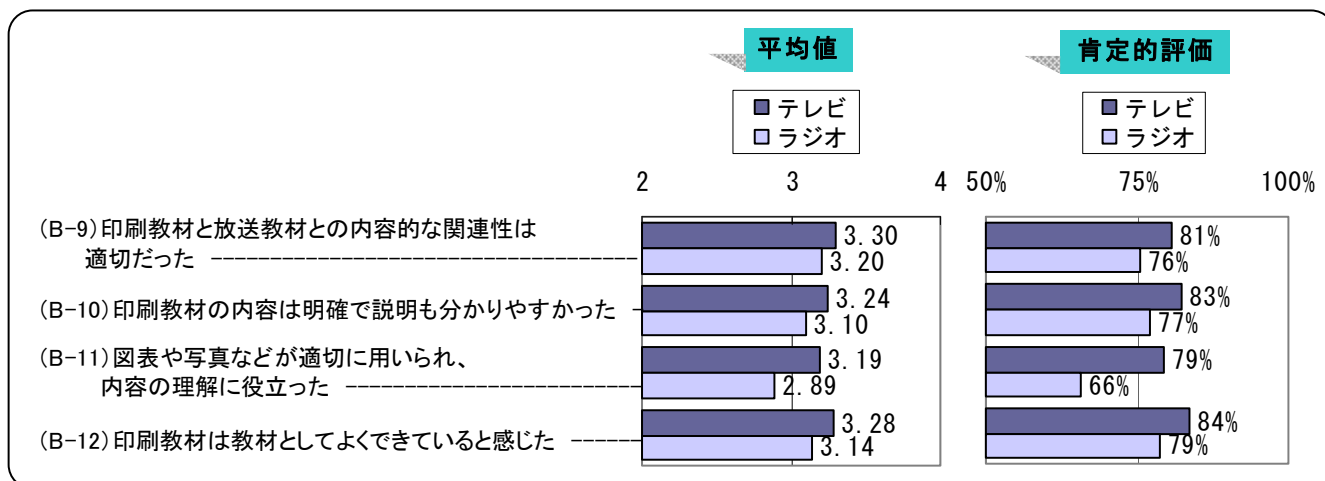
図 2 - 3 8 【学部】 回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



印刷教材の評価をメディア別に見ると（図2-39）、いずれの項目も、ラジオ科目よりテレビ科目の方が評価が高くなっている。

ラジオ科目は、分かりやすさをさらに研究していくことが大切である。

図2-39 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると（次頁図2-40）、テレビ科目では、いずれの項目も評価が向上している。改善の効果が出ていると言える。

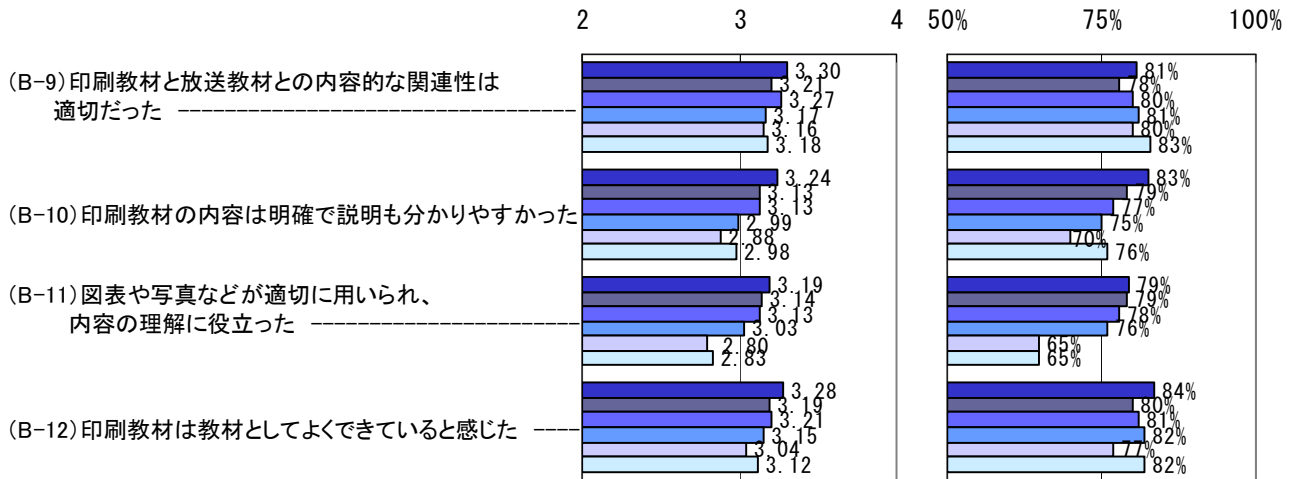
一方、ラジオ科目はいずれの項目も評価が下がっており、改善が求められる。

図 2-40 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）

テレビ

平均値

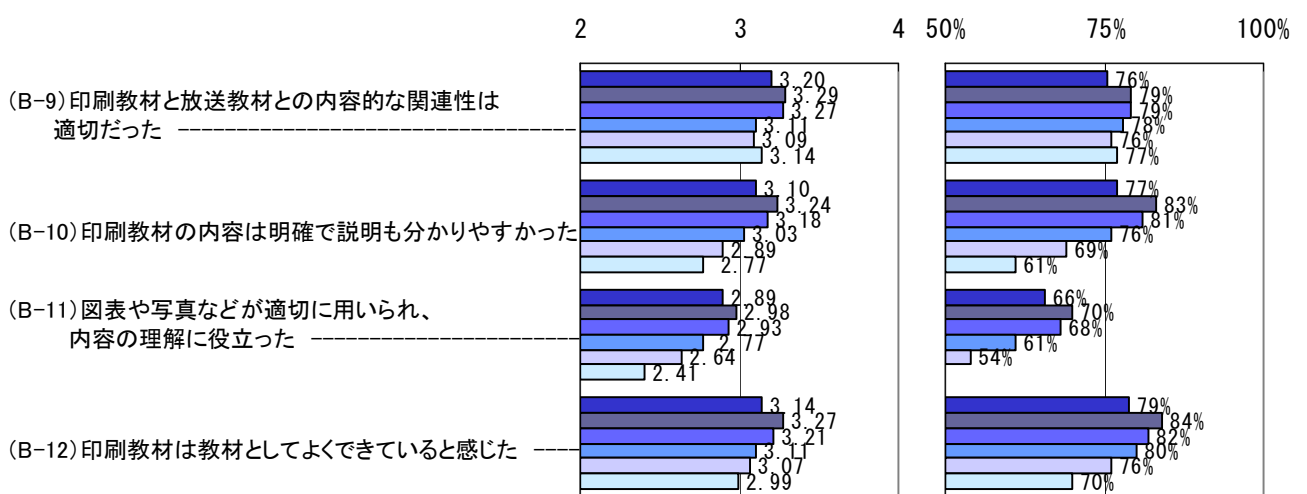
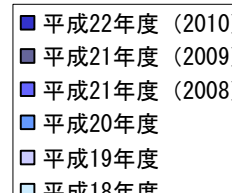
肯定的評価



ラジオ

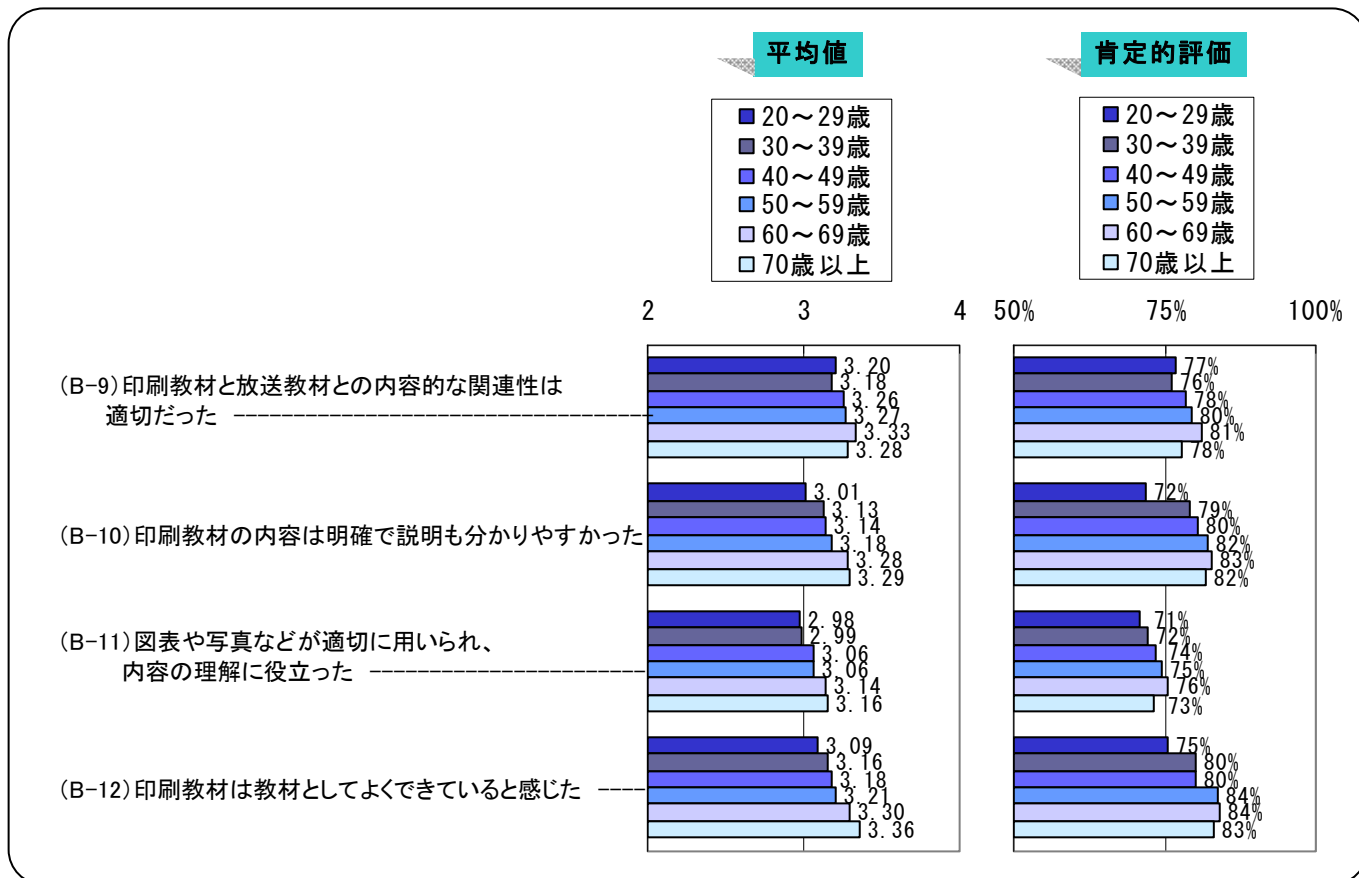
平均値

肯定的評価



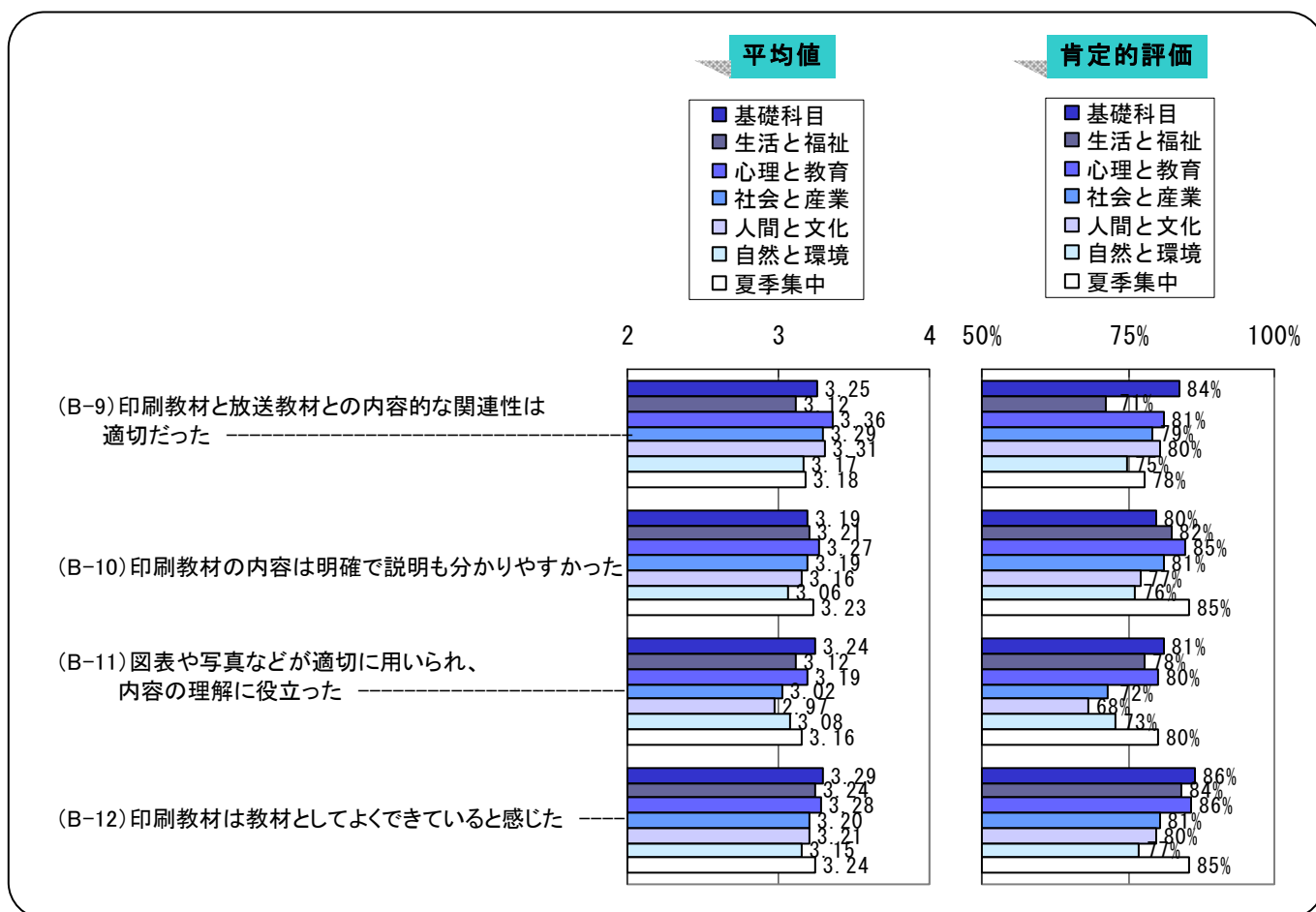
年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-41）、いずれの評価項目も、平均値・肯定的評価ともに年配層ほど評価がやや高くなっている。

図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図2-42）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「基礎科目」「生活と福祉」「心理と教育」「夏季集中」などの評価が高く、「自然と環境」が他のコースに比べやや低い。（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」の評価では、「人間と文化」が低く、改善が求められる。

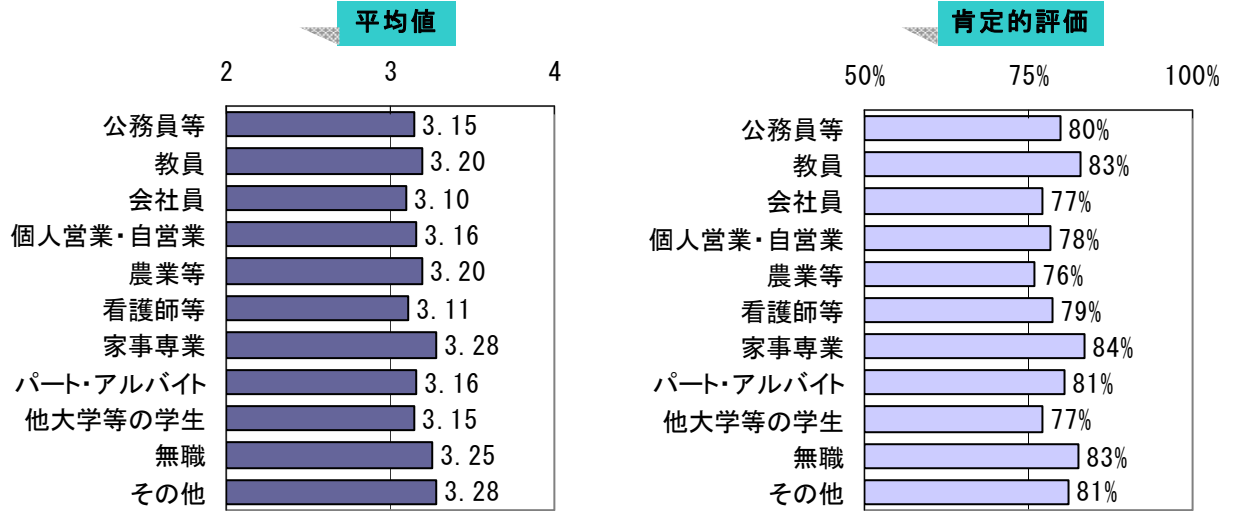
図2-42 【学部】所属コース別の印刷教材の評価



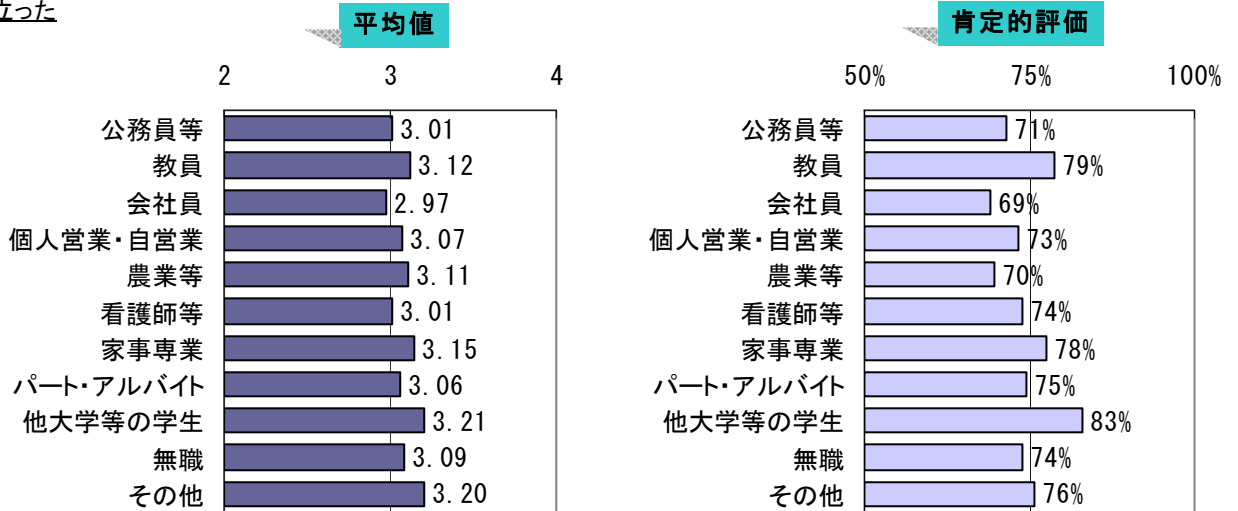
職業別に印刷教材の評価を見ると（次頁図2-43）、印刷教材の評価に関しては職業間の評価差が比較的小さい。総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、どの職業でも評価が高いが、特に家事専業の評価が高くなっている。

図 2 - 4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価

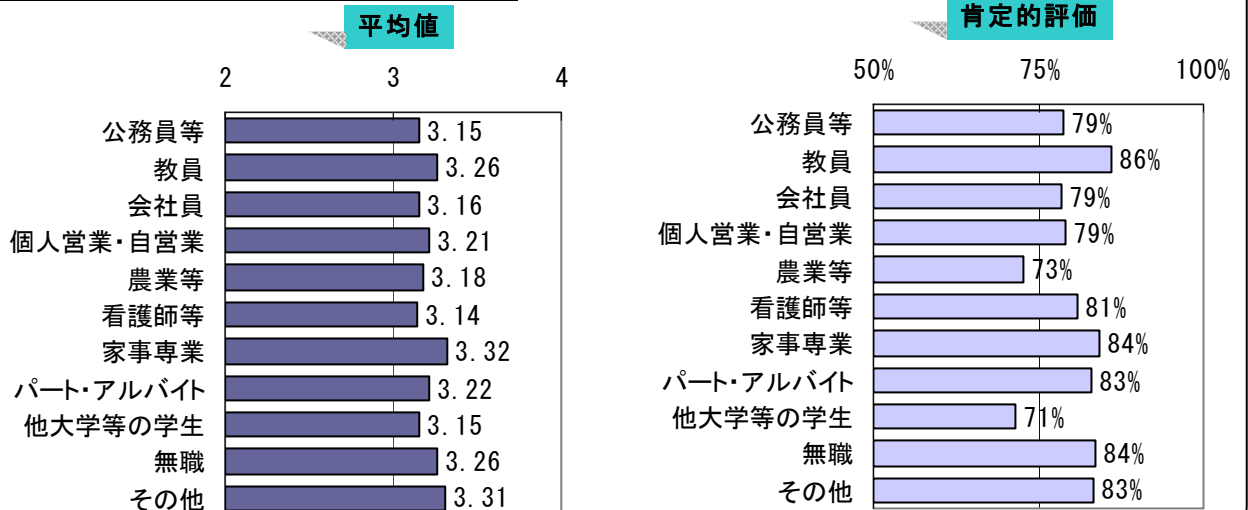
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた



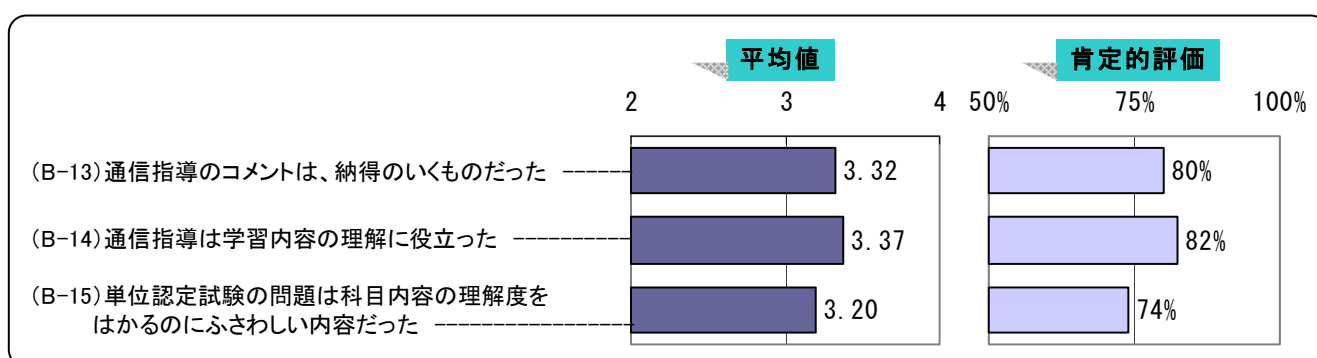
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図2-44)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.32、肯定的評価 80%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.37、肯定的評価 82%と、いずれも高い評価を得ている。

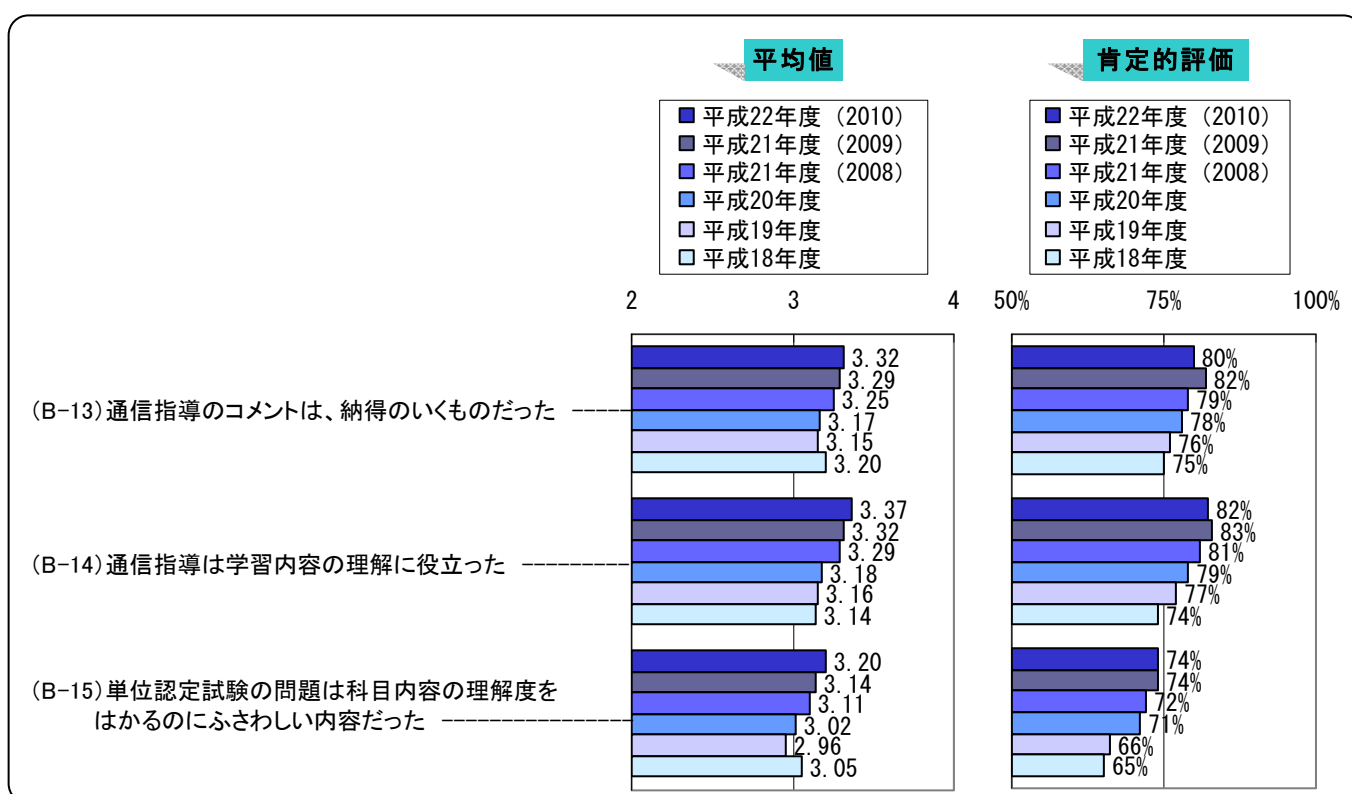
単位認定試験についても、(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.20、肯定的評価 74%と比較的評価が高くなっている。

図2-44 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-45)、いずれの評価項目も年々評価が上がっており、改善の効果が現れている。

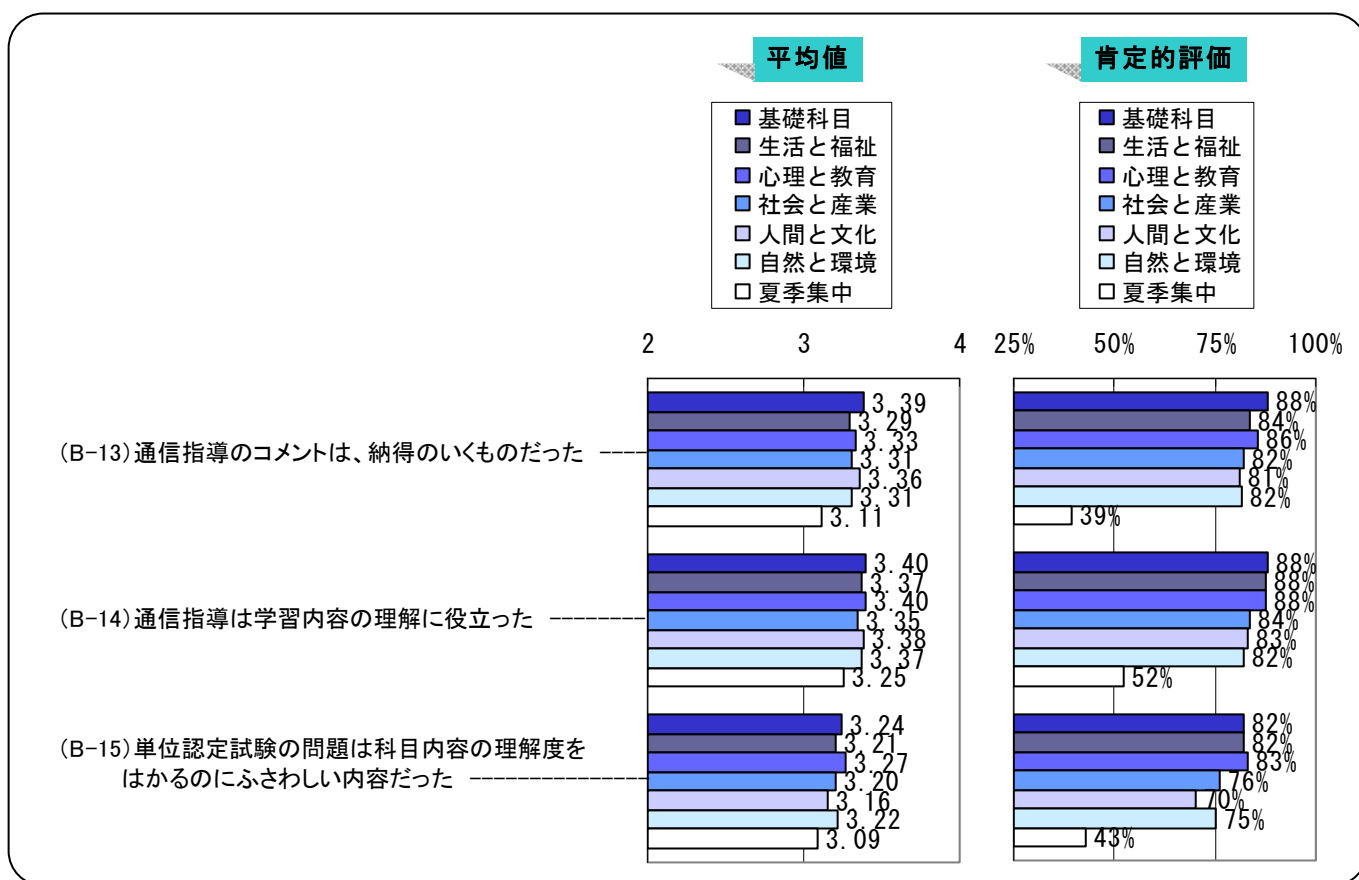
図2-45 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-46）、通指指導の（B-13）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と（B-14）「通信指導は学習内容の理解に役立った」については、「基礎科目」「生活と福祉」「心理と教育」「人間と文化」などの評価が高く、「夏季集中」は他のコースより低くなっている。

単位認定試験の（B-15）「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」については、評価差は少ないものの、「基礎科目」や「心理と教育」の評価が他のコースより高い。「人間と文化」「夏季集中」の評価は低く、単位認定試験について改善が求められる。

図2-46 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ-1-4. 参考

ここでは評価項目間の相関を見ることによって、より深く授業改善の糸口を探っていくことにする。分析には主にピアソンの単相関係数（以下、相関係数）を用いた。相関係数は 1.0 から -1.0 までの値をとり、二つの変数間の変化のいわば「足並み」を示す指標である。それらが共変する場合（つまり片方の値が高ければもう一方も高く、低ければ低いという場合）は 1.0 に近づき、逆の変化をする場合は -1.0 に近づく。両者の変化に関係性がない場合は 0 に近づく。ただし、相関係数による分析では、変数間の共変関係は分かっても、因果関係（つまりどちらが原因となる変数で、どちらが結果かということ）は分からないのが普通である。以下の分析ではそのことを十分留意していただきたい。ただ、総合的な評価は個別の評価を考慮し、総合してなされるであろうことは想像に難くない。そのことを前提として、総合評価と個別評価との関係を見ていくことにしよう。

表 2-2 は、放送授業の各評価項目と (A-2)「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）及び (B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数である。

表 2-2 【学部】放送授業と各項目との単相関係数

	(A2)放送授業を十分に視聴した	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた
(A2)放送授業を十分に視聴した	1.000	0.392
(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.398	0.601
(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.410	0.604
(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.399	0.754
(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.431	0.709
(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.392	1.000
(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.370	0.675

これを見ると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と (B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数は 0.392 と、相関は見られるものの、弱い相関となっている。つまり放送授業の視聴度合いと放送授業の評価は、決して強くはないが、やや関連性があると言ってよい。

また (A-2)「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）は、放送授業の各評価項目である (B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」、(B-6)「講師の熱意が

十分に伝わった」などと相関係数 0.400 以上と相関が見られ、放送授業の取組姿勢のよい人は放送授業の評価がよく、逆に放送授業の評価がよいと取組姿勢もよくなることが推測される。

一方、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価)と放送授業の各評価項目との間では、いずれも強い相関が見られるが、特に (B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が相関係数 0.754、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が相関係数 0.709 と、相関が強くなっている。したがって、放送授業の総合評価を高めるには、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、特に講師の説明の分かりやすさや講師の熱意が大切だと言える。

次に、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢) 及び (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価) の相関係数を見たのが表 2-3 である。

表 2-3 【学部】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A3)印刷教材を熱心に学習した	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.317
(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.327	0.579
(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.320	0.568
(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.272	0.587
(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.329	0.778
(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.284	0.702
(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.317	1.000

これを見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)は、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価) および印刷教材の各評価項目との間に、あまり強い相関は見られない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)と印刷教材の各評価項目とでは相関が強く、特に (B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は相関係数 0.778、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」が 0.702 と相関が強くなっている。そのため印刷教材の総合評価を高めるためには、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、特に説明の分かりやすさと図表や写真を有効利用することが大切であると言える。

最後に (A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」及び (B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが次頁表 2-4 である。

表 2-4 【学部】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.486	0.412
	(A2)放送授業を十分に視聴した	0.560	0.314	0.263
	(A3)印刷教材を熱心に学習した	0.689	0.439	0.371
授業の難易度・分量	(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.368	0.554	0.557
	(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.351	0.493	0.515
	(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.336	0.599	0.609
	(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.311	0.530	0.575
放送授業	(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.365	0.547	0.609
	(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.374	0.456	0.529
	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.347	0.518	0.604
	(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.308	0.474	0.518
印刷教材	(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.328	0.477	0.539
	(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.330	0.614	0.646
	(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.292	0.503	0.541
	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.315	0.562	0.652
通信指導・単 位認定試験	(B13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.258	0.437	0.499
	(B14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.279	0.467	0.525
	(B15)単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	0.282	0.501	0.575
全体評価	(B16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.327	0.525	0.579
	(B17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.451	0.637	0.736
	(B18)新しい知識が身につく視野が広がった	0.415	0.599	0.684
	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.486	1.000	0.760
	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.412	0.760	1.000

まず、全体的な熱心度（取組姿勢）と科目の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度は理解度と 0.486、満足度と 0.412 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間に相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は 0.760 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と各評価項目の相関を見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数 0.689 と最も相関が高く、次いで (A-2)「放送授業を十分に視聴した」が相関係数 0.560、さらに全体評価の (B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」とも相関が見られる。全体的な熱心度は、印刷教材や放送授業への取組姿勢と、授業内容が興味や関心の高まるものであり、視野が広がるものであったかどうかとも関係していると言える。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と各評価項目は、いずれも相関が見られる。特に (B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」と強い相関が見られる。理解度は、教材の分かりやすさだけでなく、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につく視野が広がるものであったかどうかと特に関係していることが分かる。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」と各評価項目の相関係数を見ると、取組姿勢以外の各評価項目と相関が見られ、満足度を高める上でいずれの評価項目も影響していることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」である。科目の満足度を高める上で、講師の説明や放送授業の分かりやすさ、印刷教材の難易度や分かりやすさ、興味・関心のもてる授業内容、視野が広がるような知識の習得などが特に重要なポイントと言える。

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

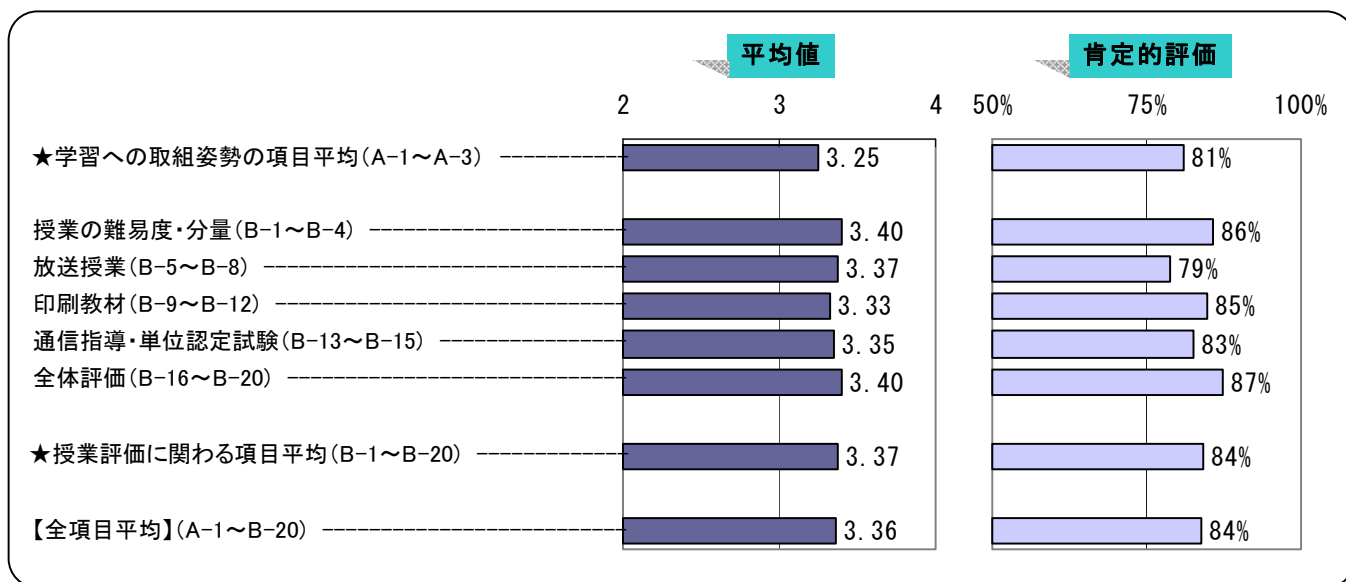
ここからは大学院科目の評価結果を見ていく。大学院の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが図 2－47 である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

項目平均を全体的に見ると、学部生よりも取組姿勢がよく、授業評価も高いのが特徴である。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.25、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）81%であり、『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.37、肯定的評価 84%と高い値を示している。熱心に学習に取り組んだと同時に、授業に対する評価も高いと言える。

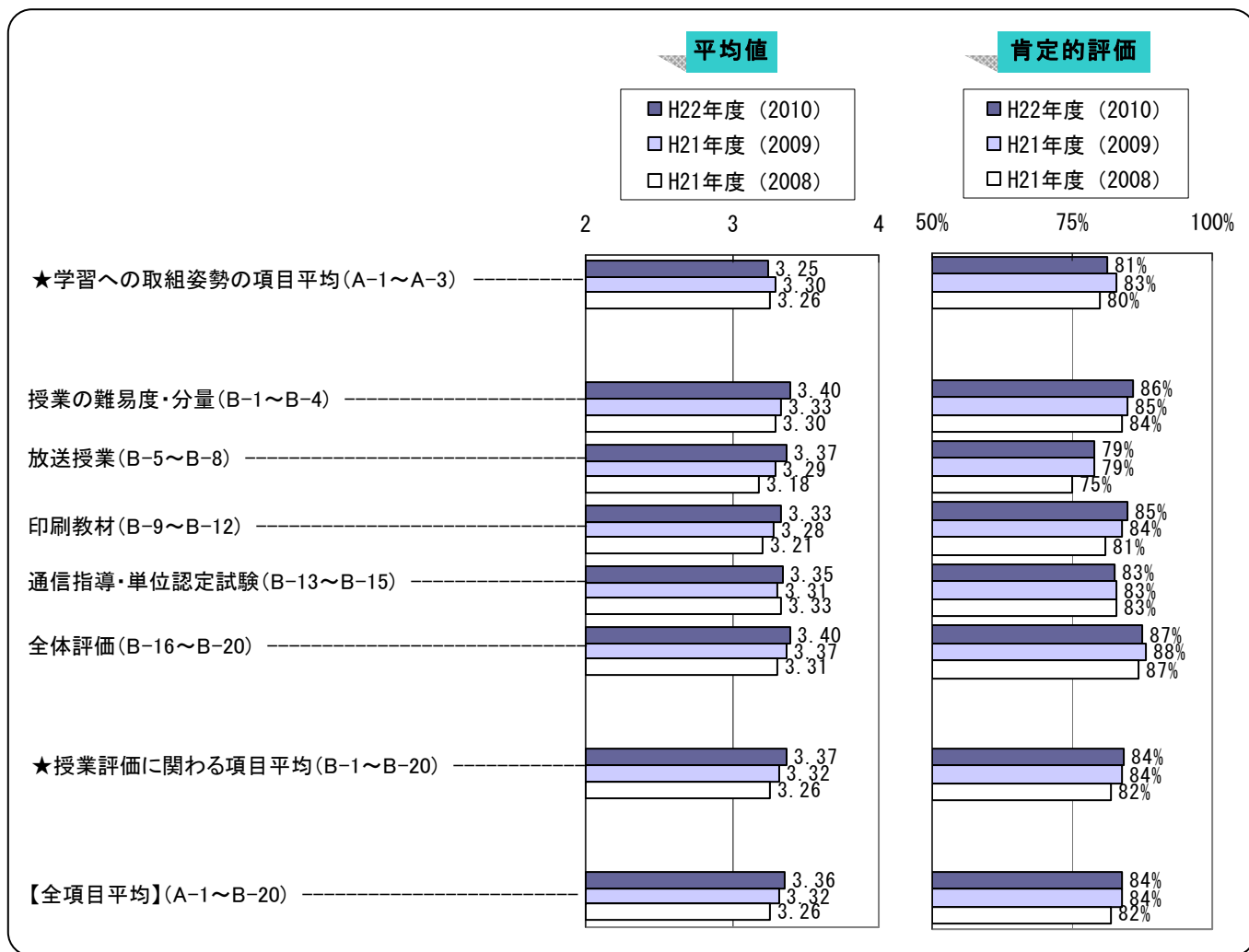
『授業評価に関わる項目平均』を内容ごとにみると、『全体評価』は平均値 3.40、肯定的評価 87%と評価が高くなっている。逆に『放送授業』は肯定的評価が、他の項目平均より少なく、改善ポイントとなっている。

図 2－47 【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-48）、『学習への取組姿勢』を除いて、2010年度新規開設科目は、2009年度新規開設科目に比べ、いずれの内容でも僅かずつ評価が上がっている。特に『授業評価』の平均が最も向上しており、改善の効果が見られる。

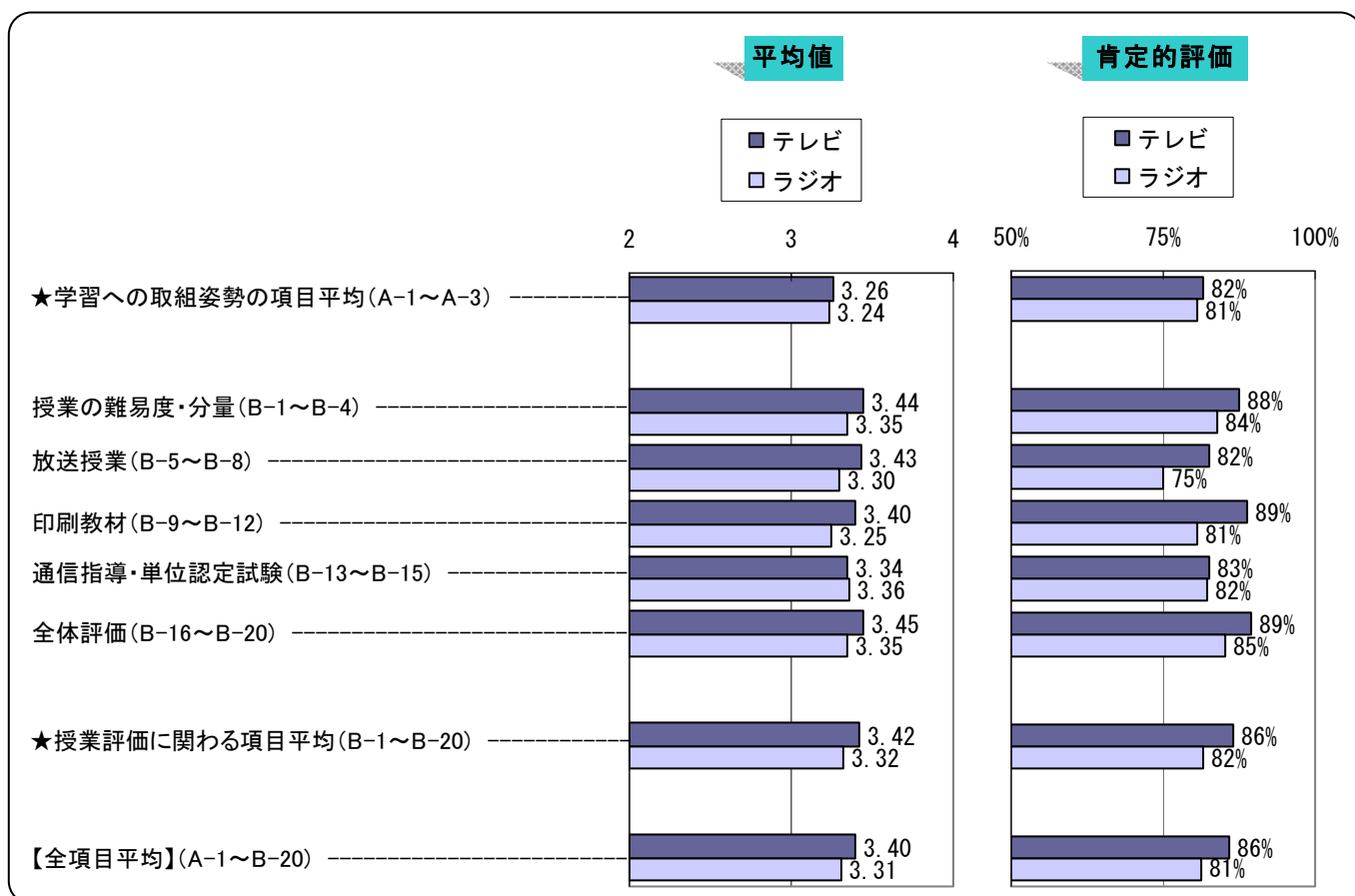
図2-48 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に2010年度新規開設科目の項目平均を見ると(図2-49)、『学習への取組姿勢の項目平均』、『授業評価に関わる項目平均』ともテレビ科目の方が、若干評価が高い。

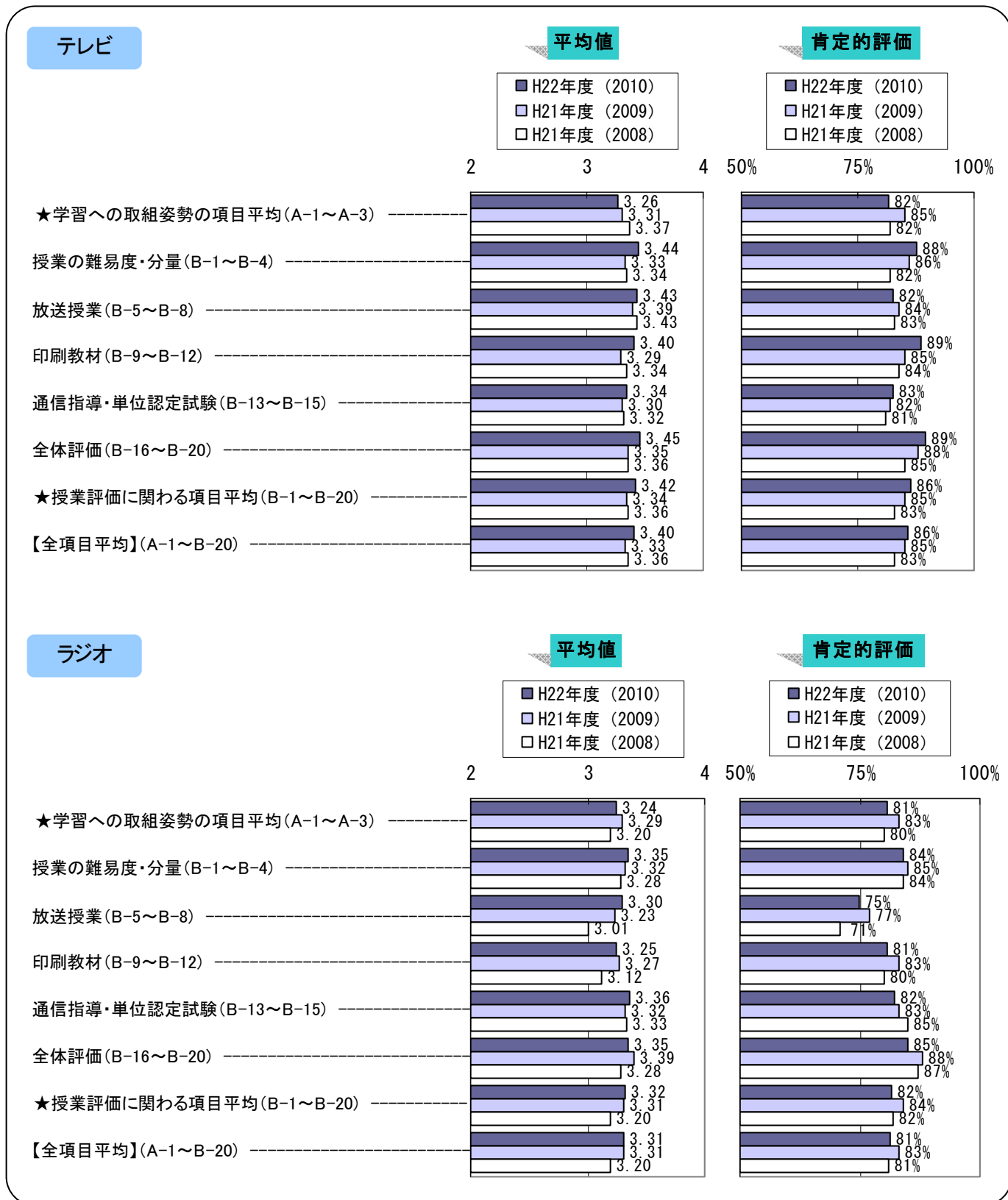
『授業評価に関わる項目平均』の内容ごとに見ると、『通信指導・単位認定試験』は除いてラジオ科目の評価がテレビ科目に比べ低くなっている。

図2-49 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を科目の開設年度で比較すると（図2-50）、テレビ科目・ラジオ科目とも『学習への取組姿勢』、を除いて評価が高くなっている。

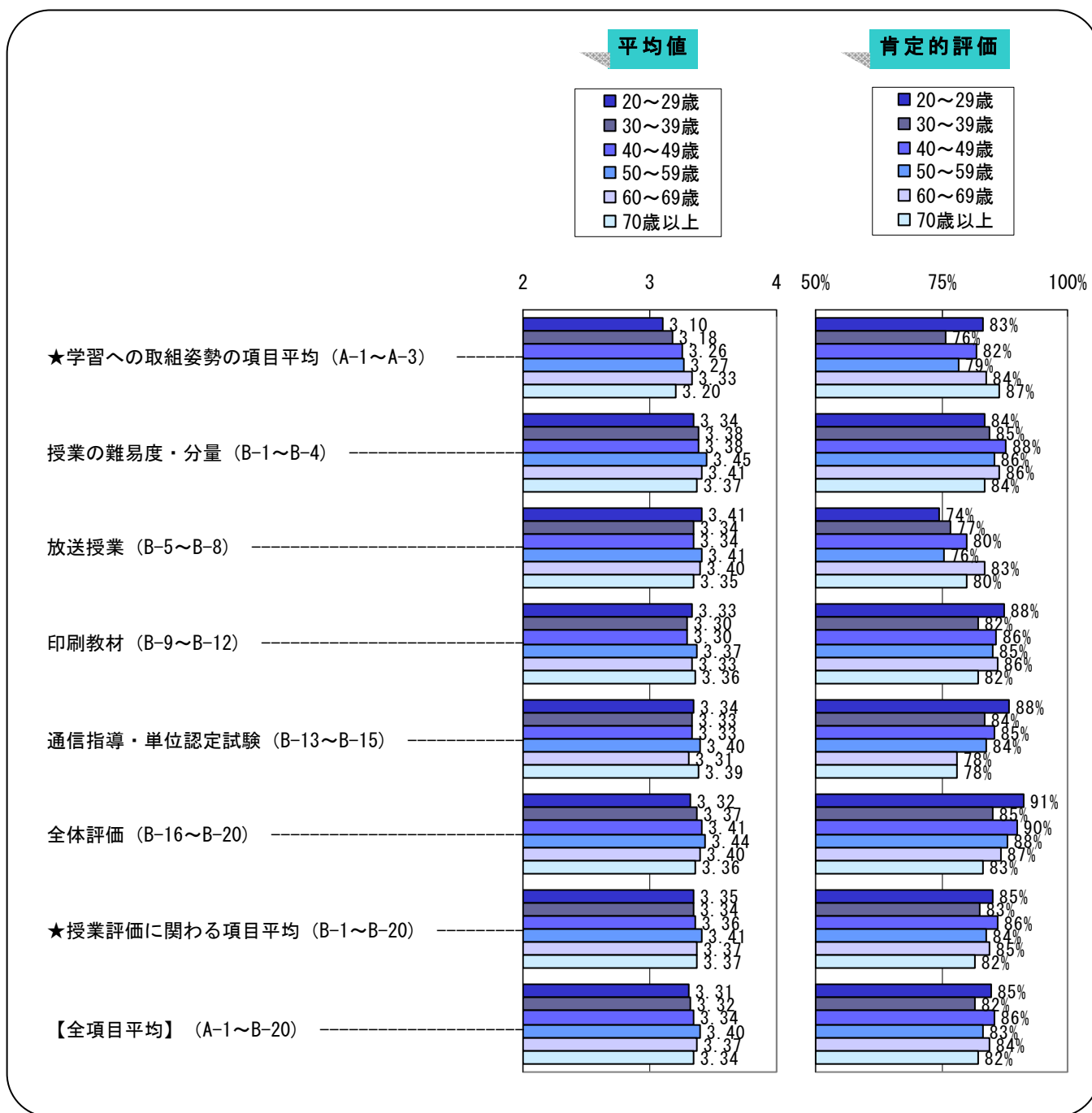
図2-50 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



回答者の年齢階層別に 2010 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2-5 1）、『学習への取組姿勢の項目平均』は、60 歳代、70 歳以上の評価がやや高くなっているが、年齢階層間の差はあまり大きくない。

『授業評価に関わる項目平均』も年配層ほど評価が高いが、やはり年齢階層間の差は小さいと言えよう。

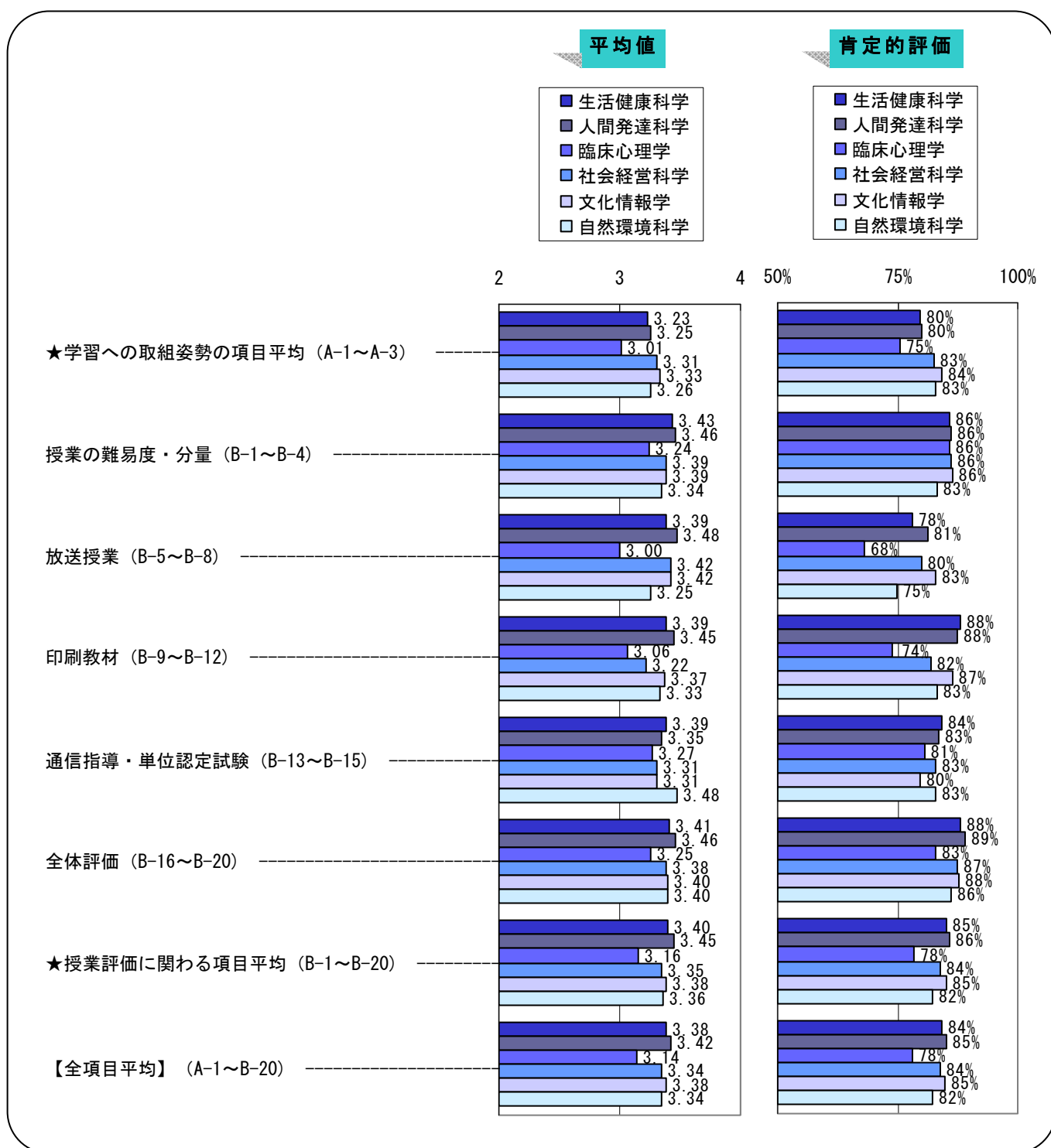
図 2-5 1 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属プログラム別に項目平均を見ると（図2-52）、『学習への取組姿勢の項目平均』は「社会経営科学」と「文化情報学」の値が高くなっている。

『授業評価に関わる項目平均』は「人間発達科学」と「文化情報学」の評価が高いが、他のプログラムに比べ「臨床心理学」の評価が低い。「臨床心理学」は、授業の難易度、放送授業、印刷教材のいずれも評価が低くなっており、改善が求められる。

図2-52 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向

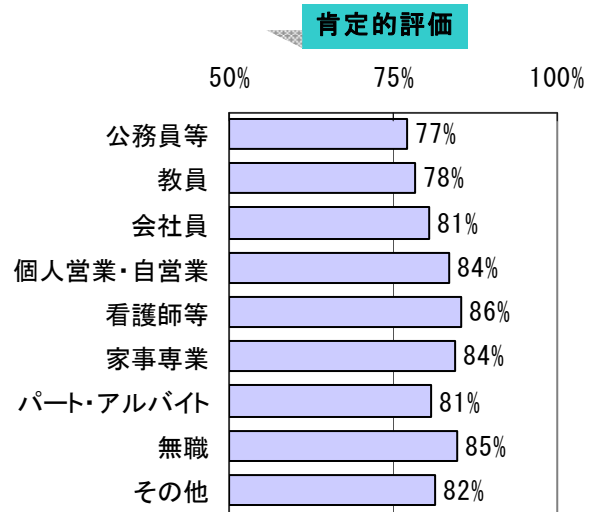
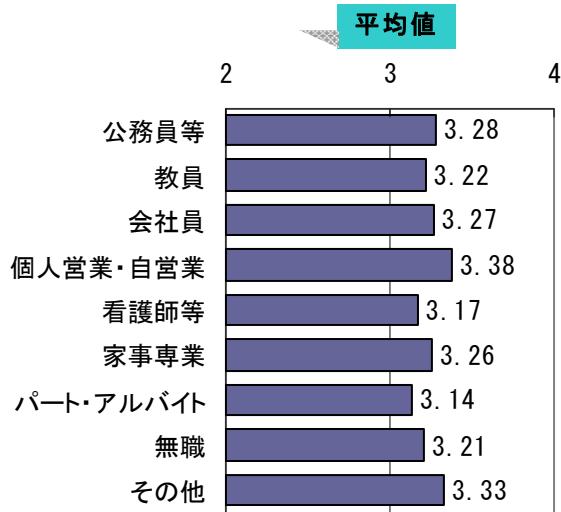


職業別に項目平均を見ると（次頁図2-53）、『学習への取組姿勢の項目平均』は「会社員」「個人営業・自営業」「公務員等」などで高く、「パート・アルバイト」で低くなっている。

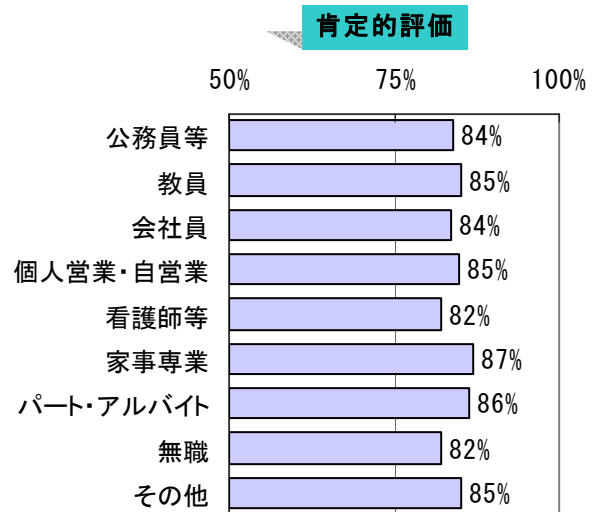
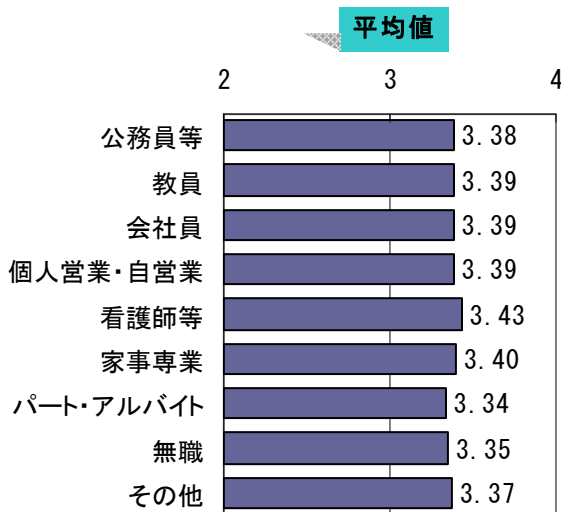
『授業評価に関わる項目平均』は、職業間の評価の差は比較的小さく、いずれの職業でも高い評価となっている。

図 2 - 5 3 【大学院】 項目平均による職業別全体的傾向

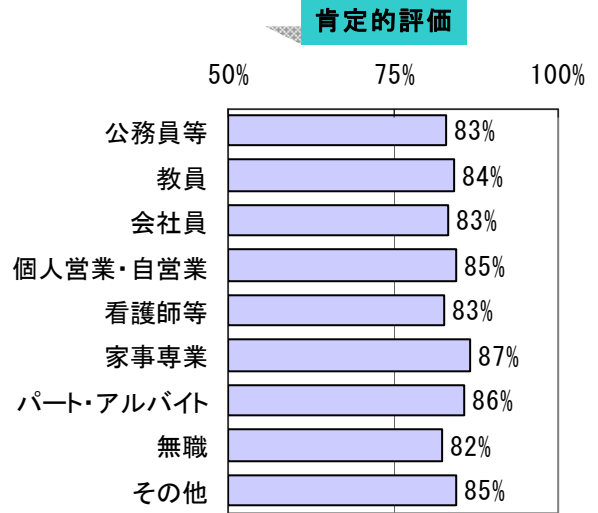
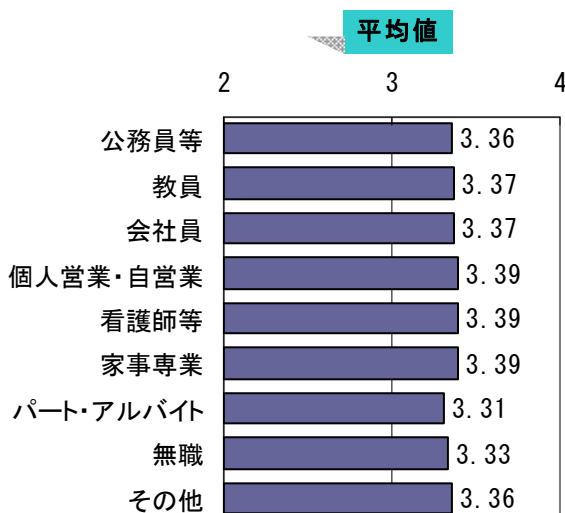
★学習への取組姿勢の項目平均(A-1～A-3)



★授業評価に関わる項目平均(B-1～B-20)



【全項目平均】(A-1～B-20)

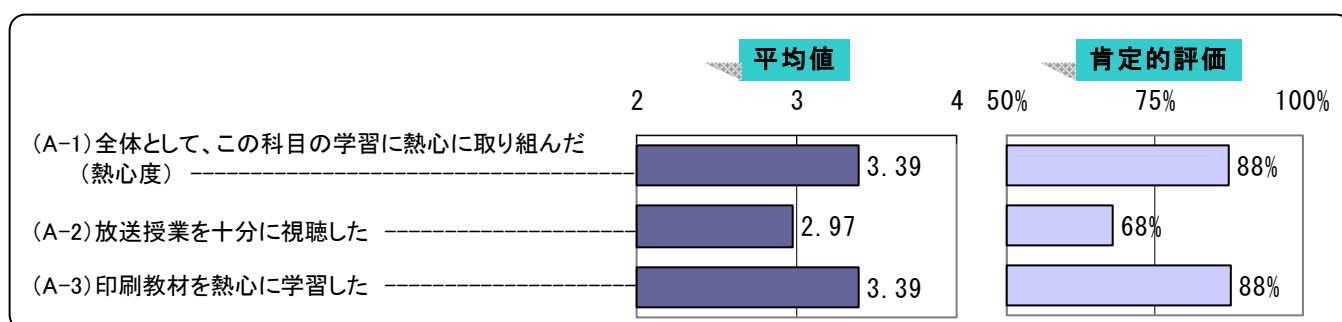


Ⅱ－２－２．学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

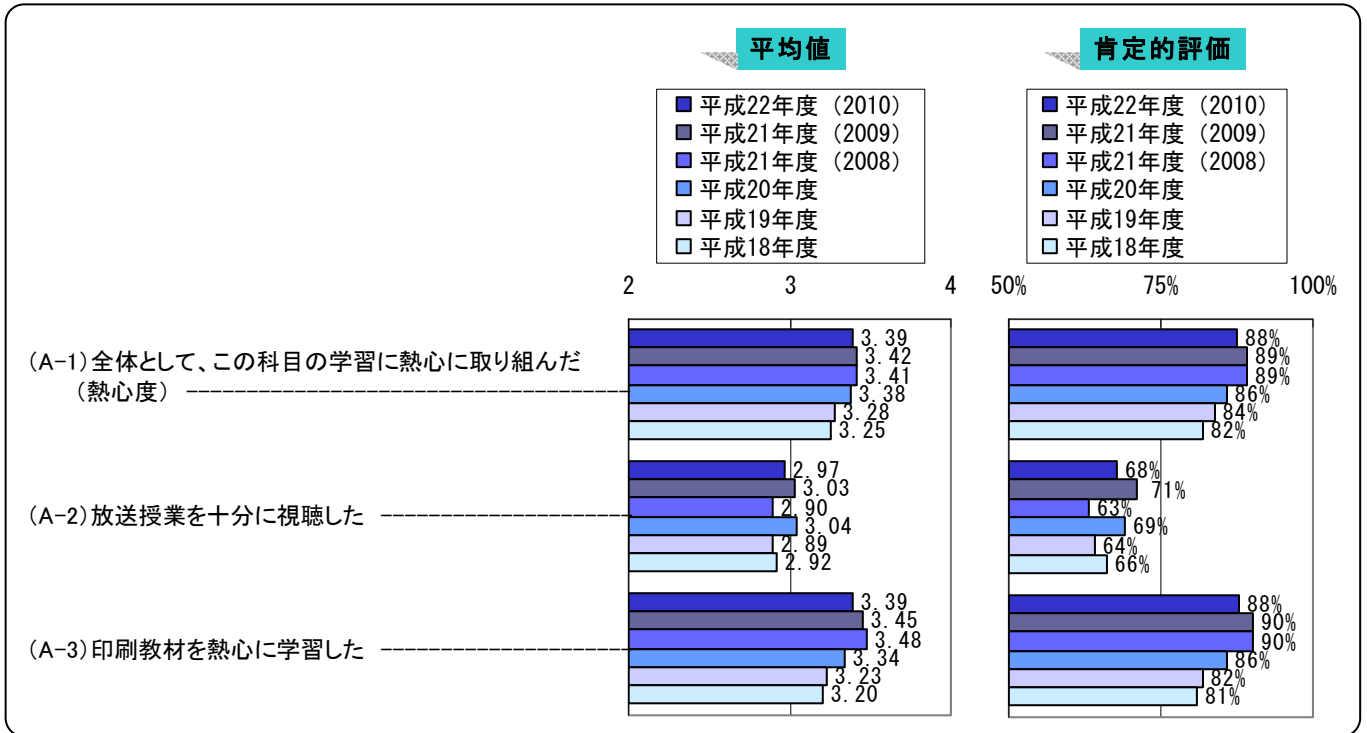
学習への取組姿勢（図 2－5 4）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、平均値 3.39、肯定的評価 88%で、熱心に学習されている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.39、肯定的評価 88%と非常に高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.97、肯定的評価 68%と低くなっている。学部と同様、全体としては熱心に学習に取り組んでいるものの、学習は印刷教材が中心となっている。印刷教材に比べ放送授業の視聴度合いがよくないのは、時間的な制約などもあるだろうが、放送授業そのものの出来栄も関係していると考えられるので、今後もより改善努力を進めるべきであろう。

図 2－5 4 【大学院】回答者全体の取組姿勢



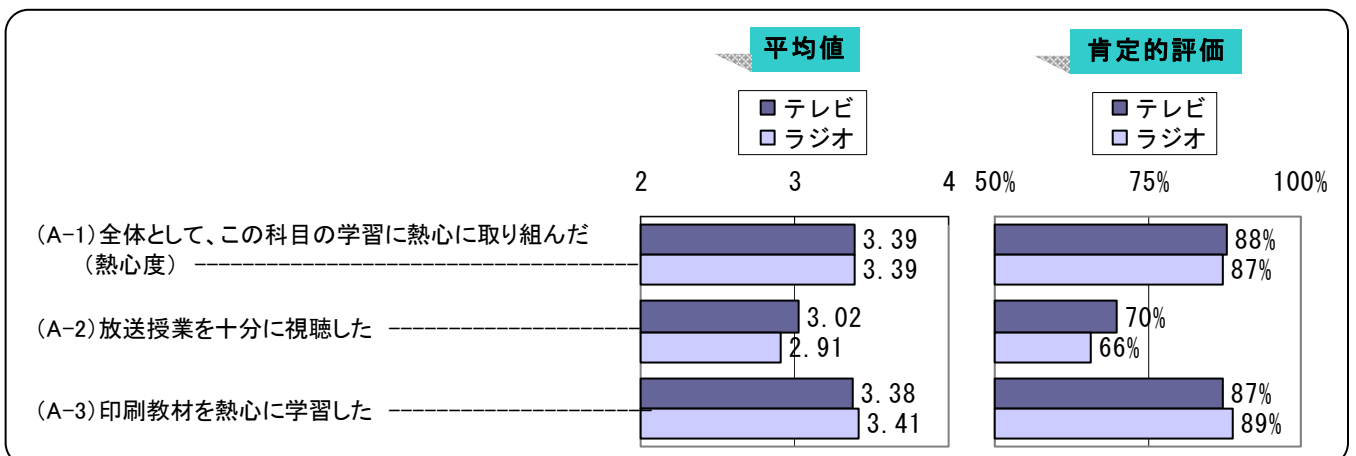
学習への取組姿勢を時系列で見ると（次頁図 2－5 5）、すべての内容において、やや低くなってしまった。取組姿勢は授業の出来栄によっても変化するが、調査年度によって上下動があるのは、大学院の調査対象の科目数が少ないため、特定の科目の影響が大きいことも影響していると考えられる。

図 2 - 5 5 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



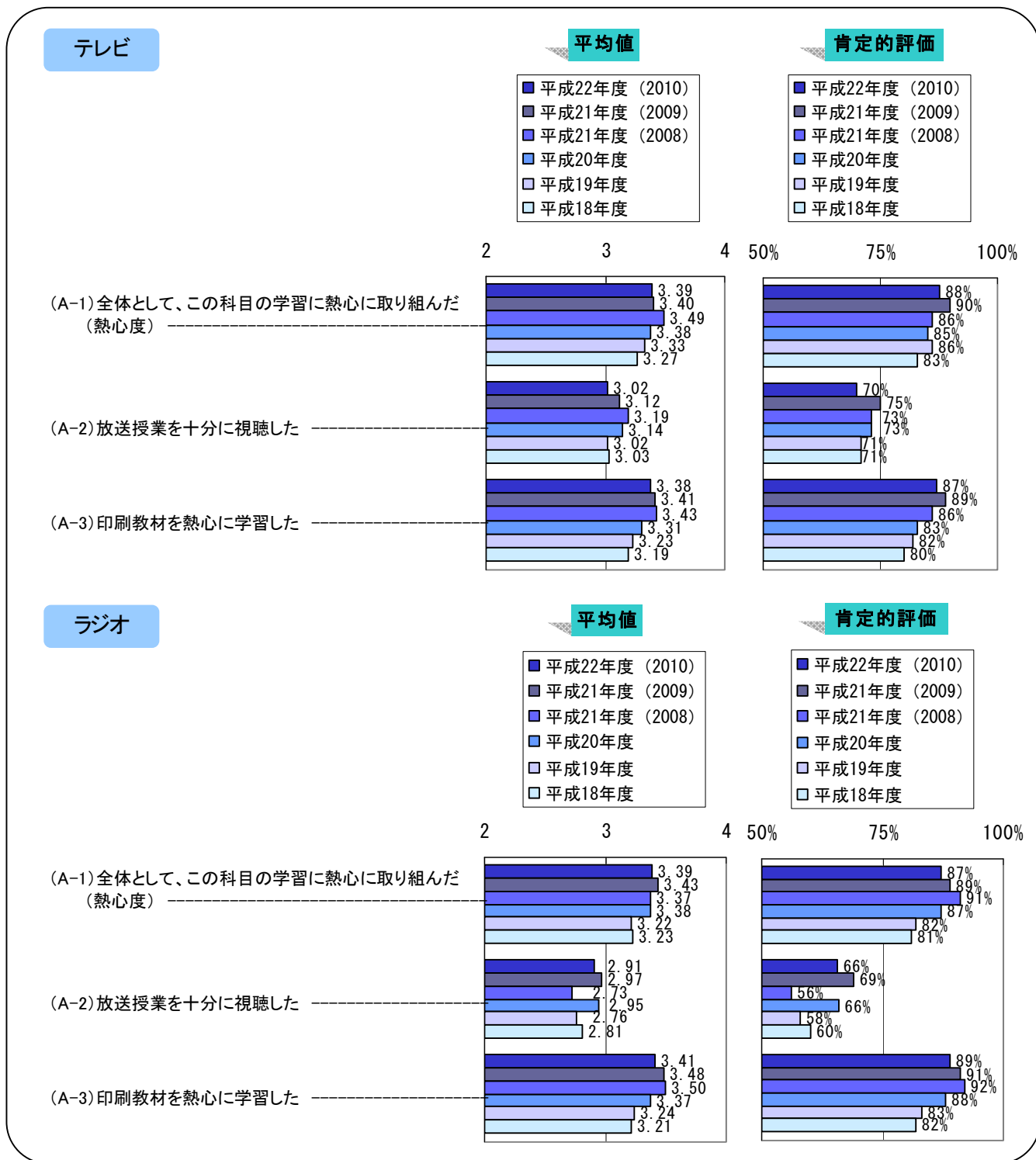
メディア別の取組姿勢を見ると（図 2 - 5 6）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、テレビ科目とラジオ科目で大きな差はないが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」ではラジオ科目がやや低くなっている。テレビ科目はまずまずの視聴度と言えるが、印刷教材の取組姿勢に比べるとよくない。今後もテレビ科目、ラジオ科目ともに授業の改善等によって、ラジオ科目の放送授業の視聴を上げていく必要があるだろう。

図 2 - 5 6 【大学院】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-57）、全体的にはテレビ科目、ラジオ科目とも年々取組姿勢が良くなる傾向にあったが、2010年度新規開設科目では下がってしまった。テレビ科目、ラジオ科目とも（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は、非常に高いレベルまで改善されているが、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、まだまだ不十分なレベルにあると言えよう。

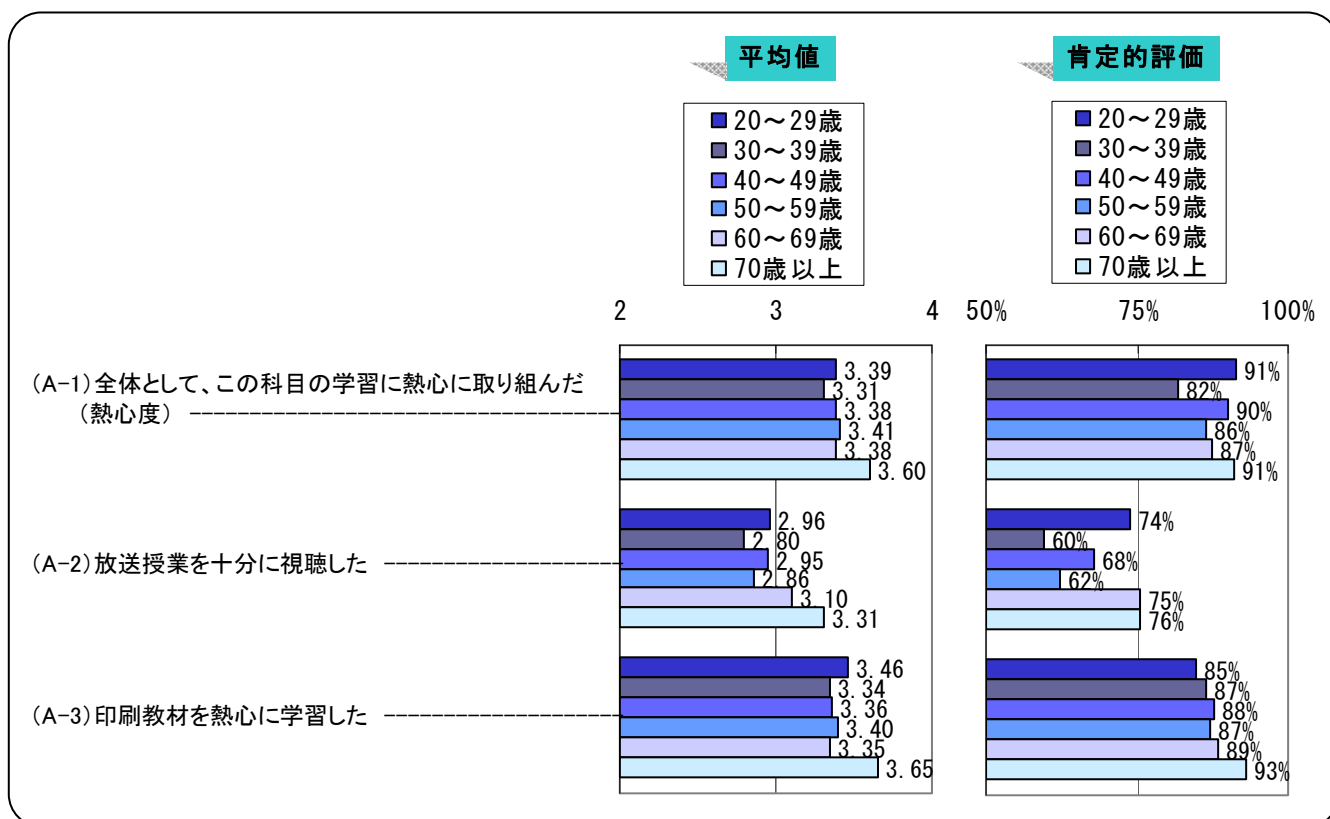
図2-57 【大学院】メディア別の取組姿勢（時系列）



年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-58）、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、20歳代と年配層で熱心に取り組んでいる人が多く、30歳代は少ない。

だが、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、年齢階層に関係なく熱心に取り組んだ人がかなり多くなっている。

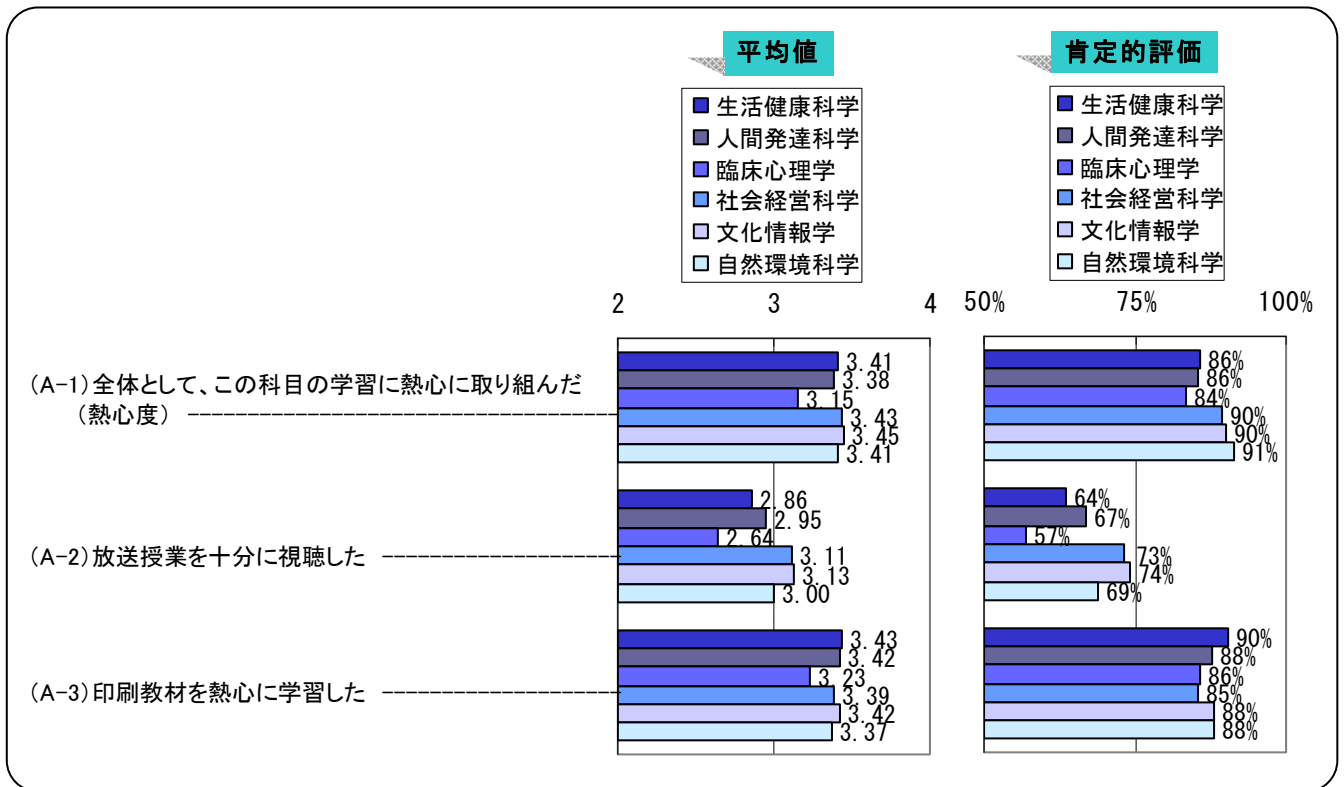
図2-58 【大学院】年齢階層別に取り組姿勢



所属プログラム別に取り組姿勢を見ると（図2-59）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」ではどのプログラムも高い値を示している。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」では、「文化情報学」が比較的良好に視聴されているが、「生活健康科学」と「臨床心理学」は特に視聴度合いがよくない。

図2-59 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢

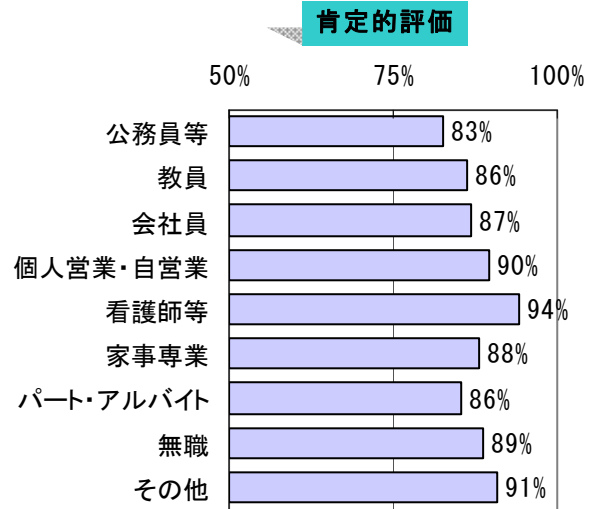
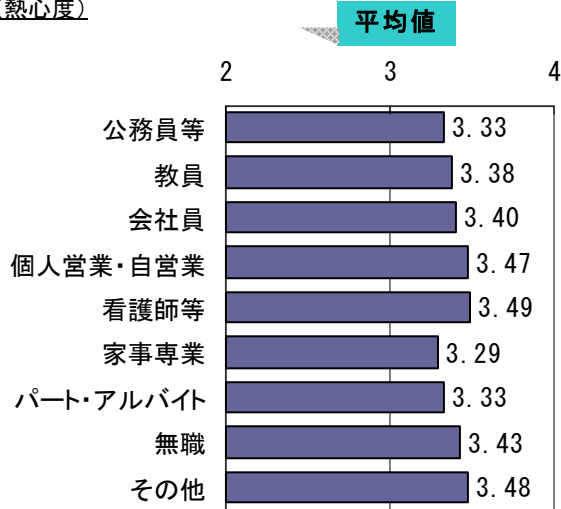


職業別に取り組姿勢を見ると（次頁図2-60）、こちらも（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」ではどの職業の人も取組姿勢は高い値を示している。

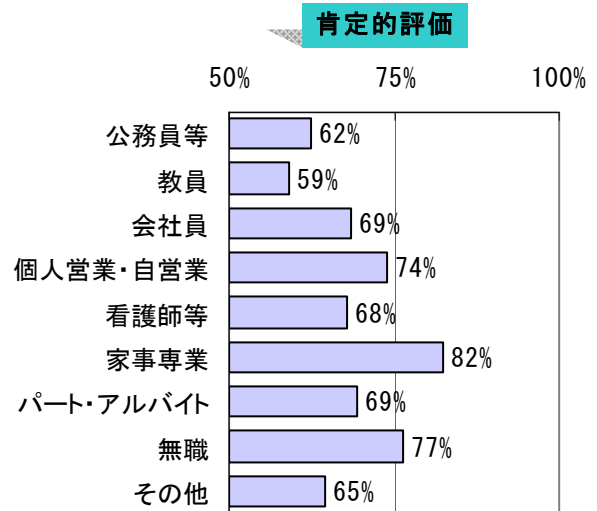
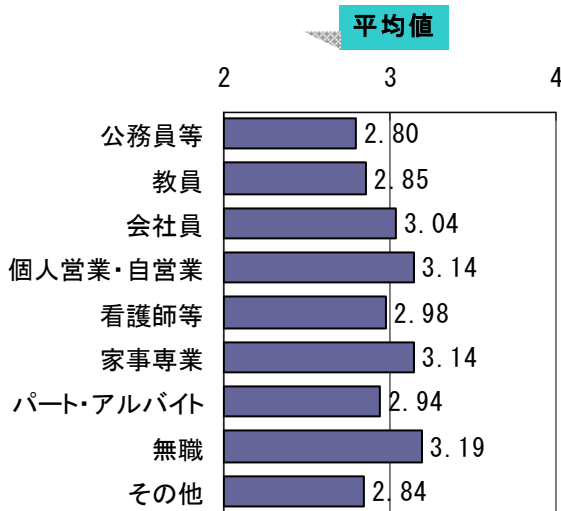
（A-2）「放送授業を十分に視聴した」では、「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」「無職」が比較的良好に視聴しているが、「公務員等」「教員」はあまり視聴していない。

図 2 - 6 0 【大学院】職業別の取組姿勢

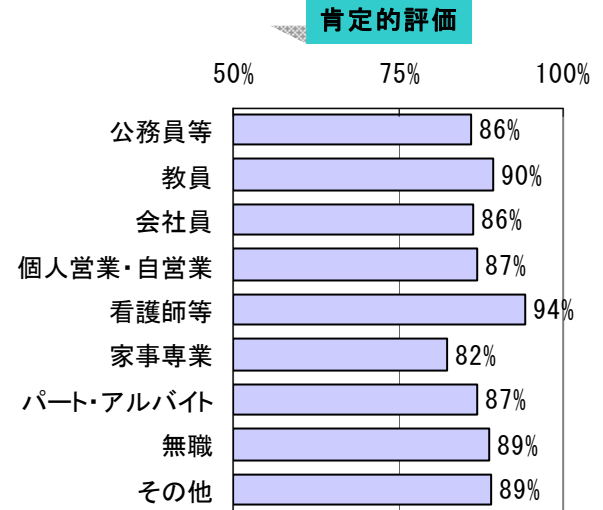
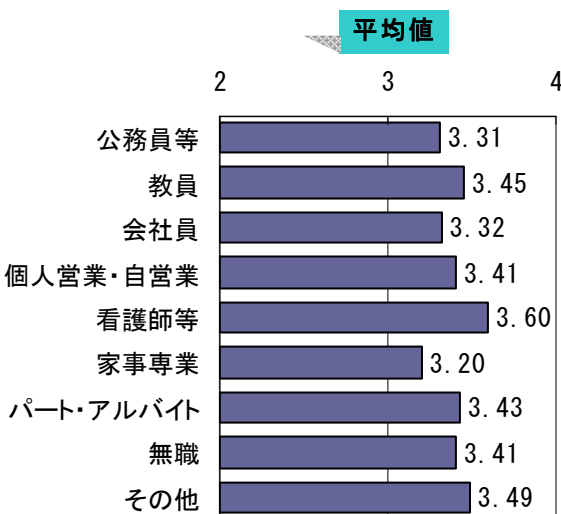
(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ
(熱心度)



(A-2) 放送授業を十分に視聴した

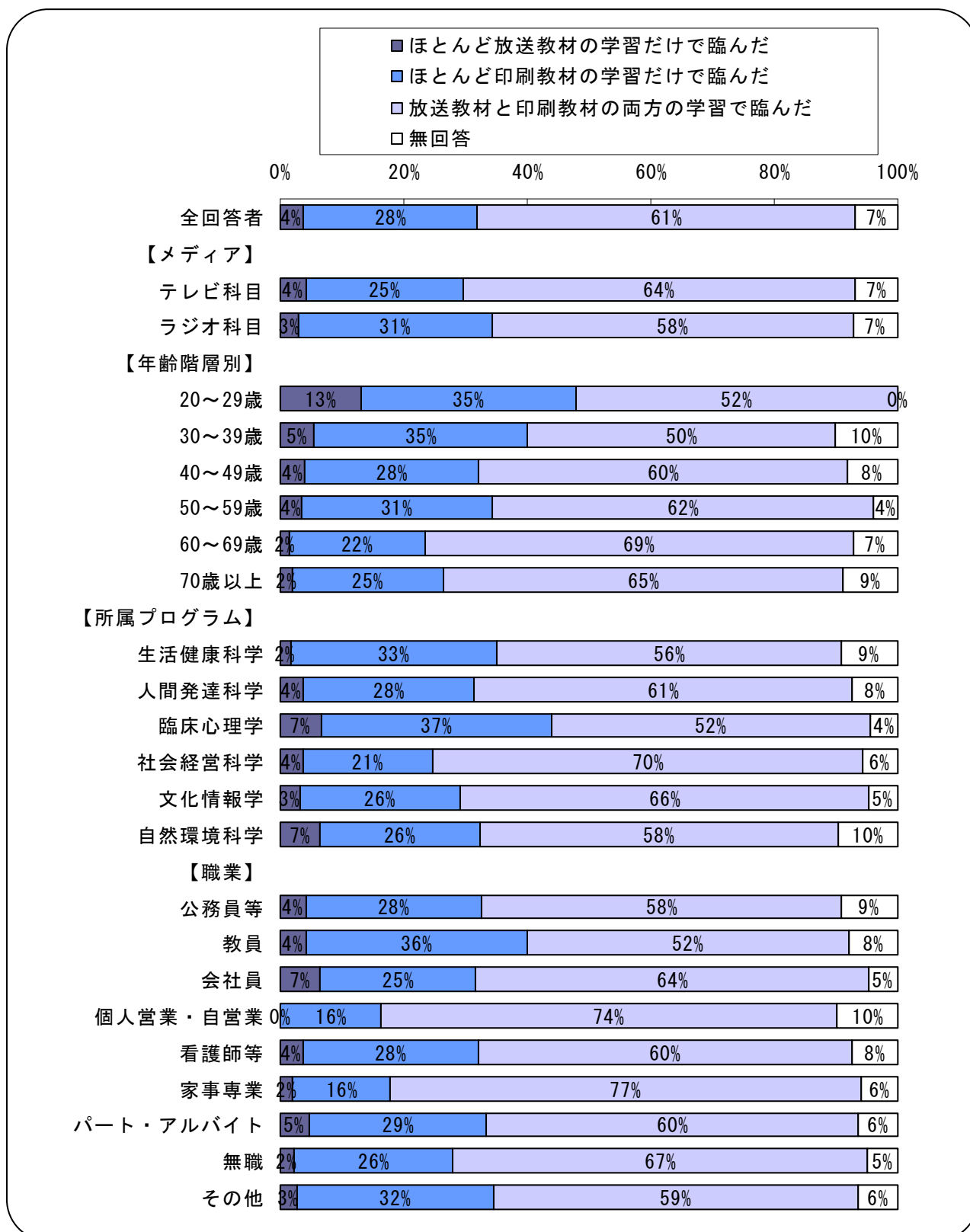


(A-3) 印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（図2-61）は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が61%と約2/3を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が28%となっている。「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が少ないのは、年齢階層別の20歳代、30歳代、それに職業別では教員である。

図2-61 【大学院】 単位認定のための学習方法



Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

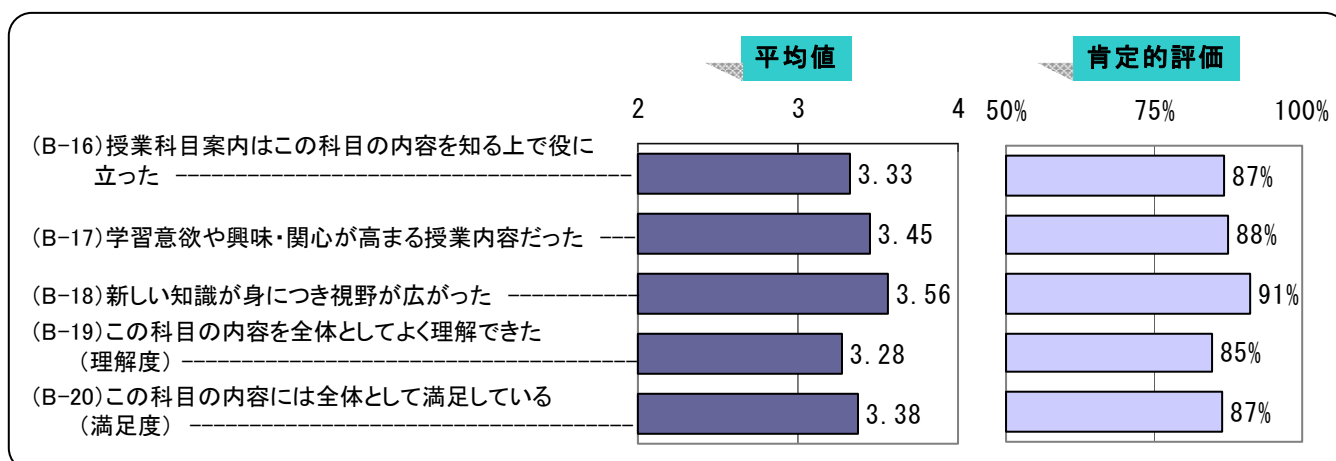
(1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価を見ると（図２－６２）、いずれの項目も高い評価となっている。特に（B-18）「新しい知識が身につき視野が広がった」は、平均値 3.56、肯定的評価 91%と非常に高くなっている。

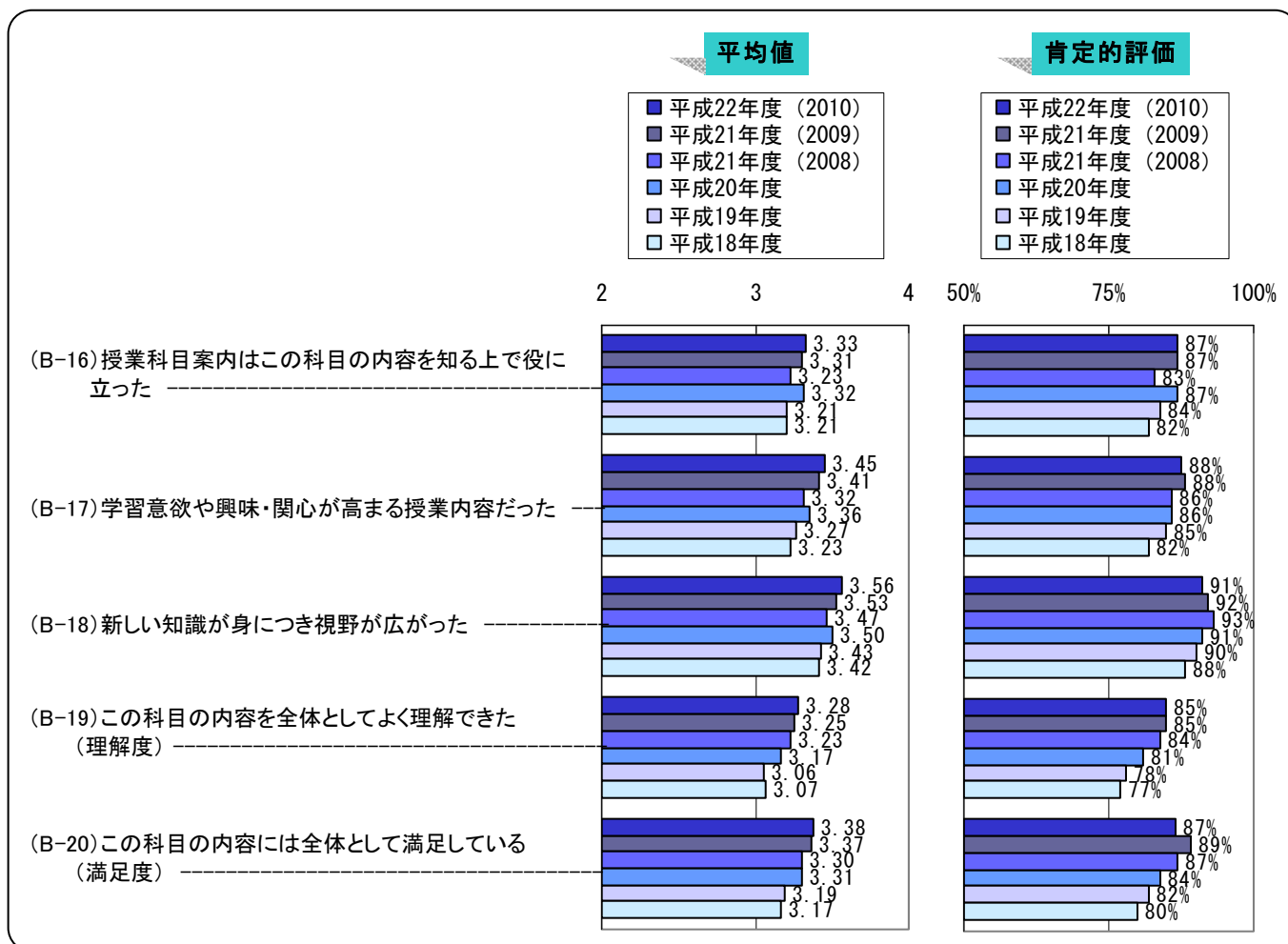
（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」も平均値 3.38、肯定的評価 87%と高い満足度を示している。ただ（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、平均値 3.28、肯定的評価 85%と、満足度に比べるとやや低い。

図 2－6 2 【大学院】回答者全体の全体評価



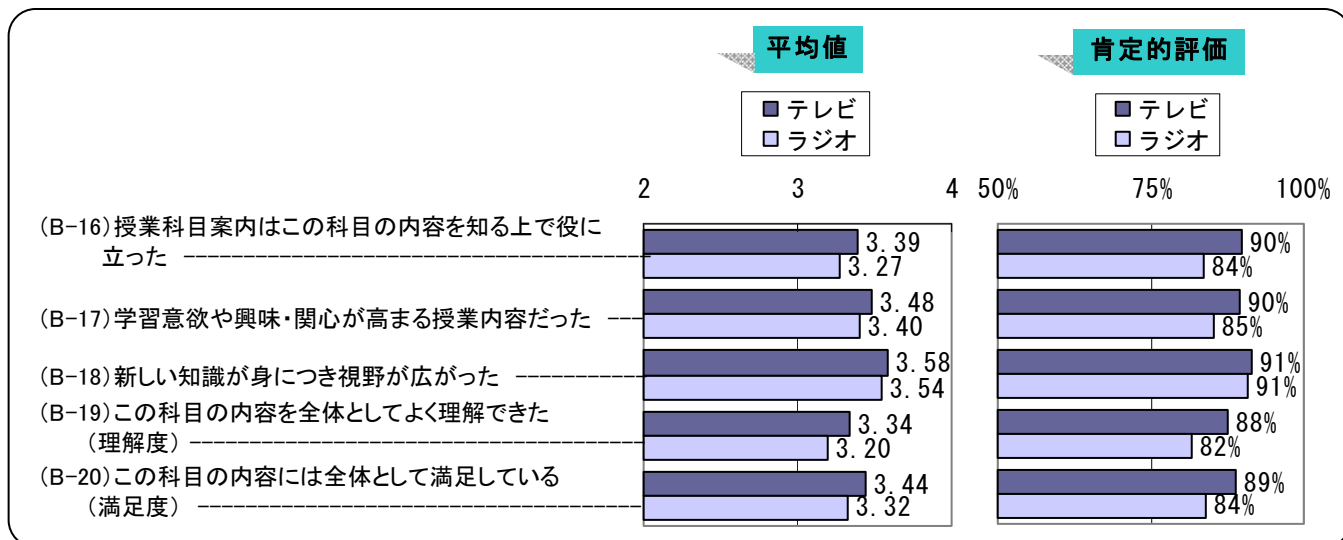
全体評価を時系列で見ると（図2-63）、いずれの項目も評価が上昇傾向にあると言える。特に（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」の上昇している。

図2-63 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図2-64）、いずれの項目も、ラジオ科目よりテレビ科目の方が若干評価は高い。

図2-64 【大学院】メディア別の全体評価



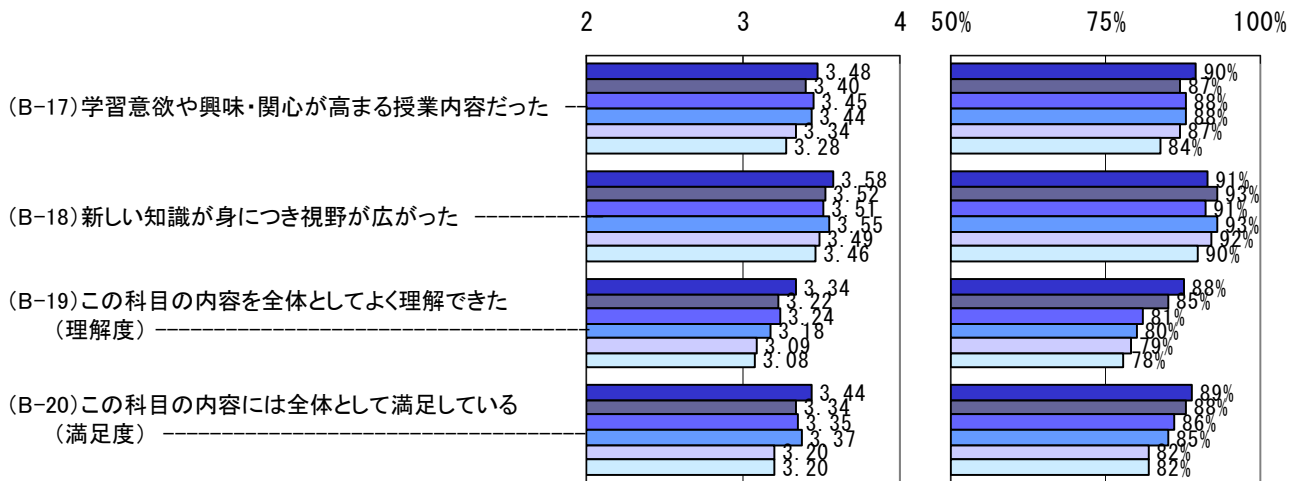
メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図2-65）、テレビ科目は、いずれの項目も平成20年度調査（2007年新規開設科目）以降、評価がほぼ横ばいで、やや伸び悩んでいたが、今年度は上昇している。ラジオ科目は、やや評価が下降気味である。

図 2 - 6 5 【大学院】メディア別の全体評価（時系列）

テレビ

平均値

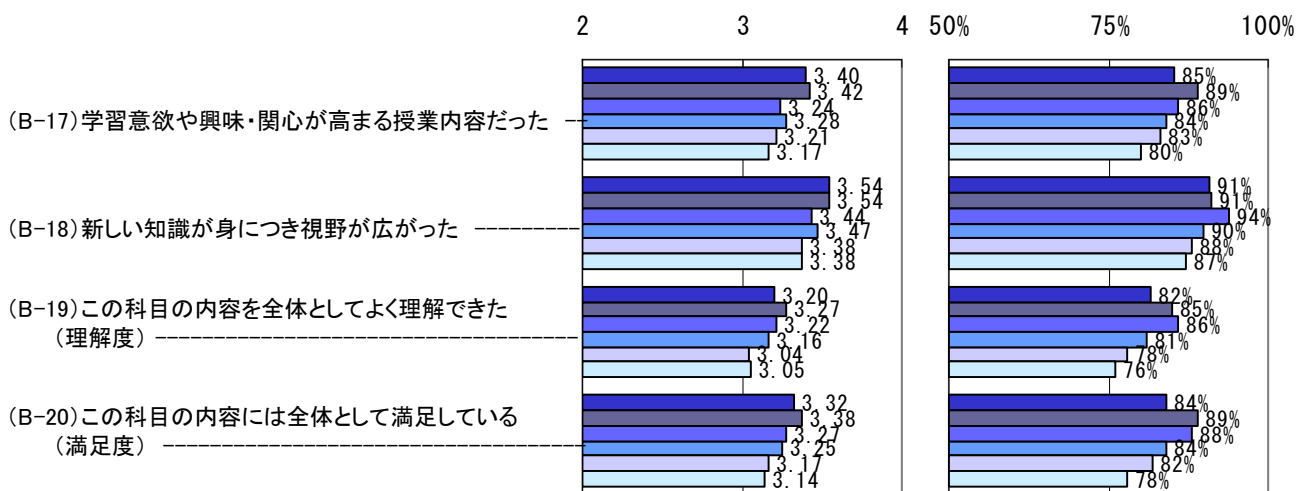
肯定的評価



ラジオ

平均値

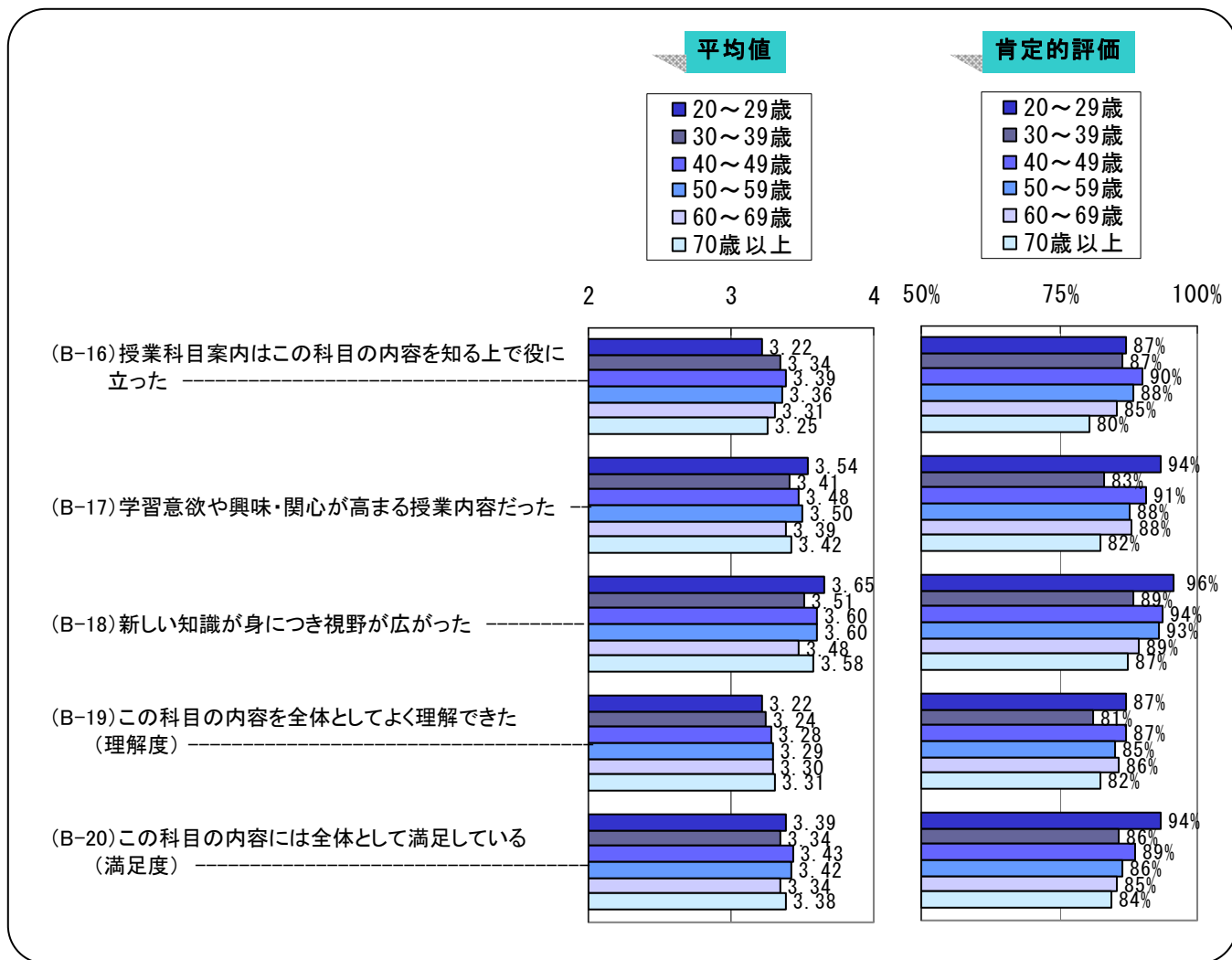
肯定的評価



年齢階層別に全体評価を見ると（図2-66）、全体的には年齢階層間の差は比較的小さいと言える。

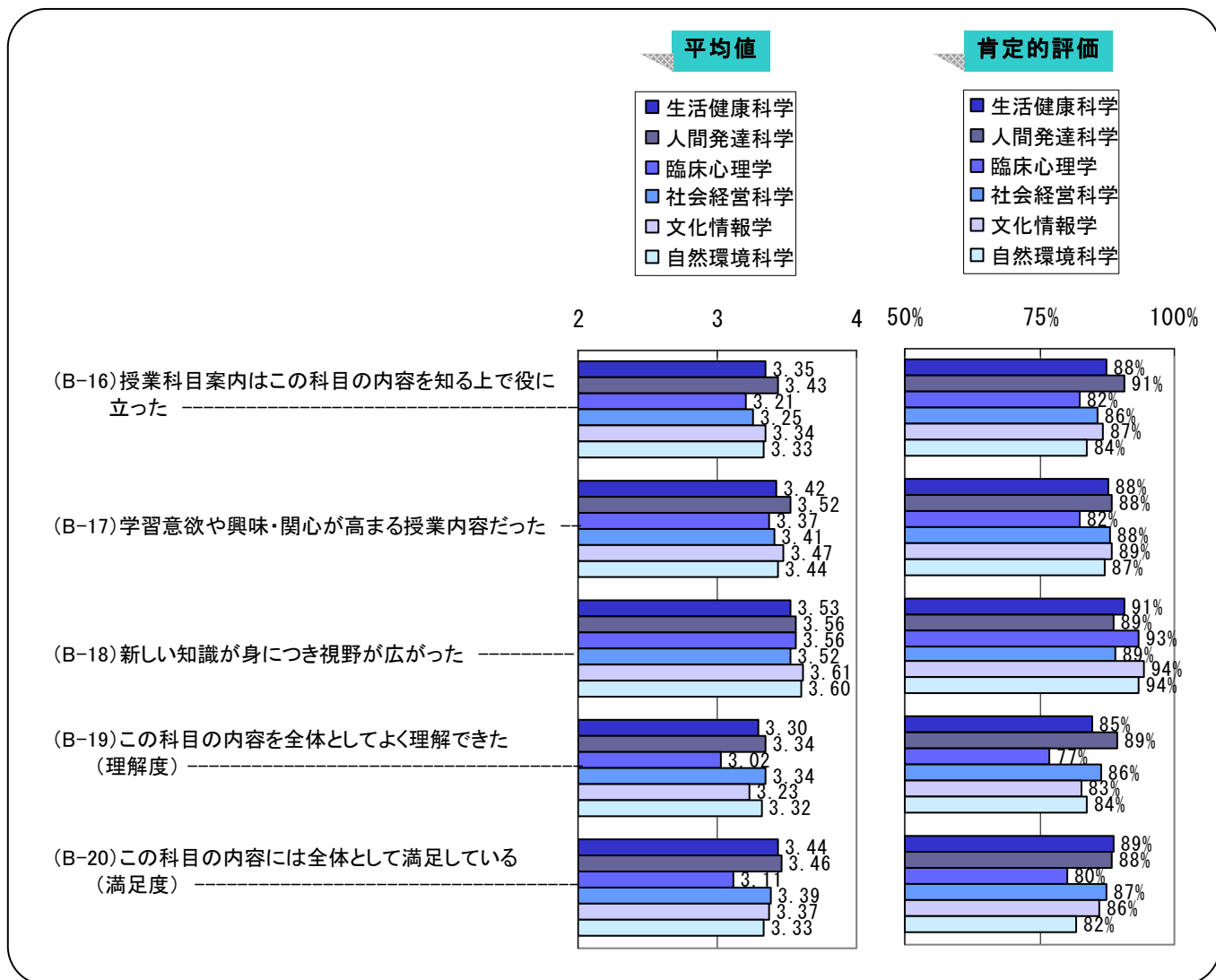
（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」では、20歳代と50歳代の評価がやや高い。また（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は年齢階層間の差は小さいのが特徴である。

図2-66 【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価を見ると（図 2-67）、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、どのプログラムでも評価が非常に高く、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「人間発達科学」と「文化情報学」で非常に評価が高くなっている。(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、「生活健康科学」「人間発達科学」「社会経営科学」の評価が高く、「臨床心理学」の評価が他のプログラムより低くなっている。

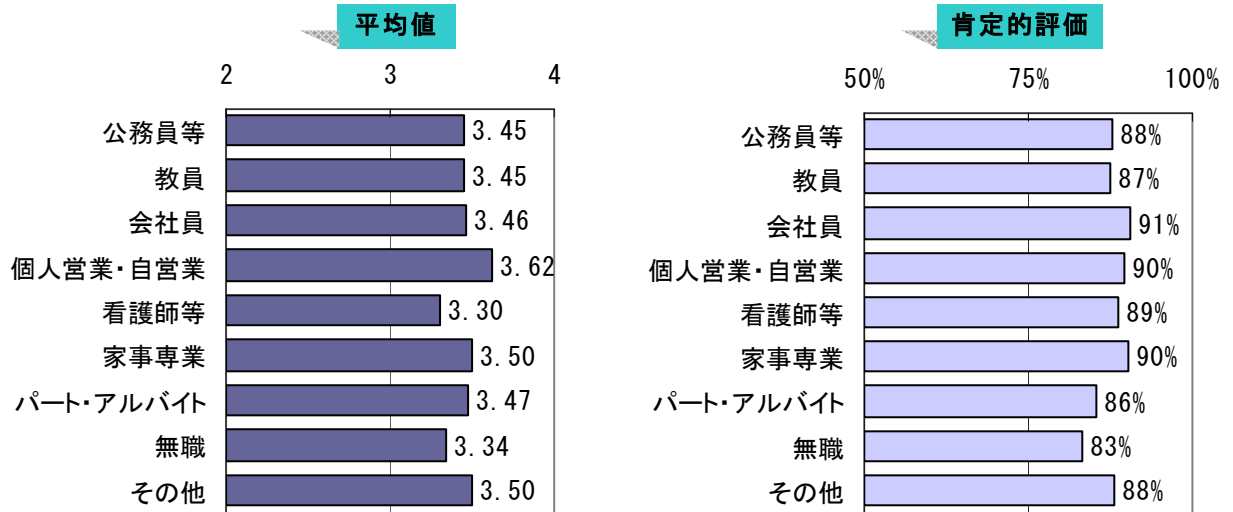
図 2-67 【大学院】所属プログラム別の全体評価



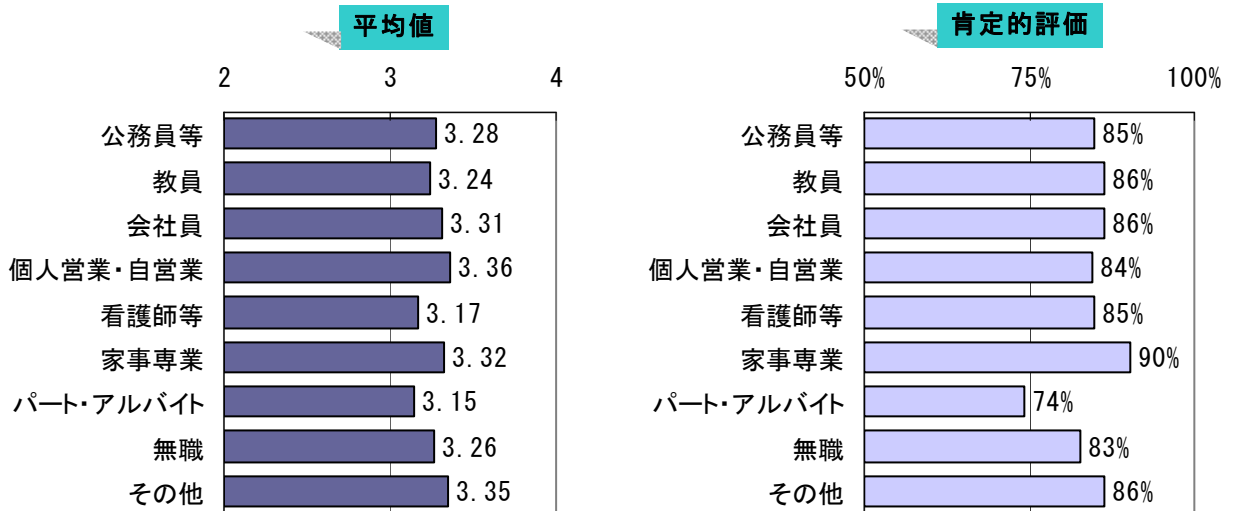
職業別に全体評価を見ると（次頁図 2-68）、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「個人営業・自営業」「家事専業」「パート・アルバイト」の評価が高い。また (B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」においても評価が高いのは、「個人営業・自営業」「家事専業」「パート・アルバイト」などである。

図 2 - 6 8 【大学院】職業別の全体評価

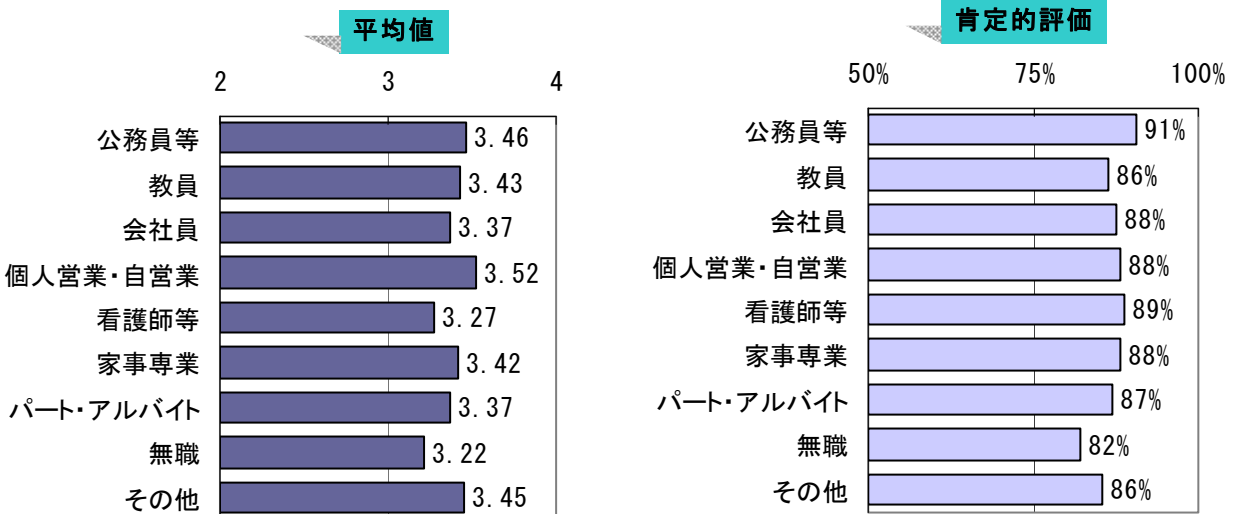
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)

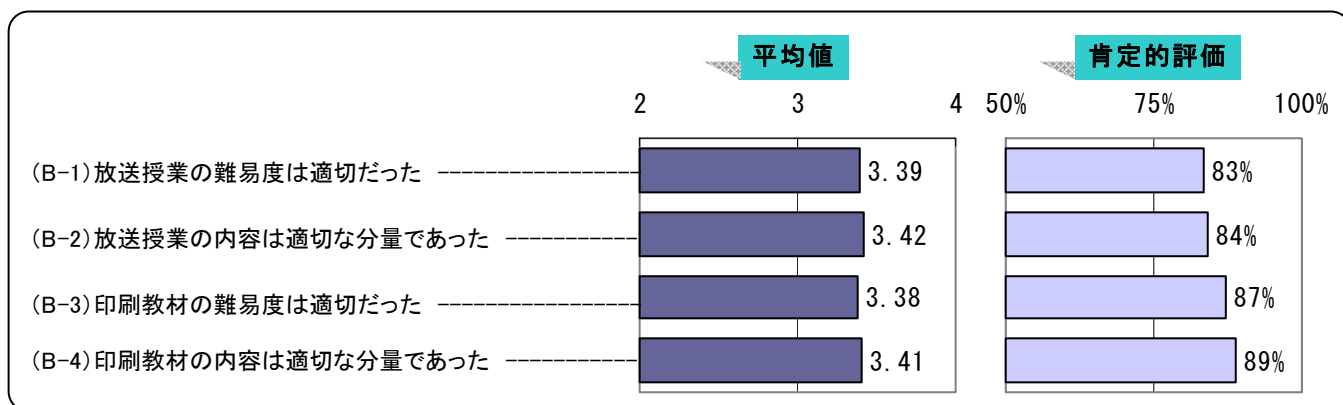


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

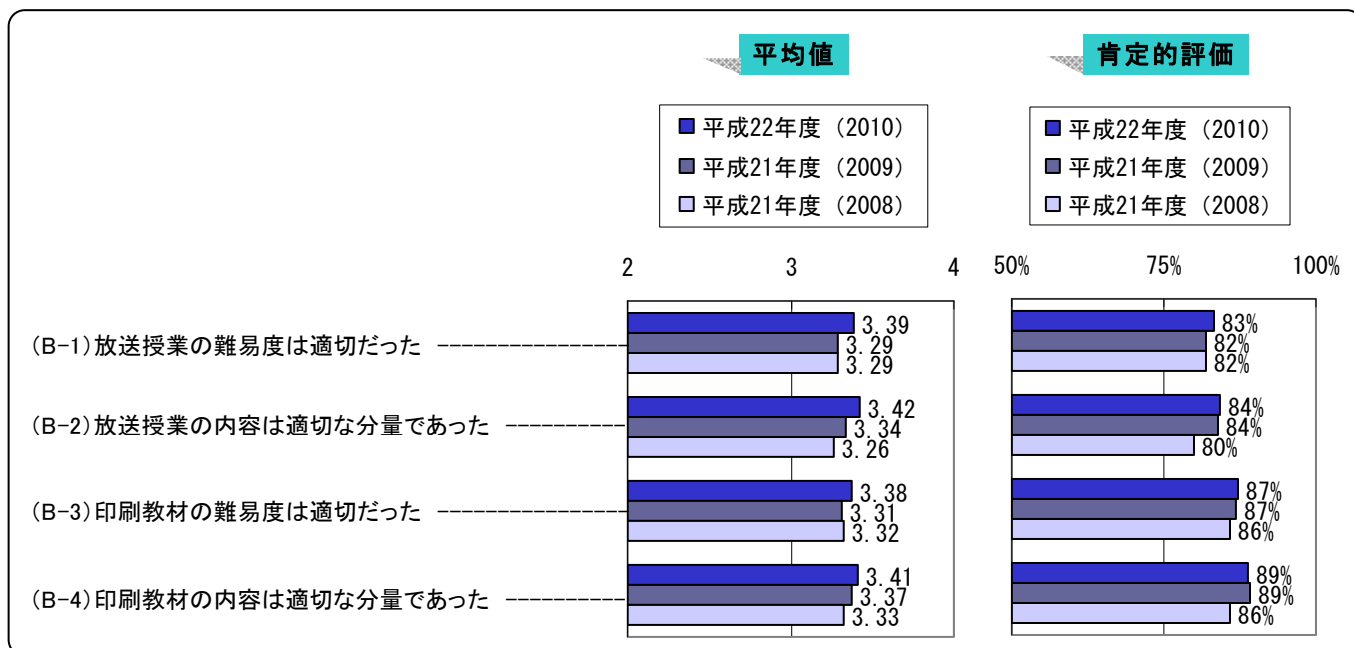
授業の難易度・分量の評価は(図2-69)、いずれも高い評価となっている。ただし、印刷教材に比べ、放送授業は肯定的評価において難易度・分量ともやや低く、改善が求められる。

図2-69 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



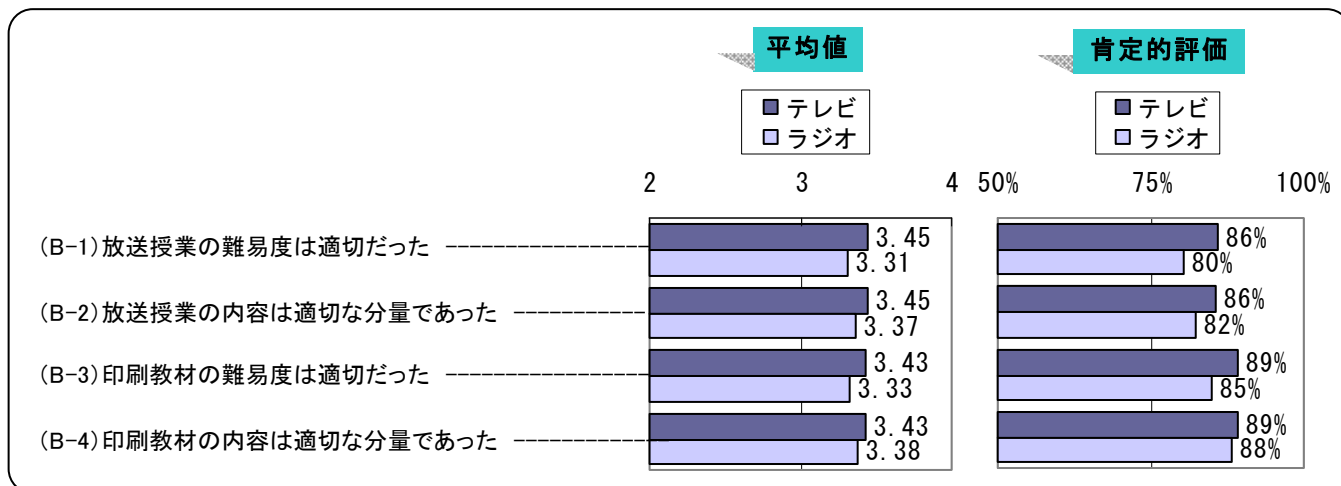
授業の難易度・分量の評価を開設年度で比較すると(図2-70)、放送授業、印刷教材とも難易度・分量に関して評価がやや向上している。

図2-70 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-71）、全ての項目において、テレビ科目の方が評価が高くなっている。

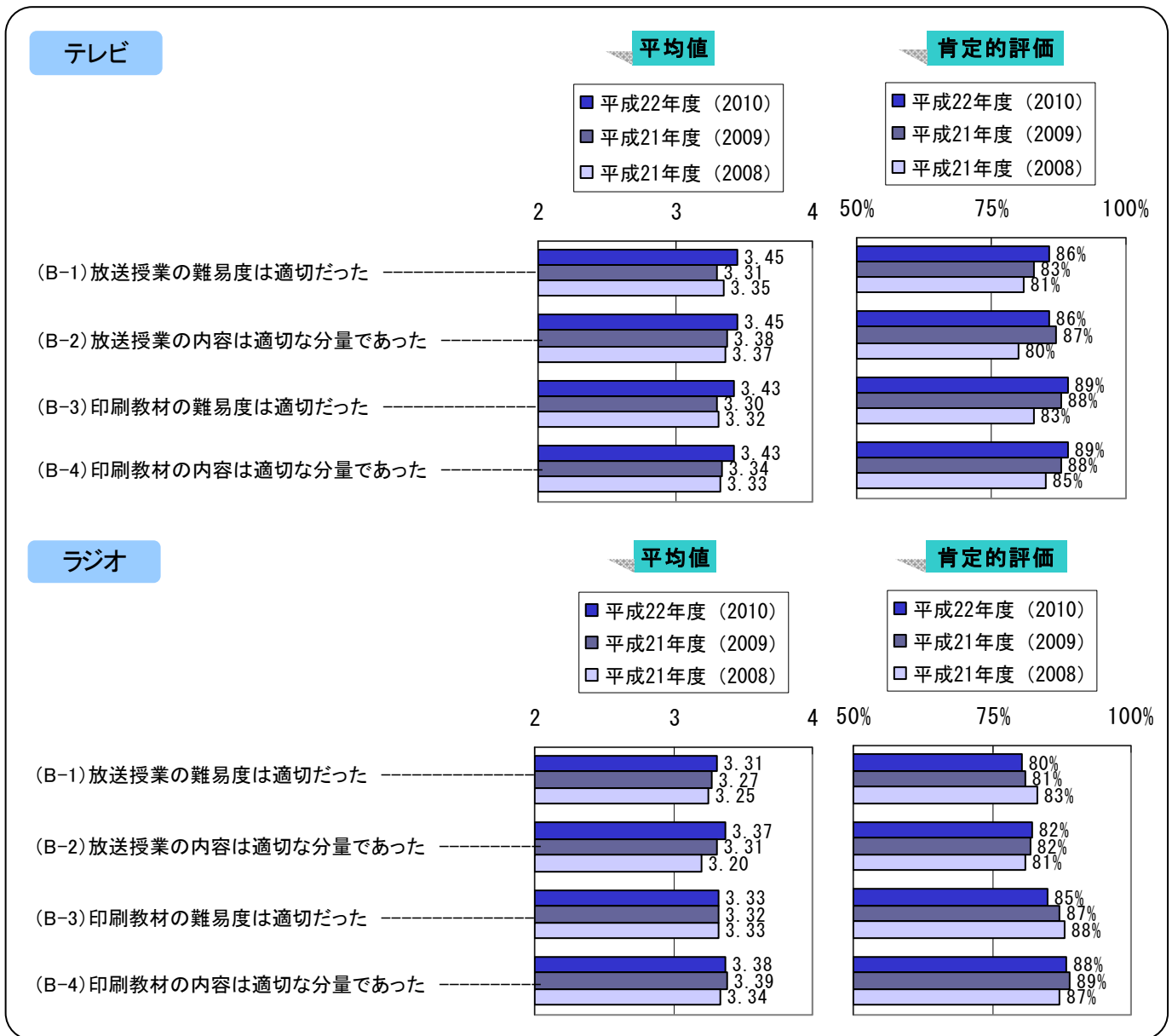
図2-71 【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-72）、テレビ科目は、平均値・肯定的評価のいずれも評価が向上している。

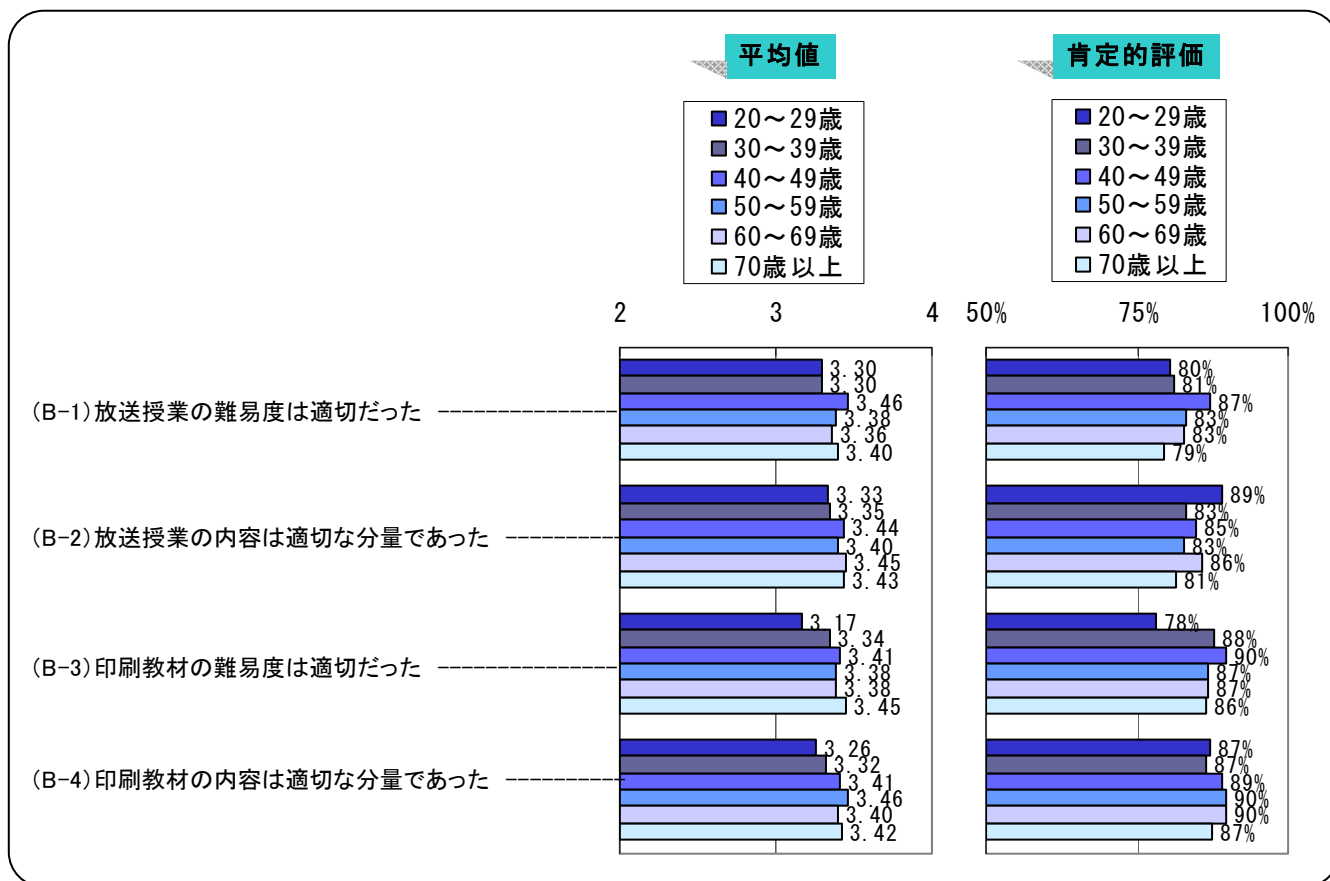
一方、ラジオ科目は、放送授業・印刷教材とも難易度・分量ともに評価がほぼ横ばいである。

図2-72 【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



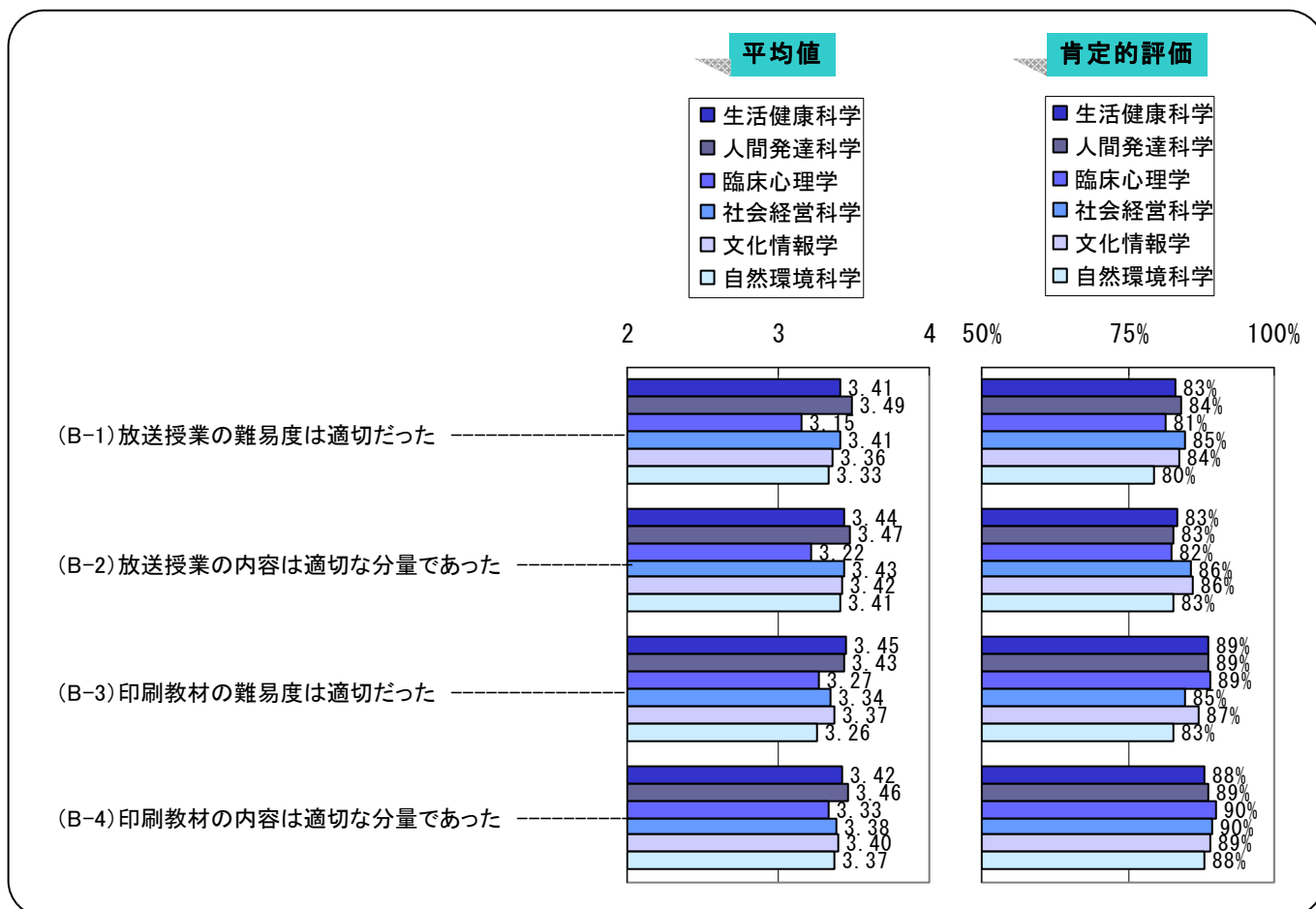
年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-73）、放送授業の難易度と分量は40歳代から年配層にかけて評価が高くなっている。また印刷教材の難易度と分量は、40歳代と50歳代の評価が非常に高い。

図2-73 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図2-74）、いずれも、「生活健康科学」と「人間発達科学」の評価が高く、「臨床心理学」の評価が低くなっている。「臨床心理学」は特に難易度の評価が低く、説明方法などの工夫が必要であろう。

図2-74 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価

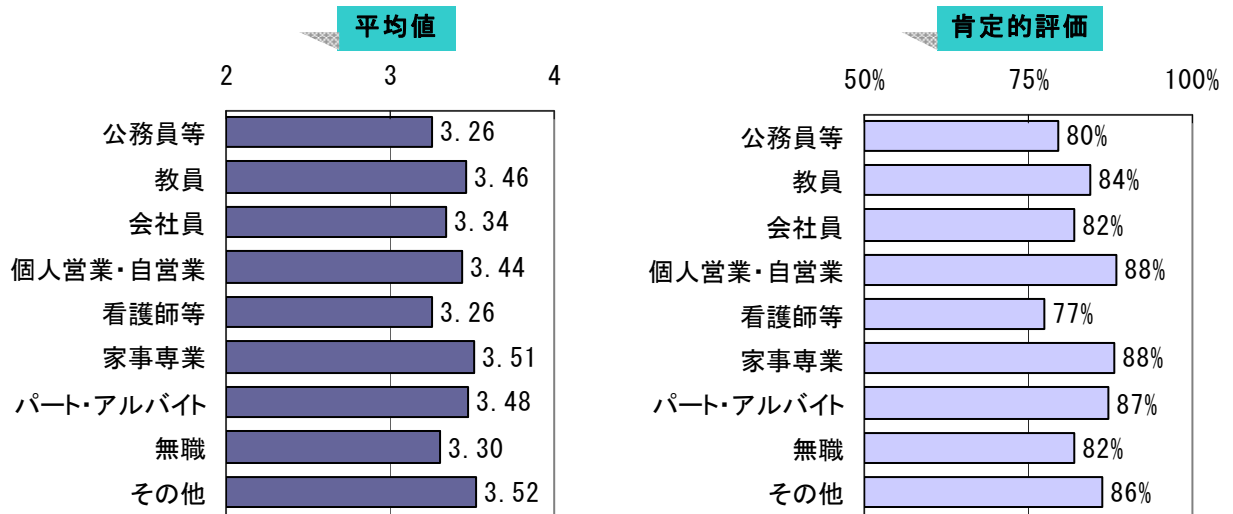


職業別に授業の難易度・分量を見ると（次頁図2-75）、放送授業の難易度は、「家事専業」「教員」「パート・アルバイト」など放送授業の視聴度の高い層で評価が高くなっている。

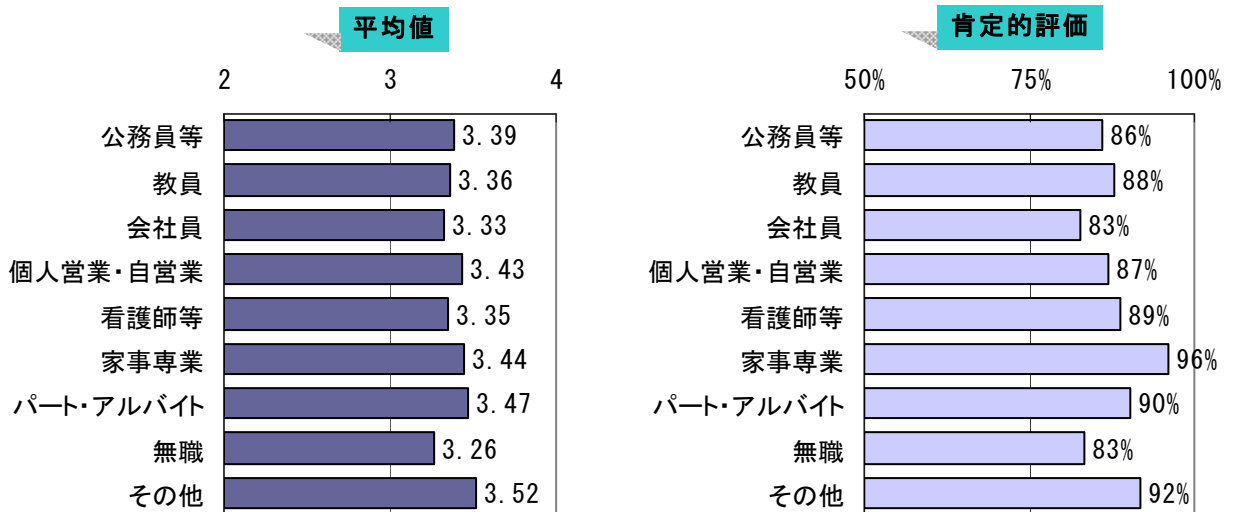
印刷教材の難易度は、「パート・アルバイト」「家事専業」「個人営業・自営業」の評価が高くなっている。

図 2 - 7 5 【大学院】職業別の授業難易度・分量の評価

(B-1)放送授業の難易度は適切だった



(B-3)印刷教材の難易度は適切だった

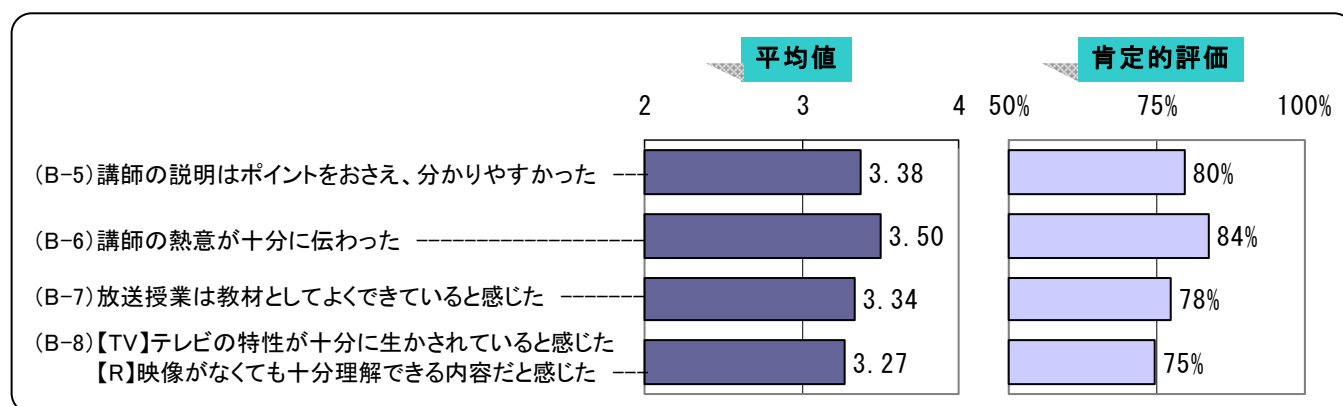


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

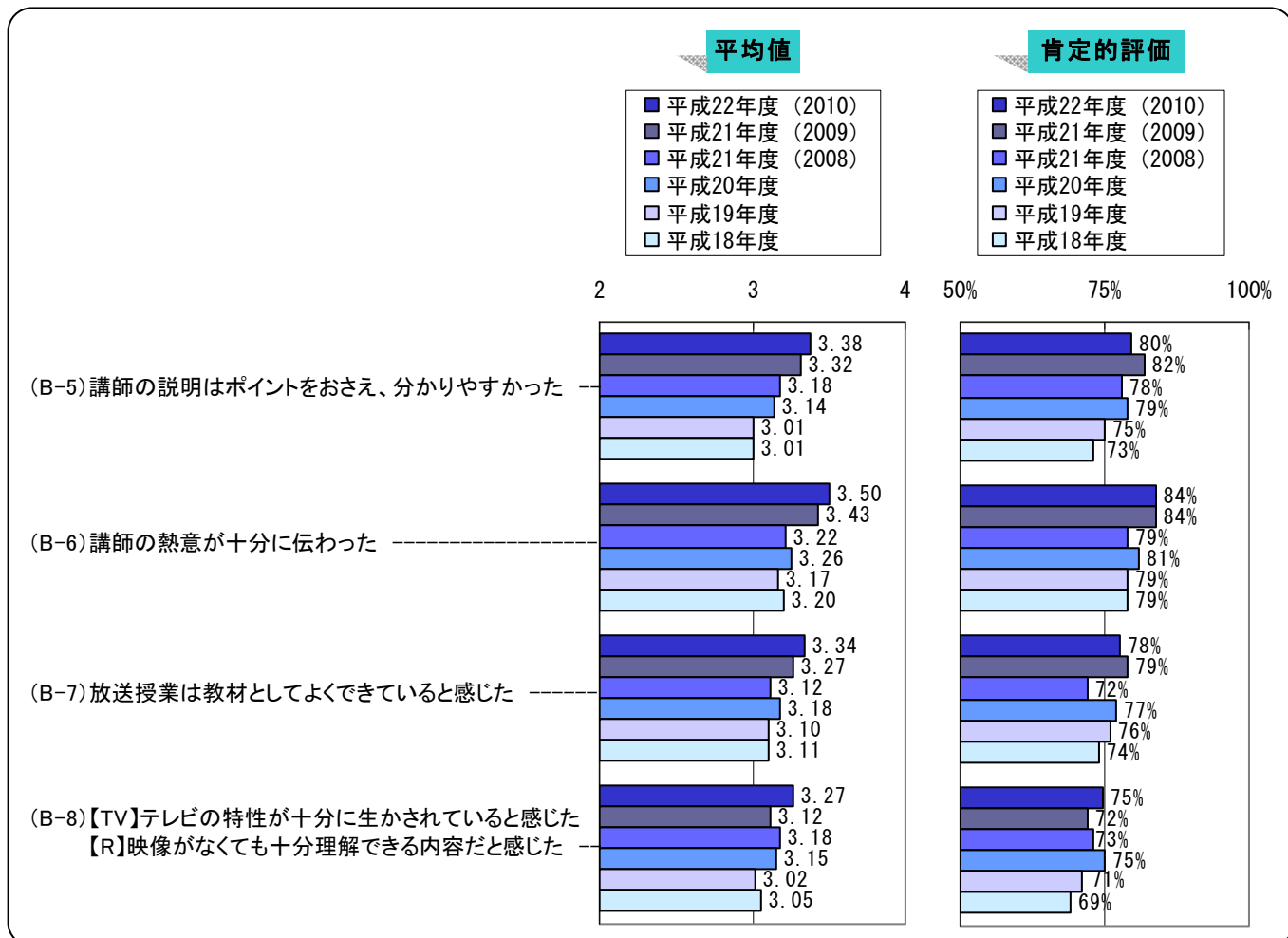
放送授業に関する評価項目を見ると(図2-76)、放送授業の総合評価でもある(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.34、肯定的評価 78%と比較的高くなっている。また(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が最も評価が高く、平均値 3.50、肯定的評価 84%となっており、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」も平均値 3.38、肯定的評価 80%と高くなっている。一方、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、平均値 3.27、肯定的評価 75%にとどまっている。

図2-76 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



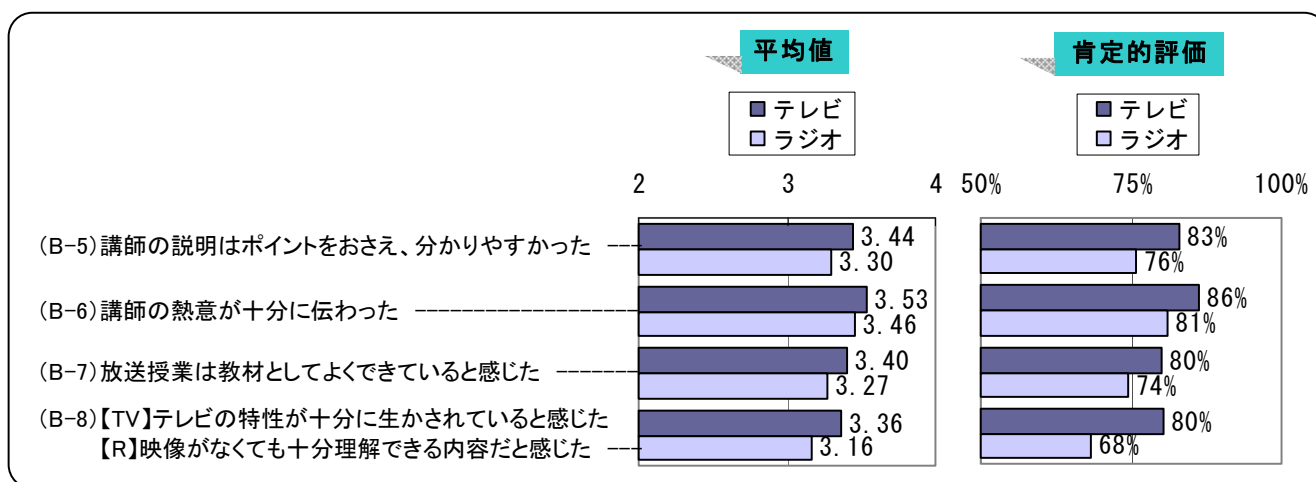
放送授業の評価を時系列で見ると（図2-77）、今年度の調査では全ての項目で評価が上がっている。改善された結果であろう。

図2-77 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の評価を見ると（図2-78）、テレビ科目はいずれの項目も高い評価を得ているものの、ラジオ科目はテレビ科目に比べ評価が低くなっている。特に（B-8）「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価が低く、ラジオ科目の改善ポイントと言える。

図2-78 【大学院】メディア別の放送授業の評価



メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（次頁図2-79）、テレビ科目は、平均値では僅かずつではあるが評価が上昇傾向にある。

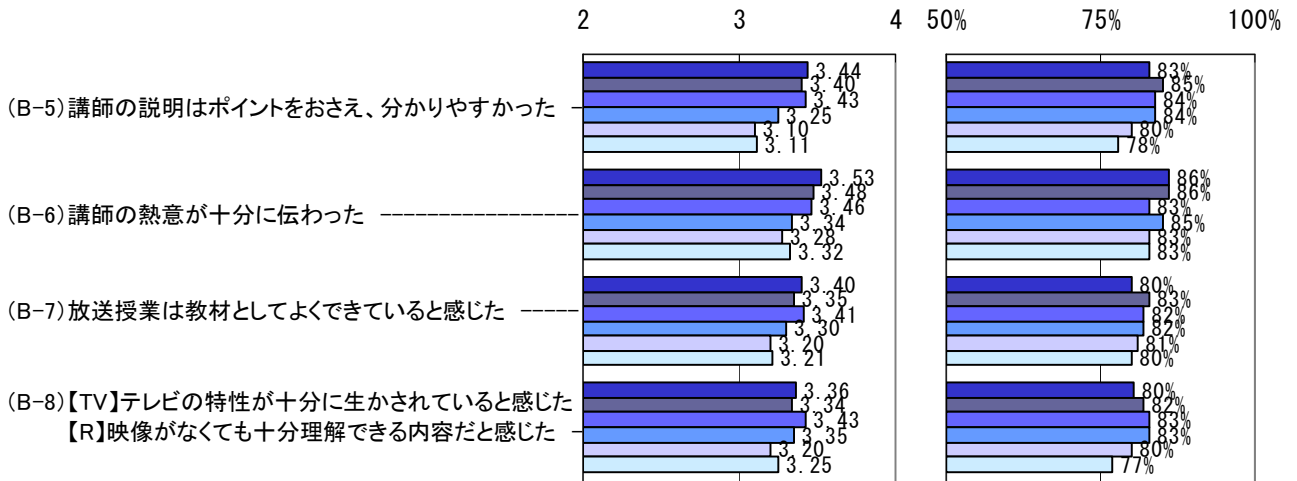
ラジオ科目についても、今年度の調査では全ての項目で評価が上昇している。ただ（B-8）「【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、昨年度より上昇したとはいえポイントは低い。引き続き改善の努力に努めるべきだろう。

図 2-79 【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）

テレビ

平均値

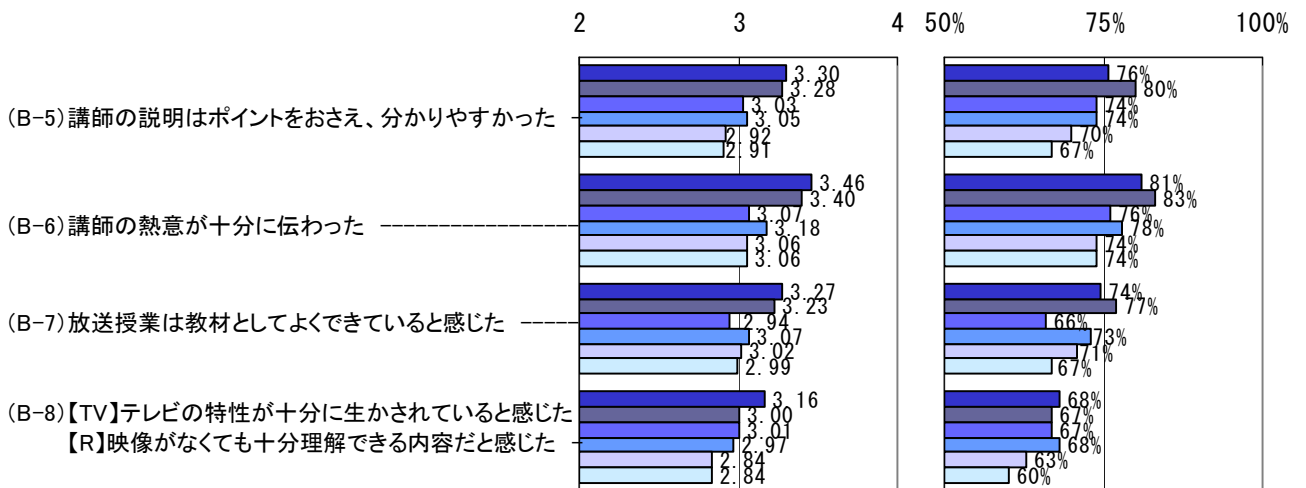
肯定的評価



ラジオ

平均値

肯定的評価

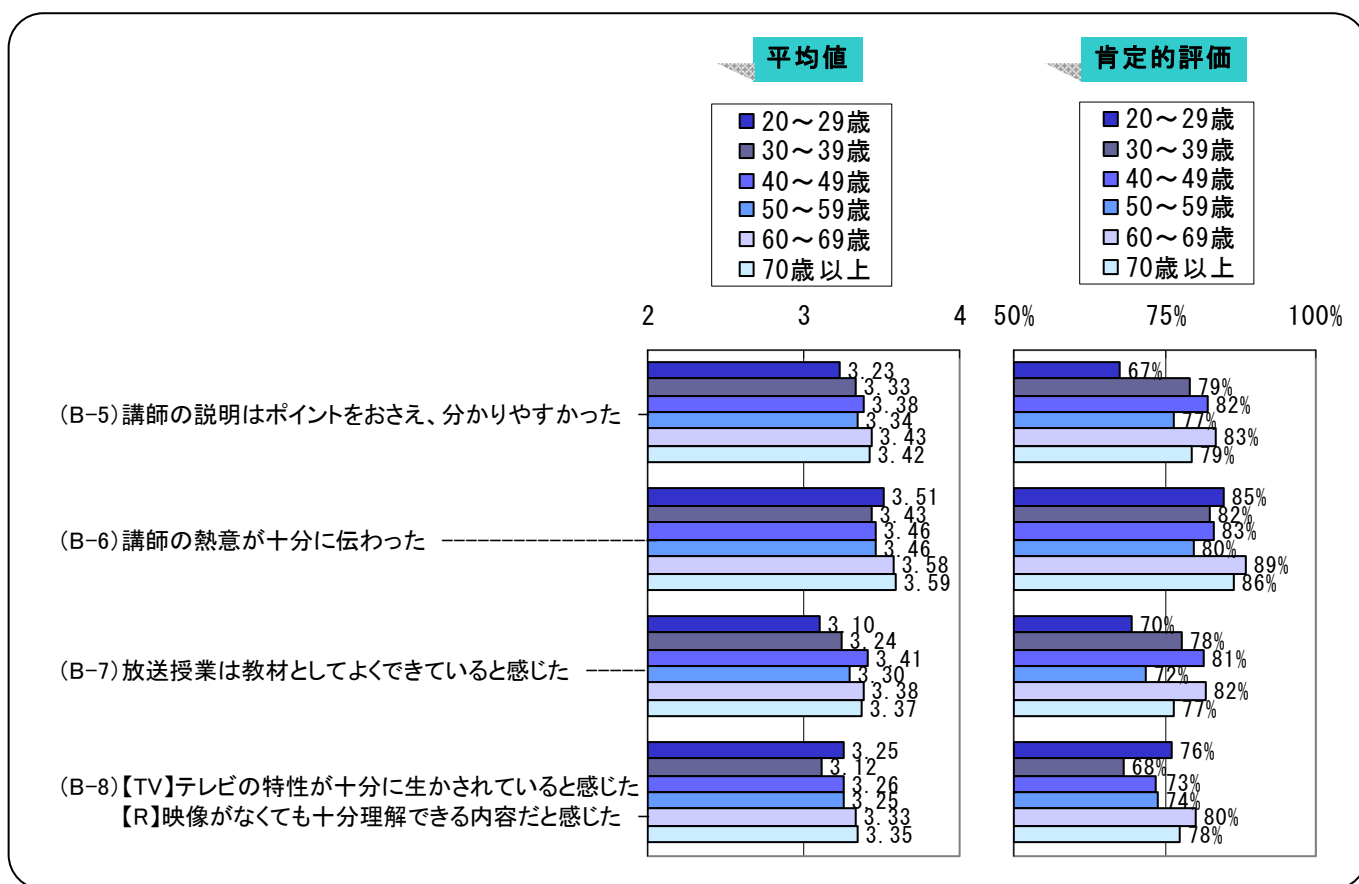


年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図2-80）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、年配層ほど評価が高くなっている。

総合評価である(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、40歳代および年配層で評価が高い。

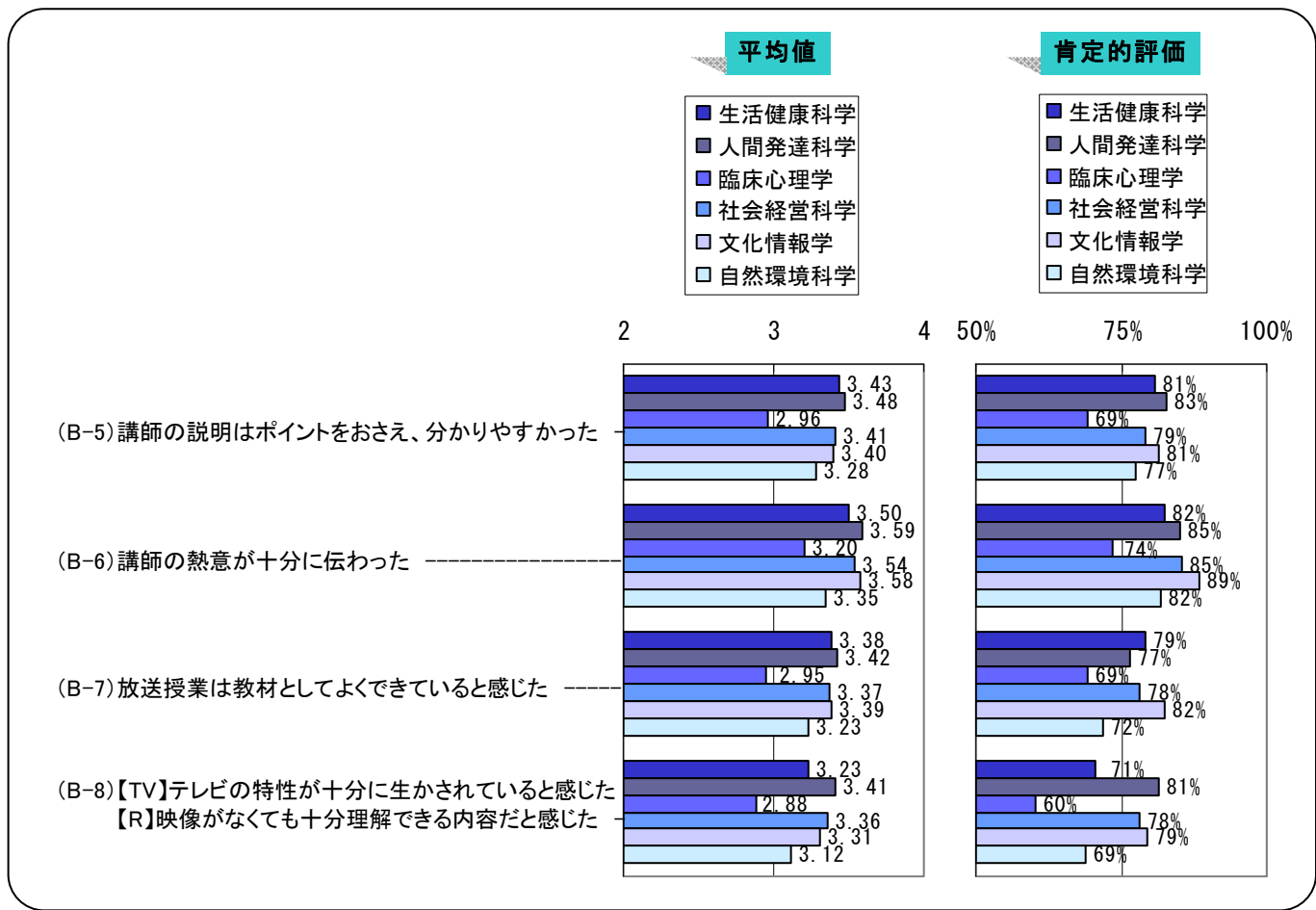
(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、60歳代および70歳以上だけ評価が高くなっているが、それ以外の年齢階層は評価が低い。

図2-80【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



所属プログラム別に放送授業の評価を見ると（図 2-8 1）、総合評価の（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、「人間発達学」、「文化情報学」の評価が高く、「臨床心理学」の評価が低い。（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」と（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も同様の結果となっている。

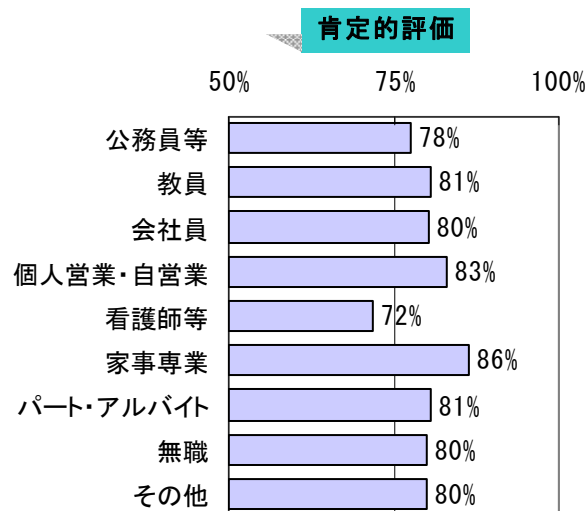
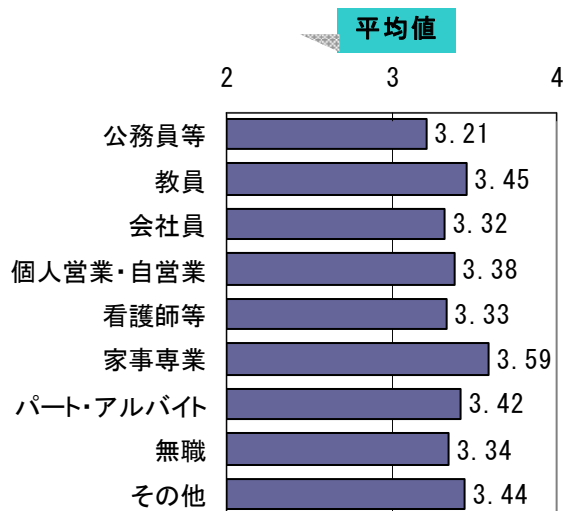
図 2-8 1 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



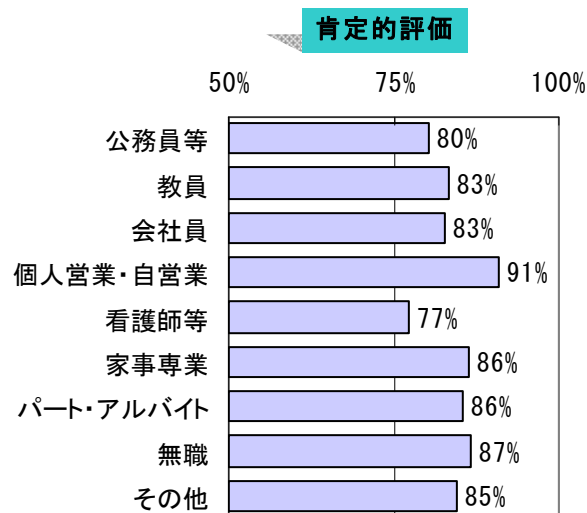
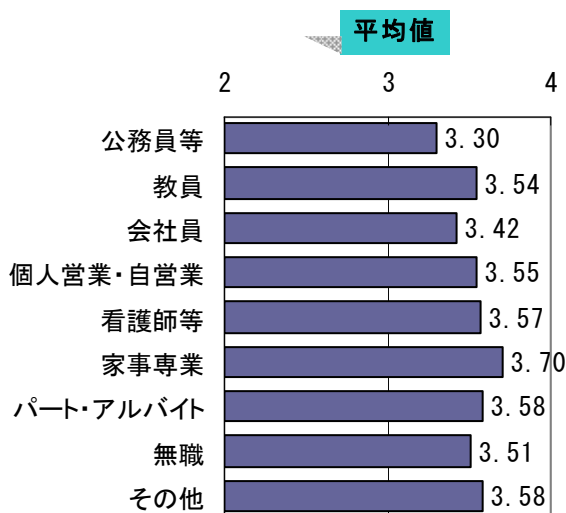
職業別に放送授業の評価を見ると（次頁図 2-8 2）、どの項目でも「家事専業」、「教員」、「パート・アルバイト」の評価がやや高い。なお、項目平均では評価が高い看護師等だが、肯定的評価を見ると評価は低くなっている。

図 2 - 8 2 【大学院】職業別の放送授業の評価

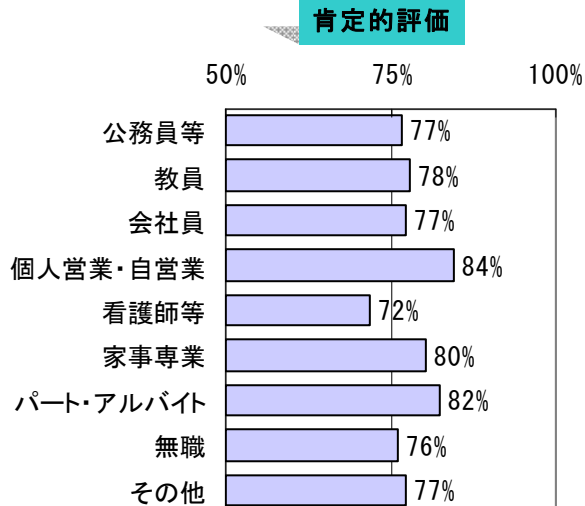
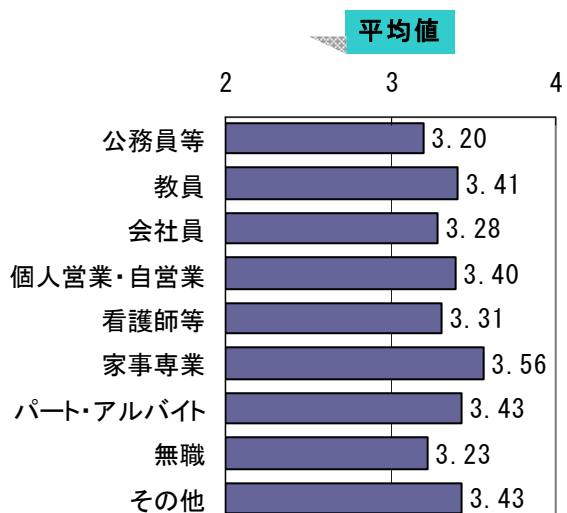
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった



(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた



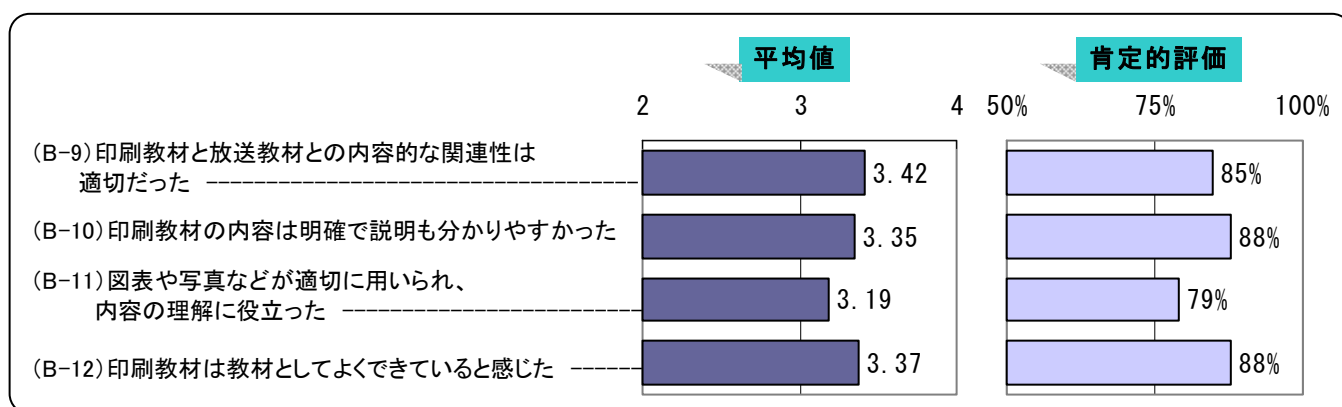
(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

印刷教材の評価項目では(図2-83)、いずれも高い評価を得ている。総合評価としての(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は平均値 3.37、肯定的評価 88%と高くなっている。

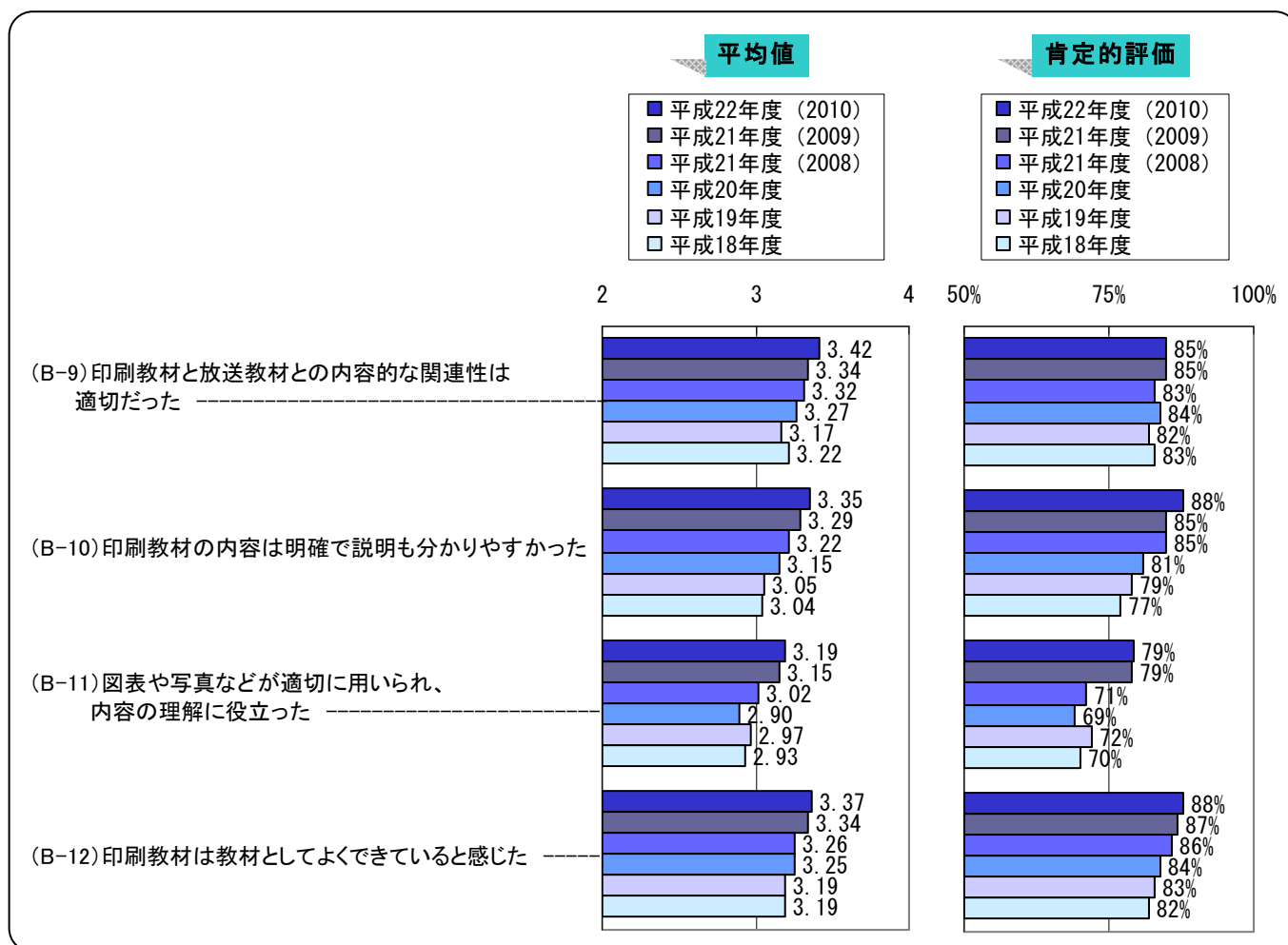
評価項目の中では、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」の評価が他の項目より低く、さらに図表・写真の有効活用が必要であろう。

図2-83 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-84）、いずれの項目も評価が上昇傾向にある。（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」も本調査（2010年新規開設科目）では、比較的评价が高くなってきている。

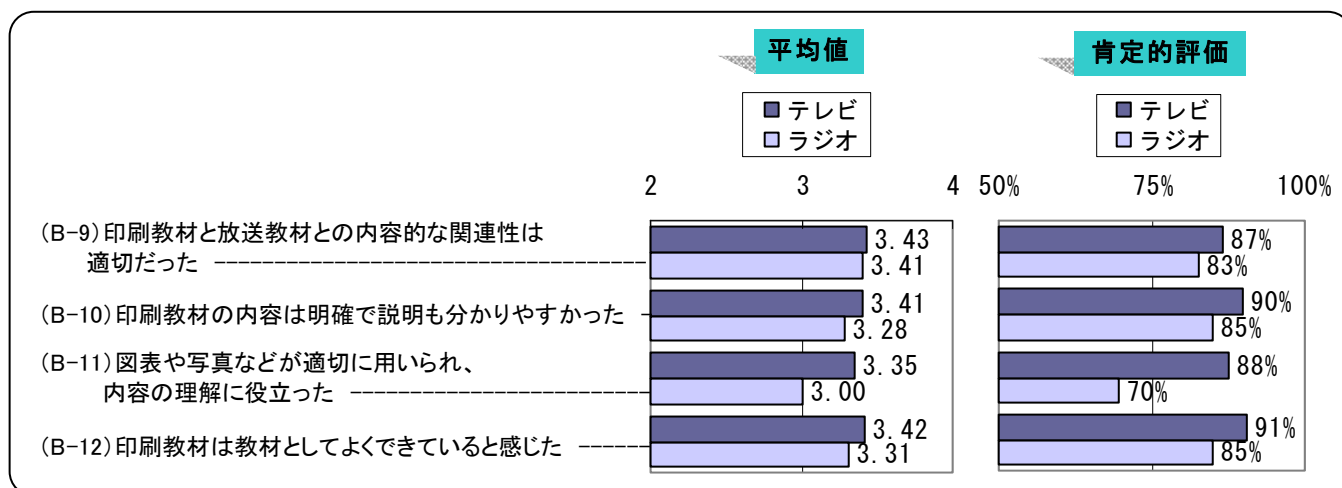
図2-84 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



印刷教材の評価をメディア別に見ると（図2-85）、いずれの項目においても、テレビ科目に比べラジオ科目の評価が低くなっている。

特に（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」についてはテレビ科目に比べ、ラジオ科目の評価が低くなっている。映像のないラジオの放送授業を補完するために、テレビ科目以上に図表や写真などを活用することが必要であろう。

図2-85 【大学院】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると（次頁図2-86）、テレビ科目については、評価は年々上昇傾向にある。

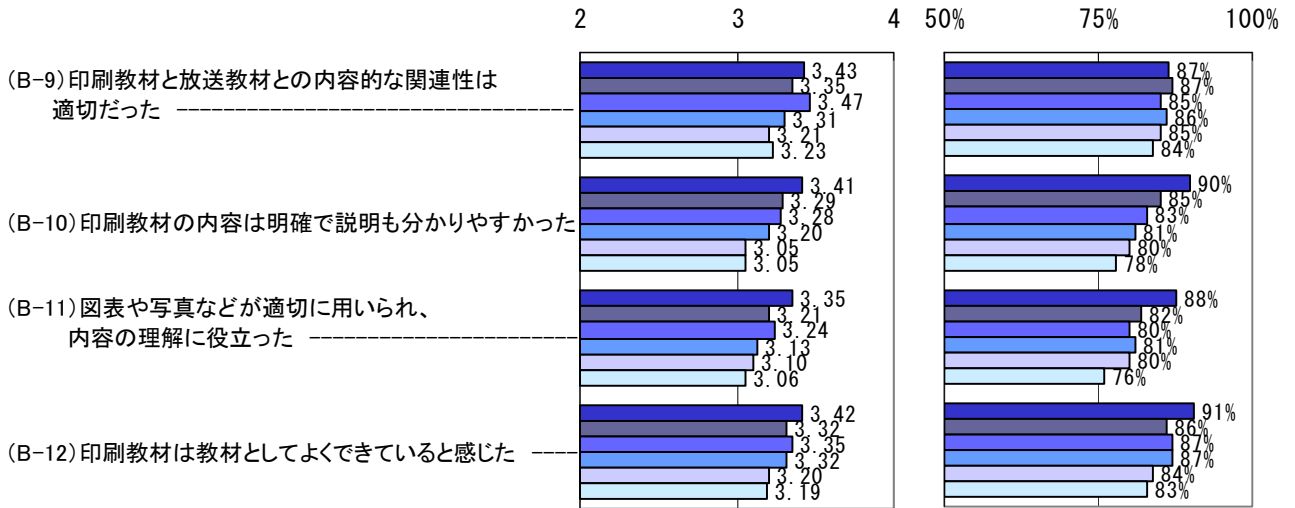
ラジオ科目については、今年度調査（2010年新規開設科目）においては（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」以外の項目で僅かながら評価が下がっている。

図 2 - 8 6 【大学院】メディア別の印刷教材の評価（時系列）

テレビ

平均値

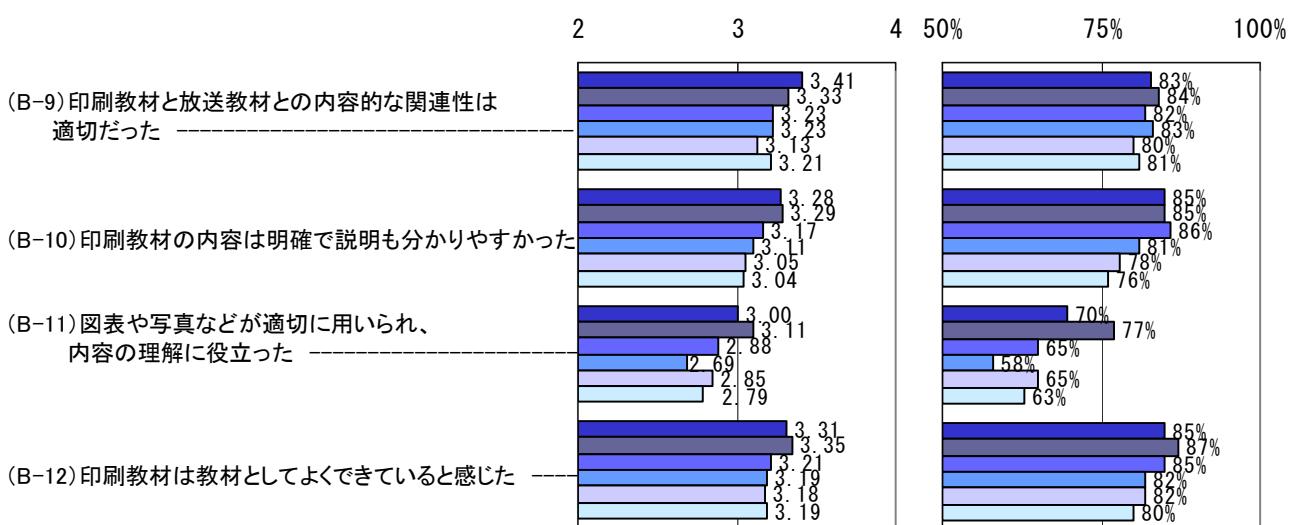
肯定的評価



ラジオ

平均値

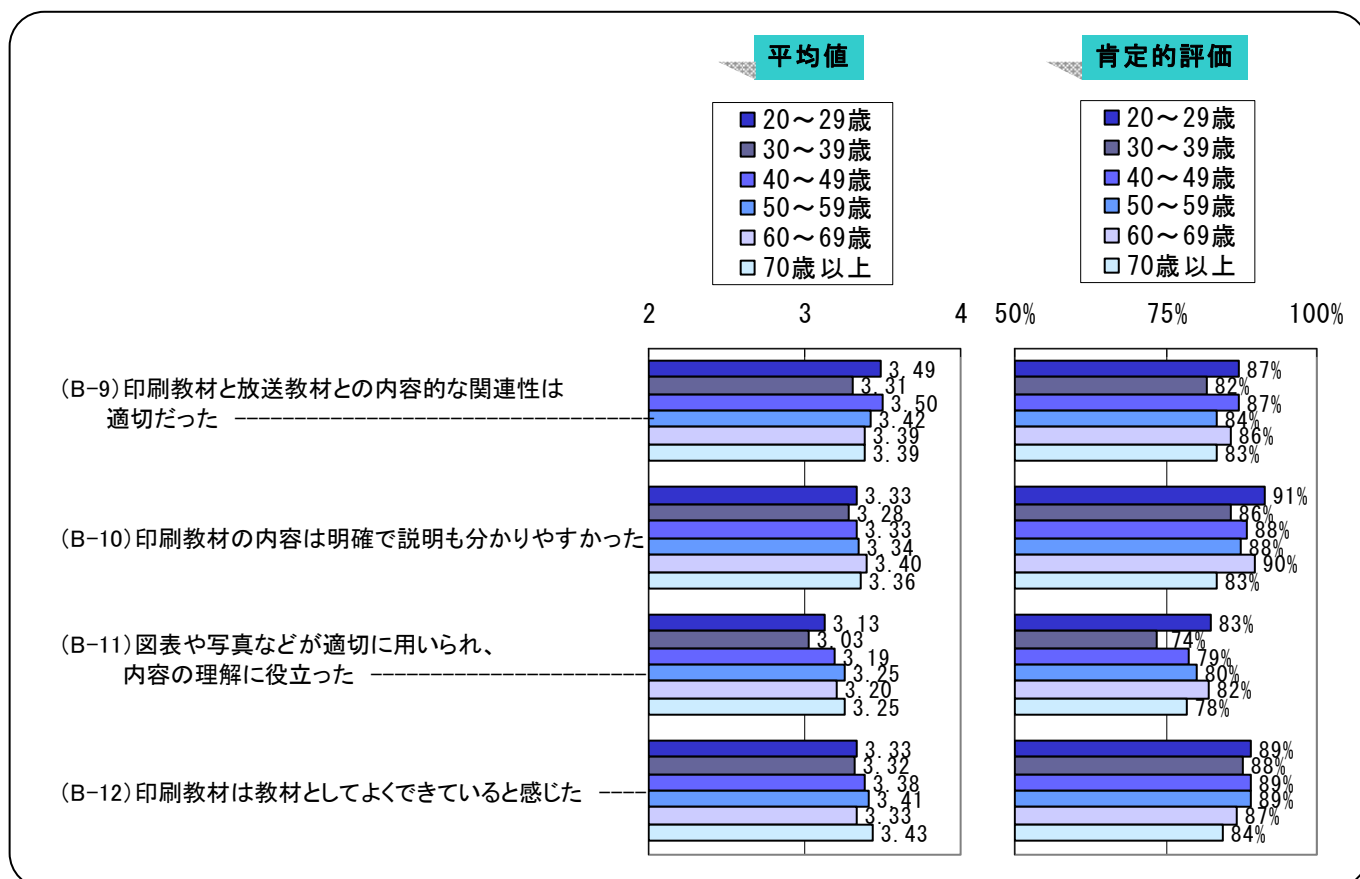
肯定的評価



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-87）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、年齢階層間の評価差が比較的少ない。

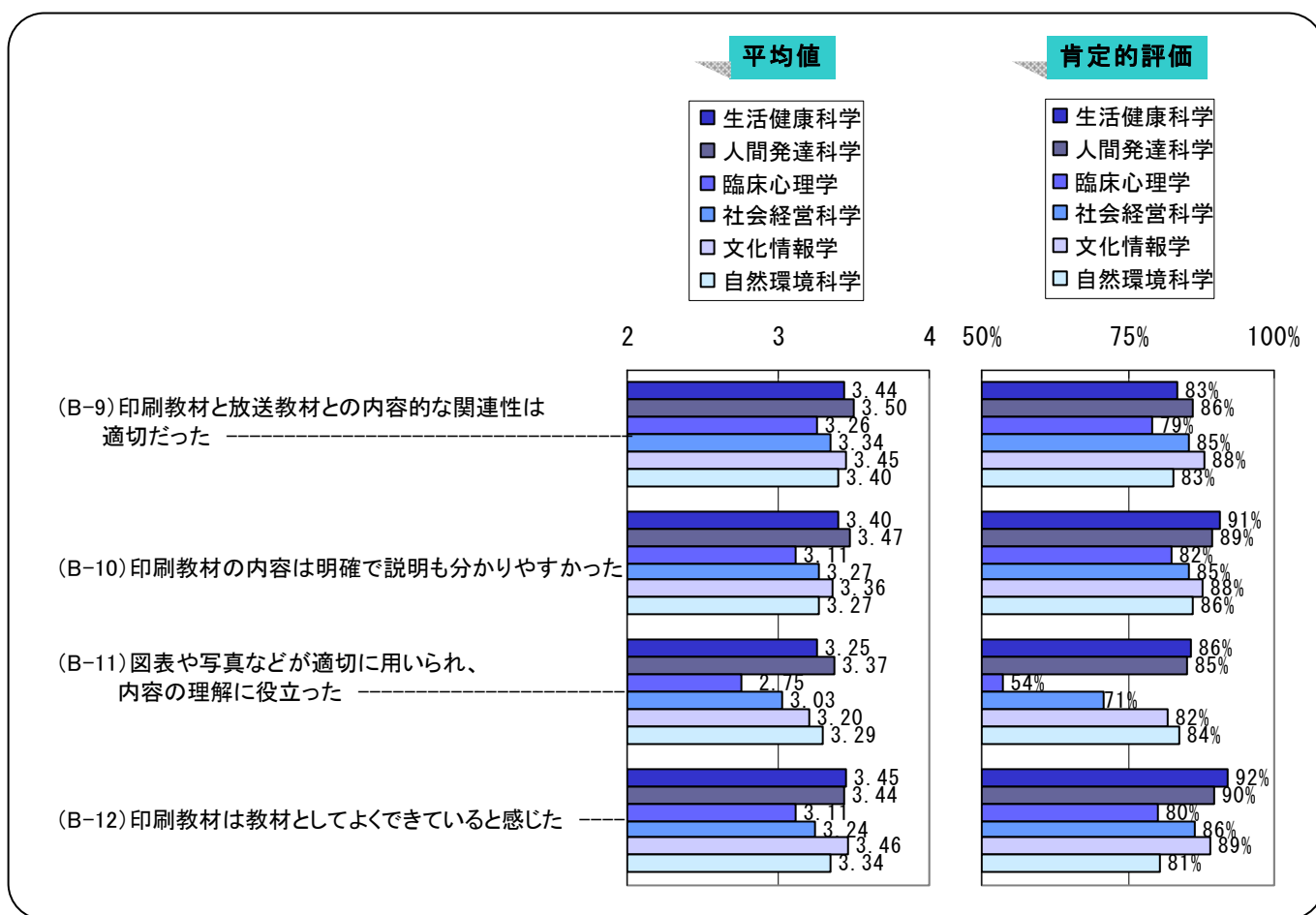
（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は、30歳代の評価が低いのが特徴である。

図2-87 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



所属プログラム別に印刷教材の評価を見ると（図2-88）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「生活健康科学」と「人間発達科学」と「文化情報学」の評価が非常に高く、「臨床心理学」の評価が他のプログラムに比べ低くなっている。「文化情報学」は、特に（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」の評価が高く、「生活健康科学」と「人間発達科学」は、特に（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」の評価が高く、「臨床心理学」は、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」の評価が低いのが、その要因と考えられる。

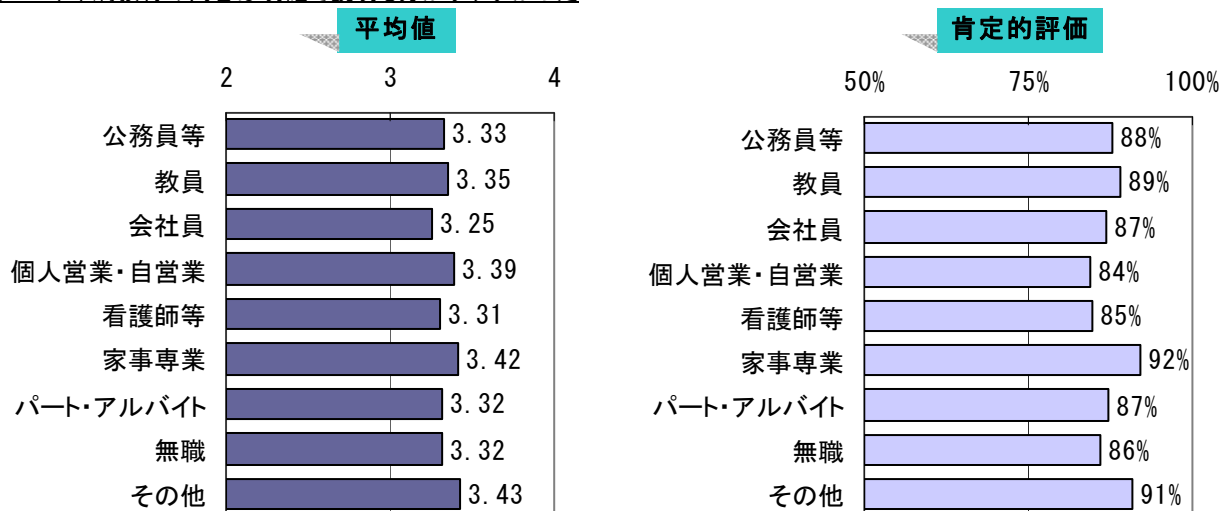
図2-88 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



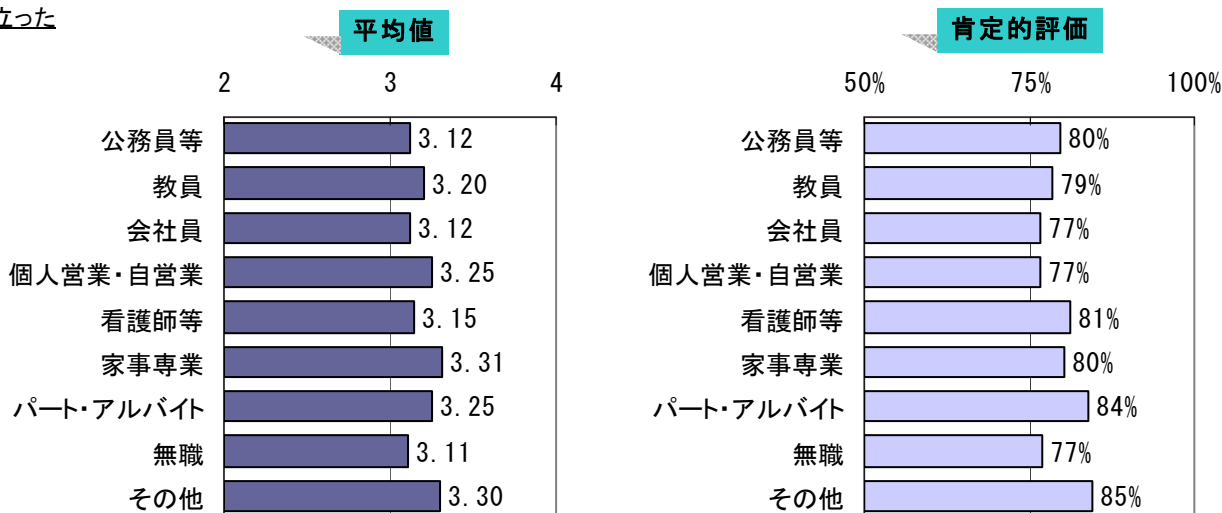
職業別に印刷教材の評価を見ると（次頁図2-89）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、家事専業、パート・アルバイト、教員などの評価が非常に高くなっている。総合評価が特に高い家事専業は、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」の評価が高い。

図 2 - 8 9 【大学院】職業別の印刷教材の評価

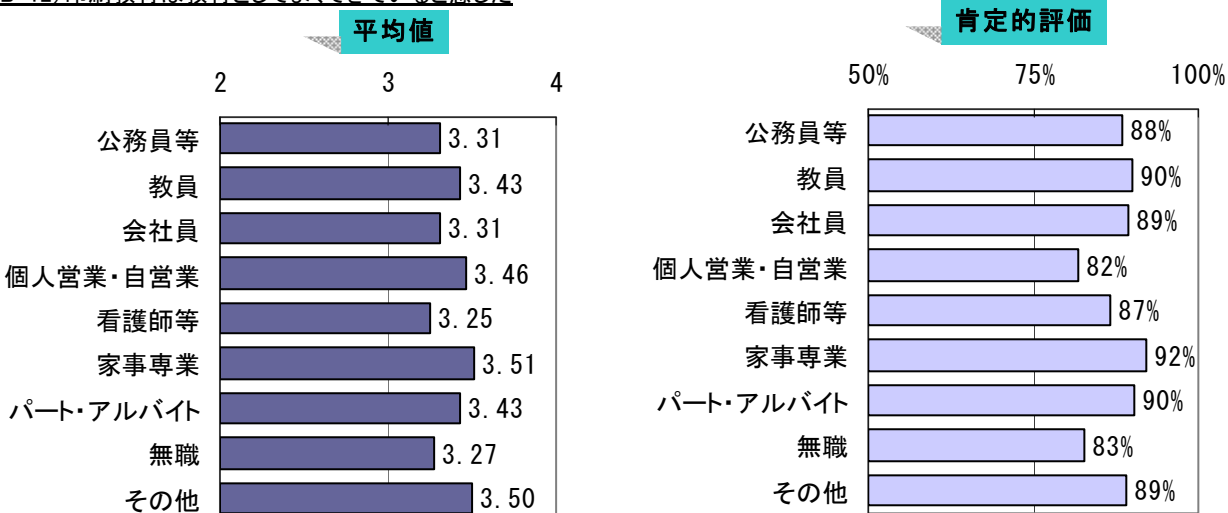
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた



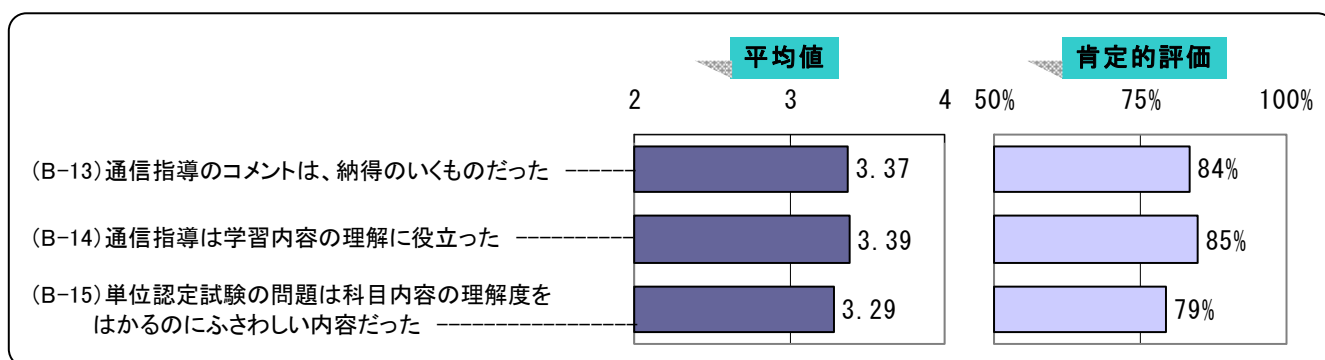
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図2-90)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.37、肯定的評価 84%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.39、肯定的評価 85%と、いずれも高い評価を得ている。

単位認定試験についても(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.29、肯定的評価 79%と比較的评价が高くなっている。

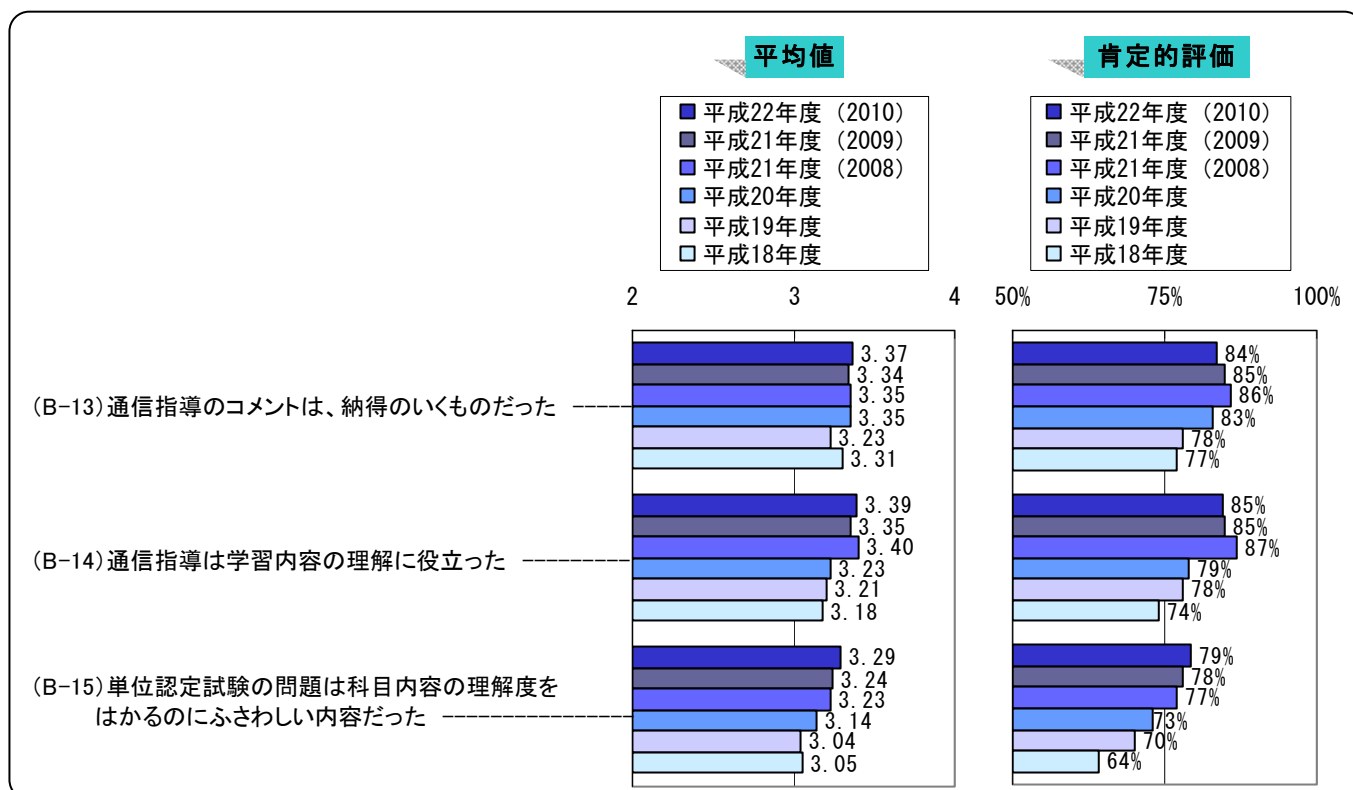
図 2 - 9 0 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(次頁図2-91)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、平均値ではあまり大きな変化はない。

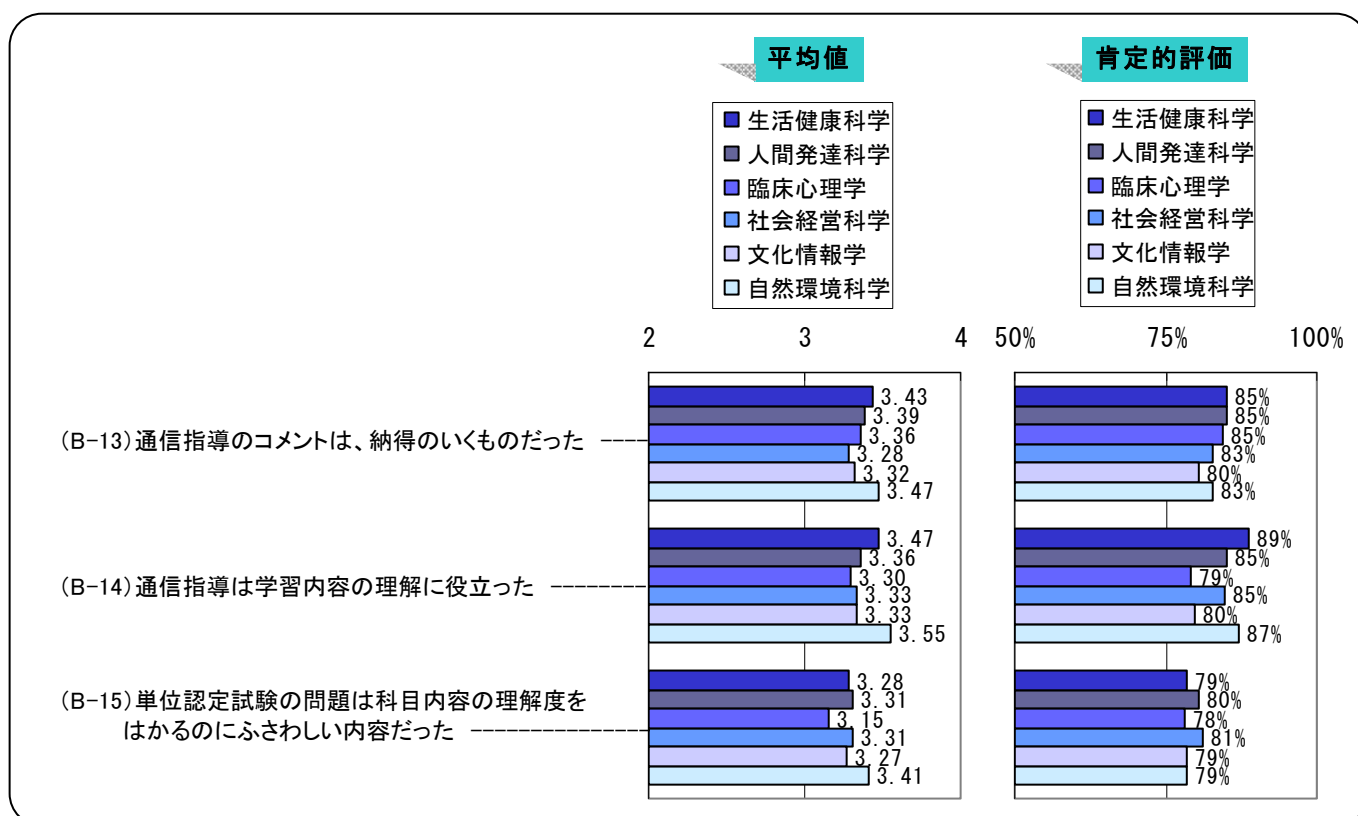
(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は、年々評価が向上しており、改善の効果が現れていると言えよう。

図 2-9 1 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



所属プログラム別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図 2-9 2）、通信指導は、平均値では評価差は小さいが、肯定的評価ではやや差が大きくなっている。単位認定試験は、「自然健康科学」と「社会経営科学」の評価がやや高く、「臨床心理学」の評価が低い。

図 2-9 2 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．参考

ここでは、学部の場合と同様に、総合評価と各個別評価との関係を、相関係数を用いてみていく（相関係数の意味と見方については、65頁を参照されたい）。

表２－５は、放送授業の各評価項目と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）及び（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数である。

表 2－5 【大学院】放送授業と各項目との単相関係数

	(A2)放送授業を十分に視聴した	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた
(A2)放送授業を十分に視聴した	1.000	0.352
(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.396	0.581
(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.374	0.567
(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.355	0.755
(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.369	0.714
(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.352	1.000
(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.360	0.654

これを見ると、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数は0.352と、緩やかな相関が見られる。つまり放送授業の視聴度合いと放送授業の評価は、決して強くはないが、やや関連性があると言ってよい。

また（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と放送授業の各評価項目の間では、いずれも相関係数0.400に近く弱い相関が見られる。放送授業の取組姿勢のよい人は放送授業の評価がよく、逆に放送授業の評価がよいと取組姿勢もよくなることが推測される。

一方、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）と放送授業の各評価項目との間では、いずれも強い相関が見られ、特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が相関係数0.755、（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」が相関係数0.714と、相関が強くなっている。したがって、総合評価を高める上では、学部と同様、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、特に講師の説明の分かりやすさや講師の熱意が大切だと言える。

次に、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)及び(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)の相関係数を見たのが表2-6である。

表2-6 【大学院】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A3)印刷教材を熱心に学習した	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.312
(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.289	0.558
(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.311	0.511
(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.220	0.574
(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.301	0.733
(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.243	0.678
(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.312	1.000

まず(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)と、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)および印刷教材の各評価項目との間には、あまり相関は見られない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)と印刷教材の各評価項目とでは相関が強く、特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は相関係数0.733、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」が0.678と相関が強くなっている。そのため印刷教材の総合評価を高めるためには、いずれの評価項目もよく改善すると同時に、特に説明の分かりやすさと図表や写真を有効利用に注力することが重要と言える。

最後に(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」及び(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが次頁表2-7である。

表 2-7 【大学院】 取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.482	0.433
	(A2)放送授業を十分に視聴した	0.563	0.304	0.276
	(A3)印刷教材を熱心に学習した	0.684	0.380	0.335
授業の難易度・分量	(B1)放送授業の難易度は適切だった	0.364	0.531	0.519
	(B2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.355	0.463	0.506
	(B3)印刷教材の難易度は適切だった	0.345	0.560	0.590
	(B4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.341	0.497	0.548
放送授業	(B5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.316	0.486	0.578
	(B6)講師の熱意が十分に伝わった	0.325	0.402	0.523
	(B7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.324	0.455	0.603
	(B8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.312	0.432	0.482
印刷教材	(B9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.317	0.414	0.499
	(B10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.352	0.571	0.634
	(B11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.318	0.470	0.499
	(B12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.342	0.495	0.615
通信指導・単位認定試験	(B13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.203	0.372	0.497
	(B14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.274	0.410	0.490
	(B15)単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	0.262	0.450	0.566
全体評価	(B16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.352	0.522	0.605
	(B17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.459	0.593	0.772
	(B18)新しい知識が身につく視野が広がった	0.428	0.542	0.673
	(B19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.482	1.000	0.700
	(B20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.433	0.700	1.000

まず、全体的な熱心度（取組姿勢）と科目の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度は理解度と 0.482、満足度と 0.433 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間には緩やかな相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は 0.700 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と各評価項目の相関を見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数 0.684 と強い相関が見られるが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は相関係数 0.563 となっており、印刷教材中心の学習実態が反映されている。さらに全体評価の各評価項目とも緩やかな相関が見られる。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、取組姿勢以外の各評価項目と相関が見られる。理解度は、放送授業や印刷教材の難易度・分かりやすさ、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につく視野が広がるものであったかどうかなど、さまざまな項目が要因となっている状況が窺える。

さらに、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」も取組姿勢以外の各評価項目と相関が見られ、満足度を高める上でいずれの評価項目も影響していることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」である。科目の満足度を高める上で、印刷教材の分かりやすさ、興味・関心のもてる授業内容、視野が広がるような知識の習得などが特に重要なポイントと言える。

Ⅲ. 自由記述のまとめ

Ⅲ-1. 総括

自由記述については膨大な量の回答が寄せられており、全ての回答を原文のまま主任講師に提供している。個々の自由記述意見を熟読するだけでも有益な情報を得ることができるが、ここではさらに学生の意見の全体像を把握するため、自由記述意見の分類・集約を行なった。集約方法は、コース（プログラム）ごとに、この科目を受講して①「よかった点」及び②「気になった点」を、その意見内容によって分類整理し、さらにそこから「改善点の提案」をまとめた。

まず学部を集約した結果を概観すると、よかった点としては、

- ・ 今まで知らなかった知識が身についた
- ・ テーマについて考えるきっかけになった、さらに勉強するきっかけになった
- ・ 今後の人生・生活に役立つ
- ・ 仕事・社会活動に役立つ
- ・ 基礎的な知識が得られた、概要が分かった
- ・ 視野が広がった、視点が変わった
- ・ テーマについて興味が深まった
- ・ これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った

等といった意見が多く見られた。

その他、放送授業のよかった点としては、「講師が熱心だった、熱意が伝わった」「講師の話し方よかった、分かりやすかった」「講師に親しみがもてた」「映像で理解しやすかった」「理解しやすい授業だった」等の意見が多い。

印刷教材については「理解しやすい内容だった」「図表・写真等があり理解しやすかった」「内容が良い、分かりやすい」「内容が充実していた」等の意見が多い。

一方、科目内容で気になった点としては、

- ・ 内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい
- ・ 放送授業と印刷教材の内容が異なる
- ・ 分量が多すぎる
- ・ 内容に不足な点、もっと知りたいことがあった
- ・ 放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい
- ・ 具体例・事例を増やして欲しい
- ・ 用語が分からない、解説をして欲しい
- ・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい

等、難易度、分量、内容や説明の不足、内容の広さ、事例不足に関する不満が多かった。

放送授業で気になった点では

- ・ テレビ科目は映像を生かした内容にして欲しい
- ・ テレビ科目にして欲しい
- ・ ポイントが分かりにくい
- ・ 印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
- ・ 講師の話し方がよくない
- ・ 説明が分かりにくい
- ・ 時間が不足している

印刷教材で気になった点は、

- ・ 図表・写真を掲載して欲しい
- ・ 文章表現が分かりにくい、まわりくどい
- ・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい
- ・ 分かりにくい・解説が不十分
- ・ もっと見やすくしてほしい
- ・ カラー印刷にして欲しい

等が多く見られた。ポイントは理解のしやすさ、話し方、説明方法と言えよう。しかしこれはコース（プログラム）ごとにみた内容であり、さらに個々の科目ごとにどのような意見が多いのかを検討し、今後、その科目に合ったレベルや授業方法の改善に結びつけていくべきであろう。

次に、大学院の集約した結果を見ると、よかった点としては、

- ・ 今まで知らなかった知識が身についた
- ・ 視野が広がった、視点が変わった
- ・ テーマについての興味が深まった
- ・ 仕事・社会活動に役立つ
- ・ 今後の人生・生活に役立つ
- ・ 基礎的な知識を得られた、概要がわかった
- ・ これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った

等が多い。

一方、授業内容で気になった点としては、

- ・ 内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい
- ・ 具体例・事例を増やして欲しい
- ・ 内容に不足な点、もっと知りたいことがあった
- ・ 内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい
- ・ もっと詳しい説明・解説をしてほしい

また、放送授業で気になった点は

- ・ テレビ科目にして欲しい
- ・ 印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
- ・ テレビ科目は映像を生かした内容にして欲しい
- ・ ポイントが分かりにくい

さらに印刷教材で気になった点は、

- ・ 図表・写真を掲載して欲しい
- ・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい
- ・ 参考資料等を掲載して欲しい

等が多く見られた。全体としては、学部と同じような意見が多くなっているが、プログラムや科目による差が大きいため、やはり科目ごとの検討が必要である。

Ⅲ-2. 学部

【学部】「基礎科目」

よかった点

(単位;人)

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
今まで知らなかった知識が身に付いた	20	12	32	
テーマについての興味が深まった	14	10	24	
楽しく学べた	8	15	23	
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	10	8	18	
理論的に学ぶことができた	14	3	17	
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	12	1	13	
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	10	3	13	
今後の人生・生活に役立つ	9	2	11	
理解しやすい内容だった	7	4	11	
今後の学習・研究に役に立つ	4	7	11	
視野が広がった、視点が変わった	4	5	9	
具体例・事例があった	2	4	6	
内容が充実していて、幅広い内容だった	5		5	
学ぶ、知る楽しさを覚えた	5		5	
これまで興味のあった分野を学べた	2	3	5	
資格取得に役立った	4		4	
現在の課題や問題点を学べた	2		2	
身近な生活にかかわる内容だった	2		2	
仕事・社会活動に役立つ	1		1	
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	1		1	
社会に対する理解が深まった		1	1	
その他	2	1	3	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
映像で理解しやすかった	7		7	
講義の内容がよかった	5	1	6	
講師が熱心だった、熱意が伝わった	2		2	
理解しやすい授業だった	2		2	
インターネットで受講できた	1	1	2	
講師の話し方がよかった、分かりやすかった			1	1
その他	1		1	

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
内容が良い、分かりやすい	3	5	8	
理解しやすい内容だった	3	1	4	
内容が充実していた	3		3	
図表・写真等があり理解しやすかった	2	1	3	

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
単位がとれた	1		1	
その他	1		1	

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 具体例や事例を増やす
- 放送授業と印刷教材の関連を分かりやすく説明する
- 内容に偏りや、ばらつきがないように工夫する
- 放送授業は講師間の連携を高め、内容もばらつきがないようにする
- 放送授業はテレビ科目にする
- 放送授業は話し方を工夫し、聞き取りやすいようにする
- 印刷教材は構成を工夫する
- 印刷教材は参考資料等を掲載し、図表や写真も増やす
- 単位認定試験は試験として、適格な難易度や内容になるよう工夫する

【学部】「基礎科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	17	1	18
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8	1	9
具体例・事例を増やしてほしい	5	2	7
放送授業と印刷教材の内容が異なる	4	2	6
内容に偏りがある	3	1	4
内容がばらついている、まとまりがない	3		3
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	2	1	3
分量が多すぎる	2	1	3
もっと専門的にしてほしい	2	1	3
期待する内容、科目案内とは違っていた	2		2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2		2
もっと実践的な内容にして欲しい	2		2
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	1	1	2
今後に向けた解決策なども入れてほしい	1		1
内容を分割すべき	1		1
分量を多くして欲しい		1	1
その他	1	1	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
説明が分かりにくい	7	1	8
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	5	3	8
テレビ科目にして欲しい		7	7
講師の話し方がよくない	4	1	5
講師の話が聞きづらい	3		3
ポイントが分かりにくい	3		3
講義のテンポが良くない	2		2
時間が不足している	2		2
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	2		2
インターネットで配信してほしい	1	1	2
印刷教材を読んでいるだけである	1		1
現場や講師以外の人の話も聞きたい	1		1
面白みがない		1	1
放送時間帯がよくない		1	1
その他	4	2	6

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい・解説が不十分	1	4	5
構成がよくない	2	1	3
参考資料等を掲載してほしい	2	1	3
図表・写真を掲載してほしい		3	3
カラー印刷にして欲しい	2		2
まとめや学習のポイントが欲しい	2		2
練習問題の解答例・解説が欲しい	1	1	2
誤字がある	1		1
図表や写真が見にくい・不鮮明	1		1
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	1		1
放送授業の資料やデータが欲しい	1		1
放送授業の資料やデータを載せてほしい	1		1
教材の量が多い	1		1
もっと見やすくしてほしい		1	1
その他		4	4

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に偏りがある	1		1
難しかった	1		1
もっとコメントしてほしい		1	1
易すぎる		1	1
その他		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
物足りない、簡単すぎて試験として不適格	4		4
難しかった	2	2	4
解答と解説が欲しい	1		1
理解度や学習度合いを図る内容になっていない	1		1
問題数が多い、時間が足りない		1	1
その他		2	2

【学部】「基礎科目」

よかった点

- 現代に至るまでの心理学の流れが良く理解できた。また各心理学者の考え方も理解することができた。
- 教育学、心理学の歴史の中で代表的な活躍をとげた研究者たちの、生き様や呼吸、人となりを感じられる様な講座であり、たのしく学べた。
- 心理学のみならず、教育学や哲学にも手を伸ばすことができたこと。
- 情報の世界をあらゆる場面、場面で活役していることが詳しく知れて良かった。
- 情報社会の本質が十分理解されている点と、放送教材と印刷教材の内容が、かなり相互的に分かりやすくなっている点が、実際に受講してよかったと思います。
- 情報の基本的な部分を広範囲でとらえ学ぶ事ができた。
- 知らなかった事、知りたかった事を分かりやすく教えてもらえて良かったと思います。
- 気象の基礎的なことが分かり、気象学が身近に感じられるようになった。
- 気象に関する表面的な知識だけでなく、科学的な気象に関するメカニズムが実験等をまじえてわかりやすく説明していただいだけ、満足しています。
- 身近にある気象が色々な要素によって（数学・物理等）成り立っている事が分かり、気象に興味を持つことができるようになった。

気になった点

- 各心理学者の写真等の横に簡単な略歴を附記するとより理解しやすくなると思う。
- テレビ科目だったらもっとおもしろかったのではと思った。
- 教材にもう少し年表というか、全体での活躍した巨人の時期が一目でわかるようになったものがあればよかったと思った。
- 各課の末にある課題には、それぞれ大変興味深く感じましたが、放送及び印刷教材の内容だけでは、少し難しすぎるように思いました。自分なりの解答を、検証する手段があると助かると思います。
- 印刷教材と通信指導・単位認定試験の関連性が強すぎると感じました。特にプログラムの流れをみる問題で感じました。他の教科でプログラムを学んだ人が問題を解けるのか疑問に感じました。
- 情報社会に関する入門コースとしての位置づけはわかるが、計算の原理から法まで、あまりにも巾が広すぎるように感じた。(広く浅くなりすぎ) 2科目に分けて、もう少し内容を深めてはどうか。
- 「計算とプログラム」などは、もう少し解説がほしかった。放送を見直したが、理解しにくかった。
- 言葉の説明が少し不足しているように思う。初めて目にする言葉は（専門用語）（注）が補足としてあれば、あるいは、用語集のようなものがあれば、もっとわかりやすかったかなと思います。
- やはり、内容がむずかしくて（物理的内容は特に）理解できなかった。
- 天気図に関心があり、もう少し天気図の見方について説明がほしかった。

【学部】「生活と福祉コース」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	65	42	107
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	33	19	52
視野が広がった、視点が変わった	17	8	25
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	12	11	23
仕事・社会活動に役立つ	13	7	20
今後の人生・生活に役立つ	7	4	11
テーマについての興味が深まった	3	7	10
身近な生活にかかわる内容だった	8		8
資格取得に役立った	3	3	6
楽しく学べた	4	1	5
具体例・事例があった	3	1	4
知りたかったことを学ぶことができた	3		3
今後の学習・研究に役に立つ	2		2
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	1		1
最新の情報や研究が学べた		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像で理解しやすかった	6		6
講師に親しみがもてた	1	2	3
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	1	2	3
講師が熱心だった、熱意が伝わった	2		2
複数の専門家の講義を聞いた	2		2
講師の私見・考え方も聞いた		2	2
実際の物や場万・現場を見ることができた	1		1
講義の内容がよかった		1	1
対話形式の授業がよかった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が良い、分かりやすい	4	1	5
図表・写真等があり理解しやすかった		3	3
内容が充実していた		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	3	1	4
通信指導の内容から出題されてよかった	1		1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 放送授業と印刷教材の内容を統一する
- 内容をより深く、より分かりやすく説明する
- 放送授業と印刷教材の関連を分かりやすく説明する
- 範囲が広くなりすぎないように、ポイントを絞るよう工夫する
- 具体例や事例を増やす
- 放送授業はテレビ科目にする
- 印刷教材はより鮮明で見やすい図表や写真を増やす
- 印刷教材は構成を工夫する
- 単位認定試験は授業や教材に関連した内容にする
- 単位認定試験は試験として、適格な難易度や内容になるよう工夫する

【学部】「生活と福祉コース」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
放送授業と印刷教材の内容が異なる	5	3	8	
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	3	5	8	
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	5	2	7	
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	5		5	
具体例・事例を増やしてほしい	3	2	5	
用語が分からない、解説をして欲しい	1	3	4	
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	3		3	
期待する内容、科目案内とは違っていた	2		2	
現在の課題・問題点も取り入れてほしい	2		2	
今後に向けた解決策なども入れてほしい	1	1	2	
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい		2	2	
他の科目と内容が重複する	1		1	
内容を分割すべき	1		1	
分量が多すぎる	1		1	
面接授業を実施して欲しい	1		1	
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1	
もっと専門的にしてほしい	1		1	
分量を多くして欲しい		1	1	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
テレビ科目にして欲しい		7	7	
印刷教材を読んでいるだけである	1	3	4	
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	3		3	
DVDが欲しい	2		2	
講義のスピードが速すぎる	1	1	2	
ポイントが分かりにくい	1	1	2	
講師の話し方がよくない		2	2	
インタビュー・座談会の時間が長すぎる	1		1	
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1		1	
インターネットで配信して欲しい		1	1	
面白みがない		1	1	
講義のテンポが良くない		1	1	
講師の話が聞きづらい		1	1	

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
図表や写真が見にくい・不鮮明	6		6	
図表・写真を掲載して欲しい	3	3	6	
構成がよくない	3		3	
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	2	1	3	
分かりにくい・解説が不十分	2		2	
カラー印刷にして欲しい	1	1	2	
補完教材を加えてほしい	1		1	
まとめや学習のポイントが欲しい	1		1	
教材の量が少ない	1		1	
資料・データが古い、改定版を出してほしい		1	1	
放送授業の資料やデータを載せてほしい		1	1	
練習問題を入れてほしい、増やしてほしい		1	1	

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
もっとコメントして欲しい		1	1	
問題の解答例・解説が欲しい		1	1	

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
授業や教材の内容と異なる	3	4	7	
難しかった	1	4	5	
教材等持ち込み可にして欲しい	3		3	
通信指導の内容と一緒に	3		3	
問題数が多い、時間が足りない	3		3	
記述式にして欲しい	2		2	
物足りない、簡単すぎて試験として不適合	1	1	2	
理解度や学習度合いを図る内容になっていない		2	2	
問題数が少ない	1		1	
その他	1		1	

【学部】「生活と福祉コース」科目

よかった点

- 地域性、民族性、歴史などにより住まいのあり方の違いや工夫がよく分かる内容であり興味が広がりました。
- テレビの放送と言う事で各国の住まいの取材は大変ためになりとにかく興味が湧き楽しかったです。
- 福祉について深く考える良い機会となった。世界的な広い視野を持つ事で、日本を良く知る事ができた。
- 色々な国の福祉制度について学べ、日本との違いに驚かされたり、とても新鮮だった。新しい名識を身につける事が出来、とても良かったと思います。
- 理論だけでなく、広く他地域ですでに実施され、成果を収められていることを知り、本より画像での勉強が心に残り良いと思った。
- 新しい知識を身につけられ福祉に関しての視野を広げることができた。
- 看護の根本から、現在の看護の仕方までくわしく勉強でき、スキルアップにつながった。
- 全体像がつかみずらい看護学を、小見出しや図表があることでわかりやすくまとめてあり、理解しやすくなっていました。
- 内容に偏りがなく広くポイントをおさえて紹介（事例も含めて）されていたところが大変勉強になった。
- 看護の基礎について振り返り、学びを深めるきっかけとなった。実際の看護の場面を振り返りながら、理論を関連づけたり、ケアをする際の視野を広げることができた。

気になった点

- 内容をもっとしぼったほうがいいのかと思った。
- 放送内容と印刷教材の合致しない部分もあり、又、印刷では外観だけのものもあり、放送内容を見ないと、理解できないところがあった。
- 出来ればTVでの講義があれば、より現状がわかったのではないかと思います。
- アジアの国々の問題を国べつにもう少し理解させるべきではないでしょうか。保育所等のアジアの国々の受け入れと日本の相違、老人福祉施設の各国の現状をしりたかったです。
- どれも教科書の言葉がむずかしく書いてあるのでもっと分かりやすい言葉で書いてほしいと思う。
- 地域福祉プログラムの政策化、プログラミングの計画、事業化、実践化をより推進する施策法など、より具体的方法論をもう少し詳細に例をあげて講義して欲しい。
- 印刷教材の内容以上に、放送授業時の説明内容が多く、一度だけの放送では解説内容の理解が半分程度になってしまう回が有りました。印刷教材をもう少し細部まで手を入れて欲しい。
- 映像による資料やグラフなどを追加し、その分かりやすい説明があるとなおよいと思う。
- 印刷教材のポイントをまとめ、知識として、どの部分を理解していく事が重要かという授業を放送してほしい。
- 試験問題が多く、時間が足りなかったです。印刷教材をもう少しふやしわかりやすくしてあったらよかったと思います。

【学部】「心理と教育コース」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	54	23	77
仕事・社会活動に役立つ	37	16	53
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	37	7	44
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	28	9	37
視野が広がった、視点が変わった	18	5	23
これまで興味のあった分野を学べた	10	4	14
具体例・事例があった	10	2	12
資格取得に役立った	10	1	11
今後の人生・生活に役立つ	6	3	9
テーマについての興味が深まった	7		7
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	3		3
楽しく学べた	3		3
最新の情報や研究が学べた	1	2	3
今後の学習・研究に役に立つ		2	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像で理解しやすかった	26		26
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	8	2	10
講師に親しみがもてた	2	2	4
複数の専門家の講義を聞いた	2	1	3
インターネットで受講できた		2	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真等があり理解しやすかった	3		3
理解しやすい内容だった	2		2
内容が良い、分かりやすい		2	2

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
手書きのコメントをもらえた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	5		5

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 具体例や事例を増やす
- 専門用語の解説をする
- 内容の偏りや分量に注意しながら、より専門的な内容になるよう工夫する
- 放送授業と印刷教材の関連を分かりやすく説明する
- 放送授業は教材をもとに、分かりやすい言い回しで解説をする
- 放送授業はテレビ科目ならではの映像を生かした内容にする
- 印刷教材はより鮮明で見やすい図表や写真を増やす
- 印刷教材は文章表現をより伝わりやすい説明にする
- 印刷教材は教材の量が適切になるように調整する
- 単位認定試験は試験として、適格な難易度や内容になるよう工夫する

【学部】「心理と教育コース」科目

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体例・事例を増やしてほしい	15	3	18
用語が分からない、解説をして欲しい	3	7	10
もっと専門的にしてほしい	7		7
分量が多すぎる	4	1	5
内容に偏りがある	3	1	4
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	3	1	4
放送授業と印刷教材の内容が異なる	3	1	4
他の科目と内容が重複する	2		2
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	2		2
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい		2	2
現在の課題・問題点も取り入れてほしい	1		1
上級または関連する科目を開設してほしい	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	1		1
内容を分割すべき	1		1
不要に感じる部分がある	1		1
面接授業を実施してほしい	1		1
放送授業と印刷教材の内容が同じである		1	1
もっと実践的な内容にして欲しい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を読んでいるだけである	7	2	9
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	6		6
ポイントが分かりにくい	5	1	6
テレビ科目にして欲しい		4	4
講義のテンポが良くない	3		3
講義のスピードが速すぎる	2		2
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	2		2
説明が分かりにくい	1	1	2
インターネットで配信してほしい	1		1
インタビュー・座談会の時間が長すぎる	1		1
面白みがない	1		1
講師の話し方がよくない	1		1
講師の話し方が早口すぎる		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載してほしい	7	1	8
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	4	3	7
図表や写真が見にくい・不鮮明	2	4	6
教材の量が多い	4	1	5
教材の量が少ない	4		4
カラー印刷にして欲しい	3		3
構成がよくない	3		3
分かりにくい・解説が不十分	2		2
CDの内容が不十分	1		1
補完教材を加えてほしい	1		1
もっと詳しい説明・解説をして欲しい	1		1
練習問題が難しい、本文と関係ない		1	1
練習問題を入れてほしい、増やしてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答例・解説が欲しい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
物足りない、簡単すぎて試験として不適合	10		10
難しかった	5	1	6
教材等持ち込み可にして欲しい	3		3
問題数が少ない	3		3
解答と解説が欲しい	1		1
問題文の文章表現が悪い	1		1
理解度や学習度合いを図る内容になっていない	1		1

【学部】「心理と教育コース」科目

よかった点

- 本当に質の高い内容を分り易くしかも各章毎に「うまくまとめられて」いて感動、放送大学の印刷教材（テキスト）はどの教科も良く吟味されて歴史～現代の課題までよく構成されていると思います。一人よがりではなく「客観的」である。
- さまざまな事例を通じて、いかに授業が研究されているか理解ができた。
- 授業を通して、教えられる側と教える側の特徴を知り得た事は今後の生活の中に取り組みことができ、活用し、深めていけるものでした。
- 教育における国の取り組み方、時代の変化がわかった。現代の教育現場や学校環境、しくみなどの基礎を知ることができた。
- 特別支援学校に勤務しているのですが、障害を有する子どもには知的障害がベースにある子どもが多いので、理解に役立った。新設科目という事で、キャリア教育など、新たに注目されている取組も取りあげられており勉強になりました。
- テレビという利点を生かし、実際の特別支援学校でのとりくみを多く見ることができて、非常によかった。
- 教育の現場で肢体不自由児との関りがある為、この科目を学習するということはとても有意義だった。一般的な児童理解でなく障がいを持つ児童の心理・発達等学習したことを今後の実践に役立てたい。
- 心理学の流れや変化、歴史、人物などを知れるきっかけになった。
- 最近、心の病気の方が多いと感じるので、どのような接したらいいのか、どのようなサポートができるのか、親の1人として勉強でき、よかった。ケース別の説明がとてもわかりやすかった。
- 心理臨床で用いる療法の基本的な考え方、種類を理解できた。個々の療法の説明が具体的で、図、絵、等の関連づけにより、今まで学んだ心理関係の講義の内容の理解が促進された。

気になった点

- 専門用語についての説明が、時々簡単に流されてわかりにくいところがあったと思う。素人が聞いてもわかるように解説すべきだと思う。あるいは、テキストに用語解説集などを設けるのもいいと思う。
- もっといろんな授業のデザイン例をあげてほしいと思います。
- 教材の内容をもっと詳しく説明してほしい。インタビューは聞く内容等受講者にとっては余り有益でなかった。教材の図や表等の全明が少なく、理解が深まらない。
- 専門的な範囲や、医療知識に似た学習項目については教員を目指す人間にとっては難しい内容も多いと思うので、そのあたりの教材内容をわかりやすく解説していただけるとうれしいです。
- 半年では理解にまで到達しにくい。
- 印刷教材の内容を順におっているだけのように感じた。ポイントなどをより明確に示していただけると助かります。
- せっかく映像があるのだから もう少し視覚に訴える教材があればよかった。
- テキストの構成がわかりにくかったです。放送授業で少しは理解がすすみましたが、もう少し工夫が必要だと思います。
- 項目によっては、十分に理解できない所もあったので、（法律が含まれる部分）印刷教材には易しく解説を入れて欲しいです。
- 目指しているものをもっと明確だと学習の方向付けがし易いと思う。最初はなかなか学習の方向付けができなかった。

【学部】「社会と産業コース」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	188	195	383
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	44	66	110
視野が広がった、視点が変わった	41	40	81
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	15	56	71
仕事・社会活動に役立つ	6	28	34
テーマについての興味が深まった	10	21	31
今後の人生・生活に役立つ	22	6	28
これまで興味があった分野を学べた	10	17	27
最新の情報や研究が学べた	8	15	23
身近な生活にかかわる内容だった	7	2	9
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	2	7	9
楽しく学べた	7	1	8
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	1	7	8
具体例・事例があった	1	5	6
理解しやすい内容だった	1	4	5
知りたかったことを学ぶことができた		5	5
現在の課題や問題点を学べた	3	1	4
資格取得に役立った		4	4
今後の学習・研究に役に立つ	1	2	3
他の科目の学習に役立つ	1	2	3
社会に対する理解が深まった	2		2
理論的に学ぶことができた	2		2
内容が充実していて、幅広い内容だった	1	1	2
受講してよかった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像で理解しやすかった	15		15
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	11	4	15
講師が熱心だった、熱意が伝わった	6	1	7
講義の内容がよかった	4		4
講師に親しみがもてた	3		3
講師以外の人の話も聞いた	2		2
インターネットで受講できた	1	1	2
対話形式の授業がよかった	1	1	2
複数の専門家の講義を聞いた		2	2
図表があり理解しやすかった	1		1
楽しく受講できた		1	1
理解しやすい授業だった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	6	4	10
図表・写真等があり理解しやすかった	5		5
練習問題・課題が役に立った	1	2	3
キーワード・ポイント等が役に立った		2	2
引用・参考文献があった、よかった		1	1
コラムが良かった		1	1
内容が充実していた		1	1
その他		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
丁寧な指導だった	3	1	4
手書きのコメントをもらえた	2		2
勉強になった、役に立った	1	1	2
記述式なのが良かった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式なのが良かった	1	1	2
試験内容が適切であった	1		1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 内容をより深く、より分かりやすく説明する
- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 具体例や事例を増やす
- 放送授業はテレビ科目にする
- 放送授業は教材をもとに、分かりやすい言い回しで解説をする
- 放送授業はテレビ科目ならではの映像を生かした内容にする
- 印刷教材はより鮮明で見やすい図表や写真を増やす
- 印刷教材は文章表現をより伝わりやすい説明にする
- 通信指導は授業や教材の内容と統一する
- 単位認定試験は試験として、適格な難易度や内容になるよう工夫する

【学部】「社会と産業コース」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	16	20	36
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	14	15	29
具体例・事例を増やしてほしい	13	8	21
分量が多すぎる	5	10	15
用語が分からない、解説をして欲しい	5	9	14
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	5	5	10
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	2	8	10
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	5	9
内容を分割すべき	1	8	9
現在の課題・問題点も取り入れてほしい	5	1	6
上級または関連する科目を開設してほしい		6	6
放送授業と印刷教材の内容が異なる	5		5
内容に偏りがある	4		4
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	3	1	4
今後に向けた解決策なども入れてほしい	3		3
期待する内容、科目案内とは違っていた	2		2
内容がばらついている、まとまりがない	2		2
他の科目と内容が重複する		2	2
放送授業と印刷教材の内容が同じである		2	2
事前に必要な基礎知識・入門書を教えてほしい	1		1
内容が面白くない	1		1
不要に感じる部分がある	1		1
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	1		1
分量を多くして欲しい		1	1
もっと実践的な内容にして欲しい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		59	59
印刷教材を読んでいるだけである	9	30	39
説明が分かりにくい	5	10	15
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	14		14
ポイントが分かりにくい	4	8	12
面白みがない	7	3	10
講師の話が聞きづらい		6	6
講師の話し方が早口すぎる	4		4
DVDが欲しい	1	2	3
インターネットで配信してほしい		3	3
講師の話し方がよくない	2		2
インタビュー・座談会の時間が長すぎる	1		1
講義のスピードが速すぎる	1		1
対話式の授業でない方がよい	1		1
複数の講師のため統一性・連携に欠ける		1	1
その他	2		2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載してほしい	6	33	39
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	4	11	15
誤字がある	1	13	14
構成がよくない	2	11	13
教材の量が多い		9	9
資料・データが古い、改定版を出してほしい	5	3	8
もっと詳しい説明・解説をして欲しい	1	7	8
練習問題を入れてほしい、増やしてほしい		8	8
図表や写真が見にくい・不鮮明	5	2	7
分かりにくい・解説が不十分		7	7
カラー印刷してほしい	5	1	6
難しい漢字にふりがなが欲しい		5	5
練習問題の解答例・解説が欲しい		4	4
補完教材を加えてほしい	1	2	3
まとめや学習のポイントが欲しい		3	3
教材の量が少ない		3	3
例文を多くして欲しい	1		1
CDの内容が不十分	1		1
検索が欲しい		1	1
参考資料等を掲載してほしい		1	1
文字や図表が小さい		1	1
その他	3	1	4

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
授業や教材の内容と異なる	5	1	6
問題の解答例・解説が欲しい	2	1	3
選択式にして欲しい	1	1	2
コメントが不満		2	2
記述式にして欲しい	1		1
難しかった	1		1
問題文の文章表現が悪い	1		1
もっとコメントしてほしい		1	1
その他	2		2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	1	18	19
物足りない、簡単すぎて試験として不適合	9	2	11
授業や教材の内容と異なる	2	4	6
理解度や学習度合いを図る内容になっていない	3	1	4
教材等持ち込み可にして欲しい		4	4
通信指導と同じ試験形式にして欲しい	3		3
通信指導の内容と一緒である	2	1	3
解答と解説が欲しい	2		2
問題文の文章表現が悪い	1	1	2
問題数が多い、時間が足りない		2	2
判定結果だけでなく採点内容を知りたい	1		1
記述の字数制限に幅を持たせてほしい		1	1
選択式にして欲しい		1	1
通信指導の内容とかけ離れている		1	1
問題数が少ない		1	1
その他	1	1	2

【学部】「社会と産業コース」科目

よかった点

- 社会地区分析（クラスター図）やコミュニティ、スタディ（特定地域ローカル・コミュニティ）の社会構造を具体的に描き出す方法が良く分かりました。自治会、町内会（日本独自の住民組織）が大正、昭和初期の日本での戦時体制の政府により全国に制備された様子とか自営業者が行政への協力で天皇制国家の正式な構成員になれた様子が日本での自治会・町内会等のコミュニティのあり方が良く分かり大変、良かったと思います。
- 現代東アジアの政治と社会の関し、日本との深い歴史的関係、事実を理解する上で、大変良かったと思っています。
- ヨーロッパの政治史について、政治思想や政策の背景が細部まで分かるように教材がつくられていると感じた。
- 食品の生産、流通、加工等の全般にわたる現状、課題を知ることができて良かった。又、海外との関係も示されていて良かった。
- 著作権に対する関心が深まり、同時に著作権についての考え方や見方に変化が表れました。また刑罰や所有権、複製権に対する知識を身に付けることができました。
- 社会学に興味をもてるような幅広い分野の紹介ができており今後の学習の参考になった。
- 国際社会での視点、国内政治と国際政治（機関へ弱々しい存在）との連らなりが理解できた。
- 現在の日本の状況、世界の状況が良くわかりました。
- 国としての環境政策、環境法の任組 国際的な環境問題の取組等が理解でき視野が広がった。
- 環境について、特に日本の現状についてよく理解できた。日常生活に考えさせられることが多かった。

気になった点

- 放送内容と、教材との関連説明について、もう少し、ていねいな方向性を提示してある方がわかりやすいと思った。
- 表現がとりわけ難かしく、もう少し簡略に要点をまとめて下さるとよかったと思う。各内容項目共にあまりにも詳細で量の多いのに閉口したもう少し要約して重点的に記して欲しい。
- 冬章で、あまり多くのことを書き過ぎている。全体を理解し、身につけるためには、今の教材の半分の分量でよい。
- アグリビジネスの新たな展開の、何が新たな展開なのか、わからない。アグリビジネスって、なんなのかわからない。
- 印刷教材と放送教材の役割の振り分けがうまくできていない。どちらか一方を読むか聞くかすればいいというのでは放送大学らしくないと思います。
- 図表について詳しく説明を入れて欲しいところがありました。
- 課題の内容と試験の内容に開きがあった。法という難しい内容なので、レベルを上げすぎると、学生に戸惑いが生じると感じた。
- さまざまな現象を提示した結果、散漫な印象になり、焦点がぼやけた。テーマをしぼりすぎて解説してもよかったと思う。
- 教材をもう少し見やすく工夫した方が良いと思う。
- 内容が環境のことだけにテレビとしての映像がほしいと感じた。教材の中にもっと表や絵を入れてあればとも思う。インターネットで検索してみた。

【学部】「人間と文化コース」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	47	52	99
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	36	55	91
テーマについての興味が深まった	40	22	62
視野が広がった、視点が変わった	41	19	60
楽しく学べた	29	21	50
身近な生活にかかわる内容だった	33	14	47
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	17	30	47
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	25	14	39
理解しやすい内容だった	24	14	38
具体例・事例があった	13	23	36
学ぶ、知る楽しみを覚えた	17	12	29
今後の学習・研究に役に立つ	17	11	28
内容が充実していて、幅広い内容だった	11	8	19
これまで興味があった分野を学べた	11	7	18
今後の人生・生活に役立つ	14	3	17
社会に対する理解が深まった	10	6	16
受講してよかった	7	8	15
知りたかったことを学ぶことができた	9	5	14
理論的に学ぶことができた	8	1	9
仕事・社会活動に役立つ	5	3	8
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	5	2	7
最新の情報や研究が学べた	5	1	6
現在の課題や問題点を学べた	1		1
他の科目の学習に役立つ		1	1
その他	1	2	3

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像で理解しやすかった	45		45
楽しく受講できた	21	2	23
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	13	9	22
理解しやすい授業だった	13	7	20
講師が熱心だった、熱意が伝わった	13	2	15
講師に親しみがもてた	9	2	11
講師以外の人の話も聞けた	7	1	8
講義の内容がよかった	2	2	4
講師の私見・考え方も聞けた	1	1	2
インターネットで受講できた	1		1
複数の専門家の講義を聞けた	1		1
その他	2	2	4

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が良い、分かりやすい	9	15	24
内容が充実していた	6	6	12
CDが役立つ	1	9	10
理解しやすい内容だった	4	5	9
引用・参考文献があった、よかった		6	6
図表・写真等があり理解しやすかった	1	2	3
キーワード・ポイント等が役に立った		2	2
その他		3	3

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
丁寧な指導だった	1	1	2
その他	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		4	4
試験内容が適切であった	3		3

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 放送授業と印刷教材の関連を分かりやすく説明する
- 放送授業と印刷教材の内容を統一する
- 内容の偏りや分量に注意する
- 放送授業はテレビ科目にする
- 放送授業は学習ポイントを分かりやすく解説する
- 放送授業は教材をもとに、分かりやすい言い回しで解説をする
- 印刷教材はより鮮明で見やすい図表や写真を増やす
- 印刷教材はより分かりやすく、より詳しく説明や解説をする
- 単位認定試験は試験として、適格な難易度や内容になるよう工夫する

【学部】「人間と文化コース」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	21	17	38	
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	14	18	32	
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	16	7	23	
放送授業と印刷教材の内容が異なる	14	6	20	
事前に必要な基礎知識・入門書等を教えてほしい	9	8	17	
分量が多すぎる	9	8	17	
内容がばらついている、まとまりがない	5	11	16	
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4	12	16	
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	9	1	10	
もっと実践的な内容にして欲しい	6	4	10	
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	6	4	10	
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	7	2	9	
用語が分からない、解説をして欲しい	6	3	9	
具体例・事例を増やしてほしい	4	3	7	
不要に感じる部分がある	5	1	6	
内容に偏りがある	5		5	
内容を分割すべき	4	1	5	
期待する内容、科目案内とは違っていた	3	2	5	
分量を多くして欲しい	3	2	5	
もっと専門的にしてほしい	3	2	5	
放送授業と印刷教材の内容が同じである		3	3	
上級または関連する科目を開設して欲しい		1	1	
内容が面白くない		1	1	
その他	2		2	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
テレビ科目にして欲しい		28	28	
ポイントが分かりにくい	19	2	21	
印刷教材を読んでいるだけである	8	12	20	
時間が不足している	10	7	17	
講師の話し方がよくない	7	6	13	
説明が分かりにくい	3	7	10	
講師の話が聞きづらい	6	3	9	
講師の話し方が早口すぎる	2	7	9	
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	8		8	
インターネットで配信して欲しい	3	5	8	
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	2	5	7	
DVDが欲しい	5		5	
現場や講師以外の人の話も聞きたい	2	3	5	
面白みがない	3	1	4	
放送時間帯がよくない	3	1	4	
インタビュー・座談会の時間が長すぎる	2		2	
講義のテンポが良くない	2		2	
講義のスピードが速すぎる	1	1	2	
その他	12	4	16	

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
もっと見やすくしてほしい	15	9	24	
図表・写真を掲載して欲しい	7	16	23	
もっと詳しい説明・解説をして欲しい	11	11	22	
分かりにくい・解説が不十分	5	12	17	
練習問題の解答例・解説が欲しい	5	3	8	
資料・データが古い、改定版を出してほしい	5	2	7	
参考資料等を掲載して欲しい	3	2	5	
カラー印刷にして欲しい	4		4	
まとめや学習のポイントが欲しい	4		4	
誤字がある	1	3	4	
難しい漢字にふりがなが欲しい	1	3	4	
構成がよくない	2	1	3	
検索が欲しい	1	1	2	
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	1	1	2	
放送授業の資料やデータを載せてほしい		2	2	
練習問題が難しい、本文と関係ない		1	1	
練習問題を入れてほしい、増やしてほしい		1	1	
その他	10	5	15	

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
授業や教材の内容と異なる	1	2	3	
コメントが不満	2		2	
記述式にして欲しい	1		1	
記述の字数制限に幅を持たせて欲しい		1	1	
もっとコメントして欲しい		1	1	
問題の解答例・解説が欲しい		1	1	
その他	3		3	

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
教材等持ち込み可にして欲しい	2	9	11	
物足りない、簡単すぎて試験として不適格	6	3	9	
難しかった	2	5	7	
理解度や学習度合いを図る内容になっていない	4		4	
問題数が多い、時間が足りない		3	3	
問題文の文章表現が悪い	2		2	
内容に偏りがある	1	1	2	
通信指導の内容と一緒にある		2	2	
授業や教材の内容と異なる	1		1	
通信指導の内容とかけ離れている	1		1	
判定結果だけでなく採点内容を知りたい	1		1	
解答と解説が欲しい		1	1	
通信指導と同じ試験形式にして欲しい	1		1	
問題数が少ない	1		1	
その他	2	1	3	

【学部】「人間と文化コース」科目

よかった点

- 情報ネットワークの基盤となる仕組みについて理解することができた。
- 日本の文化に触れることができた。
- 映像と一緒に学べるので分かりやすかった。
- 倫理といっても、多方面に渡っていて、一つのことがらをいろいろな角度から考えるのに、大変勉強になりました。
- 科学哲学の歴史にも触れる内容であった点が良い。ギリシャ哲学とキリスト教の出会いの意味が暗示されていた点が良い。
- 印刷教材の内容を放送授業で説明や補足もしながら、教材の中で扱われた作品以外の紹介もされていて、とても、楽しく聴けた。直接、授業を受けている様に感じられる工夫がされている数少ない講義だったと思う。
- 興味深い映画を題材としているのは良かったと思う。チームワークの良さが画面からも感じる事が出来、英語をより一層楽しく勉強できた。
- 中国語を学ぶ教材とすれば、日本国内で最もすばらしいものだと思う。なぜならば他の中国語の教材では、ここまで詳しく中国語文法について、レクチャーしていないからである。また付属のCDも、発音を練習する上で役立った。
- 芸術を様々な角度から捉えるという点で、視野が広がり、これから先いろいろな見るに当たり、楽しみが増えていくように思います。
- 芸術作品の鑑賞する上で大切な概念や歴史的背景を学習することができた点。

気になった点

- 数学を使う授業なので、もっと数学について、分かりやすく、重点的に掘下げた授業をしてほしいです。
- 放送授業の説明が教材の詳しい話としての役割を期待したい。両方が同じで、教材で理解できないところは、放送を聞いても解決できなかった。
- 和歌の伝統文化的面と表現、文字、語学的な位置づけ、理解の面をはっきりと分けてほしい。課目としても別々に。
- 印刷教材の内容量が多いと感じたので、もう少し減らしてもらえたらと思います。
- あいまいな表現が多くて答えがはっきりとつかめなかった。
- 単位認定試験があまりにもむずかしすぎた。
- 年表があれば、より理解が容易であると思う。
- 特にネイティブの発音が大そう聞きとりにくかった。放送大学の学生にとってはカリキュラムそのものが少し高度過ぎるような気がする。
- 会話で使用できそうな短い例文を教えてほしい。
- 日常生活の中の芸術、例えば茶の湯や生け花、また柳宗説やウィリアム・モリスなどの民芸運動なども取り上げられると良いと思った。

【学部】「自然と環境コース」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	36	15	51
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	28	14	42
テーマについての興味が深まった	26	9	35
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	22	11	33
最新の情報や研究が学べた	28		28
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	24	1	25
視野が広がった、視点が変わった	20	5	25
楽しく学べた	16	1	17
理解しやすい内容だった	11	6	17
理論的に学ぶことができた	7	6	13
学ぶ、知る楽しさを覚えた	9	3	12
内容が充実していて、幅広い内容だった	8	3	11
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	7	3	10
具体例・事例があった	8	1	9
身近な生活にかかわる内容だった	4	5	9
これまで興味のあった分野を学べた	7		7
今後の学習・研究に役に立つ	5	1	6
今後の人生・生活に役立つ	4	1	5
受講してよかった	3	1	4
仕事・社会活動に役立つ	3		3
現在の課題や問題点を学べた	1	1	2
知りたかったことを学ぶことができた	1	1	2
その他	6	3	9

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	8		8
映像で理解しやすかった	6		6
講義の内容がよかった	6		6
インターネットで受講できた	5		5
講師が熱心だった、熱意が伝わった	4	1	5
理解しやすい授業だった	4		4
講師に親しみがもてた	3		3
実際の物や場万・現場を見ることができた	3		3
楽しく受講できた	3		3
図表があり理解しやすかった	2		2
講師の私見・考え方も聞けた	1		1
対話形式の授業がよかった	1		1
その他	2		2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が充実していた	3	2	5
図表・写真等があり理解しやすかった	4		4
内容が良い、分かりやすい	1	2	3
練習問題・課題が役に立った	1	1	2
キーワード・ポイント等が役に立った	1		1
理解しやすい内容だった	1		1
その他		2	2

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
持ち込み可がよかった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1	2	3

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 放送授業と印刷教材の内容を統一する
- 内容をより深く、より分かりやすく説明する
- 放送授業はテレビ科目にする
- 放送授業はテレビ科目ならではの映像を生かした内容にする
- 放送授業は学習ポイントを分かりやすく解説する
- 放送授業は教材をもとに、分かりやすい言い回しで解説をする
- 印刷教材はより鮮明で見やすい図表や写真を増やす
- 印刷教材はより分かりやすく、より詳しく説明や解説をする
- 単位認定試験は試験として、適格な難易度や内容になるよう工夫する

【学部】「自然と環境コース」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	24	13	37
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	16	3	19
放送授業と印刷教材の内容が異なる	16	2	18
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	9	1	10
分量が多すぎる	7	1	8
事前に必要な基礎知識・入門書を教えてほしい	6	2	8
用語が分からない、解説をして欲しい	6	1	7
具体例・事例を増やしてほしい	5	2	7
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	4	3	7
もっと専門的にしてほしい	4		4
内容を分割すべき	2	1	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1	2	3
もっと実践的な内容にして欲しい	2		2
現在の課題・問題点も取り入れてほしい	1		1
他の科目と内容が重複する	1		1
内容がばらついている、まとまりがない	1		1
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	1		1
もっと生活や実務に即したものにして欲しい	1		1
その他		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		26	26
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	7		7
説明が分かりにくい	2	4	6
ポイントが分かりにくい	4	1	5
印刷教材を読んでいるだけである	3	1	4
時間が不足している	3	1	4
講師の話が聞きづらい	3		3
講師の話し方が早すぎる	3		3
インターネットで配信して欲しい	2	1	3
DVDが欲しい	1		1
現場や講師以外の人の話も聞きたい	1		1
講師の話し方がよくない	1		1
その他	15	1	16

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい	14		14
カラー印刷にして欲しい	13		13
もっと詳しい説明・解説をして欲しい	9	4	13
もっと見やすくしてほしい	7	1	8
分かりにくい・解説が不十分	3	4	7
練習問題の解答例・解説が欲しい	1	4	5
練習問題を入れてほしい、増やしてほしい	3	1	4
参考資料等を掲載して欲しい	2	2	4
資料・データが古い、改定版を出してほしい	2		2
図表や写真が見にくい・不鮮明	2		2
まとめや学習のポイントが欲しい	2		2
検索が欲しい	1		1
誤字がある	1		1
複数の筆者による執筆で統一性に欠ける、重複がある	1		1
放送授業の資料やデータが欲しい	1		1
難しい漢字にふりがなが欲しい		1	1
その他	2	1	3

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっとコメントして欲しい	1	1	2
記述式にして欲しい	1		1
易すぎる	1		1
内容に偏りがある		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述の字数制限に幅を持たせてほしい	4		4
物足りない、簡単すぎて試験として不適合	4		4
内容に偏りがある	1	1	2
難しかった	1	1	2
教材等持ち込み可にして欲しい		1	1
理解度や学習度合いを図る内容になっていない		1	1
その他	1		1

【学部】「自然と環境コース」科目

よかった点

- 身近で日常生活につながるテーマを深く学習することができた。これ迄学習してきたテーマが多くあり、取りつきやすいと感じた。歴史から始まり、解りやすい解説とより深い知識へとつながり、大変興味を持って学習できた。総合的にまとめの学習になりました。ありがとうございました。
- 化学物質に関する最近問題となっている事柄に対して、分子論的な立場から考察する視野が広がったこと。
- 宇宙について、解明された最新の情報を知る事が出来、又、コンピュータグラフィックを使った、映像など、とても興味深く、講義を受ける事が、出来ました。
- しっかりと知識が身についたと思います。放送授業のメリットをしっかりと活かしたすばらしい講義でした。
- 地球の構造、動きが理解できて、知識が広がった。
- 代数というものの難しさ、奥の深さを垣間見ることができた。代数に関連する断片的知識を身につけられた。特に、群・環・体、あるいは、対称式、四元数、作用素などについての理論的な基礎知識も合わせて理解できた。
- 反復学習をすれば何か、掴めるというご指導を頂き、何度も書き写すことにより、入り口が発見できた。
- 興味を持つように、授業が構成してあり、楽しく学習出来た。これからも継続して、微分、積分を学びたい。
- 宇宙に感ずる認識が広がりニュースなどの理解や興味が深まった。
- 視野が具体的に広がり、又この分野への興味が大きくなった。

気になった点

- テレビで放送すべきだと思いました。ラジオでは分子の構造や、化学工業の現状などはわかりずらいと思います。そのために、とてもこの科目の分量がかなり多いように感じられました。想像で理解することは困難な作業だと思います。
- 少しテーマをしぼって、もう少し掘り下げるところがあってもよいと思います。
- 印刷教材に、もう少し図表や写真が多ければ良いなと思いました。
- 印刷教材と放送内容が進度として、ズレがある。それぞれ、すぐれた内容なのに初心者は迷います。
- 内容の幅が広く、教科書だけではとても理解できないところが多数あり、参考になる教科書をさがすのに苦労した。また、演習問題の解答が分からないところがあり、もう少し詳しい内容の解答が欲しいと思った。
- 通信指導と授業とのギャップがあることをやや感じた。
- テレビの利点をもっと生かすべきだと思う。
- 限られた時間ですので難しいでしょうが、定理の意義や証明のポイントを詳しく説明していただければと思います。
- ポイントとなる言葉など学習の手がかりが章ごとにあると、復習に役立つと思う。
- テキストに文字が多く、なかなかイメージがわからず、理解しにくい部分があったので、写真を合間に入れて、宇宙のイメージをわかりやすく伝えて頂きたい。

【学部】「夏季集中」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般 意見	科目全般		合計
	テレビ	ラジオ	
今まで知らなかった知識が身に付いた	20	4	24
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	16	2	18
最新の情報や研究が学べた	12	1	13
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	11	2	13
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	8	5	13
今後の人生・生活に役立つ	9	1	10
仕事・社会活動に役立つ	9	1	10
視野が広がった、視点が変わった	9	1	10
理解しやすい内容だった	9	1	10
今後の学習・研究に役に立つ	8	1	9
テーマについての興味が深まった	8		8
理論的に学ぶことができた	7		7
資格取得に役立った	6		6
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	5	1	6
具体例・事例があった	5		5
楽しく学べた	5		5
受講してよかった	3	1	4
学ぶ、知る楽しさを覚えた	3	1	4
現在の課題や問題点を学べた	3		3
知りたかったことを学ぶことができた	3		3
内容が充実していて、幅広い内容だった	2	1	3
これまで興味のあった分野を学べた	2		2
身近な生活にかかわる内容だった	2		2
社会に対する理解が深まった	1		1
その他	3	1	4

放送授業 意見	放送授業		合計
	テレビ	ラジオ	
映像で理解しやすかった	10		10
理解しやすい授業だった	5		5
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	3		3
図表があり理解しやすかった	2		2
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1		1
楽しく受講できた	1		1
講義の内容がよかった		1	1
その他	1		1

印刷教材 意見	印刷教材		合計
	テレビ	ラジオ	
理解しやすい内容だった	4	2	6
図表・写真等があり理解しやすかった	2		2
内容が良い、分かりやすい	2		2
内容が充実していた	1	1	2
引用・参考文献があった、よかった	1		1
練習問題・課題が役に立った		1	1
その他	1		1

通信指導 意見	通信指導		合計
	テレビ	ラジオ	
その他	1		1

単位認定試験 意見	単位認定試験		合計
	テレビ	ラジオ	
単位がとれた	1		1
その他	1		1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 分量が適切になるよう工夫する
- 範囲が広くなりすぎないように、ポイントを絞るよう工夫する
- 放送授業と印刷教材の内容を統一する
- 放送授業は教材をもとに、分かりやすい言い回しで解説をする
- 放送授業は現場や講師以外の話も取り入れた内容にする
- 放送授業はテレビ科目ならではの映像を生かした内容にする
- 印刷教材はより詳しい説明や解説をする
- 印刷教材はより鮮明で見やすい図表や写真を増やす
- 通信指導は問題の解答例や解説を取り入れる

【学部】「夏季集中」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	6		6
分量が多すぎる	5		5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4		4
放送授業と印刷教材の内容が異なる	4		4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3		3
事前に必要な基礎知識・入門書を教えてほしい	2	1	3
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	2		2
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい	2		2
用語が分からない、解説をして欲しい	2		2
期待する内容、科目案内とは違っていた	1		1
具体例・事例を増やしてほしい	1		1
他の科目と内容が重複する	1		1
内容に偏りがある	1		1
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい		1	1
内容がばらばらしている、まとまりがない		1	1
その他	4	2	6

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を読んでいるだけである	9	1	10
現場や講師以外の人の話も聞きたい	4		4
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	3		3
講義のテンポが良くない	2		2
講師の話が聞きづらい	2		2
時間が不足している	2		2
説明が分かりにくい	2		2
テレビ科目にして欲しい		2	2
講師の話し方が早口すぎる	1		1
講師の話し方がよくない	1		1
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	1		1
ポイントが分かりにくい	1		1
放送時間帯がよくない	1		1
インターネットで配信して欲しい		1	1
面白みがない		1	1
その他	8		8

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をして欲しい	2		2
もっと見やすくしてほしい	2		2
図表・写真を掲載して欲しい	1	1	2
複数の筆者による執筆で統一性に欠ける、重複がある	1		1
放送授業の資料やデータが欲しい	1		1
まとめや学習のポイントが欲しい	1		1
分かりにくい・解説が不十分	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答例・解説が欲しい	4		4
もっとコメントして欲しい	1		1
その他	6		6

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導の内容とかけ離れている	1		1

【学部】「夏季集中」科目

よかった点

- 学習指導をするにあたって、学校図書館をどのように活用できるか、ということについて具体的な実践例なども知ることができ、自分が実践してみたいと思うことができた点。
- 印刷教材と、画面がよくあっていて、わかりやすかった。全体像と、こまかな点がともにつかみやすい。具体的授業がよかった。
- 仕事上でもあらゆる情報メディアを利用・活用している。原点にもどりあらためて学習でき、今後さらなる活用に役立てることができると思う。また、知識が広がり、後輩等への説明や伝達に自信が持てた。
- 専門用語の意味を知ることができ、知識が高まった。
- 内容が明確でわかりやすかったです。
- 新しい知識が身につく視野が広がった。
- 小児医療の現状と課題、看護師としての援助、役割を勉強することが出来てよかったと思います。
- 小児は特殊な分野なので学べてよかった。テレビ放送の先生たちがとっても話しが上手で聞いていて引き込まれます。
- 教材だけだとわかりにくいポイントが放送授業を聴取することでわかりやすい。
- 成人看護という広範囲な分野なので、何をどう学べば良いのか、わかりづらい科目ですが、この科目を受講して、大まかなポイント付けができました。

気になった点

- 図書館司書について幅が広く、少し難しく感じた。・司書教諭が実際に授業（指導）する、指導案のようなものをたくさん載せてほしい。
- 通信指導の課題テーマが何を意図しているのか、分かりづらかった。
- コンピュータの基本知識がないと、とてもむづかしく感じる部分があった。
- 放送教材ならではの映像や図の提示がもっと多い方がよい。
- 短期間の学習だった為、範囲が広く、もう少し時間に余裕がほしかった。
- テキストを読みあげるだけの放送ではなくテキストを基本に説明してほしい。
- テキストの内容量が多過ぎると思う。巻末の資料は、出来れば、その章に収めて頂くと勉強する側としては、助かる。
- もっと病気の内容を詳しく教えてもらいたかった。
- めりはりがなく、頭に残りにくい。
- もう少し、深い内容にして欲しい。

Ⅲ－3. 大学院

【大学院】「生活健康科学プログラム」科目

よかった点

(単位;人)

科目全般 意見	科目全般		
	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	25	45	70
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	5	29	34
テーマについての興味が深まった	1	16	17
視野が広がった、視点が変わった	3	11	14
理解しやすい内容だった		12	12
知りたかったことを学ぶことができた	2	9	11
今後の人生・生活に役立つ	1	8	9
仕事・社会活動に役立つ		9	9
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	2	6	8
受講してよかった	1	6	7
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	1	5	6
具体例・事例があった		6	6
これまで興味があった分野を学べた	2	1	3
最新の情報や研究が学べた		3	3
身近な生活にかかわる内容だった		3	3
現在の課題や問題点を学べた		2	2
他の科目の学習に役立つ		2	2
楽しく学べた	1		1
今後の学習・研究に役に立つ		1	1
資格取得に役立った		1	1
社会に対する理解が深まった		1	1
理論的に学ぶことができた		1	1
その他	1	7	8

放送授業 意見	放送授業		
	テレビ	ラジオ	合計
講師の話し方がよかった、分かりやすかった		11	11
インターネットで受講できた		4	4
映像で理解しやすかった	3		3
複数の専門家の講義を聞いた		3	3
理解しやすい授業だった		3	3
講師に親しみがもてた	1	1	2
講師が熱心だった、熱意が伝わった		2	2
講師以外の人の話も聞いた		1	1
図表があり理解しやすかった		1	1
楽しく受講できた		1	1

印刷教材 意見	印刷教材		
	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	1	5	6
図表・写真等があり理解しやすかった		3	3
内容が充実していた		3	3

通信指導 意見	通信指導		
	テレビ	ラジオ	合計
添削、コメントをしてもらえた		1	1

単位認定試験 意見	単位認定試験		
	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		3	3

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 具体例や事例を増やす
- 放送授業と印刷教材の内容を統一する
- より専門的な内容になるよう工夫する
- 範囲が広くなりすぎないように、ポイントを絞るよう工夫する
- 放送授業はテレビ科目にする
- 放送授業は教材をもとに、分かりやすい言い回しで解説をする
- 放送授業はインタビューや座談会の時間を調整する
- 印刷教材はより鮮明で見やすい図表や写真を増やす
- 単位認定試験は試験として、適格な難易度や内容になるよう工夫する

【大学院】「生活健康科学プログラム」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	1	4
具体例・事例を増やしてほしい	1	3	4
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	1	3	4
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	3	4
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい		4	4
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1	2	3
他の科目と内容が重複する	2		2
内容がばらついている、まとまりがない	2		2
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	1	1	2
期待する内容、科目前案内とは違っていた	1		1
現在の課題・問題点も取り入れてほしい		1	1
今後に向けた解決策なども入れてほしい		1	1
質問や相談がしたい		1	1
分量が多すぎる		1	1
放送授業と印刷教材の内容が同じである		1	1
その他		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		11	11
印刷教材を読んでいるだけである	5	2	7
インタビュー・座談会の時間が長すぎる	2		2
説明が分かりにくい	1	1	2
講師の話が聞きづらい	1		1
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	1		1
現場や講師以外の人の話も聞きたい		1	1
講師の話し方が早口すぎる		1	1
講師の話し方がよくない		1	1
ポイントが分かりにくい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい		2	2
分かりにくい・解説が不十分	1		1
CDの内容が不十分		1	1
誤字がある		1	1
資料・データが古い、改定版を出してほしい		1	1
図表や写真が見にくい・不鮮明		1	1
文章表現が分かりにくい、まわりくどい		1	1
難しい漢字にふりがなが欲しい		1	1
もっと詳しい説明・解説をして欲しい		1	1
もっと見やすくしてほしい		1	1
量が多い		1	1
その他	1	4	5

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっとコメントして欲しい	1	1	2
授業や教材の内容と異なる	1		1
その他		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式にして欲しい	2		2
問題文の文章表現が悪い	1	1	2
物足りない、簡単すぎて試験として不適格		2	2
難しかった	1		1
解答と解説が欲しい		1	1
授業や教材の内容と異なる		1	1
問題数が少ない		1	1
理解度や学習度合いを図る内容になっていない		1	1

【大学院】「生活健康科学プログラム」科目

よかった点

- 精神医学の概要を体系的につかめた。授業もテキストも要点がはっきりしていて、わかりやすかった。
- 精神科医がどのように治療をしているのかがよくわかった。研究課題はポイントを得ていて学習の内容を深めることができた。
- 精神（心理）についての医学的側面の視野が広がり理解が深まった。
- 現在の社会福祉政策の体系を知ることができた。
- いろいろな事例を知る事ができた。
- 多面的な視点から福祉政策（福祉現場）の動向を考える事ができた。
- 医学の歴史などを学ぶことができ視野が広がった。
- 医学の進歩は永い年月にわたる多くの人々の継続研究の集積によるものであり、今日の健康はそれらに支えられているということがよくわかった。
- 社会福祉の研究対象、方法についてわかりやすく、学ぶ点が多かった。講師の熱意を感じさせられた。単位認定試験が終了してからも、教科書を繰り返し、勉強している。
- 社会福祉について、背景や現状、課題等を理解することができた。

気になった点

- できればテレビ（映像）を活用する方が良いと思う。とくに病的な状態を役者が演じるなどで、医学的理解を深められる。
- もう少し具体的な事例を多くとり入れ、印刷教材の回数をふやしてもいいのでは？
- 印刷教材に図表が少ないこと。
- インタビュー中心の回は、印刷教材の説明がなかった。あった上での実践の場で活動している為のインタビューになるとより分かりやすかったと思う。
- 範囲がひろすぎたのではないかと思う。
- プライマリケアの内容、ポイントがつかみにくい。
- 歴史の流れが分断されて記載されているので相互の流れ、関連を知るのがむずかしかった点。
- 労働政策と社会福祉政策の関連性について掘り下げて欲しかった。例えば、労働市場の規制緩和・流動化とそれに対応する社会福祉政策のあり方など。
- 内容が専門的で難しく感じる所があった。
- 福祉を受ける当事者の意見や声が少ないように思ったが…どうでしょうか？

【大学院】「人間発達科学プログラム」科目

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	36		36
受講してよかった	26		26
視野が広がった、視点が変わった	25		25
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	21		21
仕事・社会活動に役立つ	18		18
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	10		10
最新の情報や研究が学べた	9		9
今後の人生・生活に役立つ	8		8
具体例・事例があった	7		7
これまで興味があった分野を学べた	6		6
社会に対する理解が深まった	5		5
楽しく学べた	5		5
身近な生活にかかわる内容だった	4		4
知りたかったことを学ぶことができた	3		3
現在の課題や問題点を学べた	2		2
今後の学習・研究に役に立つ	2		2
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	2		2
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	1		1
テーマについての興味が深まった	1		1
学ぶ、知る楽しさを覚えた	1		1
理解しやすい内容だった	1		1
その他	4		4

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師が熱心だった、熱意が伝わった	7		7
映像で理解しやすかった	4		4
インターネットで受講できた	1		1
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	1		1
対話形式の授業がよかった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が良い、分かりやすい	3		3
理解しやすい内容だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削、コメントをしてもらえた	3		3

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- より詳しく内容の説明や解説をする
- 具体例や事例を増やす
- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 分量が適切になるよう工夫する
- 放送授業と印刷教材の内容を統一する
- 放送授業は講義のテンポを工夫する
- 印刷教材は構成を工夫する
- 単位認定試験は授業や教材に関連した内容にする

【大学院】「人間発達科学プログラム」科目

気になった点

(単位;人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	10		10
具体例・事例を増やしてほしい	8		8
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	3		3
分量が多すぎる	3		3
期待する内容、科目案内とは違っていた	2		2
現在の課題・問題点も取り入れてほしい	2		2
他の科目と内容が重複する	2		2
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	2		2
不要に感じる部分がある	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
内容がばらついている、まとまりがない	1		1
内容に偏りがある	1		1
放送授業と印刷教材の内容が同じである	1		1
もっと実践的な内容にして欲しい	1		1
その他	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講義のテンポが良くない	2		2
印刷教材を読んでいるだけである	1		1
対話式の授業でない方がよい	1		1
ポイントが分かりにくい	1		1
放送時間帯が良くない	1		1
その他	2		2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
構成が良くない	2		2
図表・写真を掲載して欲しい	1		1
補完教材を加えてほしい	1		1
まとめや学習のポイントが欲しい	1		1
その他	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
コメントが不満	1		1
難しかった	1		1
問題の解答例・解説が欲しい	1		1
理解度や学習度合いを図る内容になっていない	1		1
その他	2		2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
授業や教材の内容と異なる	2		2

【大学院】「人間発達科学プログラム」科目

よかった点

- 教育と地域との関係、かかわりが学問として学ぶことが出来た。過去と現在の変化、そして起こって来た問題点を知ることができた。
- 具体例、映像が抱具でよかった。
- 学校教育において、地域教材をとり入れることのメリットが改めて認識できた。日本の各地で、地域の素材が活用されている様子について、視野が深まった。
- 今、学力、学力と騒いでいるが、その中であって、「才能」ということをいろいろな角度からとらえて、とても勉強になった。これからはこうした視野をもって教育にあたり、大切な日本人の育成（日本の国に住んでいる外国人も含め、）をしていくべきだと思う。
- 実際の学校教育と照らし合わせながら取り組むことができた。才能をどう生かしていくかを考えさせられた。
- 他の情報源（本・テレビなど）からはなかなか得られない情報が豊富で、大変役に立った。
- 生涯学習の本質や、人や社会との関わりなど、あいまいな知識だったが、具体的に示されて、理解することができた。
- 理論だけでなく実践の実例を学べたこと。
- 人は常に学び続けていくものだという思いを強くもった。世界の生涯学習も参考のなった。
- 生涯学習についての参考になる事例が多い事。自分の学習について再考となり得たこと。

気になった点

- 自治会・町内会などの地域の組織の変遷や役割・活動と、学校教育とのかかわりなどが内容にあるとよいと感じた。
- 印刷教材で箇条書きにしてまとめられていることを、放送授業で読んでいるだけの回は、あまり学習が深まらなかった。
- 内容が豊富すぎて、全体を理解するところまで到達できなかった。
- 事例の紹介、解説がわかりにくい事が時々あった。
- 内容の重複がみられました。
- もう少し芸術分野（美術、音楽など）の才能教育のあり方の講義があってもよかった。
- 課題は、論述式と択一式の両方があると、自分がどの部分が理解できていないのかが分かり試験対策がしやすいと思った。
- 教科書の中などで文章の書き方、まとめ方などを例文で表記があると、自分で書く時参考になるのではないかと思う。
- 未来への展望、方向性についての話をもう少し増やして欲しいと思います。
- 生涯学習の現状についても知りたい。

【大学院】「臨床心理学プログラム」科目

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた		21	21
視野が広がった、視点が変わった		13	13
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった		11	11
テーマについての興味が深まった		5	5
知りたかったことを学ぶことができた		4	4
基礎的な知識を得られた、概要がわかった		3	3
現在の課題や問題点を学べた		3	3
最新の情報や研究が学べた		2	2
仕事・社会活動に役立つ		2	2
楽しく学べた		2	2
理解しやすい内容だった		2	2
これまで興味のあった分野を学べた		1	1
今後の人生・生活に役立つ		1	1
社会に対する理解が深まった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師が熱心だった、熱意が伝わった		2	2
講師の話し方がよかった、分かりやすかった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 具体例や事例を増やす
- 放送授業と印刷教材の内容を区別する
- 放送授業は教材をもとに、分かりやすい言い回しで解説をする
- 放送授業はテレビ科目にする
- 印刷教材は図表や写真を増やす

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体例・事例を増やしてほしい		5	5
放送授業と印刷教材の内容が同じである		4	4
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		1	1
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい		1	1
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい		1	1
内容に偏りがある		1	1
内容に不足点がある、もっと知りたいことがあった。		1	1
放送授業と印刷教材の関連が分かりにくい		1	1
もっと実践的な内容にして欲しい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を読んでいるだけである		12	12
テレビ科目にして欲しい		3	3
ポイントが分かりにくい		1	1
その他		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真を掲載して欲しい		10	10
構成がよくない		1	1
補完教材を加えてほしい		1	1
もっと詳しい説明・解説をして欲しい		1	1
その他		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式にして欲しい		1	1
授業や教材の内容と異なる		1	1
その他		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式にして欲しい		2	2
授業や教材の内容と異なる		1	1
問題文の文章表現が悪い		1	1

【大学院】「臨床心理学プログラム」科目

よかった点

- 家族療法の全体像がわかった。
- 家族心理の視野が広がった。家族心理学の勉強になった。
- 専門用語を知ることができた。
- 社会や人間関係の問題の心理学的理解が整理できた。社会心理的持論の内容と共に深く関心が持てた。
- 日頃疑問に感じていた点を理解することができた。
- 他科目との関連性や体系がつかめ、視野を広げ考え方を深めることができた。「人間」、「生きていくということ」などの考察意欲が更に高まった。
- 個人心理学では学べない関係性を家族及び夫婦を単位として整理して学べた。くり返して教材に述べられている点が多く思い出しながら知識の整理が出来た。
- 家族療法の理論や技法について知識が得られたことが良かった。

気になった点

- この科目を受講しても実際に家族療法を行うことはできないと思う。理論を知るだけでなく実際に生かせる技術が学べれば尚良い。
- 具体的にどう介入していくのか、もっと知りたい。
- 専門用語については、用語集があると私のような門外の者にもわかりやすい。歴史や療法については表にまとめてあるとわかりやすい。
- 図表（写真）がたくさんあると、より理解しやすかったと思います。
- 映像で見られればより良いと感じた。できればテレビ科目にした方が良いように思われた。
- 印刷教材と放送教材の内容がほぼ同じだったので、それぞれの部分もあってよいと思った。

【大学院】「社会経営科学プログラム」科目

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	11	8	19
視野が広がった、視点が変わった	9	7	16
具体例・事例があった	9	4	13
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	4	7	11
今後の人生・生活に役立つ	7	2	9
これまで持っていた知識の整理・深耕に役立った	2	7	9
今後の学習・研究に役に立つ	3	4	7
これまで興味があった分野を学べた	3	2	5
仕事・社会活動に役立つ	3	2	5
理論的に学ぶことができた	2	3	5
社会に対する理解が深まった	1	4	5
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	3	1	4
内容が充実していて、幅広い内容だった	3		3
学ぶ、知る楽しみを覚えた	2	1	3
最新の情報や研究が学べた	1	2	3
理解しやすい内容だった	1	2	3
テーマについての興味が深まった	2		2
現在の課題や問題点を学べた	1	1	2
知りたかったことを学ぶことができた		2	2
身近な生活にかかわる内容だった	1		1
その他	1	2	3

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講義の内容がよかった	2	3	5
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1	3	4
理解しやすい授業だった	1	2	3
映像で理解しやすかった	2		2
講師に親しみがもてた		2	2
実際の物や場万・現場を見ることができた	1		1
複数の専門家の講義を聞いた	1		1
インターネットで受講できた		1	1
講師以外の人の話も聞いた		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表・写真等があり理解しやすかった	2		2
引用・参考文献があった、よかった		2	2
内容が良い、分かりやすい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
その他	1		1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 具体例や事例を増やす
- 内容をより深く、より分かりやすく説明する
- 内容の偏りなどに注意しながら、より専門的な内容になるよう工夫する
- 放送授業はテレビ科目にする
- 放送授業は学習ポイントを分かりやすく解説する
- 放送授業は話し方を工夫し、聞き取りやすいようにする
- 印刷教材はより分かりやすく、より詳しく説明や解説をする
- 印刷教材はより鮮明で見やすい図表や写真を増やす

【大学院】「社会経営科学プログラム」科目

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体例・事例を増やしてほしい	4	3	7
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	2	1	3
内容に偏りがある	1	2	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
もっと専門的にしてほしい	2		2
内容がばらついている、まとまりがない	1	1	2
期待する内容、科目案内とは違っていた	1		1
今後に向けた解決策なども入れてほしい	1		1
他の科目と内容が重複する	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
内容が面白くない	1		1
事前に必要な基礎知識・入門書等を教えてほしい		1	1
その他		2	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にして欲しい		6	6
ポイントが分かりにくい		3	3
講師の話し方がよくない		2	2
DVDが欲しい	1		1
現場や講師以外の人の話も聞きたい	1		1
講義のスピードが速すぎる	1		1
印刷教材を読んでいるだけである		1	1
時間が不足している		1	1
説明が分かりにくい		1	1
その他	1	3	4

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい・解説が不十分	2	4	6
図表・写真を掲載して欲しい	1	4	5
もっと見やすくしてほしい	2	1	3
図表や写真が見にくい・不鮮明	2		2
放送授業の資料やデータを載せてほしい	2		2
放送授業の資料やデータが欲しい	1	1	2
もっと詳しい説明・解説をして欲しい	1	1	2
誤字がある		2	2
文章表現が分かりにくい、まわりくどい		2	2
練習問題の解答例・解説が欲しい		2	2
カラー印刷にして欲しい	1		1
資料・データが古い、改定版を出してほしい	1		1
構成がよくない		1	1
参考資料等を掲載して欲しい		1	1
まとめや学習のポイントが欲しい		1	1
その他		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった		2	2
コメントが不満		1	1
易すぎる		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	2		2
問題数が多い、時間が足りない		2	2
記述の字数制限に幅を持たせてほしい	1		1
問題文の文章表現が悪い	1		1
その他	4		4

【大学院】「社会経営科学プログラム」科目

よかった点

- 企業や市場で大規模組織が発達したことについて学習できた。
- 人間関係、協力、組織等について、今まで考えることはあまりなかった。まだまだ理解出来ていないが、勉強する良い機会が得られたと思っています。
- 「組織」というものがどのように社会的に発生し、発展し、現代に至ったのかを知ることで、実際に企業で働く社会人として視野が広がった。
- 近代から現代に至るまでの社会経済組織の発展過程を多くの学者の理論（学説）に基づいて、学べたことが大変有意義でした。
- 私自身が今まで持っていた視点が更に広がる事が多々あり、勉強というくくりだけではなく、様々なものを身に付けられたと感じる。
- 事例紹介が多く取り入れられ、臨場感に満ちていた。
- 日本国内はもとより海外の都市環境デザインの多くの事例に出会えて今後の地域のまちづくり参加に役立つ内容であった。
- 哲学的な視点で事象を見たことがないため、考え方は新鮮に感じた。
- 公共性の概念について様々な見方、考え方があということが理解出来た点はよかったと思っている。また公共性について哲学からのアプローチだけでなく憲法学、経済学等いろいろな分野からの見方を紹介していたことは良かったと思う。
- 公共政策を推進する基盤となる考え方について学ぶことができた。

気になった点

- どこにポイントがあるのかつかみどころのない内容が多かった。
- 内容的に平易すぎると感じる。大学院の授業としてはもう少し高度なものを期待していた。
- テレビ科目にしてほしい。表図・等の工夫がほしい。
- やや、広くて浅いとも感じた。もう少し範囲がせまくても深く知りたいと思った。
- 単位認定試験は“論文形式”の方がよかったのではないかと（本科目にはマッチした）と思っています。
- 事例紹介に理論体系の説明が必要。
- 印刷教材で、グラフや地図が小さすぎて、読み取れない部分があるのが残念です。
- 特に前半の内容は難しい。何度、印刷教材を読んでも理解できないところが多かった。哲学と名のつく講座は初めて受講したが、実学として実際にどう役だてるのか良くわからない面もある。
- 教材に図や写真が少なく感じた。
- 哲学一般にいえることだが文章が分かりにくい。

【大学院】「文化情報学プログラム」科目

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今まで知らなかった知識が身に付いた	11	9	20
視野が広がった、視点が変わった	15	4	19
社会に対する理解が深まった	12	3	15
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	6	5	11
テーマについての興味が深まった	6	4	10
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	4	4	8
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	5	2	7
今後の人生・生活に役立つ	3	3	6
楽しく学べた	3	3	6
学ぶ、知る楽しみを覚えた	5		5
知りたかったことを学ぶことができた	4	1	5
今後の学習・研究に役に立つ	3	2	5
これまで興味のあった分野を学べた	2	3	5
内容が充実していて、幅広い内容だった	3	1	4
最新の情報や研究が学べた	2	2	4
仕事・社会活動に役立つ	3		3
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	3		3
他の科目の学習に役立つ	3		3
具体例・事例があった	2	1	3
現在の課題や問題点を学べた	2	1	3
理論的に学ぶことができた	1	2	3
理解しやすい内容だった	2		2
身近な生活にかかわる内容だった	1		1
その他	1	1	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像で理解しやすかった	5	1	6
講師が熱心だった、熱意が伝わった	2	3	5
講師に親しみをもてた	2	1	3
楽しく受講できた	1	2	3
講師の話し方がよかった、分かりやすかった	2		2
理解しやすい授業だった	2		2
講義の内容がよかった	1		1
講師以外の人の話も聞けた	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすい内容だった	2	1	3
内容が充実していた	1	2	3
引用・参考文献があった、よかった	1		1
練習問題・課題が役に立った	1		1
内容が良い、分かりやすい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
丁寧な指導だった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切であった	1	1	2

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 難解な部分の説明を工夫し、学習ポイントを明確にする
- 内容の偏りや分量に注意しながら、より深くより分かりやすく説明する
- 具体例や事例を増やす
- 放送授業は教材をもとに、分かりやすい言い回しで解説をする
- 放送授業はテレビ科目ならではの映像を生かした内容にする
- 放送授業は講師間の連携を高め、内容もばらつきがないようにする
- 放送授業は学習ポイントを分かりやすく解説する
- 印刷教材は参考資料等を掲載し、図表や写真も増やす

【大学院】「文化情報学プログラム」科目

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	1	6	7
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	1	5
具体例・事例を増やしてほしい	3	2	5
内容がばらついている、まとまりがない	4		4
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	3	1	4
現在の課題・問題点も取り入れてほしい	3		3
分量が多すぎる	1	1	2
用語が分からない、解説をして欲しい		2	2
期待する内容、科目案内とは違っていた	1		1
内容に偏りがある	1		1
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	1		1
もっと実践的な内容にして欲しい	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		1	1
その他	5	3	8

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を読んでいるだけである		6	6
時間が不足している	2	2	4
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	3		3
複数の講師のため統一性・連携に欠ける	3		3
ポイントが分かりにくい	2	1	3
インターネットで配信して欲しい	1	1	2
放送時間帯がよくない	1	1	2
講師の話し方がよくない	1		1
面白みがない		1	1
講師の話し方が早口すぎる		1	1
テレビ科目にして欲しい		1	1
その他	3	1	4

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
参考資料等を掲載して欲しい	2	1	3
もっと詳しい説明・解説をして欲しい	2	1	3
図表・写真を掲載して欲しい	1	1	2
文章表現が分かりにくい、まわりくどい	1	1	2
例文を多くして欲しい	1		1
構成がよくない	1		1
資料・データが古い、改定版を出してほしい	1		1
複数の筆者による執筆で統一性に欠ける、重複がある	1		1
放送授業の資料やデータが欲しい	1		1
放送授業の資料やデータを載せてほしい	1		1
まとめや学習のポイントが欲しい	1		1
誤字がある		1	1
もっと見やすくしてほしい		1	1
その他	1	1	2

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題を増やした方がよい	2		2
理解度や学習度合いを図る内容になっていない	1	1	2
コメントが不満	1		1
授業や教材の内容と異なる	1		1
問題文の文章表現が悪い	1		1
易しすぎる	1		1
難しかった		1	1
その他	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
教材等持ち込み可にして欲しい	1		1
問題文の文章表現が悪い	1		1
難しかった		1	1
その他	1	2	3

【大学院】「文化情報学プログラム」科目

よかった点

- 1. グローバルな問題が、どのようにローカルに現れるか、具体的に理解できた点。2. 近代化やその技術、価値観が、西欧以外の地域、伝統的生活、文化に及ぼした影響について考察できたこと。
- 地球で現代に生活している者の一人として視野がずいぶんと広がった点。
- 環境という点を人類学の観点から細かく分析しており、理系と文系のつなぐ架け橋であり大変良かった。
- 人類がいろいろな自然環境と生活様式で生きていることを知ることができ、その中で生じているさまざまな問題などを学ぶことができたことが良かったです。
- 東アジアという視点で歴史や社会をとらえることができるようになった。
- 東アジアの古代から現代までの歴史を学ぶことができた。主要な要点を簡潔にわかりやすく解説されていた。歴史観についての新しい視点を提供してくれた。
- 専門分野各講師が独自の専門的学識を発表され興味深かった。
- 生命から哲学の時代の流れを把握でき、とても参考になった。
- 印刷教材や自習課題、通信指導、単位認定試験の問題を通して正確な知識を身につけることができた。自分の勉強が進んだ。
- 哲学史の知識が整理された。

気になった点

- せっかくのテレビ授業なので、映像資料をふやしてほしい。
- 全ての問題に通じる人類学的視点や、アプローチ方法をもう少し詳しく、強調してほしい。
- 放送教材にでてくる語句を転記するのに画面がすぐ変わるので転記できないのが残念である。(テレビ)印刷教材に従って放送教材を行ってほしい。
- 人類学を環境の関わりの中で視て考えるのはユニークな試みであるが、その歴史的経過の中での変化を考察することや、環境に適応した文明の意義も考えることがあればもっと良くなると思う。
- 各章のテーマはそれぞれ興味深かったが、おおまかな(3ブロックぐらい)地域、時代の統一制があった方が理解しやすいように思えた。
- 国別、時代別項目(歴史、文化、政治、経済、宗教等)別に科目編成をしてもいいのではないか。東アジア(含む南西アジア)は我国における21世紀の大きな課題であり重要なテーマといえる。
- 15回にまとめる分量としては過大。中国の歴史と社会だけでも、一つの授業科目としてはほしい位です。講義のねらいでもある「より豊かな歴史像を描き出す道を探求する」には提示された参考文献を忠実に読むことが必要なので、6ヶ月では負担大。
- ・他の科目でも同様だが、放送授業では、印刷教材の内容の重要点のランクを、明確に示してほしい。何が最も重要で次に何が重要なのかである。それにより、受講者は全体的な構図が獲得でき、次のステップの重要な指標と出来る。
- 特に、この科目と言うことだけではありませんが哲学の授業にしては広く浅くの感が否めませんでした。自分の生死観に何かを得ようと考えていますが今回の授業では哲人達の哲学的知識を理解することであったように思いました。45分で15回ではこのような科目ではどうしても広く浅くなってしまふのでは。一科目一哲人にして数年間のシリーズ的に考えて見てはいかがでしょうか。
- 哲学史と生命の概念ということが難しく、理解できなかった。もう少し解り易く解説してほしい。

【大学院】「自然環境科学プログラム」科目

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テーマについての興味が深まった	6	2	8
視野が広がった、視点が変わった	5	1	6
学ぶ、知る楽しさを覚えた	4	1	5
今まで知らなかった知識が身に付いた	3	2	5
基礎的な知識を得られた、概要がわかった	1	4	5
社会に対する理解が深まった	4		4
今後の人生・生活に役立つ	3	1	4
テーマについて考える、さらに勉強するきっかけとなった	3	1	4
楽しく学べた	2	1	3
これまで持っていた知識の整理・深耕に役だった	1	2	3
受講してよかった	2		2
内容が充実していて、幅広い内容だった	2		2
理論的に学ぶことができた	2		2
これまで興味があった分野を学べた	1	1	2
今後の学習・研究に役に立つ	1	1	2
知りたかったことを学ぶことができた	1	1	2
理解しやすい内容だった	1	1	2
最新の情報や研究が学べた	1		1
仕事・社会活動に役立つ	1		1
体系的(総合的)に学べた、よくまとまっていた	1		1
具体例・事例があった		1	1
現在の課題や問題点を学べた		1	1
その他		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像で理解しやすかった	1		1
講師が熱心だった、熱意が伝わった	1		1
楽しく受講できた	1		1
理解しやすい授業だった	1		1
講師に親しみがもてた		1	1
その他	1	2	3

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が良い、分かりやすい		1	1
理解しやすい内容だった		1	1
練習問題・課題が役に立った		1	1
その他		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		1	1

主な改善点の提案 《次項「気になった点」より》

- 内容の偏りや分量に注意しながら、より専門的な内容になるよう工夫する
- 具体例や事例を増やす
- 範囲が広くなりすぎないように、ポイントを絞るよう工夫する
- 放送授業はテレビ科目ならではの映像を生かした内容にする
- 印刷教材はカラー印刷にする
- 印刷教材は参考資料等を掲載する

【大学院】「自然環境科学プログラム」科目

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと詳しい内容にしてほしい	3	1	4
もっと専門的にしてほしい	3		3
具体例・事例を増やしてほしい	2	1	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1	1	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1	2
参考文献を紹介してほしい		2	2
事前に必要な基礎知識・入門書等を教えてほしい	1		1
内容が難しい、もっと分かりやすい説明をしてほしい	1		1
内容に不足な点がある、もっと知りたいことがあった。	1		1
分量が多すぎる	1		1
もっと実践的な内容にして欲しい	1		1
用語が分からない、解説をして欲しい	1		1
質問や相談がしたい		1	1
内容に偏りがある		1	1
その他		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目なのに映像を生かした内容になっていない	2		2
説明が分かりにくい		2	2
テレビ科目にして欲しい		2	2
ポイントが分かりにくい		2	2
講師の話が聞きづらい	1		1
印刷教材を読んでいるだけである		1	1
インターネットで配信してほしい		1	1
その他	1	3	4

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
カラー印刷にして欲しい	2		2
参考資料等を掲載して欲しい	2		2
まとめや学習のポイントが欲しい	1		1
もっと詳しい説明・解説をして欲しい		1	1
練習問題が難しい、本文と関係ない		1	1
その他	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっとコメントして欲しい	1		1
難しかった		1	1
易すぎる		1	1
その他		2	2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導の内容とかけ離れている		1	1
問題数が多い、時間が足りない		1	1
難しかった		1	1
物足りない、簡単すぎて試験として不適格		1	1
その他		1	1

【大学院】「自然環境科学プログラム」科目

よかった点

- 漠然と考えていたコンピュータと数学の関係が、この講義を通して良く理解できた。
- オートマンやチューリング機械などについてよくわかった。
- これまで、入力と出力とにのみ関心が向き、入力と出力との間で生じていることに関してはブラックボックスのままでしたが、0と1からなる文字列とアルファベットの文字列との対応付けを知り、入力と出力との間で生じているべき素過程に気づかされました。同時に、対応付けの方法はただ一つのみ許されるのか他の可能性もあるのかと言う別の興味がわき上がるのを感じさせられています。
- 記号と記号列の定義がよく理解できた。練習問題が多く、判りやすかった。
- 数学・統計学・情報学の勉強になった。
- 文化系なので、理解できるか不安でしたが、とてもわかりやすく、よく理解できたので、大満足です。
- 幅広く知識を深めることができた。
- 生物の生存にとって自然環境を保全とることがいかに大切であるか良く理解することができて大変良かったと思います。
- 自然の見方が学べた。先生は誠実に、授業をしてくれていると感じる。途中で、実際に山や自然に入っただけの映像は特に興味が持てた。
- 非常に広い学問分野をわかりやすくまとめている。研究の現実的部分もとりあげている。
- 生物を新たな視点で見れるようになり、考えの幅が広がった。

気になった点

- 今後進むべき方向性、参考文献等の情報が欲しかった。
- テレビ科目での授業にした方がより親しみ易く、印象に残ります。(直ちには難しいと思いますが)
- 実社会に具体的にどのように応用、活用できるのか、活用するのかを事例で紹介して頂くと更に判やすいと思います。
- 全体的な内容は学部レベルであり、大学院科目としては物足りないと思います。オートマトンについても入門レベルであり、もう少し掘り下げて欲しかったし、 $P \neq NP$ 問題にも触れて欲しいと思いました。多数の受講者に門戸を広げるのは良いが、紹介科目になってしまったのはおしいと思います。前提知識は当然要求されるべきで最初の数章は不要かと思います。
- 印刷教材の参考文献だが、もう少し充実していれば、より良いと感じました。
- 各章末にある研究課題へのサジェスションがあるとよいかと感じました。
- 分野が多岐にわたっているので、それぞれの基礎的な学習との関連も解説していただけたとよかったです。
- やや、浅くて広い印象だった、もっと範囲をせまくして、深くほり下げても良いと思う。
- 例資料をもっと多い方がよいと思う。資料不足を感じる。
- 大学院の科目だから、研究史や調べるヒントなども盛り込まれるとよいのではないのでしょうか。

平成22年度学生による授業評価集計結果の概要について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解の状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 郵送法による質問紙調査

(3) 調査対象

① 対象科目

【学部】

	基礎科目	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	夏季集中	計
H17(試行)	-(-)	10(39)	10(39)	9(42)	24(35)	27(82)	29(49)	-(-)	109(286)
H18	-(-)	4(39)	5(39)	10(42)	0(36)	11(81)	4(49)	-(-)	34(286)
H19	0(14)	8(39)	11(39)	5(41)	8(35)	19(74)	6(42)	-(-)	57(284)
H20	14(22)	9(38)	9(39)	9(40)	5(31)	12(49)	7(37)	-(-)	65(256)
H21(2008)	9(23)	9(31)	11(33)	11(31)	9(23)	14(51)	8(25)	0(6)	71(223)
	基礎科目	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境		夏季集中	計
H21(2009)	4(4)	4(4)	5(5)	11(11)	9(9)	9(9)		4(4)	46(46)
H22	3(3)	5(5)	7(7)	14(14)	11(11)	6(6)		5(5)	51(51)

※()内の数値は専攻(コース)ごとの全開設科目数

※平成21年度は、2008年新規開設科目と2009年新規開設科目の両方を実施

【大学院】

	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理	計	
	文化情報	環境システム					
H18	7(16)	6(13)	4(17)	2(15)	2(6)	21(67)	
H19	6(17)	5(13)	7(17)	6(14)	2(6)	26(67)	
H20	4(17)	1(13)	3(18)	4(14)	3(13)	15(75)	
H21(2008)	2(21)		3(13)	1(11)	1(7)	7(52)	
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学	計
H21(2009)	5(5)	3(3)	1(1)	4(4)	3(3)	3(3)	19(19)
H22	4(4)	3(3)	1(1)	3(3)	3(3)	2(2)	16(16)

※大学院の調査は平成18年度より実施

※()内の数値はプログラム・群ごとの全開設科目数

※平成21年度は、2008年新規開設科目と2009年新規開設科目の両方を実施

② 対象者

平成22年度第1学期履修登録者

※対象科目の全登録者から学部科目250人、大学院科目200人を無作為抽出

※登録者数が上記の人数未満の科目は全数

※1人当たり最大3科目まで

(4) 調査時期 質問紙配付: 8月20日(平成22年度第1学期単位認定試験終了後)

質問紙締切: 9月17日

調査結果の集計: 12月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
H17(試行)	21,619	21,619	-	8,937	8,937	-	41.5%	41.5%	-
H18	11,429	8,008	3,421	4,667	3,078	1,589	40.8%	38.4%	46.4%
H19	18,047	13,837	4,210	7,053	5,132	1,921	39.1%	37.1%	45.6%
H20	17,960	15,853	2,107	6,809	5,860	949	37.9%	37.0%	45.0%
H21(2008)	18,609	17,671	938	5,897	5,543	354	31.7%	31.4%	37.7%
H21(2009)	13,708	10,882	2,826	5,020	3,836	1,184	36.6%	35.3%	41.9%
H22	14,620	12,403	2,217	5,969	4,900	1,069	40.8%	39.5%	48.2%

付録) 平成22年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

	全科履修生							計	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解				
H17(試行)	12.6%	12.0%	9.2%	10.7%	19.0%	11.7%	75.2%	16.2%	6.9%	
H18	13.6%	15.3%	16.3%	3.0%	18.4%	4.7%	71.4%	18.9%	6.7%	
H19	15.6%	18.6%	9.3%	7.4%	15.8%	6.1%	72.8%	16.8%	7.0%	
H20	17.6%	17.3%	11.0%	6.6%	15.2%	7.1%	74.8%	16.9%	5.8%	
H21(2008)	新コース所属全科履修生							全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境					
	7.6%	9.8%	12.5%	11.3%	4.5%					
	旧専攻所属全科履修生									
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解				
	4.8%	6.4%	5.5%	3.0%	6.9%	2.3%	74.5%	16.3%	7.4%	
H21(2009)	新コース所属全科履修生							全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境					
	8.4%	6.9%	9.2%	11.7%	5.5%					
	旧専攻所属全科履修生									
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解				
	5.0%	4.2%	3.1%	2.9%	6.9%	3.1%	66.7%	19.5%	12.1%	
H22	新コース所属全科履修生							全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境					
	10.3%	9.8%	12.9%	9.6%	5.8%					
	旧専攻所属全科履修生									
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解				
	3.1%	3.1%	2.8%	1.3%	3.5%	1.7%	63.8%	21.8%	9.7%	

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H17(試行)	51.9%	44.4%	0.7%	14.1%	19.4%	17.0%	20.2%	19.3%	7.7%
H18	42.9%	51.5%	0.6%	11.2%	19.5%	20.0%	20.0%	18.6%	8.2%
H19	42.1%	55.7%	0.4%	11.4%	20.5%	20.7%	20.8%	16.4%	7.8%
H20	44.9%	53.3%	0.5%	9.9%	17.4%	19.8%	20.5%	21.6%	9.3%
H21(2008)	47.4%	49.3%	0.4%	10.2%	16.7%	18.9%	18.8%	23.3%	11.0%
H21(2009)	47.6%	49.0%	0.4%	8.2%	16.0%	20.6%	18.5%	24.3%	11.5%
H22	47.3%	50.1%	0.4%	8.4%	17.6%	21.9%	18.4%	22.5%	10.2%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にはならない

(2) 回答者の属性

【大学院】

	修士全科生						計	修士選科生	修士科目生
	政策経営	政策経営	政策経営	教育開発	臨床心理				
H18	11.0%	10.0%	6.2%	2.0%	1.8%	31.0%	52.4%	13.1%	
H19	8.2%	9.3%	9.1%	3.5%	1.7%	31.8%	52.3%	13.4%	
H20	7.9%	4.3%	5.7%	3.8%	2.6%	24.3%	59.9%	14.0%	
H21(2008)	新プログラム所属修士全科生						修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学			
	1.7%	1.7%	1.4%	4.0%	2.5%	4.8%			
	旧プログラム所属修士全科生								
	総合文化	政策経営	教育開発	臨床心理					
	文化情報	環境システム				24.0%	49.7%	24.3%	
	2.8%	1.1%	2.5%	1.1%	0.3%				
H21(2009)	新プログラム所属修士全科生						修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学			
	6.0%	2.2%	1.0%	4.2%	4.3%	2.2%			
	旧プログラム所属修士全科生								
	総合文化	政策経営	教育開発	臨床心理					
	文化情報	環境システム				30.7%	59.0%	8.9%	
	2.3%	3.5%	3.4%	1.1%	0.4%				
H22	新プログラム所属修士全科生						修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学			
	6.8%	2.7%	0.7%	7.4%	5.6%	2.7%			
	旧プログラム所属修士全科生								
	総合文化	政策経営	教育開発	臨床心理					
	文化情報	環境システム				28.0%	59.1%	8.8%	
	0.5%	0.7%	0.7%	0.1%	0.0%				

	性別		年齢別						
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
H18	56.7%	36.1%	4.8%	18.1%	27.1%	22.8%	15.9%	9.4%	
H19	57.9%	38.9%	3.6%	19.1%	27.6%	25.0%	15.9%	6.5%	
H20	58.3%	39.6%	3.1%	17.9%	24.6%	25.5%	17.5%	10.2%	
H21(2008)	63.8%	33.9%	12.4%	15.0%	25.7%	24.0%	14.1%	7.3%	
H21(2009)	60.8%	35.4%	3.0%	13.8%	25.2%	26.9%	22.1%	8.4%	
H22	60.1%	36.9%	4.3%	13.8%	23.9%	23.9%	23.6%	9.5%	

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にはならない

付録) 平成22年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【学部】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H21(2008)	3.15	3.19	3.13	3.19	3.20	3.17	3.18	3.17	3.19	3.18	3.24	3.11	3.17	3.19	3.15	3.22	3.20	3.23	3.19	3.19	3.19
H21(2009)	3.22	3.21	3.22	3.22	3.20	3.24	3.20	3.18	3.22	3.20	3.22	3.18	3.18	3.17	3.20	3.25	3.19	3.31	3.25	3.22	3.28
H22	3.15	3.22	3.06	3.24	3.30	3.15	3.22	3.27	3.14	3.22	3.32	3.08	3.18	3.25	3.08	3.30	3.33	3.25	3.29	3.35	3.21

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体		メディア別		専攻別						
	全対象科目	TV	R	基礎科目	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	
H21(2008)	3.17(3.82~2.50)		3.17	3.17	3.03	3.14	3.24	3.20	3.20	3.25	2.96
	全体		メディア別		コース別						
	全対象科目	TV	R	基礎科目	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	夏季集中	
H21(2009)	3.23(3.72~2.57)		3.18	3.27	3.34	3.22	3.31	3.16	3.27	3.13	3.19
H22	3.26(3.63~2.41)		3.32	3.17	3.31	3.26	3.32	3.24	3.28	3.19	3.22

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H21(2008)	3.17	3.16	2.71	3.05	3.11	3.17	3.17	3.23	3.26
H21(2009)	3.18	3.27	2.94	3.13	3.25	3.18	3.23	3.24	3.33
H22	3.26	3.26	3.15	3.20	3.21	3.26	3.21	3.35	3.30

※平成21年度より調査票の質問項目を一部変更したため、平成20年度以前は掲載していない

【大学院】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H21(2008)	3.26	3.37	3.20	3.26	3.36	3.20	3.30	3.34	3.28	3.18	3.43	3.01	3.21	3.34	3.12	3.33	3.32	3.33	3.31	3.36	3.28
H21(2009)	3.30	3.31	3.29	3.32	3.34	3.31	3.33	3.33	3.32	3.29	3.39	3.23	3.28	3.29	3.27	3.31	3.30	3.32	3.37	3.35	3.39
H22	3.25	3.26	3.24	3.37	3.42	3.32	3.40	3.44	3.35	3.37	3.43	3.30	3.33	3.40	3.25	3.35	3.34	3.36	3.40	3.45	3.35

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体		メディア別		プログラム(群)別					
	全対象科目	TV	R	総合文化	政策経営	教育開発	臨床心理	文化情報	自然環境	
H21(2008)	3.30(3.49~3.06)		3.35	3.27	-	3.25	3.41	3.36	3.06	
	全体		メディア別		プログラム別					
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	自然環境科学	
H21(2009)	3.37(3.56~3.02)		3.34	3.38	3.37	3.28	3.02	3.47	3.44	3.25
H22	3.38(3.70~3.03)		3.44	3.32	3.44	3.46	3.11	3.39	3.37	3.33

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別					
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H21(2008)	3.32	3.30	3.25	3.23	3.26	3.45	3.35	3.20
H21(2009)	3.38	3.34	3.44	3.41	3.40	3.32	3.36	3.34
H22	3.37	3.42	3.39	3.34	3.43	3.42	3.34	3.38

※平成21年度より調査票の質問項目を一部変更したため、平成20年度以前は掲載していない

(参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出して集計している。

付録)平成22年度学生による授業評価集計結果の概要等について

平成22年度学生による授業評価の調査結果一覧【2010年度新規開設科目】(単統集計)コース・プログラム別

科目名	回収状況			取組み姿勢			難易度・分量				放送授業				印刷教材				通称指導・単位認定試験				全体評価				授業にか かる評価 (B1-B20) の平均	全体(A1- B20)の 平均				
	調査対象 人数	回収率	回収数	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12	項目 平均	B-13	B-14	B-15	B-16	B-17	B-18	B-19			B-20	項目 平均		
全科目平均	12,403	4,900	39.5%	3.29	2.81	3.36	3.15	3.19	3.23	3.26	3.22	3.35	3.19	3.13	3.22	3.18	3.07	3.22	3.18	3.32	3.37	3.20	3.30	3.26	3.31	3.47	3.15	3.26	3.29	3.24	3.23	
科目最高値	-	-	-	3.63	3.31	3.64	3.45	3.62	3.69	3.68	3.65	3.70	3.61	3.66	3.63	3.69	3.65	3.63	3.60	3.63	3.60	3.61	3.49	3.53	3.58	3.76	3.58	3.63	3.63	3.61	3.58	
科目最低値	-	-	-	2.81	1.96	3.01	2.72	2.31	2.44	2.35	2.52	2.64	2.43	2.07	2.51	2.79	2.32	2.17	2.43	2.89	2.89	2.74	2.89	2.75	2.81	2.98	2.14	2.41	2.67	2.61	2.62	
テレビ科目(TV)平均	7,250	2,892	39.9%	3.34	2.93	3.39	3.22	3.26	3.25	3.27	3.30	3.27	3.28	3.40	3.29	3.32	3.19	3.28	3.25	3.35	3.40	3.24	3.33	3.29	3.36	3.51	3.25	3.32	3.35	3.30	3.29	
ラジオ科目(R)平均	5,153	2,008	39.0%	3.22	2.65	3.32	3.06	3.08	3.11	3.16	3.21	3.14	3.09	3.28	3.05	3.08	3.14	3.08	3.28	3.32	3.37	3.21	3.25	3.20	3.40	3.02	3.17	3.21	3.15	3.14	3.14	
「基礎科目」項目平均	750	339	45.2%	3.30	2.92	3.36	3.19	3.25	3.25	3.26	3.35	3.28	3.28	3.47	3.27	3.24	3.24	3.29	3.24	3.34	3.40	3.24	3.34	3.26	3.37	3.46	3.19	3.31	3.32	3.30	3.28	
「生活と福祉」項目平均	1,250	531	42.5%	3.19	2.50	3.32	3.00	3.15	3.14	3.34	3.35	3.25	3.09	3.09	3.12	3.12	3.21	3.12	3.24	3.17	3.29	3.21	3.29	3.22	3.41	3.19	3.26	3.26	3.22	3.19	3.19	
「心理と教育」項目平均	1,689	550	32.6%	3.29	2.72	3.43	3.15	3.22	3.21	3.29	3.25	3.23	3.32	3.24	3.21	3.25	3.36	3.27	3.19	3.28	3.33	3.40	3.27	3.33	3.30	3.48	3.28	3.32	3.33	3.29	3.27	3.22
「社会と産業」項目平均	3,374	1,358	40.2%	3.29	2.77	3.36	3.14	3.21	3.19	3.24	3.25	3.22	3.19	3.31	3.13	3.01	3.16	3.29	3.19	3.02	3.20	3.18	3.31	3.29	3.30	3.49	3.13	3.24	3.29	3.23	3.22	3.22
「人間と文化」項目平均	2,668	1,231	46.1%	3.30	2.97	3.35	3.21	3.22	3.25	3.21	3.25	3.23	3.28	3.50	3.30	3.26	3.34	3.21	3.16	3.29	3.37	3.38	3.16	3.36	3.46	3.13	3.28	3.29	3.26	3.26	3.26	3.26
「自然と環境」項目平均	1,422	550	38.7%	3.37	3.04	3.28	3.23	3.13	3.23	3.07	3.20	3.16	3.21	3.39	3.21	3.17	3.25	3.17	3.06	3.08	3.15	3.12	3.31	3.37	3.22	3.46	3.08	3.19	3.27	3.22	3.22	3.22
「夏季集中」項目平均	1,250	341	27.3%	3.29	2.60	3.46	3.12	3.04	2.92	3.18	3.17	3.08	3.04	3.03	3.02	2.91	3.00	3.18	3.23	3.16	3.20	3.11	3.25	3.09	3.15	3.20	3.48	3.16	3.22	3.25	3.14	3.14

科目名	回収状況			取組み姿勢			難易度・分量				放送授業				印刷教材				通称指導・単位認定試験				全体評価				授業にか かる評価 (B1-B20) の平均	全体(A1- B20)の 平均				
	調査対象 人数	回収率	回収数	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12	項目 平均	B-13	B-14	B-15	B-16	B-17	B-18	B-19			B-20	項目 平均		
全科目平均	2,217	1,069	48.2%	3.39	2.97	3.39	3.25	3.39	3.42	3.38	3.41	3.40	3.38	3.50	3.34	3.27	3.37	3.42	3.33	3.37	3.39	3.29	3.35	3.33	3.45	3.56	3.28	3.38	3.40	3.37	3.36	
科目最高値	-	-	-	3.65	3.27	3.62	3.42	3.66	3.68	3.68	3.65	3.65	3.74	3.74	3.84	3.63	3.66	3.48	3.65	3.59	3.80	3.66	3.57	3.52	3.72	3.76	3.58	3.70	3.62	3.61	3.59	
科目最低値	-	-	-	3.10	2.57	3.16	2.94	2.95	3.18	2.91	3.16	3.05	2.95	3.06	2.95	2.82	2.97	3.02	2.80	2.74	2.93	3.21	3.03	3.10	2.87	3.09	3.34	2.87	3.03	3.06	2.89	3.00
テレビ科目(TV)平均	1,148	572	49.8%	3.39	3.02	3.38	3.26	3.45	3.45	3.43	3.44	3.44	3.53	3.40	3.36	3.43	3.41	3.35	3.42	3.40	3.37	3.36	3.28	3.34	3.48	3.58	3.34	3.44	3.45	3.42	3.40	3.40
ラジオ科目(R)平均	1,069	497	46.5%	3.39	2.91	3.41	3.24	3.31	3.37	3.33	3.38	3.35	3.30	3.46	3.27	3.16	3.30	3.41	3.28	3.00	3.31	3.25	3.37	3.42	3.40	3.54	3.20	3.32	3.35	3.32	3.31	3.31
「生活健康科学」項目平均	584	271	46.4%	3.41	2.86	3.43	3.23	3.41	3.44	3.45	3.42	3.43	3.43	3.50	3.38	3.23	3.39	3.44	3.40	3.25	3.43	3.47	3.28	3.39	3.42	3.53	3.30	3.44	3.41	3.40	3.38	3.38
「人間発達科学」項目平均	849	214	25.2%	3.38	2.95	3.42	3.25	3.49	3.47	3.43	3.46	3.46	3.48	3.59	3.42	3.41	3.48	3.50	3.47	3.37	3.44	3.45	3.39	3.36	3.31	3.45	3.52	3.34	3.46	3.45	3.42	3.42
「臨床心理学」項目平均	200	91	45.5%	3.15	2.64	3.23	3.01	3.15	3.22	3.27	3.33	3.24	2.96	3.20	2.95	2.88	3.00	3.26	3.11	3.06	3.36	3.30	3.15	3.27	3.21	3.37	3.56	3.02	3.11	3.25	3.16	3.14
「社会経営科学」項目平均	400	191	47.8%	3.43	3.11	3.39	3.31	3.41	3.43	3.34	3.38	3.39	3.41	3.54	3.37	3.36	3.42	3.34	3.27	3.03	3.24	3.22	3.28	3.33	3.31	3.52	3.34	3.39	3.38	3.35	3.34	3.34
「文化情報学」項目平均	390	209	53.6%	3.45	3.13	3.42	3.33	3.36	3.42	3.37	3.40	3.39	3.40	3.58	3.39	3.31	3.42	3.45	3.36	3.20	3.32	3.33	3.27	3.31	3.34	3.61	3.23	3.40	3.40	3.38	3.38	3.38
「自然環境科学」項目平均	194	93	47.9%	3.41	3.00	3.37	3.26	3.33	3.41	3.26	3.37	3.34	3.28	3.35	3.23	3.12	3.25	3.40	3.27	3.29	3.34	3.37	3.47	3.55	3.41	3.60	3.32	3.44	3.40	3.36	3.34	3.34

(注) 平均評価は、調査票の選択肢「あてはまる.4点」「ややあてはまる.3点」「あまりあてはまらない.2点」「あてはまらない.1点」として算出した。

2010年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次のA及びBの各項目について、それぞれ1つだけ該当する番号に○をつけてください。

(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
A-2	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
A-3	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
A-4	単位認定のための学習方法について、次の1~3の該当する番号に○をつけてください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
B-1	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
B-2	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
B-3	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
B-4	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
B-6	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
B-8	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	4	3	2	1
＜印刷教材＞					
B-9	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
B-10	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
B-11	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
B-12	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
B-14	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
B-15	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
B-16	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
B-17	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
B-18	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
B-19	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
B-20	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(該当する番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。(該当する番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 6. 生活と福祉 7. 発達と教育 8. 社会と経済 9. 産業と技術 10. 人間の探究 11. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 12. 選科履修生 13. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

